1.3 空冷ヒートポンプ・空冷〈R407C〉

目次

〈1〉仕様 …… 1-144
(1) 標準タイプ〈PF(H)K形〉 …… 1-144
(2) 中温タイプ〈PFTK形〉 …… 1-146
(3) オールフレッシュタイプ〈PFK-F形〉 …… 1-148

〈2〉外形寸法図 …… 1-149
(1) 室外ユニット〈PU(H)K形〉 …… 1-149
(2) 室内ユニット …… 1-150
(a) 標準・中温タイプ〈PFAK・PFTK形〉 …… 1-150
(b) オールフレッシュタイプ〈PFAK-F形〉 …… 1-153
(3) リモコン(室内ユニット操作部) …… 1-154

〈3〉電気配線図 …… 1-155
(1) 室外ユニット〈PU(H)K形〉 …… 1-155
(2) 室内ユニット …… 1-157
(a) 標準タイプ〈PFAK形〉 …… 1-157
(b) 中温タイプ〈PFTK形〉 …… 1-165
(c) オールフレッシュタイプ〈PFAK-F形〉 …… 1-173

〈4〉冷房・暖房能力特性 …… 1-177
(1) 冷房・暖房能力の求め方 …… 1-177
(2) 能力・入力補正 …… 1-178
(a) 標準タイプ〈PF(H)K形〉 …… 1-178
(b) 中温タイプ〈PFTK形〉 …… 1-181
(c) オールフレッシュタイプ〈PFK-F形〉 …… 1-183
(3) 冷媒配管長による冷房能力補正係数 …… 1-185
(4) 冷媒配管長による暖房能力補正係数 …… 1-185
(5) 霜取補正 …… 1-186
(6) 風量変化による能力・入力補正係数 …… 1-186
(a) 標準タイプ〈PF(H)K形〉 …… 1-186
(b) 中温タイプ〈PFTK形〉 …… 1-191
(c) オールフレッシュタイプ〈PFK-F形〉 …… 1-193
(7) バイパスファクター線図 …… 1-195
(a) 標準タイプ〈PF(H)K形〉 …… 1-195
(b) 中温タイプ〈PFTK形〉 …… 1-196
(c) オールフレッシュタイプ〈PFK-F形〉 …… 1-197

〈5〉騒音特性 …… 1-198
(1) 室外ユニット〈PU(H)K形〉 …… 1-198
(2) 室内ユニット …… 1-200
(a) 標準・中温タイプ〈PFAK・PFTK形〉 …… 1-200
(b) オールフレッシュタイプ〈PFAK-F形〉 …… 1-204

〈6〉重心位置 …… 1-205
(1) 室内ユニット …… 1-205

〈7〉耐震強度計算 …… 1-206
(1) 室外ユニット〈PU(H)K形〉 …… 1-206
(2) 室内ユニット …… 1-207
(a) 標準・中温タイプ〈PFAK・PFTK形〉 …… 1-207
(b) オールフレッシュタイプ〈PFAK-F形〉 …… 1-210

〈8〉室外ユニット振動レベル …… 1-211

〈9〉送風機性能線図 …… 1-212
(1) 標準・中温タイプ〈PFAK・PFTK形〉 …… 1-212
(2) オールフレッシュタイプ〈PFAK-F形〉 …… 1-214

〈10〉据付工事 …… 1-215
(1) 据付場所の選定 …… 1-215
(a) 室外ユニット …… 1-215
(b) 室内ユニット …… 1-215
(2) 据付スペース …… 1-216
(a) 室外ユニット …… 1-216
(b) 室内ユニット …… 1-218

〈11〉機外配線図 …… 1-220

〈12〉取付可能部品 …… 1-221
(1) 取付可能部品表 …… 1-221
(a) 室内ユニット適用表 …… 1-221
(ア) 標準タイプ〈PFAK形〉用 …… 1-221
(イ) 中温タイプ〈PFTK形〉用 …… 1-222
(ウ) オールフレッシュタイプ〈PFAK-F形〉用 …… 1-223
(エ) 進相コンデンサー選定一覧表 …… 1-223
(b) 室外ユニット適用表 …… 1-223
(c) 取付可能部品併用組込可能組合せ表 …… 1-224
(d) 静風圧部品標準仕様表 …… 1-225
(e) 静風圧部品形名・仕様表 …… 1-225
(2) 取付部品能力線図 …… 1-226
(a) 標準・中温タイプ〈PFAK・PFTK形〉 …… 1-226
(b) オールフレッシュタイプ〈PFAK-F形〉 …… 1-235

〈1〉仕様

(1) 標準タイプ〈PF(H)K形〉

項目				セット形名	PF(H)K -P140AW(M)-A	PF(H)K -P224AW(M)(U)-A	PF(H)K -P280AW(M)(U)-A	PF(H)K -P450AW(M)(U)-A	PF(H)K -P560AW(M)(U)-A
標準仕様 注1	冷房	定格冷房能力 (50Hz/60Hz)	kW		12.5/14.0	20.0/22.4	25.0/28.0	40.0/45.0	50.0/56.0
		定格消費電力 (50Hz/60Hz)	kW		5.10/6.15	7.91/9.55	9.68/11.81	14.54/18.00	18.08/23.10
		運転電流 (50Hz/60Hz)	A		20.6/21.5	27.8/30.6	33.4/37.2	51.2/57.1	64.5/73.5
		運転力率 (50Hz/60Hz)	%		71/82	82/90	84/92	82/91	81/91
		エネルギー消費効率 (50Hz/60Hz)	—		2.45/2.27	2.53/2.35	2.58/2.37	2.75/2.50	2.77/2.42
	暖房 注3	定格暖房能力 (50Hz/60Hz)	kW		15.0/17.0	23.6/26.5	30.0/33.5	47.5/53.0	60.0/67.0
		定格消費電力 (50Hz/60Hz)	kW		4.78/5.89	7.79/10.02	9.34/11.77	15.02/19.85	18.39/23.67
		運転電流 (50Hz/60Hz)	A		20.1/21.0	27.6/31.0	32.2/35.8	52.9/59.7	63.5/73.6
		運転力率 (50Hz/60Hz)	%		68/80	81/93	84/95	82/96	84/93
		エネルギー消費効率 (50Hz/60Hz)	—		3.13/2.88	3.03/2.64	3.21/2.85	3.16/2.67	3.26/2.83
		低温 暖房能力 (50Hz/60Hz)	kW		11.2/12.5	17.7/20.0	22.0/26.0	35.4/40.0	45.0/50.0
		低温 消費電力 (50Hz/60Hz)	kW		4.14/5.36	6.84/8.62	8.25/10.62	13.34/17.44	15.14/20.05
	始動電流 (50Hz/60Hz)	室外ユニット(1台)	A		135/135	207/187	265/239	207/187	265/239
		室内ユニット	A		22.8/20.4	51/44	51/44	60/52	112/96
室内ユニット	形名		—		PFAK-P140AW(M)-A	PFAK-P224AW(M)-A	PFAK-P280AW(M)-A	PFAK-P450AW(M)-A	PFAK-P560AW(M)-A
	定格電源		—		三相200V 50/60Hz				
	外形寸法 (H×W×D)		mm		1748×760×485	1748×980×485	1748×1200×485	1899×1200×635	1899×1420×635
	外装		—		鋼板粉体塗装 マンセル〈5Y8/1〉				
	熱交換器形式		—		クロスフィン				
	送風機	形式×個数	—		シロッコファン×1		シロッコファン×2		
		風量	m^3/min		45	70	90	140	180
		機外静圧 注2	Pa		30	30	30	30/130	
		電動機出力	kW		**0.75**	1.5		2.2	3.7
	防音・断熱材		—		グラスウール				
	エアフィルター		—		不織布				
	ドレン配管サイズ		—		1B メネジ			1 1/4B メネジ	
	運転音(A特性値)(50Hz/60Hz)注5		dB		49/49	53/53	55/55	53/55	57/60
	製品質量		kg		108	123	147	235	257
室外ユニット	形名		—		PU(H)K-P140AW-A	PU(H)K-P224(U)AW-A	PU(H)K-P280(U)AW-A	PU(H)K-P224(U)AW-A×2台	PU(H)K-P280(U)AW-A×2台
	定格電源		—		三相200V 50/60Hz				
	外形寸法 (H×W×D)		mm		1260×1050×330(+20)	1715×990×840		(1715×990×840)×2台	
	外装		—		鋼板粉体塗装 マンセル〈5Y8/1〉				
	熱交換器形式		—		クロスフィン				
	圧縮機	形式×個数	—		全密閉形×1			(全密閉形×1)×2台	
		始動方式／称呼出力	kW		直入/3.5	直入/5.5	直入/7.5	(直入/5.5)×2台	(直入/7.5)×2台
		1日の冷凍能力	法定トン		1.49/1.80	2.33/2.77	2.89/3.44	(2.33/2.77)×2台	(2.89/3.44)×2台
		クランクケースヒーター	kW		0.025	0.05		0.05×2台	
	送風機	形式×個数	—		プロペラファン×2	プロペラファン×1		(プロペラファン×1)×2台	
		風量	m^3/min		85	185		185×2台	
		電動機出力	kW		0.07×2	0.38		0.38×2台	
	霜取方式		—		リバースサイクル				
	圧力計		—		—				
	保護装置	圧力開閉器	—		高圧側3.24MPa、低圧側0.03MPa	高圧側3.3MPa、低圧側0MPa			
		圧縮機	—		CT検知	熱動過電流継電器			
		送風機	—		温度開閉器(内蔵)				
	運転音 (A特性値) (50Hz/60Hz)注4・5	AW	dB		47/47	冷房56/56(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55),暖房58/58	冷房57/57(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55),暖房59/59	冷房56/56(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55),暖房58/58	冷房57/57(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55),暖房59/59
		UAW	dB		—	冷房56/56(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55),暖房56/57	冷房57/57(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55),暖房57/59	冷房56/56(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55),暖房56/57	冷房57/57(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55),暖房57/59
	製品質量	AW	kg		108	215	220	215×2台	220×2台
		UAW	kg		—	230	235	230×2台	235×2台
冷媒配管寸法	ガス配管		mm		φ19.05	φ25.4	φ28.6	φ25.4×2台	φ28.6×2台
	液配管		mm		φ9.52	φ12.7		φ12.7×2台	
冷媒	種類／出荷時封入量	AW	kg		R407C×4.6	R407C×6.0	R407C×6.5	(R407C×6.0)×2台	(R407C×6.5)×2台
		UAW	kg		—	R407C×7.0	R407C×7.5	(R407C×7.0)×2台	(R407C×7.5)×2台
	制御方式		—		電子膨張弁	毛細管、電子膨張弁			
冷凍機油(種類×封入量)		AW	L		MMMAWPOE×1.76	DAPHNE FVC68D×3.0	DAPHNE FVC68D×4.0	(DAPHNE FVC68D×3.0)×2台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×2台
		UAW	L		—	DAPHNE FVC68D×4.0	DAPHNE FVC68D×4.0	(DAPHNE FVC68D×4.0)×2台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×2台
電線太さ 室外／室内			—		5.5mm²/1.6mm	8mm²/1.6mm	14mm²/1.6mm	8mm²×2台/1.6mm	14mm²×2台/1.6mm
内外接続線／リモコン電線太さ			mm²		1.25以上／0.3～1.25				
内外接続線長さ (最大) <室内ー室外>			m		200				
冷媒配管長／高低差		AW	m		実長50、相当長62.5／40				
		UAW	m		—	実長100、相当長125／40			
アース線サイズ (室外／室内)			—		φ2.0mm以上/1.6mm以上	3.5mm²以上/1.6mm以上	5.5mm²以上/1.6mm以上	3.5mm²以上×2台/1.6mm以上	5.5mm²以上×2台/1.6mm以上
配線用遮断器	開閉器 (室外／室内)		A		40/15	60/15		60×2台/30	
	漏電遮断器 (室外／室内)		A		40/15	60/15		60×2台/30	

注1．運転特性は次の条件で運転したときの数値です。
冷房能力(室内側：乾球温度27.0℃・湿球温度19.0℃、室外側：乾球温度35.0℃)、暖房能力(室内側：乾球温度20.0℃、室外側：乾球温度7.0℃・湿球温度6.0℃)
暖房低温能力(室内側：乾球温度20.0℃、室外側：乾球温度2.0℃・湿球温度1.0℃)
に準じて冷媒配管長7.5mで運転した場合の値を示します。
注2．50Hz地区の場合、モーターブーリー径(可変ブーリー)をP140形はφ93.9(出荷時はφ77.9)、P224・P280形はφ140(出荷時はφ116.7)に調整した値を示します。
注3．PUKタイプは、暖房運転できません。
注4．運転音は室外ユニット1台あたりの値です。
注5．運転音はJIS規格に準じて反響音の少ない無響音室で測定した値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響等の影響を受け表示数値より大きくなるのが普通です。
注6．室内ユニット周囲空気が、露点温度23℃以上で長時間運転されますと、室内ユニットの結露水が垂れて水漏れに至るおそれがあります。

項目 ＼ セット形名					PF(H)K -P630AW(M)(U)-A	PF(H)K -P800AW(M)(U)-A	PF(H)K -P1120AW(M)(U)-A-L,R	PF(H)K -P1400AW(M)(U)-A-L,R
標準仕様注1	冷房	定格冷房能力（50Hz/60Hz）		kW	60.0/67.0	75.0/84.0	100.0/112.0	125.0/140.0
		定格消費電力（50Hz/60Hz）		kW	23.46/28.94	29.70/37.06	40.34/50.40	50.40/62.70
		運転電流（50Hz/60Hz）		A	79.2/90.5	101.5/116.0	137.3/157.9	173.5/196.6
		運転力率（50Hz/60Hz）		%	85/92	84/92	84/92	83/92
		ｴﾈﾙｷﾞｰ消費効率（50Hz/60Hz）		―	2.55/2.31	2.52/2.26	2.47/2.22	2.48/2.23
	暖房注3	定格暖房能力（50Hz/60Hz）		kW	71.0/80.0	90.0/100.0	120.0/134.0	150.0/167.0
		定格消費電力（50Hz/60Hz）		kW	23.10/30.35	28.68/36.94	38.98/50.24	48.70/62.50
		運転電流（50Hz/60Hz）		A	78.6/91.7	97.9/111.8	132.5/152.3	167.5/189.6
		運転力率（50Hz/60Hz）		%	84/95	84/95	84/95	83/95
		ｴﾈﾙｷﾞｰ消費効率（50Hz/60Hz）		―	3.07/2.63	3.13/2.70	3.07/2.66	3.08/2.67
		低温	暖房能力（50Hz/60Hz）	kW	23.0/60.0	67.5/75.4	90.0/100.0	112.5/125.6
			消費電力（50Hz/60Hz）	kW	20.35/26.83	25.87/33.26	34.75/44.94	42.89/56.45
	始動電流（50Hz/60Hz）		室外ユニット（1台）	A	207/187	265/239	265/239	265/239
			室内ユニット	A	60/52	112/96	112/96	112/96
室内ユニット	形　名			―	PFAK-P630AW(M)-A	PFAK-P800AW(M)-A	PFAK-P1120AW(M)-A-L,R	PFAK-P1400AW(M)-A-L,R
	定格電源			―	三相200V　50/60Hz			
	外形寸法（H×W×D）			mm	1860×1750×1064		1890×1835×1333	
	外　装			―	鋼板粉体塗装　マンセル〈5Y8/1〉			
	熱交換器形式			―	クロスフィン			
	送風機	形式×個数		―	シロッコファン×2			
		風　量		m^3/min	210	260	360	450
		機外静圧　注2		Pa	100/250	100/310	62/294	82/294
		電動機出力		kW	3.7	5.5	7.5	11
	防音・断熱材			―	グラスウール			
	エアフィルター			―	PPハニカム			
	ドレン配管サイズ			―	1 1/4B メネジ		1 1/4B オネジ	
	運転音(A特性値)（50Hz/60Hz）注5			dB	63/63	65/65	68/68	69/69
	製品質量			kg	410	425	600	650
室外ユニット	形　名			―	PU(H)K-P224(U)AW-A×3台	PU(H)K-P280(U)AW-A×3台	PU(H)K-P280(U)AW-A×4台	PU(H)K-P280(U)AW-A×5台
	定格電源			―	三相200V　50/60Hz			
	外形寸法（H×W×D）			mm	(1715×990×840)×3台		(1715×990×840)×4台	(1715×990×840)×5台
	外　装			―	鋼板粉体塗装　マンセル〈5Y8/1〉			
	熱交換器形式			―	クロスフィン			
	圧縮機	形式×個数		―	(全密閉形×1)×3台		(全密閉形×1)×4台	(全密閉形×1)×5台
		始動方式／称呼出力		kW	(直入／5.5)×3台	(直入／7.5)×3台	(直入／7.5)×4台	(直入／7.5)×5台
		1日の冷凍能力		法定トン	(2.33/2.77)×3台	(2.89/3.44)×3台	(2.89/3.44)×4台	(2.89/3.44)×5台
		クランクケースヒーター		kW	0.05×3台	0.05×3台	0.05×4台	0.05×5台
	送風機	形式×個数		―	(プロペラファン×1)×3台		(プロペラファン×1)×4台	(プロペラファン×1)×5台
		風　量		m^3/min	185×3台		185×4台	185×5台
		電動機出力		kW	0.38×3台		0.38×4台	0.38×5台
	霜取方式			―	リバースサイクル			
	圧力計			―	―			
	保護装置	圧力開閉器		―	高圧側3.3MPa、低圧側0MPa			
		圧縮機		―	熱動過電流継電器			
		送風機		―	温度開閉器(内蔵)			
	運転音（A特性値）（50Hz/60Hz）注4・5		AW	dB	冷房56/56(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55),暖房58/58	冷房57/57(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55),暖房59/59	冷房57/57(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55),暖房59/59	冷房57/57(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55),暖房59/59
			UAW		冷房56/56(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55),暖房56/57	冷房57/57(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55),暖房57/59	冷房57/57(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55),暖房57/59	冷房57/57(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55),暖房57/59
	製品質量		AW	kg	215×3台	220×3台	220×4台	220×5台
			UAW		230×3台	235×3台	235×4台	235×5台
冷媒配管寸法	ガス配管			mm	φ25.4×3台	φ28.6×3台	φ28.6×4台	φ28.6×5台
	液配管			mm	φ12.7×3台		φ12.7×4台	φ12.7×5台
冷媒	種類／出荷時封入量		AW	kg	(R407C×6.0)×3台	(R407C×6.5)×3台	(R407C×6.5)×4台	(R407C×6.5)×5台
			UAW		(R407C×7.0)×3台	(R407C×7.5)×3台	(R407C×7.5)×4台	(R407C×7.5)×5台
	制御方式			―	毛細管、電子膨張弁			
冷凍機油（種類×封入量）			AW	L	(DAPHNE FVC68D×3.0)×3台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×3台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×4台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×5台
			UAW		(DAPHNE FVC68D×4.0)×3台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×3台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×4台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×5台
電線太さ 室外／室内				―	8mm²×3台／1.6mm	14mm²×3台／5.5mm²	14mm²×4台／8mm²	14mm²×5台／14mm²
内外接続線／リモコン電線太さ				mm²	1.25以上／0.3～1.25			
内外接続線長さ（最大）<室内ー室外>				m	200			
冷媒配管長／高低差			AW	m	実長50、相当長62.5／40			
			UAW		実長100、相当長125／40			
アース線サイズ（室外／室内）				―	3.5mm²以上×3台／1.6mm以上	5.5mm²以上×3台／5.5mm²以上	5.5mm²以上×4台／5.5mm²以上	5.5mm²以上×5台／8mm²以上
配線用遮断器	開閉器（室外／室内）			A	60×3台/30	60×3台/60	60×4台/100	60×5台/100
	漏電遮断器（室外／室内）			A	60×3台/30	60×3台/75	60×4台/100	60×5台/125

注1．運転特性は次の条件で運転したときの数値です。
冷房能力(室内側：乾球温度27.0℃・湿球温度19.0℃、室外側：乾球温度35.0℃)、暖房能力(室内側：乾球温度20.0℃、室外側：乾球温度7.0℃・湿球温度6.0℃)
暖房低温能力(室内側：乾球温度20.0℃、室外側：乾球温度2.0℃・湿球温度1.0℃)
に準じて冷媒配管長7.5mで運転した場合の値を示します。
注2．PUKタイプは、暖房運転できません。
注3．運転音は室外ユニット1台あたりの値です。
注4．運転音はJIS規格に準じて反響音の少ない無響音室で測定した値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響等の影響を受け表示数値より大きくなるのが普通です。
注5．室内ユニット周囲空気が、露点温度23℃以上で長時間運転されますと、室内ユニットの結露水が垂れて水漏れに至るおそれがあります。

（2）中温タイプ〈PFTK形〉

項目 ＼ セット形名				PFTK -P125AW(M) -A	PFTK -P200AW(M)(U)-A	PFTK -P250AW(M)(U)-A	PFTK -P400AW(M)(U)-A	PFTK -P500AW(M)(U)-A
標準仕様注1	冷房	定格冷房能力（50Hz/60Hz）	kW	11.2/12.5	18.0/20.0	23.6/25.0	36.0/40.0	45.0/50.0
		定格消費電力（50Hz/60Hz）	kW	4.95/6.01	7.53/9.05	9.10/11.20	14.19/17.39	18.39/22.50
		運転電流（50Hz/60Hz）	A	20.1/21.2	26.2/29.0	31.6/35.9	49.4/55.8	64.0/72.2
		運転力率（50Hz/60Hz）	%	71/81	83/90	83/90	83/90	83/90
		エネルギー消費効率（50Hz/60Hz）	－	2.26/2.07	2.39/2.21	2.59/2.23	2.53/2.30	2.45/2.22
	始動電流（50Hz/60Hz）	室外ユニット（1台）	A	135/135	207/187	265/239	207/187	265/239
		室内ユニット	A	22.8/20.4	51/44	51/44	60/52	112/96
室内ユニット	形　名		－	PFTK-P125AW(M)-A	PFTK-P200AW(M)-A	PFTK-P250AW(M)-A	PFTK-P400AW(M)-A	PFTK-P500AW(M)-A
	定格電源		－	三相200V　50/60Hz				
	外形寸法（H×W×D）		mm	1748×760×485	1748×980×485	1748×1200×485	1899×1200×635	1899×1420×635
	外　装		－	鋼板粉体塗装　マンセル〈5Y8/1〉				
	熱交換器形式		－	クロスフィン				
	送風機	形式×個数	－	シロッコファン×1		シロッコファン×2		
		風　量	m^3/min	45	70	90	140	180
		機外静圧　注2	Pa	30	30	30	30/130	
		電動機出力	kW	0.75	1.5		2.2	3.7
	防音・断熱材		－	グラスウール				
	エアフィルター		－	不織布				
	ドレン配管サイズ		－	1B メネジ			1 1/4B メネジ	
	運転音（A特性値）（50Hz/60Hz）注4		dB	49/49	53/53	55/55	53/55	57/60
	製品質量		kg	108	123	147	235	257
室外ユニット	形　名		－	PUK-P140AW-A	PUK-P224(U)AW-A	PUK-P280(U)AW-A	PUK-P224(U)AW-A×2台	PUK-P280(U)AW-A×2台
	定格電源		－	三相200V　50/60Hz				
	外形寸法（H×W×D）		mm	1260×1050×330(+20)	1715×990×840		(1715×990×840)×2台	
	外　装		－	鋼板粉体塗装　マンセル〈5Y8/1〉				
	熱交換器形式		－	クロスフィン				
	圧縮機	形式×個数	－	全密閉形×1			(全密閉形×1)×2台	
		始動方式／称呼出力	kW	直入／3.5	直入／5.5	直入／7.5	(直入／5.5)×2台	(直入／7.5)×2台
		1日の冷凍能力	法定トン	1.49/1.80	2.33/2.77	2.89/3.44	(2.33/2.77)×2台	(2.89/3.44)×2台
		クランクケースヒーター	kW	0.025	0.05		0.05×2台	
	送風機	形式×個数	－	プロペラファン×2	プロペラファン×1		(プロペラファン×1)×2台	
		風　量	m^3/min	85	185		185×2台	
		電動機出力	kW	0.07×2	0.38		0.38×2台	
	圧力計		－	－				
	保護装置	圧力開閉器	－	高圧側3.24MPa、低圧側0.03MPa	高圧側3.3MPa、低圧側0MPa			
		圧縮機	－	CT検知	熱動過電流継電器			
		送風機	－	温度開閉器(内蔵)				
	運転音（A特性値）（50Hz/60Hz）注3・4	AW	dB	47/47	56/56(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55)	57/57(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55)	56/56(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55)	57/57(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55)
		UAW		－	56/56(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55)	57/57(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55)	56/56(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55)	57/57(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55)
	製品質量	AW	kg	108	215	220	215×2台	220×2台
		UAW		－	230	235	230×2台	235×2台
冷媒配管寸法	ガス配管		mm	φ19.05	φ25.4	φ28.6	φ25.4×2台	φ28.6×2台
	液配管		mm	φ9.52	φ12.7		φ12.7×2台	
冷媒	種類／出荷時封入量	AW	kg	R407C×4.6	R407C×6.0	R407C×6.5	(R407C×6.0)×2台	(R407C×6.5)×2台
		UAW		－	R407C×7.0	R407C×7.5	(R407C×7.0)×2台	(R407C×7.5)×2台
	制御方式		－	電子膨張弁	毛細管、電子膨張弁			
冷凍機油（種類×封入量）		AW	L	MMMAWPOE×1.76	DAPHNE FVC68D×3.0	DAPHNE FVC68D×4.0	(DAPHNE FVC68D×3.0)×2台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×2台
		UAW		－	DAPHNE FVC68D×4.0	DAPHNE FVC68D×4.0	(DAPHNE FVC68D×4.0)×2台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×2台
電線太さ 室外／室内			－	5.5mm²／1.6mm	8mm²／1.6mm	14mm²／1.6mm	8mm²×2台／1.6mm	14mm²×2台／1.6mm
内外接続線／リモコン電線太さ			mm²	1.25以上／0.3～1.25				
内外接続線長さ（最大）<室内ー室外>			m	200				
冷媒配管長／高低差		AW	m	実長50、相当長62.5／40				
		UAW		－	実長100、相当長125／40			
アース線サイズ（室外／室内）			－	φ2.0mm以上／1.6mm以上	3.5mm²以上／1.6mm以上	5.5mm²以上／1.6mm以上	3.5mm²以上×2台／1.6mm以上	5.5mm²以上×2台／1.6mm以上
配線用遮断器	開閉器（室外／室内）		A	40/15	60/15		60×2台/30	
	漏電遮断器（室外／室内）		A	40/15	60/15		60×2台/30	

注1．運転特性は次の条件で運転したときの数値です。
冷房能力(室内側：乾球温度20.0℃・湿球温度14.0℃、室外側：乾球温度35.0℃)
に準じて冷媒配管長7.5mで運転した場合の値を示します。
注2．50Hz地区の場合、モータープーリー径(可変プーリー)をP125形はφ93.9(出荷時はφ77.9)、P200・P250形はφ140(出荷時はφ116.7)に調整した値を示します。
注3．運転音は室外ユニット1台あたりの値です。
注4．運転音はJIS規格に準じて反響音の少ない無響音室で測定した値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響等の影響を受け表示数値より大きくなるのが普通です。
注5．室内ユニット周囲空気が、露点温度23℃以上で長時間運転されますと、室内ユニットの結露水が垂れて水漏れに至るおそれがあります。

項目 ＼ セット形名					PFTK -P600AW(M)(U)-A	PFTK -P750AW(M)(U)-A	PFTK -P1000AW(M)(U)-A-L,R	PFTK -P1250AW(M)(U)-A-L,R
標準仕様 注1	冷房	定格冷房能力（50Hz/60Hz）		kW	54.0/60.0	67.5/75.0	90.0/100.0	112.5/125.0
		定格消費電力（50Hz/60Hz）		kW	22.33/27.45	27.96/35.23	38.02/47.96	47.50/59.65
		運転電流（50Hz/60Hz）		A	74.4/85.9	96.1/112.2	130.1/152.8	164.4/190.2
		運転力率（50Hz/60Hz）		%	86/92	83/90	84/90	83/90
		エネルギー消費効率（50Hz/60Hz）		—	2.41/2.18	2.41/2.12	2.36/2.08	2.36/2.09
	始動電流（50Hz/60Hz）		室外ユニット（1台）	A	207/187	265/239	265/239	265/239
			室内ユニット	A	60/52	112/96	112/96	112/96
室内ユニット	形名			—	PFTK-P600AW(M)-A	PFTK-P750AW(M)-A	PFTK-P1000AW(M)-A-L,R	PFTK-P1250AW(M)-A-L,R
	定格電源			—	三相200V　50/60Hz			
	外形寸法（H×W×D）			mm	1860×1750×1064		1890×1835×1333	
	外装			—	鋼板粉体塗装　マンセル〈5Y8/1〉			
	熱交換器形式			—	クロスフィン			
	送風機	形式×個数		—	シロッコファン×2			
		風量		m^3/min	210	260	360	450
		機外静圧　注2		Pa	100/250	100/310	62/294	82/294
		電動機出力		kW	3.7	5.5	7.5	11
	防音・断熱材			—	グラスウール			
	エアフィルター			—	PPハニカム			
	ドレン配管サイズ			—	1 1/4B メネジ		1 1/4B オネジ	
	運転音（A特性値）（50Hz/60Hz）注4			dB	63/63	65/65	68/68	69/69
	製品質量			kg	410	425	600	650
室外ユニット	形名			—	PUK-P224(U)AW-A×3台	PUK-P280(U)AW-A×3台	PUK-P280(U)AW-A×4台	PUK-P280(U)AW-A×5台
	定格電源			—	三相200V　50/60Hz			
	外形寸法（H×W×D）			mm	(1715×990×840)×3台		(1715×990×840)×4台	(1715×990×840)×5台
	外装			—	鋼板粉体塗装　マンセル〈5Y8/1〉			
	熱交換器形式			—	クロスフィン			
	圧縮機	形式×個数		—	(全密閉形×1)×3台		(全密閉形×1)×4台	(全密閉形×1)×5台
		始動方式／称呼出力		kW	(直入／5.5)×3台	(直入／7.5)×3台	(直入／7.5)×4台	(直入／7.5)×5台
		1日の冷凍能力		法定トン	(2.33/2.77)×3台	(2.89/3.44)×3台	(2.89/3.44)×4台	(2.89/3.44)×5台
		クランクケースヒーター		kW	0.05×3台	0.05×3台	0.05×4台	0.05×5台
	送風機	形式×個数		—	(プロペラファン×1)×3台		(プロペラファン×1)×4台	(プロペラファン×1)×5台
		風量		m^3/min	185×3台		185×4台	185×5台
		電動機出力		kW	0.38×3台		0.38×4台	0.38×5台
	圧力計			—	—			
	保護装置	圧力開閉器		—	高圧側3.3MPa、低圧側0MPa			
		圧縮機		—	熱動過電流継電器			
		送風機		—	温度開閉器(内蔵)			
	運転音（A特性値）（50Hz/60Hz）注3・4		AW	dB	56/56(ナイトモード55/55)	57/57(ナイトモード55/55)	57/57(ナイトモード55/55)	57/57(ナイトモード55/55)
			UAW		56/56(ナイトモード55/55)	57/57(ナイトモード55/55)	57/57(ナイトモード55/55)	57/57(ナイトモード55/55)
	製品質量		AW	kg	215×3台	220×3台	220×4台	220×5台
			UAW		230×3台	235×3台	235×4台	235×5台
冷媒配管寸法	ガス配管			mm	φ25.4×3台	φ28.6×3台	φ28.6×4台	φ28.6×5台
	液配管			mm	φ12.7×3台		φ12.7×4台	φ12.7×5台
冷媒	種類／出荷時封入量		AW	kg	(R407C×6.0)×3台	(R407C×6.5)×3台	(R407C×6.5)×4台	(R407C×6.5)×5台
			UAW		(R407C×7.0)×3台	(R407C×7.5)×3台	(R407C×7.5)×4台	(R407C×7.5)×5台
	制御方式			—	毛細管、電子膨張弁			
冷凍機油（種類×封入量）			AW	L	(DAPHNE FVC68D×3.0)×3台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×3台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×4台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×5台
			UAW		(DAPHNE FVC68D×4.0)×3台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×3台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×4台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×5台
電線太さ 室外／室内				—	8mm^2×3台／1.6mm	14mm^2×3台／5.5mm^2	14mm^2×4台／8mm^2	14mm^2×5台／14mm^2
内外接続線／リモコン電線太さ				mm^2	1.25以上／0.3～1.25			
内外接続線長さ（最大）<室内ー室外>				m	200			
冷媒配管長／高低差			AW	m	実長50、相当長62.5／40			
			UAW		実長100、相当長125／40			
アース線サイズ（室外／室内）				—	3.5mm^2以上×3台／1.6mm以上	5.5mm^2以上×3台／5.5mm^2以上	5.5mm^2以上×4台／5.5mm^2以上	5.5mm^2以上×5台／8mm^2以上
配線用遮断器	開閉器（室外／室内）			A	60×3台/30	60×3台/60	60×4台/100	60×5台/100
	漏電遮断器（室外／室内）			A	60×3台/30	60×3台/75	60×4台/100	60×5台/125

注1．運転特性は次の条件で運転したときの数値です。
冷房能力(室内側：乾球温度20.0℃・湿球温度14.0℃、室外側：乾球温度35.0℃)
に準じて冷媒配管長7.5mで運転した場合の値を示します。
注2．運転音は室外ユニット1台あたりの値です。
注3．運転音はJIS規格に準じて反響音の少ない無響音室で測定した値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響等の影響を受け表示数値より大きくなるのが普通です。
注4．室内ユニット周囲空気が、露点温度23℃以上で長時間運転されますと、室内ユニットの結露水が垂れて水漏れに至るおそれがあります。

（3）オールフレッシュタイプ〈PFK-F形〉

項目 ＼ セット形名					PFK -P167AW(M)-A-F	PFK -P265AW(M)(U)-A-F	PFK -P335AW(M)(U)-A-F	PFK -P530AW(M)(U)-A-F	PFK -P670AW(M)(U)-A-F
標準仕様注1	冷房	定格冷房能力（50Hz/60Hz）		kW	15.0/16.7	23.6/26.5	30.0/33.5	47.2/53.0	60.0/67.0
		定格消費電力（50Hz/60Hz）		kW	4.91/5.99	7.50/9.58	8.90/11.30	14.77/18.84	18.54/22.76
		運転電流（50Hz/60Hz）		A	20.5/21.3	27.4/30.8	31.1/36.2	53.2/60.8	67.2/73.3
		運転力率（50Hz/60Hz）		%	69/81	79/90	83/90	80/89	80/90
		エネルギー消費効率（50Hz/60Hz）		—	3.05/2.79	3.15/2.77	3.37/2.96	3.20/2.81	3.24/2.94
	始動電流（50Hz/60Hz）		室外ユニット（1台）	A	135/135	207/187	265/239	207/187	265/239
			室内ユニット	A	22.8/20.4	51/44	51/44	60/52	112/96
室内ユニット	形　名			—	PFAK-P167AW(M)-A-F	PFAK-P265AW(M)-A-F	PFAK-P335AW(M)-A-F	PFAK-P530AW(M)-A-F	PFAK-P670AW(M)-A-F
	定格電源			—	三相200V　50/60Hz				
	外形寸法（H×W×D）			mm	1748×760×485	1748×980×485	1748×1200×485	1899×1200×635	1899×1420×635
	外　装			—	鋼板粉体塗装　マンセル〈5Y8/1〉				
	熱交換器形式			—	クロスフィン				
	送風機	形式×個数		—	シロッコファン×1		シロッコファン×2		
		風　量		m^3/min	20	35	45	70	90
		機外静圧　注2		Pa	80	90	80	110/180	110/190
		電動機出力		kW	0.75	1.5		2.2	3.7
	防音・断熱材			—	グラスウール				
	エアフィルター			—	不織布				
	ドレン配管サイズ			—	1B メネジ			1 1/4B メネジ	
	運転音（A特性値）（50Hz/60Hz）注4			dB	40/40	47/47	48.5/48.5	48/50	50/53
	製品質量			kg	110	126	150	239	262
室外ユニット	形　名			—	PUK-P140AW-A	PUK-P224(U)AW-A	PUK-P280(U)AW-A	PUK-P224(U)AW-A×2台	PUK-P280(U)AW-A×2台
	定格電源			—	三相200V　50/60Hz				
	外形寸法（H×W×D）			mm	1260×1050×330(+20)	1715×990×840		(1715×990×840)×2台	
	外　装			—	鋼板粉体塗装　マンセル〈5Y8/1〉				
	熱交換器形式			—	クロスフィン				
	圧縮機	形式×個数		—	全密閉形×1			(全密閉形×1)×2台	
		始動方式／称呼出力		kW	直入／3.5	直入／5.5	直入／7.5	(直入／5.5)×2台	(直入／7.5)×2台
		1日の冷凍能力		法定トン	1.49/1.80	2.33/2.77	2.89/3.44	(2.33/2.77)×2台	(2.89/3.44)×2台
		クランクケースヒーター		kW	0.025	0.05		0.05×2台	
	送風機	形式×個数		—	プロペラファン×2	プロペラファン×1		(プロペラファン×1)×2台	
		風　量		m^3/min	85	185		185×2台	
		電動機出力		kW	0.07×2	0.38		0.38×2台	
	圧力計			—	—				
	保護装置	圧力開閉器		—	高圧側3.24MPa、低圧側0.03MPa	高圧側3.3MPa、低圧側0MPa			
		圧縮機		—	CT検知	熱動過電流継電器			
		送風機		—	温度開閉器(内蔵)				
	運転音（A特性値）（50Hz/60Hz）注3・4		AW	dB	47/47	56/56(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55)	57/57(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55)	56/56(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55)	57/57(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55)
			UAW		—	56/56(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55)	57/57(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55)	56/56(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55)	57/57(ﾅｲﾄﾓｰﾄﾞ55/55)
	製品質量		AW	kg	108	215	220	215×2台	220×2台
			UAW		—	230	235	230×2台	235×2台
冷媒配管寸法	ガス配管			mm	φ19.05	φ25.4	φ28.6	φ25.4×2台	φ28.6×2台
	液配管			mm	φ9.52	φ12.7		φ12.7×2台	
冷媒	種類／出荷時封入量		AW	kg	R407C×4.6	R407C×6.0	R407C×6.5	(R407C×6.0)×2台	(R407C×6.5)×2台
			UAW		—	R407C×7.0	R407C×7.5	(R407C×7.0)×2台	(R407C×7.5)×2台
	制御方式			—	電子膨張弁	毛細管、電子膨張弁			
冷凍機油（種類×封入量）			AW	L	MMMAWPOE×1.76	DAPHNE FVC68D×3.0	DAPHNE FVC68D×4.0	(DAPHNE FVC68D×3.0)×2台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×2台
			UAW		—	DAPHNE FVC68D×4.0	DAPHNE FVC68D×4.0	(DAPHNE FVC68D×4.0)×2台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×2台
電線太さ 室外／室内				—	5.5mm^2／1.6mm	8mm^2／1.6mm	14mm^2／1.6mm	8mm^2×2台／1.6mm	14mm^2×2台／1.6mm
内外接続線／リモコン電線太さ				mm^2	1.25以上／0.3～1.25				
内外接続線長さ（最大）<室内ー室外>				m	200				
冷媒配管長／高低差			AW	m	実長50、相当長62.5／40				
			UAW		—	実長100、相当長125／40			
アース線サイズ（室外／室内）				—	φ2.0mm以上／1.6mm以上	3.5mm^2以上／1.6mm以上	5.5mm^2以上／1.6mm以上	3.5mm^2以上×2台／1.6mm以上	5.5mm^2以上×2台／1.6mm以上
配線用遮断器	開閉器（室外／室内）			A	40/15	60/15		60×2台/30	
	漏電遮断器（室外／室内）			A	40/15	60/15		60×2台/30	

注1．運転特性は次の条件で運転したときの数値です。
冷房能力(室内側：乾球温度33.0℃・湿球温度28.0℃、室外側：乾球温度33.0℃)
に準じて冷媒配管長7.5mで運転した場合の値を示します。
注2．50Hz地区の場合、モータープーリー径(可変プーリー)をP167形はφ93.9(出荷時はφ77.9)、P265・P335形はφ140(出荷時はφ116.7)に調整した値を示します。
注3．運転音は室外ユニット1台あたりの値です。
注4．運転音はJIS規格に準じて反響音の少ない無響音室で測定した値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響等の影響を受け表示数値より大きくなるのが普通です。
注5．室内ユニット周囲空気が、露点温度23℃以上で長時間運転されますと、室内ユニットの結露水が垂れて水漏れに至るおそれがあります。

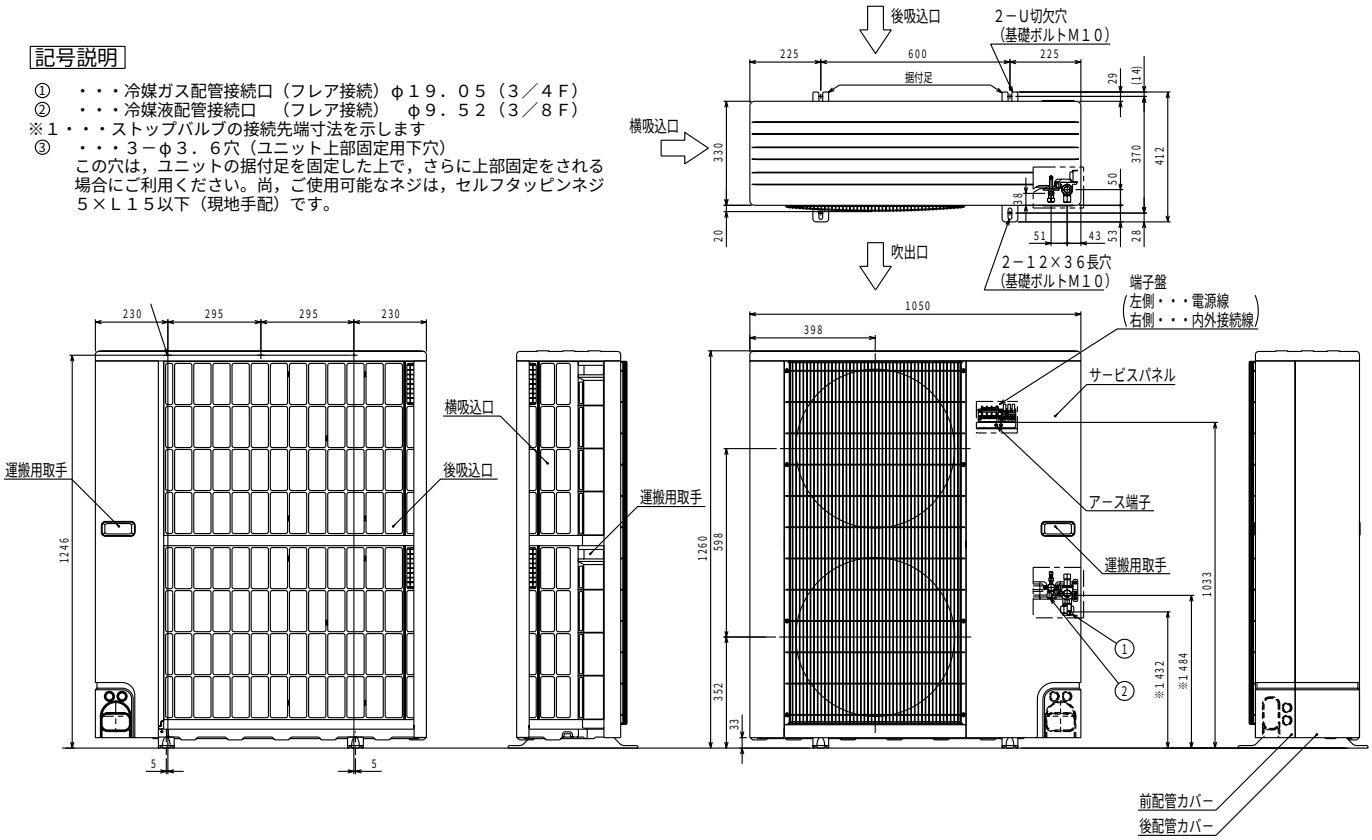
〈2〉外形寸法図

（1）室外ユニット〈PU（H）K形〉

●PU(H)K-P140AW-A

記号説明

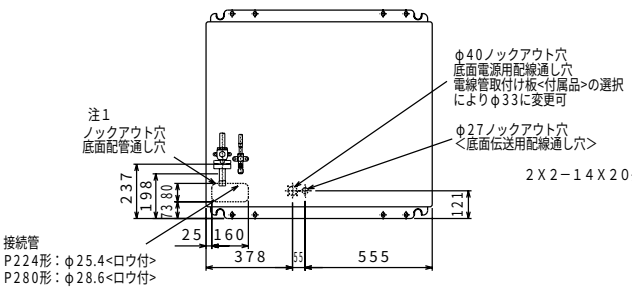
① ・・・冷媒ガス配管接続口（フレア接続）φ19．05（3／4F）
② ・・・冷媒液配管接続口 （フレア接続） φ9．52（3／8F）
※1・・・ストップバルブの接続先端寸法を示します
③ ・・・3－φ3．6穴（ユニット上部固定用下穴）
この穴は，ユニットの据付足を固定した上で，さらに上部固定をされる場合にご利用ください。尚，ご使用可能なネジは，セルフタッピンネジ5×L15以下（現地手配）です。



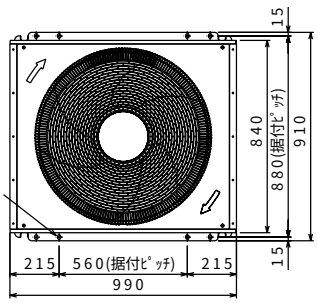
●PU(H)K-P224,280(U)AW-A

<付属品>
・冷媒<ガス>接続管・・・・・1個
（ユニットに取付済）
・接続管用パッキン・・・・・・1個
（ボールバルブ付近に取付）
・電線管取付板（本体同色塗装）
φ40，φ33・・・各1個
・タッピンネジ 4X12・・・4本

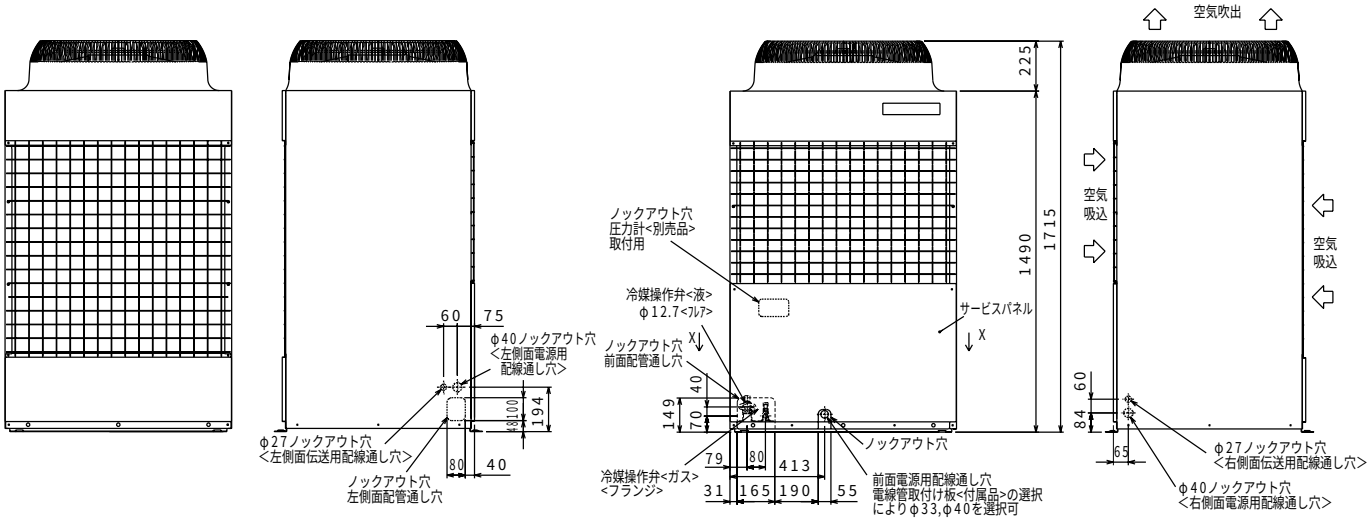
注1．下配管取出しをする場合は
底配管通し穴を基礎で
ふさがぬようにしてください



断面X－X



平面図



背面図　左側面図　正面図　右側面図

（2）室内ユニット

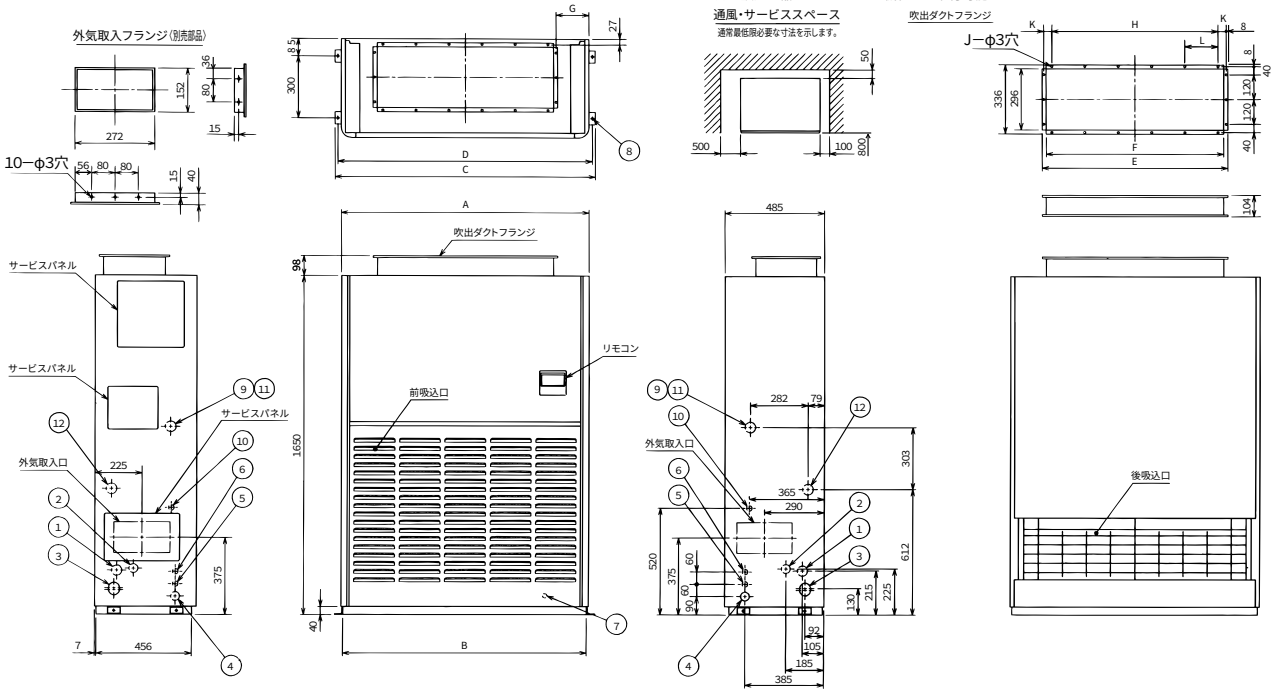
(a) 標準・中温タイプ〈PFAK・PFTK形〉

●PFAK-P140,224,280AW(M)-A
●PFTK-P125,200,250AW(M)-A

	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L
PFAK-P140(V)AW(M)-A PFTK-P125(V)AW(M)-A	760	742	822	794	383	343	154	230	10	68.5	−
PFAK-P224(V)AW(M)-A PFTK-P200(V)AW(M)-A	980	962	1042	1014	715	675	108	640	16	29.5	160
PFAK-P280(V)AW(M)-A PFTK-P250(V)AW(M)-A	1200	1182	1262	1234	895	835	160	800	18	39.5	160

NO.	名 称	NO.	名 称
1	冷媒配管<ガス>……P140,P125:φ19.05 P224,P200:φ25.4 , P280,P250:φ28.6 ロウ付	7	アース端子（制御箱内に設置）……5ｶｼﾞ
2	冷媒配管<液>……P140・P125:φ9.52 P224・P280,P200・P250:φ12.7 ロウ付	8	基礎ボルト穴……4-φ12
3	ドレン穴……1B	9	透湿膜加湿器配管穴……φ52
4	装置電源穴……φ43	10	加湿器配管穴……φ27
5	電線穴……φ27	11	加熱器(蒸気入口・温水出口)‥P140・224, P125・200：1B P280, P250：11/4B
6	室内外連絡線穴，伝送線穴……φ27	12	加熱器(蒸気出口・温水入口)‥P140・224, P125・200：1B P280, P250：11/4B

注1．伝送線と電圧２００Ｖ以上の配線は必ず分けた経路としてください。
2．設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔等を設けてください。
3．透湿膜加湿器はヒートポンプ機種のみ取付可能です。

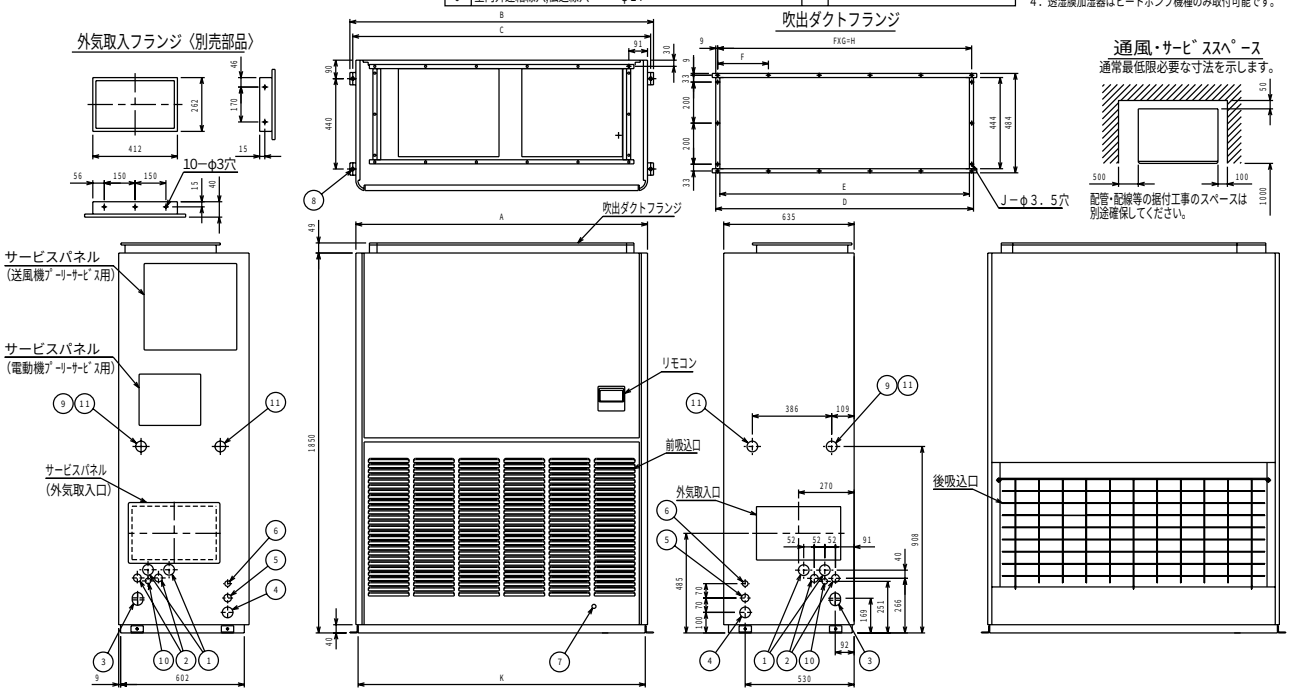


●PFAK-P450,560AW(M)-A
●PFTK-P400,500AW(M)-A

	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K
PFAK-P450(V)AW(M)-A PFTK-P400(V)AW(M)-A	1200	1258	1230	1046	1006	257	4	1028	16	1178
PFAK-P560(V)AW(M)-A PFTK-P500(V)AW(M)-A	1420	1478	1450	1255	1215	247	5	1235	18	1398

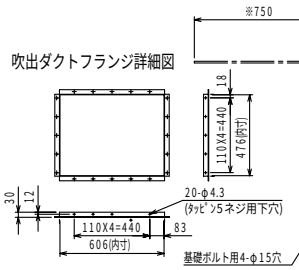
NO.	名 称	NO.	名 称
1	冷媒配管<ガス>…P450,P400:φ25.4 , P560,P500:φ28.6 ロウ付	7	アース端子（制御箱内に設置）…5ｶｼﾞ
2	冷媒配管<液>……φ12.7 ロウ付	8	基礎ボルト穴……4-φ12
3	ドレン穴……１1/4B	9	透湿膜加湿器配管穴……φ52
4	装置電源穴……φ52	10	加湿器配管穴……φ27
5	電線穴……φ37	11	加熱器(蒸気・温水)……11/2B
6	室内外連絡線穴,伝送線穴……φ27		

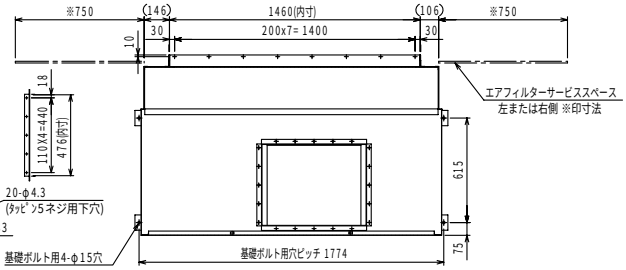
注1．別売加湿器（透湿膜を除く）を組込んで右配管取り出しにする場合は別途、別売右配管部品（加湿器組込用）が必要となります。
2．伝送線と電圧200Ｖ以上の配線は必ず分けた経路としてください。
3．設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔等を設けてください。
4．透湿膜加湿器はヒートポンプ機種のみ取付可能です。



●PFAK-P630,800AW(M)-A
●PFTK-P600,750AW(M)-A

吹出ダクトフランジ詳細図



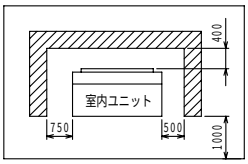


No.	名称
①	No.1 冷媒配管（ガス） φA <ロウ付>
②	No.1 冷媒配管（液） φB <ロウ付>
③	No.2 冷媒配管（ガス） φA <ロウ付>
④	No.2 冷媒配管（液） φB <ロウ付>
⑤	No.3 冷媒配管（ガス） φA <ロウ付>
⑥	No.3 冷媒配管（液） φB <ロウ付>
⑦	電源穴（２００V線） φ62ノックアウト穴
⑧	室内外連絡線穴（制御線）φ38ノックアウト穴
⑨	加湿器配管接続口 φ38ノックアウト穴
⑩	加湿器電源穴 φ22ノックアウト穴
⑪	アース端子（制御箱内に設置） 5ネジ
⑫	加熱器(温水出口・蒸気入口)φ70ﾉｯｸｱｳﾄ穴:2B
⑬	加熱器(温水入口・蒸気出口)φ70ﾉｯｸｱｳﾄ穴:2B

注1．エアフィルターサービススペース（※印）の寸法をユニットの左側面又は右側面に必ず確保してください。
2．設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔等を設けてください。

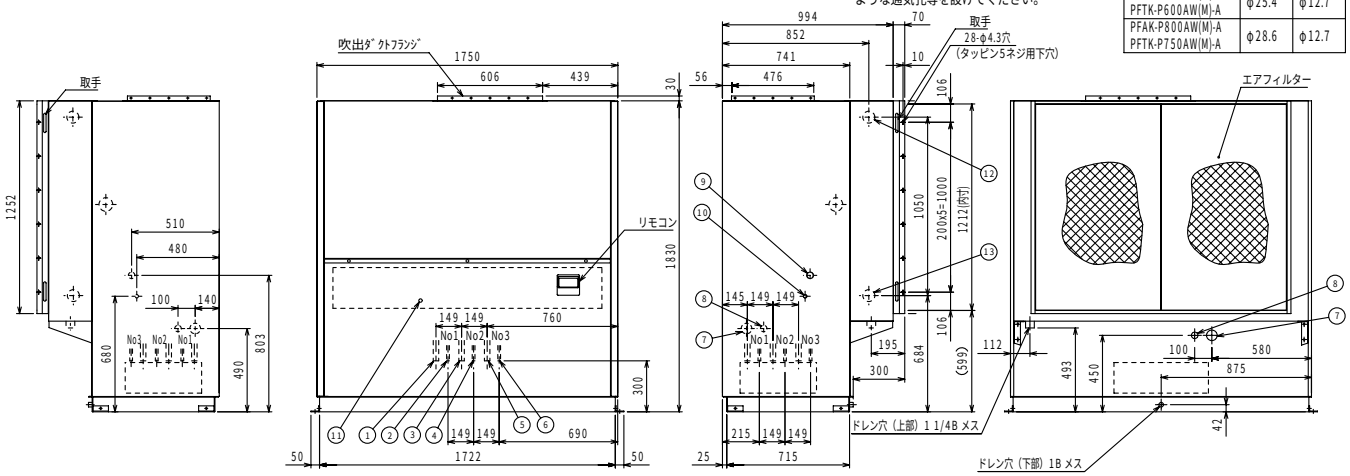
通風・サービススペース

図中寸法は最小寸法を示します。



配管・配線等の据付工事のスペースは別途確保してください。
また、エアフィルターのサービスを本体右側から行う場合は、図中※印の寸法を確保してください。

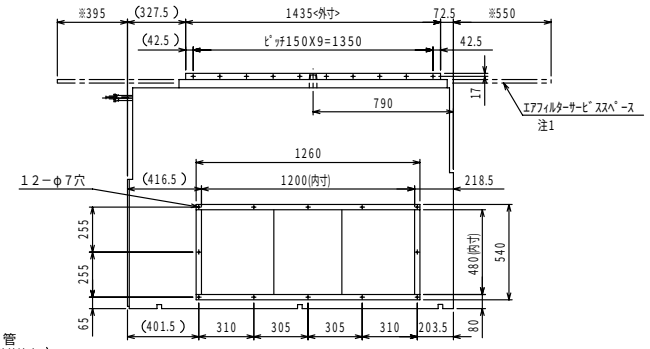
	A	B
PFAK-P630AW(M)-A PFTK-P600AW(M)-A	φ25.4	φ12.7
PFAK-P800AW(M)-A PFTK-P750AW(M)-A	φ28.6	φ12.7



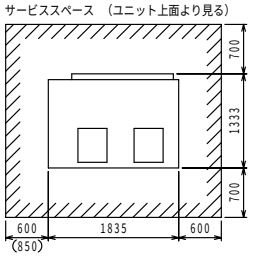
●PFAK-P1120AW(M)-A-L
●PFTK-P1000AW(M)-A-L

注1．エアフィルターサービススペース「※印」の寸法をユニットの左側面又は右側面に必ず確保してください。
2．電源の引込みはユニット右側面から標準です。
（左側面からの引込みも可能です）
3．ドレン配管はユニット背面から接続してください。
4．加湿器用の配管接続方向はユニット右側面が標準ですが、左側面接続にも対応可能です。
5．加湿器は受注組込部品となります。
6．設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔を設けてください。
7．出荷時、吹出ダクトフランジはユニット内に付属しています。
8．チャージ管を取外す際は先端を切断し、ガスを抜いてください。ガスを抜かずに作業した場合、ロウが飛散るおそれがあります。

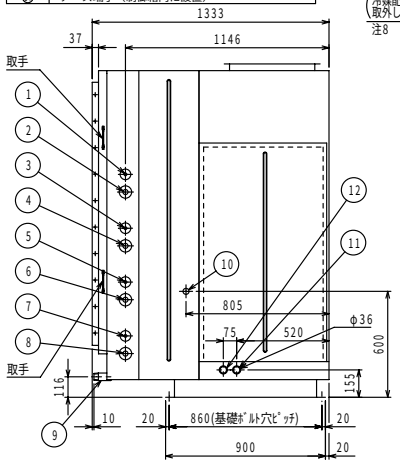
番　号	名　　称
①	No.1 冷媒配管（液）　φ１２．７<ロウ付>
②	No.1 冷媒配管（ガス）φ２８．６<ロウ付>
③	No.2 冷媒配管（液）　φ１２．７<ロウ付>
④	No.2 冷媒配管（ガス）φ２８．６<ロウ付>
⑤	No.3 冷媒配管（液）　φ１２．７<ロウ付>
⑥	No.3 冷媒配管（ガス）φ２８．６<ロウ付>
⑦	No.4 冷媒配管（液）　φ１２．７<ロウ付>
⑧	No.4 冷媒配管（ガス）φ２８．６<ロウ付>
⑨	ドレン配管　ＰＴ１－１／４オネジ
⑩	加湿器接続口　ＰＴ１メネジ（水・蒸気スプレー）
⑪	電源取入口　（右側面は現地加工 φ３０～φ６０）
⑫	室内外連絡線取入口（右側面は現地加工 φ３０～φ６０）
⑬	基礎ボルト用穴　４－φ２０穴
⑭	アース端子（制御箱内に設置）

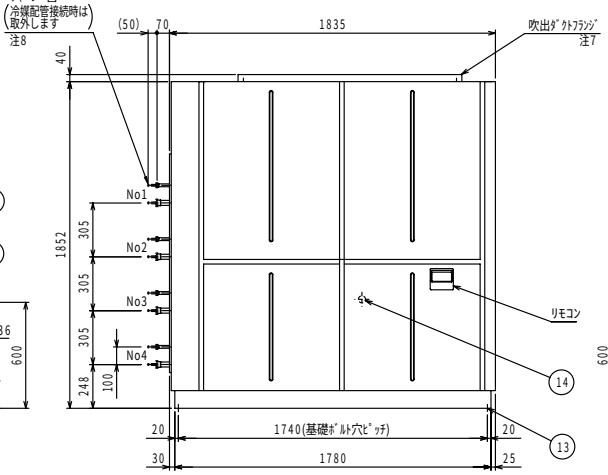


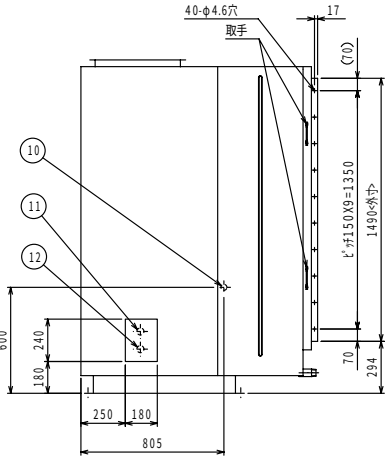
サービススペース （ユニット上面より見る）



・配管・配線等の据付工事のスペースは別途確保してください。
・（ ）寸法は送風機軸の引出しスペースです。



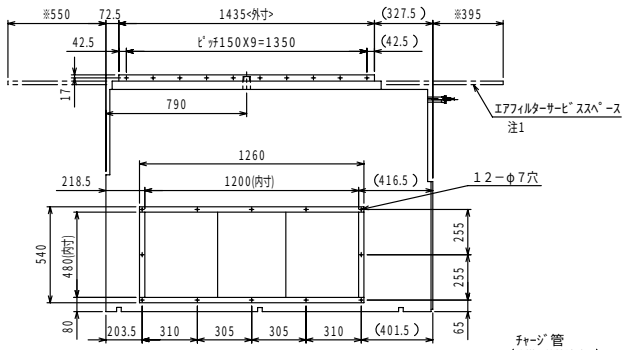


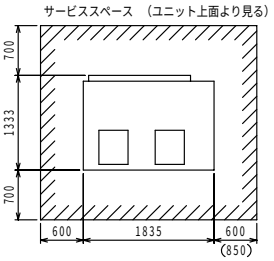


●PFAK-P1120AW(M)-A-R
●PFTK-P1000AW(M)-A-R

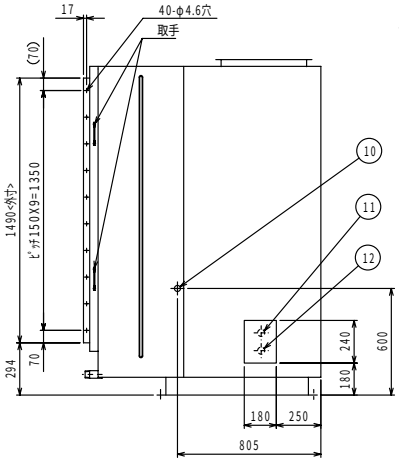
注1．エアフィルターサービススペース「※印」の寸法をユニットの
左側面又は右側面に必ず確保してください。
2．電源の引込みはユニット左側面からが標準です。
（右側面からの引込みも可能です）
3．ドレン配管はユニット背面から接続してください。
4．加湿器用の配管接続方向はユニット左側面が標準ですが、
右側面接続にも対応可能です。
5．加湿器は受注組込部品となります。
6．設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、
部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、
室内が負圧にならないような通気孔を設けてください。
7．出荷時、吹出ダクトフランジはユニット内に付属しています。
8．チャージ管を取外す際は先端を切断し、ガスを抜いてください。
ガスを抜かずに作業した場合、ロウが飛散るおそれがあります。

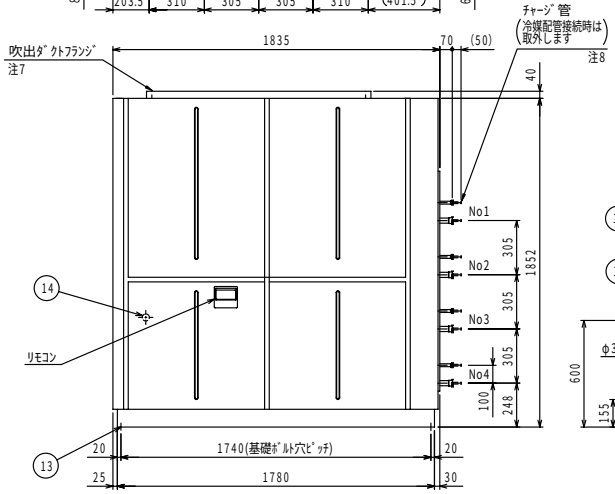
番号	名称
①	No.1 冷媒配管（液） φ12．7<ロウ付>
②	No.1 冷媒配管（ガス）φ28．6<ロウ付>
③	No.2 冷媒配管（液） φ12．7<ロウ付>
④	No.2 冷媒配管（ガス）φ28．6<ロウ付>
⑤	No.3 冷媒配管（液） φ12．7<ロウ付>
⑥	No.3 冷媒配管（ガス）φ28．6<ロウ付>
⑦	No.4 冷媒配管（液） φ12．7<ロウ付>
⑧	No.4 冷媒配管（ガス）φ28．6<ロウ付>
⑨	ドレン配管 PT1－1／4オネジ
⑩	加湿器接続口 PT1メネジ（水・蒸気スプレー）
⑪	電源取入口 （左側面は現地加工 φ30～φ60）
⑫	室内外連絡線取入口（左側面は現地加工 φ30～φ60）
⑬	基礎ボルト用穴 4－φ20穴
⑭	アース端子（制御箱内に設置）

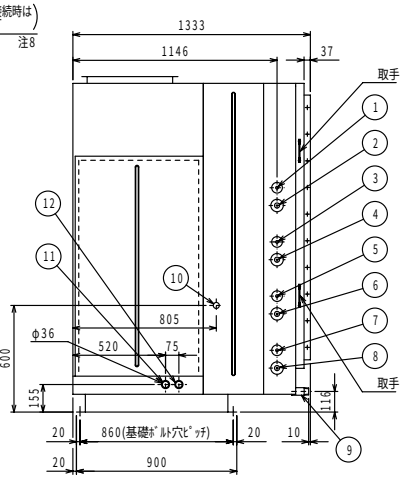




・配管・配線等の据付工事のスペースは
別途確保してください。
・( ) 寸法は送風機軸の引出しスペースです。



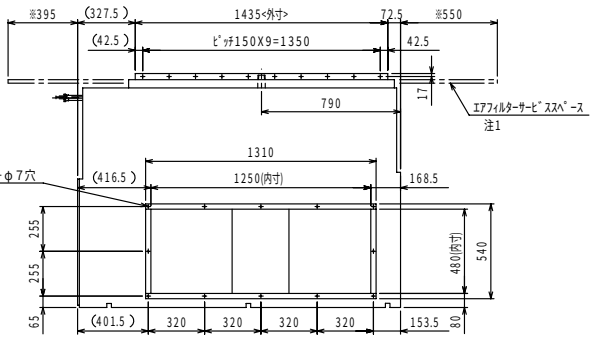


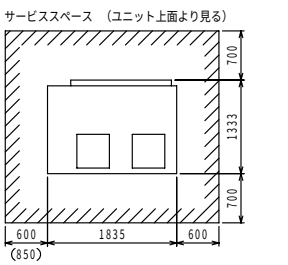


●PFAK-P1400AW(M)-A-L
●PFTK-P1250AW(M)-A-L

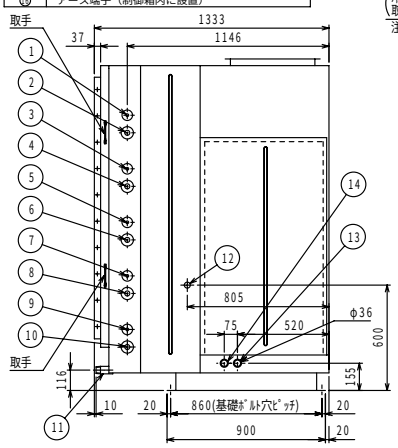
注1．エアフィルタサービススペース「※印」の寸法をユニットの
左側面又は右側面に必ず確保してください。
2．電源の引込みはユニット右側面からが標準です。
（左側面からの引込みも可能です）
3．ドレン配管はユニット背面から接続してください。
4．加湿器用の配管接続方向はユニット右側面が標準ですが、
左側面接続にも対応可能です。
5．加湿器は受注組込部品となります。
6．設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、
部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、
室内が負圧にならないような通気孔を設けてください。
7．出荷時、吹出ダクトフランジはユニット内に付属しています。
8．チャージ管を取外す際は先端を切断し、ガスを抜いてください。
ガスを抜かずに作業した場合、ロウが飛散るおそれがあります。

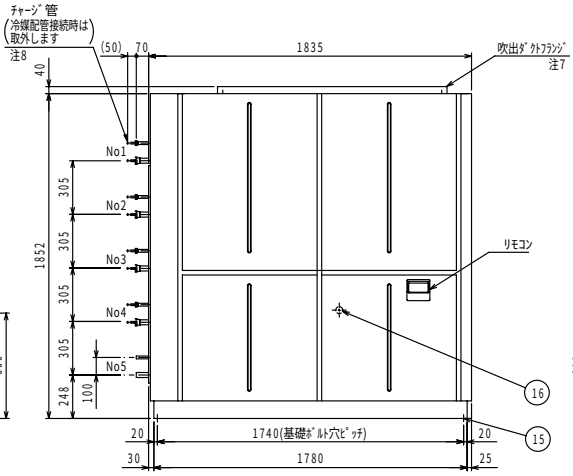
番号	名称
①	No.1 冷媒配管（液） φ12．7<ロウ付>
②	No.1 冷媒配管（ガス）φ28．6<ロウ付>
③	No.2 冷媒配管（液） φ12．7<ロウ付>
④	No.2 冷媒配管（ガス）φ28．6<ロウ付>
⑤	No.3 冷媒配管（液） φ12．7<ロウ付>
⑥	No.3 冷媒配管（ガス）φ28．6<ロウ付>
⑦	No.4 冷媒配管（液） φ12．7<ロウ付>
⑧	No.4 冷媒配管（ガス）φ28．6<ロウ付>
⑨	No.5 冷媒配管（液） φ12．7<ロウ付>
⑩	No.5 冷媒配管（ガス）φ28．6<ロウ付>
⑪	ドレン配管 PT1－1／4オネジ
⑫	加湿器接続口 PT1メネジ（水・蒸気スプレー）
⑬	電源取入口 （右側面は現地加工 φ30～φ60）
⑭	室内外連絡線取入口（右側面は現地加工 φ30～φ60）
⑮	基礎ボルト用穴 4－φ20穴
⑯	アース端子（制御箱内に設置）

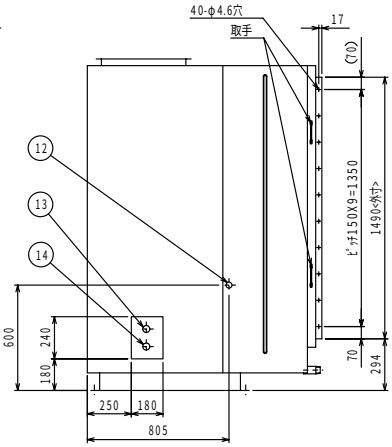




・配管・配線等の据付工事のスペースは
別途確保してください。
・( ) 寸法は送風機軸の引出しスペースです。



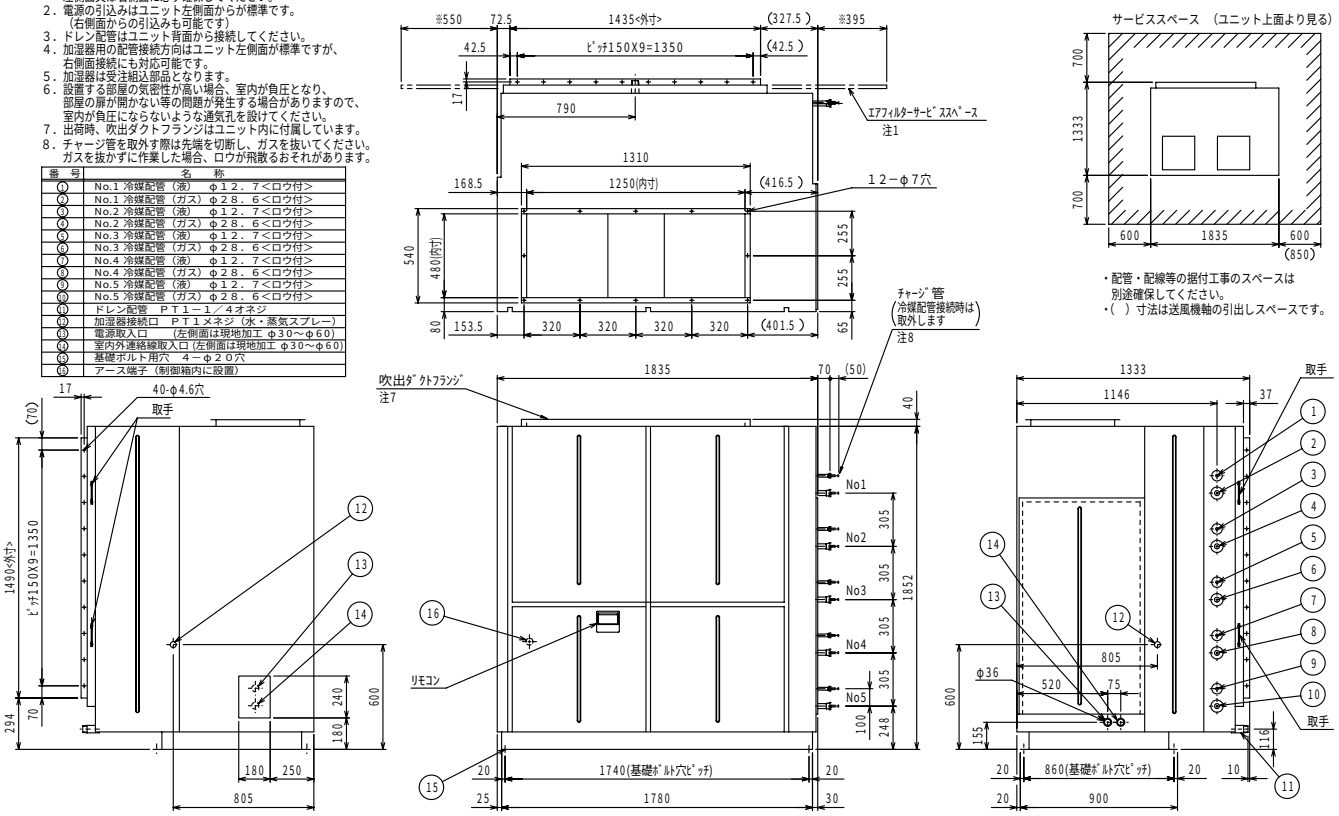




●PFAK-P1400AW(M)-A-R
●PFTK-P1250AW(M)-A-R

注1．エアフィルターサービススペース「※印」の寸法をユニットの左側面又は右側面に必ず確保してください。
2．電源の引込みはユニット左側面からが標準です。（右側面からの引込みも可能です）
3．ドレン配管はユニット背面から接続してください。
4．加湿器用の配管接続方向はユニット左側面が標準ですが、右側面接続にも対応可能です。
5．加湿器は受注組込部品となります。
6．設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔を設けてください。
7．出荷時、吹出ダクトフランジはユニット内に付属しています。
8．チャージ管を取外す際は先端を切断し、ガスを抜いてください。ガスを抜かずに作業した場合、ロウが飛散るおそれがあります。

番号	名称
①	No.1 冷媒配管（液） φ12．7<ロウ付>
②	No.1 冷媒配管（ガス）φ28．6<ロウ付>
③	No.2 冷媒配管（液） φ12．7<ロウ付>
④	No.2 冷媒配管（ガス）φ28．6<ロウ付>
⑤	No.3 冷媒配管（液） φ12．7<ロウ付>
⑥	No.3 冷媒配管（ガス）φ28．6<ロウ付>
⑦	No.4 冷媒配管（液） φ12．7<ロウ付>
⑧	No.4 冷媒配管（ガス）φ28．6<ロウ付>
⑨	No.5 冷媒配管（液） φ12．7<ロウ付>
⑩	No.5 冷媒配管（ガス）φ28．6<ロウ付>
⑪	ドレン配管 PT1－1／4オネジ
⑫	加湿器接続口 PT1メネジ（水・蒸気スプレー）
⑬	電源取入口 （左側面は現地加工 φ30～φ60）
⑭	室内外連絡線取入口（左側面は現地加工 φ30～φ60）
⑮	基礎ボルト用穴 4－φ20穴
⑯	アース端子（制御箱内に設置）

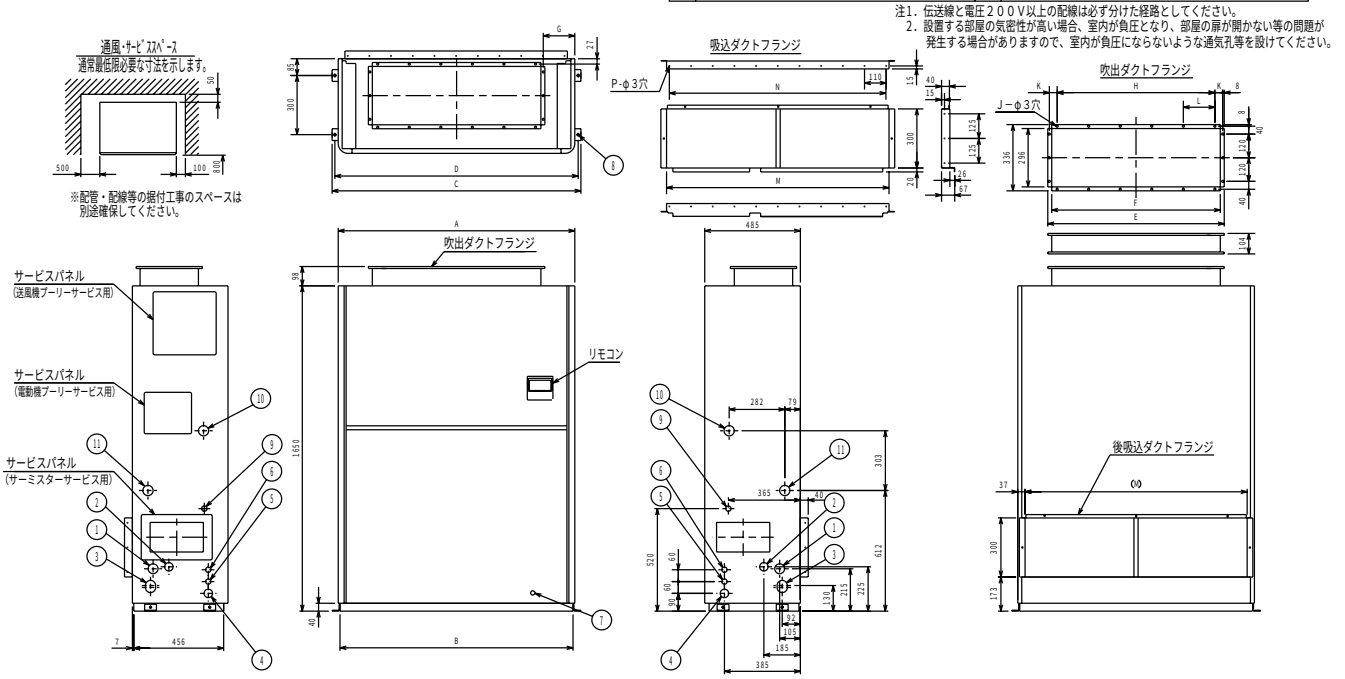


(b) オールフレッシュタイプ〈PFAK-F形〉
●PFAK-P167,265,335AW(M)-A-F

	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P
PFAK−P167(V)AW(M)−A−F	760	742	822	794	383	343	154	230	10	68.5	−	686	660	20
PFAK−P265(V)AW(M)−A−F	980	962	1042	1014	715	675	108	640	16	29.5	160	906	880	24
PFAK−P335(V)AW(M)−A−F	1200	1182	1262	1234	895	835	160	800	18	39.5	160	1126	1100	28

NO.	名称	NO.	名称
1	冷媒配管<ガス>……P167:φ19.05 P265:φ25.4，P335:φ28.6 ロウ付	6	室内外連絡線穴，伝送線穴……φ27
2	冷媒配管<液>……P167:φ9.52 P265,P335:φ12.7 ロウ付	7	アース端子（制御箱内に設置）……5ヵ所
3	ドレン穴……1B	8	基礎ボルト穴……4-φ12
4	装置電源穴……φ43	9	加湿器配管穴……φ27
5	電線穴……φ27	10	加熱器(蒸気入口・温水出口)‥P167・265:1B，P335:11/4B
		11	加熱器(蒸気出口・温水入口)‥P167・265:1B，P335:11/4B

注1．伝送線と電圧200V以上の配線は必ず分けた経路としてください。
2．設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔等を設けてください。

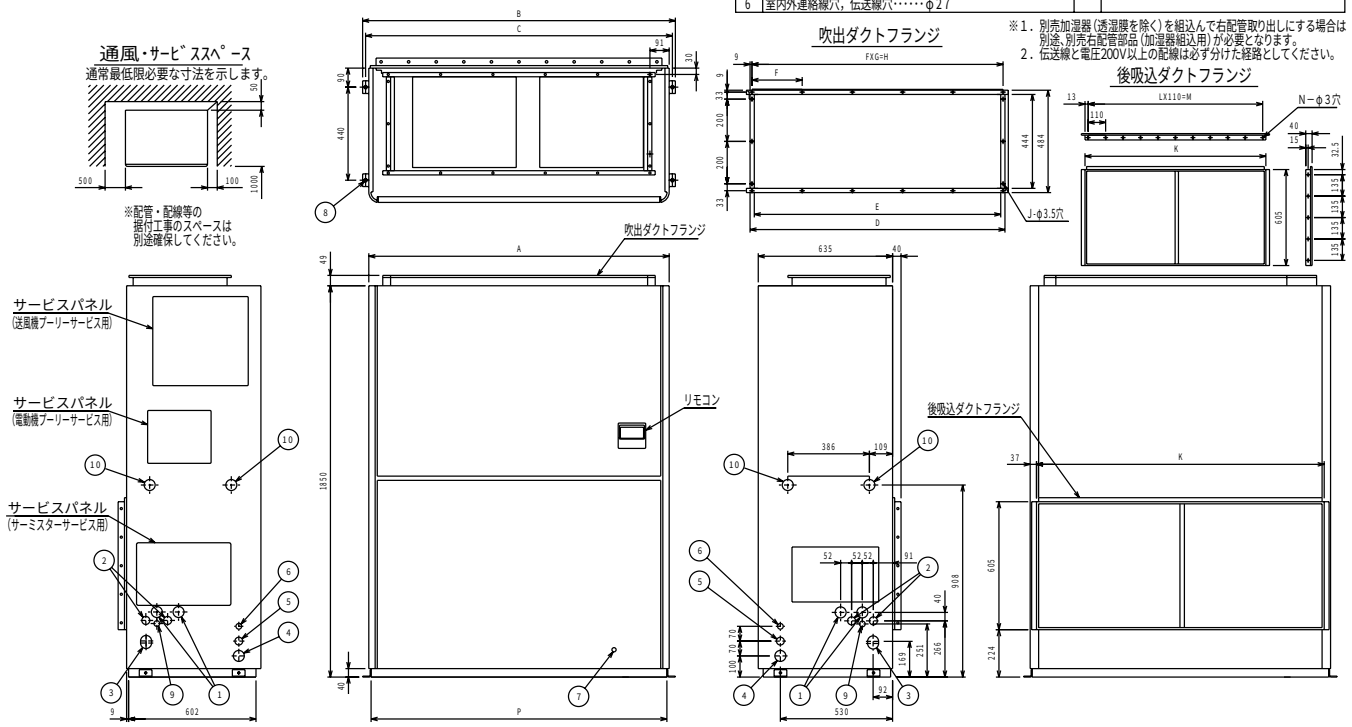


●PFAK-P530,670AW(M)-A-F

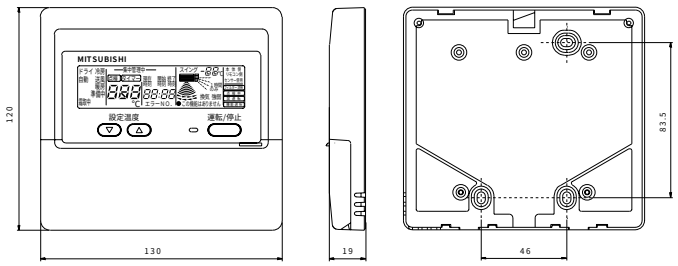
	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P
PFAK-P530(V)AW(M)-A-F	1200	1258	1230	1046	1006	257	4	1028	16	1126	10	1100	32	1178
PFAK-P670(V)AW(M)-A-F	1420	1478	1450	1255	1215	247	5	1235	18	1346	12	1320	36	1398

NO.	名 称	NO.	名 称
1	冷媒配管<ガス>……P530:φ25.4 , P670:φ28.6 ロウ付	7	アース端子 (制御箱内に設置) ……5ﾈｼﾞ
2	冷媒配管<液>……φ12.7 ロウ付	8	基礎ボルト穴……4-φ12
3	ドレン穴……１1/4B	9	加湿器配管穴……φ27
4	装置電源穴……φ52	10	加熱器(蒸気・温水)……11/2B
5	電線穴……φ37		
6	室内外連絡線穴，伝送線穴……φ27		

※1．別売加湿器(透湿膜を除く)を組込んで右配管取り出しにする場合は別途、別売右配管部品(加湿器組込用)が必要となります。
2．伝送線と電圧200V以上の配線は必ず分けた経路としてください。



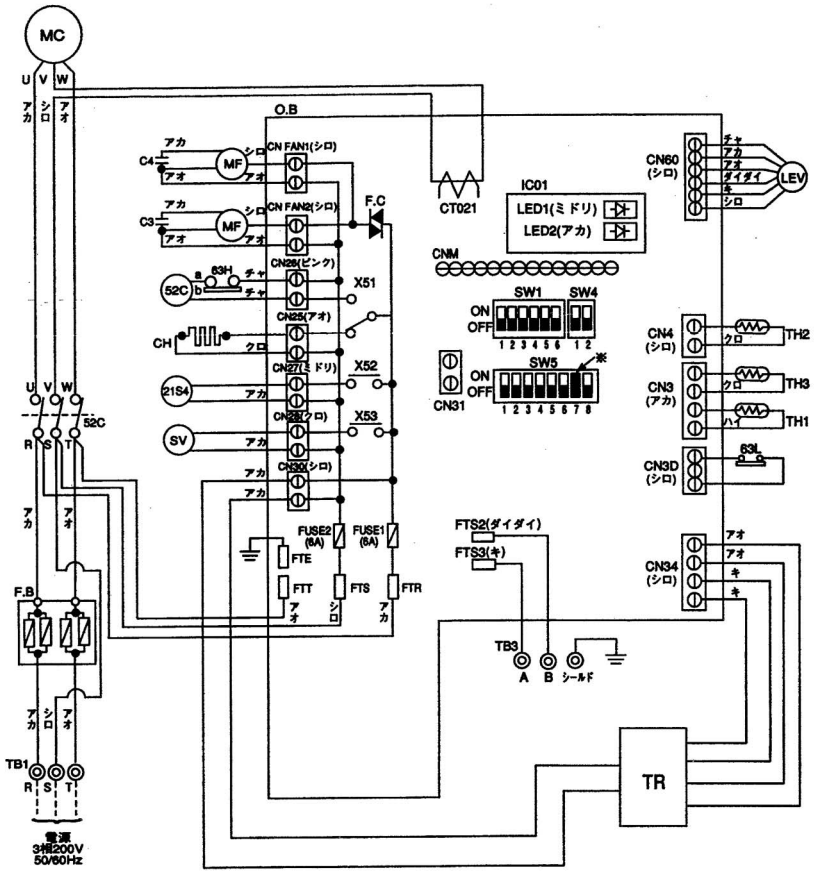
（3）リモコン（室内ユニット操作部）



〈3〉電気配線図

(1) 室外ユニット〈PU(H)K形〉

●PU(H)K-P140AW-A



記号説明

記　号	名　称	記　号	名　称
MC	圧縮機用電動機	O.B	室外コントローラーボード
MF	送風機用電動機<インナーサーモ付>	FUSE1〈O.B〉	ヒューズ<6A>
TH1	サーミスター<配管温度探知>	FUSE2〈O.B〉	ヒューズ<6A>
TH2	サーミスター<圧縮機吐出配管温度検知>	X51　〈O.B〉	リレー<圧縮機/クランクケースヒーター>
TH3	サーミスター<二相管温度探知>	X52　〈O.B〉	リレー<四方弁>
C3、C4	コンデンサー<送風機用電動機>	X53　〈O.B〉	リレー<電磁弁>
CH	クランクケースヒーター	F.C　〈O.B〉	ファンコントローラー<MF>
52C	電磁接触器<圧縮機>	SW1　〈O.B〉	スイッチ<強制霜取り、異常クリア、冷媒アドレス>
21S4	電磁弁<四方弁>	SW4　〈O.B〉	スイッチ<試運転>
SV	電磁弁<ガスバイパス>	SW5　〈O.B〉	スイッチ<機能固定>
LEV	電磁膨張弁	CN31〈O.B〉	コネクター<応急運転>
63H	圧力開閉器<高圧保護用>	CT021〈O.B〉	電流検出器
63L	圧力開閉器<低圧保護用>	LED1(ミドリ)〈O.B〉	発光ダイオード<運転点検表示>
TB1	端子盤<電源線>	LED2(アカ)〈O.B〉	発光ダイオード<運転点検表示>
TB3	端子盤<内外接続線>	TR	トランス
F.B	ヒューズ<30A>		

注1. ユニットはD種(第三種)接地工事を必ず実施してください。
2. TB3は伝送用端子台ですので、動力線は接続しないでください。
3. 出荷時、SW5※は下記の状態になっています。

PUHK-P140AW-A

PUK-P140AW-A

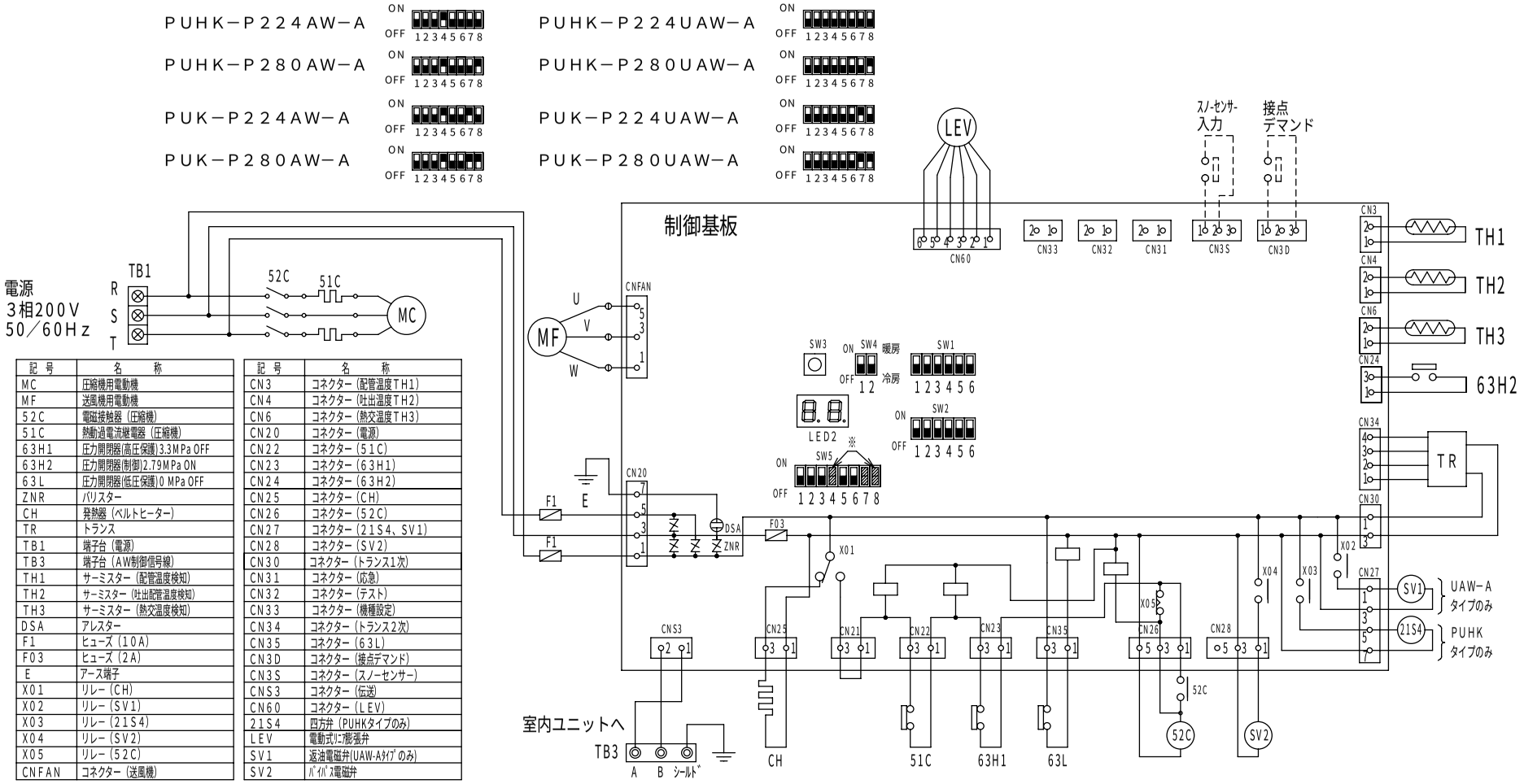
※出荷時ＳＷ５は下記の状態となっています。

ＰＵＨＫ－Ｐ２２４ＡＷ－Ａ　ＰＵＨＫ－Ｐ２２４ＵＡＷ－Ａ

ＰＵＨＫ－Ｐ２８０ＡＷ－Ａ　ＰＵＨＫ－Ｐ２８０ＵＡＷ－Ａ

ＰＵＫ－Ｐ２２４ＡＷ－Ａ　ＰＵＫ－Ｐ２２４ＵＡＷ－Ａ

ＰＵＫ－Ｐ２８０ＡＷ－Ａ　ＰＵＫ－Ｐ２８０ＵＡＷ－Ａ



記号	名称
MC	圧縮機用電動機
MF	送風機用電動機
52C	電磁接触器（圧縮機）
51C	熱動過電流継電器（圧縮機）
63H1	圧力開閉器(高圧保護)3.3MPa OFF
63H2	圧力開閉器(制御)2.79MPa ON
63L	圧力開閉器(低圧保護)0 MPa OFF
ZNR	バリスター
CH	発熱器（ベルトヒーター）
TR	トランス
TB1	端子台（電源）
TB3	端子台（AW制御信号線）
TH1	サーミスター（配管温度検知）
TH2	サーミスター（吐出配管温度検知）
TH3	サーミスター（熱交温度検知）
DSA	アレスター
F1	ヒューズ（10A）
F03	ヒューズ（2A）
E	アース端子
X01	リレー（CH）
X02	リレー（SV1）
X03	リレー（21S4）
X04	リレー（SV2）
X05	リレー（52C）
CNFAN	コネクター（送風機）

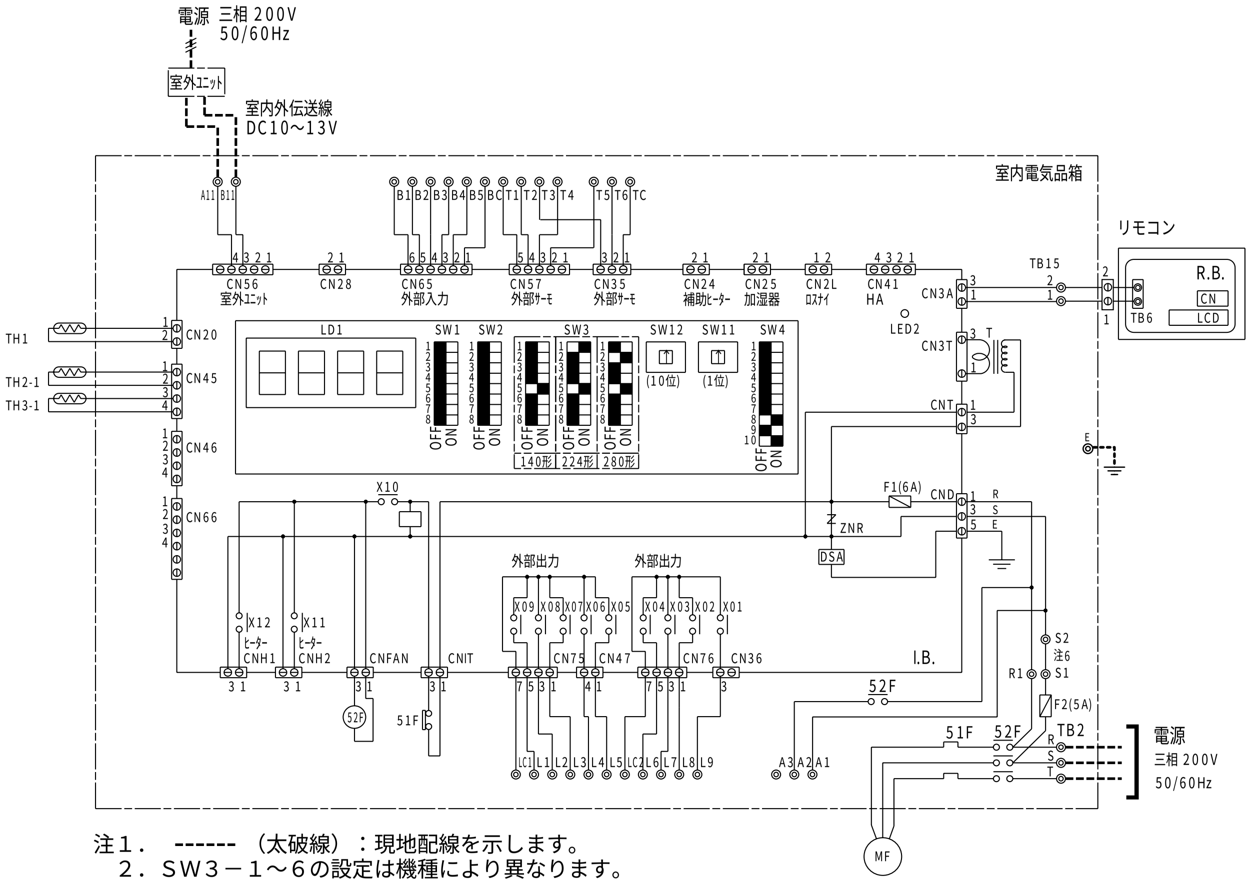
記号	名称
CN3	コネクター（配管温度TH1）
CN4	コネクター（吐出温度TH2）
CN6	コネクター（熱交温度TH3）
CN20	コネクター（電源）
CN22	コネクター（51C）
CN23	コネクター（63H1）
CN24	コネクター（63H2）
CN25	コネクター（CH）
CN26	コネクター（52C）
CN27	コネクター（21S4、SV1）
CN28	コネクター（SV2）
CN30	コネクター（トランス1次）
CN31	コネクター（応急）
CN32	コネクター（テスト）
CN33	コネクター（機種設定）
CN34	コネクター（トランス2次）
CN35	コネクター（63L）
CN3D	コネクター（接点デマンド）
CN3S	コネクター（スノーセンサー）
CNS3	コネクター（伝送）
CN60	コネクター（LEV）
21S4	四方弁（PUHKタイプのみ）
LEV	電動式ﾘﾆｱ膨張弁
SV1	返油電磁弁(UAW-Aﾀｲﾌﾟのみ)
SV2	ﾊﾞｲﾊﾟｽ電磁弁

注１．ユニットはＤ種（第三種）接地工事を必ず実施してください。
２．ＴＢ３は伝送用端子台ですので、動力線は接続しないでください。
３．破線は現地手配を示します。

（2）室内ユニット

（a）標準タイプ〈PFAK形〉

●PFAK-P140,224,280AW-A



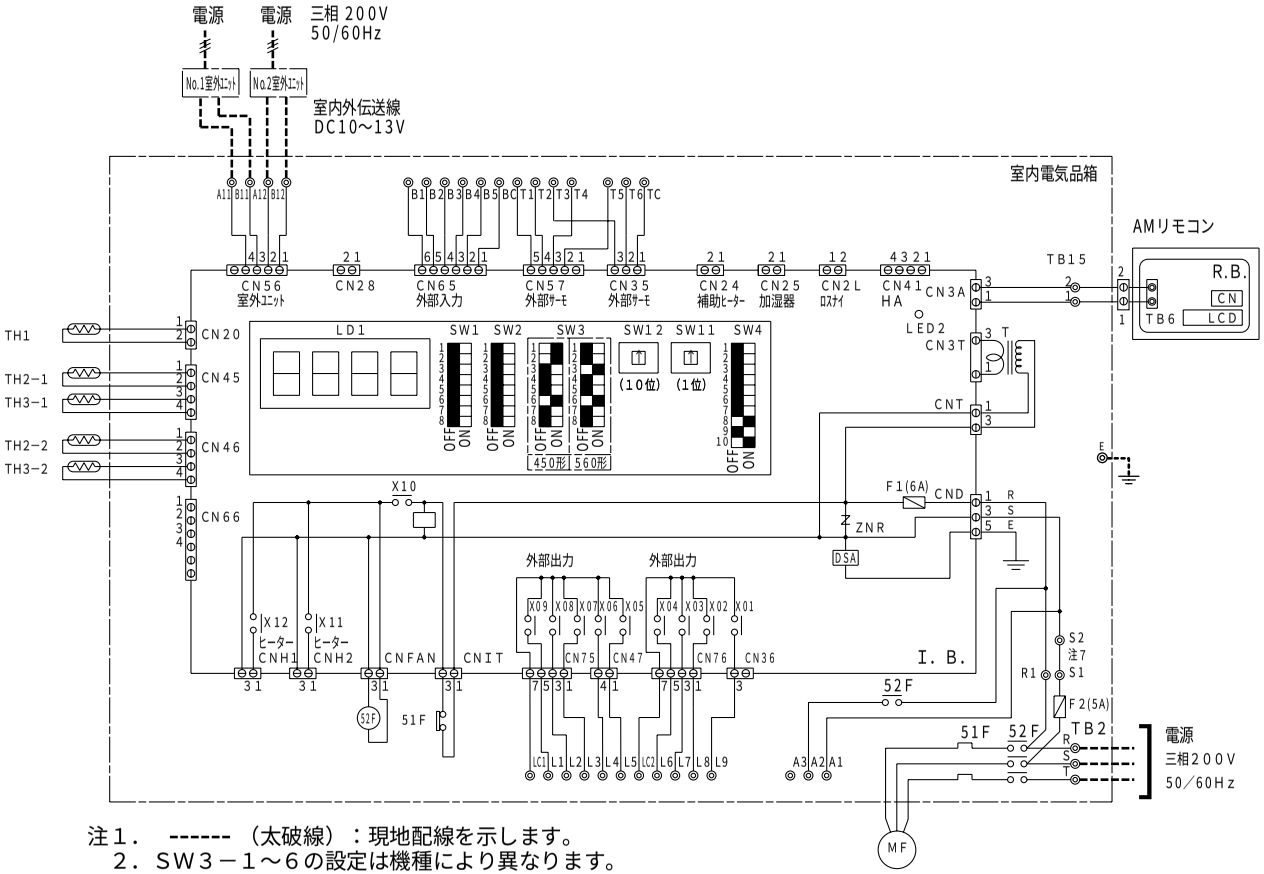
注１．－－－－－－（太破線）：現地配線を示します。
　２．ＳＷ３－１～６の設定は機種により異なります。
　３．配線は、内線規程に従って接続してください。
　４．◎印は端子台、⊖ 印はコネクターを示します。
　５．停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON（有効）にしてください。標準出荷時は、OFF（無効）となっています。但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
　６．緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
　７．DIPSWの設定は、標準仕様を示します。受注仕様または現地にて設定変更した場合、本図とは異なることがあります。

記　号　説　明

記　号	名　　称	記　号	名　　称
MF	送風機用電動機	LD1	発光ダイオード（表示）
51F	熱動過電流継電器	LED2	発光ダイオード（リモコン給電）
52F	補助継電器（送風機用）	TH1	サーミスター（吸込み空気温度）
TB2	電　源　端　子　台	TH2−1	サーミスター（No.1熱交液管温度）
TB15	MAリモコン用端子台	TH3−1	サーミスター（No.1熱交二相管温度）
I. B.	室内制御基板	SW1（I.B）	スイッチ（機種設定）
ZNR	バリスター	SW2（I.B）	スイッチ（自己診断）
CN24	コネクター（補助ヒーター）	SW3（I.B）	スイッチ（能力設定）
CN25	コネクター（加湿器）	SW4（I.B）	スイッチ（機能切換）
CN41	コネクター（HA）	SW11（I.B）	スイッチ（ｱﾄﾞﾚｽ設定用 1の位）
CNH1	コネクター（暖房ヒーター1）	SW12（I.B）	スイッチ（ｱﾄﾞﾚｽ設定用 10の位）
CNH2	コネクター（暖房ヒーター2）	R.B.	リモコン基板
CNIT	コネクター（51F）	CN	コネクター（別売：スケジュールタイマー）
CNFAN	コネクター（52F）	TB6	端子台（室内ユニット接続）
CN2L	コネクター（ロスナイ）	LCD	液晶表示器
T	トランス	DSA	アレスター
F1,F2	ヒューズ	E	アース端子
X01～X12	補助継電器（室内基板内）		

外部接続端子の説明　※冷房専用室外ユニットと組合わせた場合、暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーターを組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル接点入力 回路電圧:DC12V	B1	ＲＣ／遠方切換え	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号をﾘﾚｰ受けして基板に入力してください。 推奨ﾘﾚｰ:微小電流用ｵﾑﾛﾝ製ＭＹ形 ・本体制御箱内にリレー取付ｽﾍﾟｰｽがありますので制御箱内に取付けることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。 同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 ・パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 ・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。 詳しくは技術資料を参照ください。
		B2	冷房運転ＯＮ－ＯＦＦ	・B2～B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ＯＮ－ＯＦＦ		
		B4	送風運転ＯＮ－ＯＦＦ		
		B5	自動運転ＯＮ－ＯＦＦ		
		BC	B1～B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル接点入力 回路電圧:DC12V	T1	冷房ON-OFF	・外部サーモは左記内容に従って間違いの無いように接続してください。間違って接続しますと正常に運転しなくなります。 ・T5端子は補助ヒーター組込み時のみ配線接続してください。	
		T2	配線接続しない		
		T3	配線接続しない		
		T4	暖房 高段側ON-OFF		
		T5	暖房 低段側ON-OFF(補助ヒーター)		
		T6	配線接続しない		
		TC	T1～T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧 a接点出力 接点容量 …AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のａ接点出力をします。	・出力のａ接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
		L2	５２Ｆ ON時出力		
		L3	サーモ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	霜取運転時出力		
		LC1	L1～L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力（室内、室外共通）		
		L7	異常出力（室外ユニット）		
		L8	使用しない		
		L9	使用しない		
		LC2	L6～L9端子のコモン端子		



注１．　------（太破線）：現地配線を示します。
２．ＳＷ３－１～６の設定は機種により異なります。
３．配線は、内線規程に従って接続してください。
４．室外ユニットへの室内外伝送線No.１、No.２は、冷媒配管系統No.１、No.２と一致するよう確実に配線してください。
５．◎印は端子台、㊀印はコネクターを示します。
６．停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON（有効）にしてください。標準出荷時は、OFF（無効）となっています。但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
７．緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
８．DIPSWの設定は、標準仕様を示します。受注仕様または現地にて設定変更した場合、本図とは異なることがあります。

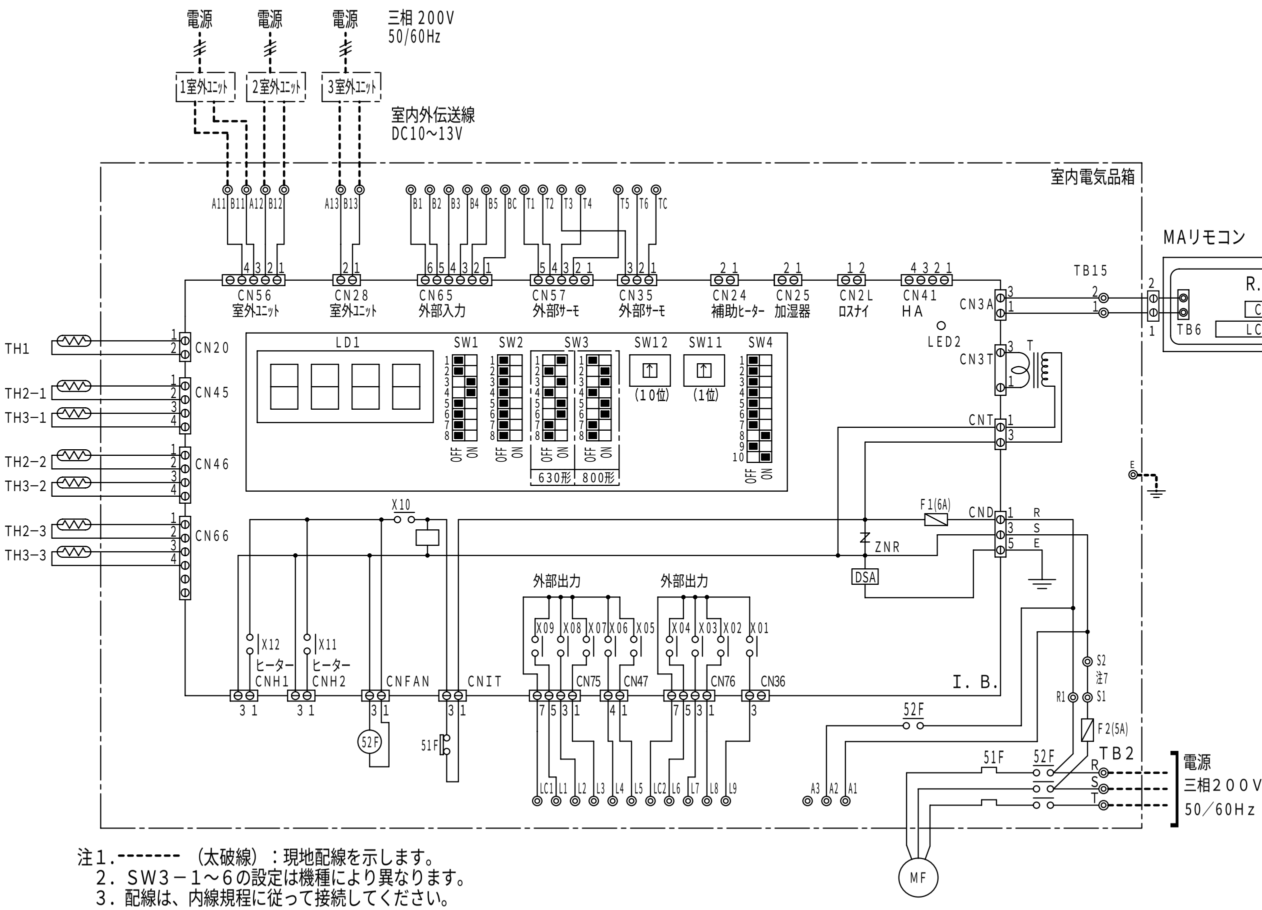
記　号　説　明

記　号	名　　称	記　号	名　　称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスター（吸込み空気温度）
51F	熱動過電流継電器	TH2－1	サーミスター（No.１熱交液管温度）
52F	補助継電器（送風機用）	TH2－2	サーミスター（No.２熱交液管温度）
TB2	電　源　端　子　台	TH3－1	サーミスター（No.１熱交二相管温度）
TB15	MAリモコン用端子台	TH3－2	サーミスター（No.２熱交二相管温度）
I. B.	室内制御基板	SW1（I.B）	スイッチ（機種設定）
ZNR	バリスター	SW2（I.B）	スイッチ（自己診断）
CN24	コネクター（補助ヒーター）	SW3（I.B）	スイッチ（能力設定）
CN25	コネクター（加湿器）	SW4（I.B）	スイッチ（機能切換）
CN41	コネクター（HA）	SW11（I.B）	スイッチ（ｱﾄﾞﾚｽ設定用 1の位）
CNH1	コネクター（暖房ヒーター１）	SW12（I.B）	スイッチ（ｱﾄﾞﾚｽ設定用　10の位）
CNH2	コネクター（暖房ヒーター２）	R.B.	リモコン基板
CNIT	コネクター（５１Ｆ）	CN	コネクター（別売：スケジュールタイマー）
CNFAN	コネクター（５２Ｆ）	TB6	端子台（室内ユニット接続）
CN2L	コネクター（ロスナイ）	LCD	液晶表示器
T	トランス	DSA	アレスター
F1,F2	ヒューズ	E	アース端子
X01～X12	補助継電器（室内基板内）		
LD1	発光ダイオード（表示）		
LED2	発光ダイオード（リモコン給電）		

外部接続端子の説明　※冷房専用室外ユニットと組合わせた場合、暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーターを組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル接点入力 回路電圧: DC12V	B1	ＲＣ／遠方切換え	ONでＲＣ操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長１００mを超える場合(Max２００mまで)は、必ず１００m以内で現地信号をﾘﾚｰ受けして基板に入力してください。 推奨ﾘﾚｰ:微小電流用ｶﾈﾑﾛﾝ製ＭＹ形 ・本体制御箱内にリレー取付ｽﾍﾟｰｽがありますので制御箱内に取付けることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 ・パルス入力、ＡＣ２００Ｖ等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 ・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
		B2	冷房運転ＯＮ－ＯＦＦ	・Ｂ２～Ｂ５端子は必ず１端子のみに入力してください。２端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ＯＮ－ＯＦＦ		
		B4	送風運転ＯＮ－ＯＦＦ		
		B5	自動運転ＯＮ－ＯＦＦ		
		BC	Ｂ１～Ｂ５端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル接点入力 回路電圧: DC12V	T1	冷房 高段側ON-OFF(No.２回路)	・外部サーモは左記内容に従って間違いの無いように接続してください。間違って接続しますと正常に運転しなくなります。 ・Ｔ６端子は補助ヒーター組込み時のみ配線接続してください。	
		T2	冷房 低段側ON-OFF(No.１回路)		
		T3	配線接続しない		
		T4	暖房 高段側ON-OFF(No.１回路)		
		T5	暖房 低段側ON-OFF(No.２回路)		
		T6	暖房 最低段側ON-OFF(補助ヒーター)		
		TC	Ｔ１～Ｔ６端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧ａ接点出力 接点容量…AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のａ接点出力をします。	・出力のａ接点の接点電流容量はAC２００Ｖ２.５Ａです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
		L2	５２Ｆ ＯＮ時出力		
		L3	サーモ ＯＮ時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	霜取運転時出力		
		LC1	Ｌ１～Ｌ５端子のコモン端子		
		L6	異常出力（室内、室外共通）		
		L7	異常出力（室外ユニット）		
		L8	使用しない		
		L9	使用しない		
		LC2	Ｌ６～Ｌ９端子のコモン端子		

●PFAK-P630,800AW-A



注1. -------- (太破線):現地配線を示します。
2. SW3−1~6の設定は機種により異なります。
3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
4. 室外ユニットへの室内外伝送線No.1、No.2、No.3は、冷媒配管系統No.1、No.2、No.3と一致するよう確実に配線してください。
5. ◎ 印は端子台、⊖ 印はコネクターを示します。
6. 停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON(有効)にしてください。標準出荷時は、OFF(無効)となっています。但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
7. 緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
8. DIPSWの設定は、標準仕様を示します。受注仕様または現地にて設定変更した場合、本図とは異なることがあります。

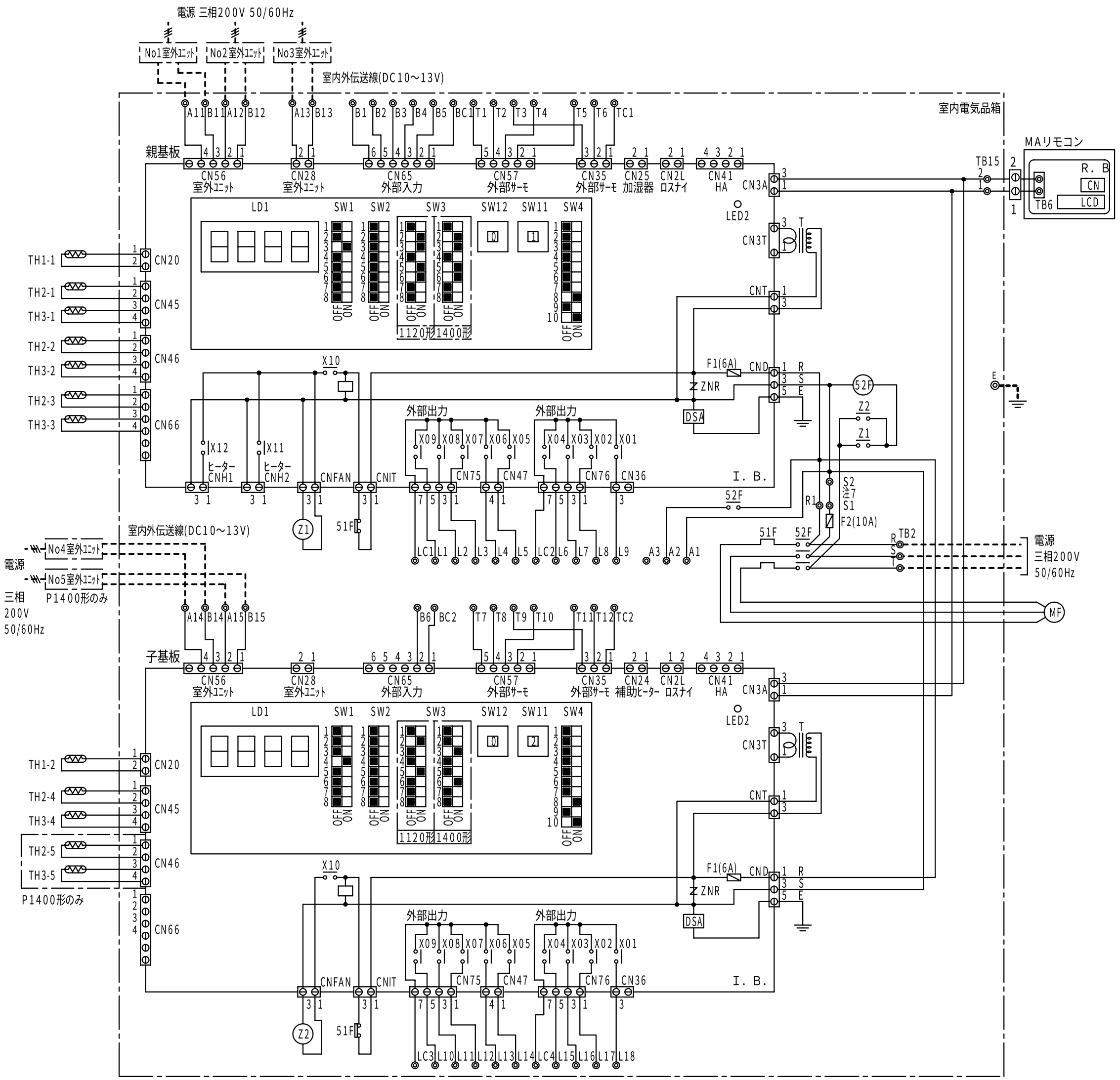
記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスター(吸込み空気温度)
51F	熱動過電流継電器	TH2−1	サーミスター(No.1熱交液管温度)
52F	補助継電器(送風機用)	TH2−2	サーミスター(No.2熱交液管温度)
TB2	電源端子台	TH2−3	サーミスター(No.3熱交液管温度)
TB15	MAリモコン用端子台	TH3−1	サーミスター(No.1熱交二相管温度)
I.B.	室内制御基板	TH3−2	サーミスター(No.2熱交二相管温度)
ZNR	バリスター	TH3−3	サーミスター(No.3熱交二相管温度)
CN24	コネクター(補助ヒーター)	SW1(I.B)	スイッチ(機種設定)
CN25	コネクター(加湿器)	SW2(I.B)	スイッチ(自己診断)
CN41	コネクター(HA)	SW3(I.B)	スイッチ(能力設定)
CNH1	コネクター(暖房ヒーター1)	SW4(I.B)	スイッチ(機能切換)
CNH2	コネクター(暖房ヒーター2)	SW11(I.B)	スイッチ(アドレス設定用 1の位)
CNIT	コネクター(51F)	SW12(I.B)	スイッチ(アドレス設定用 10の位)
CNFAN	コネクター(52F)	R.B.	リモコン基板
CN2L	コネクター(ロスナイ)	CN	コネクター(別売:スケジュールタイマー)
T	トランス	TB6	端子台(室内ユニット接続)
F1,F2	ヒューズ	LCD	液晶表示器
X01~X12	補助継電器(室内基板内)	DSA	アレスター
LD1	発光ダイオード(表示)	E	アース端子
LED2	発光ダイオード(リモコン給電)		

外部接続端子の説明 ※冷房専用室外ユニットと組合わせた場合、暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーターを組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル接点入力 回路電圧:DC12V	B1	RC/遠方切換え	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号をリレー受けして基板に入力してください。推奨リレー:微小電流用オムロン製MY形 ・本体制御箱内にリレー取付スペースがありますので制御箱内に取付けることが可能です。・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。・パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
		B2	冷房運転ON−OFF	・B2~B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON−OFF		
		B4	送風運転ON−OFF		
		B5	自動運転ON−OFF		
		BC	B1~B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル接点入力 回路電圧:DC12V	T1	冷房 高段側 ON-OFF(No.3回路)	・外部サーモは左記内容に従って間違いの無いように接続してください。間違って接続しますと正常に運転しなくなります。	
		T2	冷房 低段側 ON-OFF(No.2回路)		
		T3	冷房 最低段側 ON-OFF(No.1回路)		
		T4	暖房 高段側 ON-OFF(No.1回路)		
		T5	暖房 低段側 ON-OFF(No.2回路)		
		T6	暖房 最低段側 ON-OFF(3回路+補助ヒーター)		
		TC	T1~T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧 a接点 出力 接点容量…AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	・出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
		L2	52F ON時出力		
		L3	サーモ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	霜取運転時出力		
		LC1	L1~L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力(室内、室外共通)		
		L7	異常出力(No.1室外ユニット)		
		L8	異常出力(No.2室外ユニット)		
		L9	異常出力(No.3室外ユニット)		
		LC2	L6~L9端子のコモン端子		

●PFAK-P1120,1400AW-A-L,R



記号説明

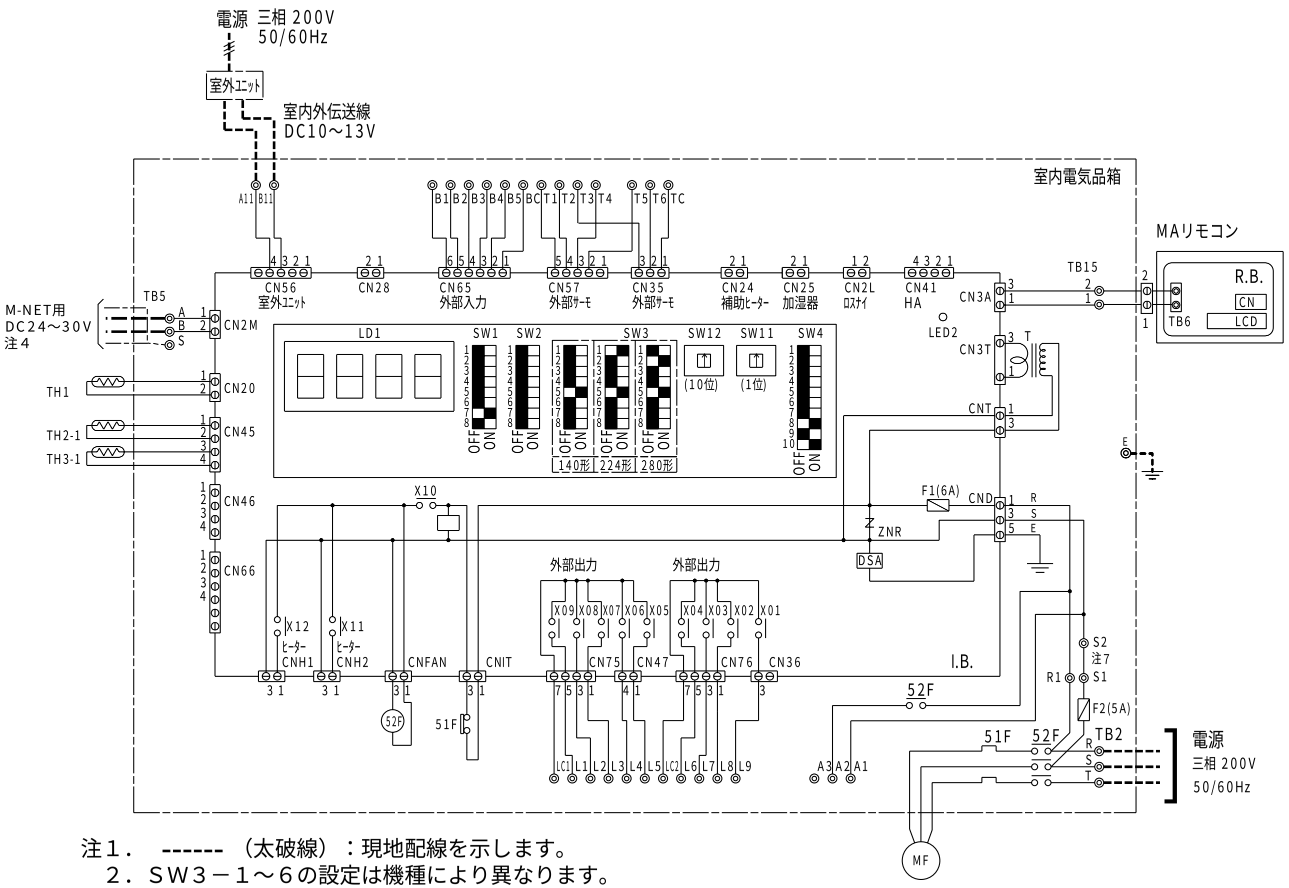
記号	名称	記号	名称
ＭＦ	送風機用電動機	ＴＨ１－1,2	サーミスター（吸い込み空気温度）
５１Ｆ	熱動過電流継電器	ＴＨ２－１	サーミスター（Ｎｏ．１熱交液管温度）
５２Ｆ	補助継電器（送風機用）	ＴＨ２－２	サーミスター（Ｎｏ．２熱交液管温度）
ＴＢ２	電　源　端　子　台	ＴＨ２－３	サーミスター（Ｎｏ．３熱交液管温度）
ＴＢ１５	ＭＡリモコン用端子台	ＴＨ２－４	サーミスター（Ｎｏ．４熱交液管温度）
Ｉ．Ｂ．	室内制御基板	ＴＨ２－５	サーミスター（Ｎｏ．５熱交液管温度）<P1400形>
ＺＮＲ	バリスター	ＴＨ３－１	サーミスター（Ｎｏ．１熱交二相管温度）
ＣＮ２４	コネクター（補助ヒーター）	ＴＨ３－２	サーミスター（Ｎｏ．２熱交二相管温度）
ＣＮ２５	コネクター（加湿器）	ＴＨ３－３	サーミスター（Ｎｏ．３熱交二相管温度）
ＣＮ４１	コネクター（ＨＡ）	ＴＨ３－４	サーミスター（Ｎｏ．４熱交二相管温度）
ＣＮＨ１	コネクター（暖房ヒーター１）	ＴＨ３－５	サーミスター（Ｎｏ．５熱交二相管温度）<P1400形>
ＣＮＨ２	コネクター（暖房ヒーター２）	ＳＷ　１（Ｉ．Ｂ．）	スイッチ（機種設定）
ＣＮＩＴ	コネクター（５１Ｆ）	ＳＷ　２（Ｉ．Ｂ．）	スイッチ（自己診断）
ＣＮＦＡＮ	コネクター（５２Ｆ）	ＳＷ　３（Ｉ．Ｂ．）	スイッチ（能力設定）
ＣＮ２Ｌ	コネクター（ロスナイ）	ＳＷ　４（Ｉ．Ｂ．）	スイッチ（機能切換）
Ｔ	トランス	ＳＷ１１（Ｉ．Ｂ．）	スイッチ（アドレス設定用　１の位）
Ｆ１,Ｆ２	ヒューズ	ＳＷ１２（Ｉ．Ｂ．）	スイッチ（アドレス設定用　１０の位）
Ｘ０１～Ｘ１２	補助継電器（室内基板内）	Ｒ．Ｂ．	リモコン基板
Ｚ１,Ｚ２	補助継電器（送風機用）	ＣＮ	コネクター（別売：スケジュールタイマー）
ＬＤ１	発光ダイオード（表示）	ＴＢ６	端子台（室内ユニット接続）
ＬＥＤ２	発光ダイオード（リモコン給電）	ＬＣＤ	液晶表示器
Ｅ	アース端子	ＤＳＡ	アレスター

外部接続端子の説明　※冷房専用室外ﾕﾆｯﾄと組合わせた場合、暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーターを組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル接点入力 回路電圧: DC12V	Ｂ１	ＲＣ／遠方切換え	ＯＮでＲＣ操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長１００ｍを超える場合（Max200mまで）は、必ず１００ｍ以内で現地信号をリレー受けして基板に入力してください。 推奨リレー：微小電流用ｵﾑﾛﾝ製ＭＹ形 ・本体制御箱内にリレー取付けスペースがありますので制御箱内に取付けることが可能です。 低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。 同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 ・パルス入力、ＡＣ２００Ｖ等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット ＰＡＣ－ＣＧ９１ＲＣＫ」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、No.1制御基板(上側)のみＳＷ１－５をＯＮ、外部サーモ接続する場合はNo.1 No.2両方の制御基板ＳＷ１－６をＯＮにしてください。 ・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。 詳しくは技術資料を参照ください。
		Ｂ２	冷房運転ＯＮ－ＯＦＦ	・Ｂ２～Ｂ５端子は必ず１端子のみに入力してください。２端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		Ｂ３	暖房運転ＯＮ－ＯＦＦ		
		Ｂ４	送風運転ＯＮ－ＯＦＦ		
		Ｂ５	自動運転ＯＮ－ＯＦＦ		
		Ｂ６	蒸気温水ヒーター切換入力		
		ＢＣ１	Ｂ１～Ｂ５端子のコモン端子		
		ＢＣ２	Ｂ６端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル接点入力 回路電圧: DC12V	Ｔ１	冷房 ON-OFF(No.3回路)	・外部サーモは左記内容に従って間違いの無いように接続してください。間違って接続しますと正常に運転しなくなります。 ・Ｐ１１２０のＴ１１端子、Ｐ１４００のＴ１２端子は補助ヒーター組込み時のみ配線接続してください。	
		Ｔ２	冷房 ON-OFF(No.2回路)		
		Ｔ３	冷房 ON-OFF(No.1回路)		
		Ｔ４	暖房 ON-OFF(No.1回路)		
		Ｔ５	暖房 ON-OFF(No.2回路)		
		Ｔ６	暖房 ON-OFF(No.3回路)		
		Ｔ７	冷房 ON-OFF(No.4回路)<P1120形>		
			冷房 ON-OFF(No.5回路)<P1400形>		
		Ｔ８	冷房 ON-OFF(No.4回路)<P1400形>		
		Ｔ９	配線接続しない		
		Ｔ１０	暖房 ON-OFF(No.4回路)		
		Ｔ１１	暖房 ON-OFF(補助ﾋｰﾀｰ)<P1120形>		
			暖房 ON-OFF(No.5回路)<P1400形>		
		Ｔ１２	暖房 ON-OFF(補助ﾋｰﾀｰ)<P1400形>		
		ＴＣ１	Ｔ１～Ｔ６端子のコモン端子		
		ＴＣ２	Ｔ７～Ｔ１２端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧a接点出力	L1,L10	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のａ接点出力をします。	・出力のａ接点の接点電流容量はＡＣ２００Ｖ ２．５Ａです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
		L2,L11	５２Ｆ ＯＮ時出力		
		L3,L12	サーモ ＯＮ時出力		
		L4,L13	暖房運転時出力		
		L5,L14	霜取運転時出力		
		ＬＣ１	Ｌ１～Ｌ５端子のコモン端子		
	接点容量 AC200V 2.5A	ＬＣ３	Ｌ１０～Ｌ１４端子のコモン端子		
		L6,L15	異常出力（室内、室外共通）		
		Ｌ７	異常出力（室外ユニット No.1）		
		Ｌ８	異常出力（室外ユニット No.2）		
		Ｌ９	異常出力（室外ユニット No.3）		
		Ｌ１６	異常出力（室外ユニット No.4）		
		Ｌ１７	異常出力（室外ユニット No.5）<P1400形>		
		Ｌ１８	使用しない		
		ＬＣ２	Ｌ６～Ｌ９端子のコモン端子		
		ＬＣ４	Ｌ１５～Ｌ１８端子のコモン端子		

注1．---- （太破線）：現地配線を示します。
2．ＳＷ３－１～６の設定は機種により異なります。
3．配線は、内線規程に従って接続してください。
4．室外ユニットへの室内外伝送線Ｎｏ．１～Ｎｏ．５は、冷媒配管系統Ｎｏ．１～Ｎｏ．５と一致するよう確実に配線してください。
（Ｎｏ．５はＰ１４００形のみ）
5．◎ 印は端子台、⊖ 印はコネクターを示します。
6．停電自動復帰させる場合は、室内ユニット基板2枚共SW4-1をON（有効）にしてください。
標準出荷時は、OFF（無効）となっています。
但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
7．緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
8．DIPSWの設定は、標準仕様を示します。受注仕様または現地にて設定変更した場合、本図とは異なることがあります。

●PFAK-P140,224,280AWM-A



注1．------（太破線）：現地配線を示します。
2．SW3－1～6の設定は機種により異なります。
3．配線は、内線規程に従って接続してください。
4．M-NET接続時には、必ず伝送線用給電ユニット（別売）が必要です。
5．◎印は端子台、⊖印はコネクターを示します。
6．停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON（有効）にしてください。標準出荷時は、OFF（無効）となっています。但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
7．緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
8．DIPSWの設定は、標準仕様を示します。受注仕様または現地にて設定変更した場合、本図とは異なることがあります。

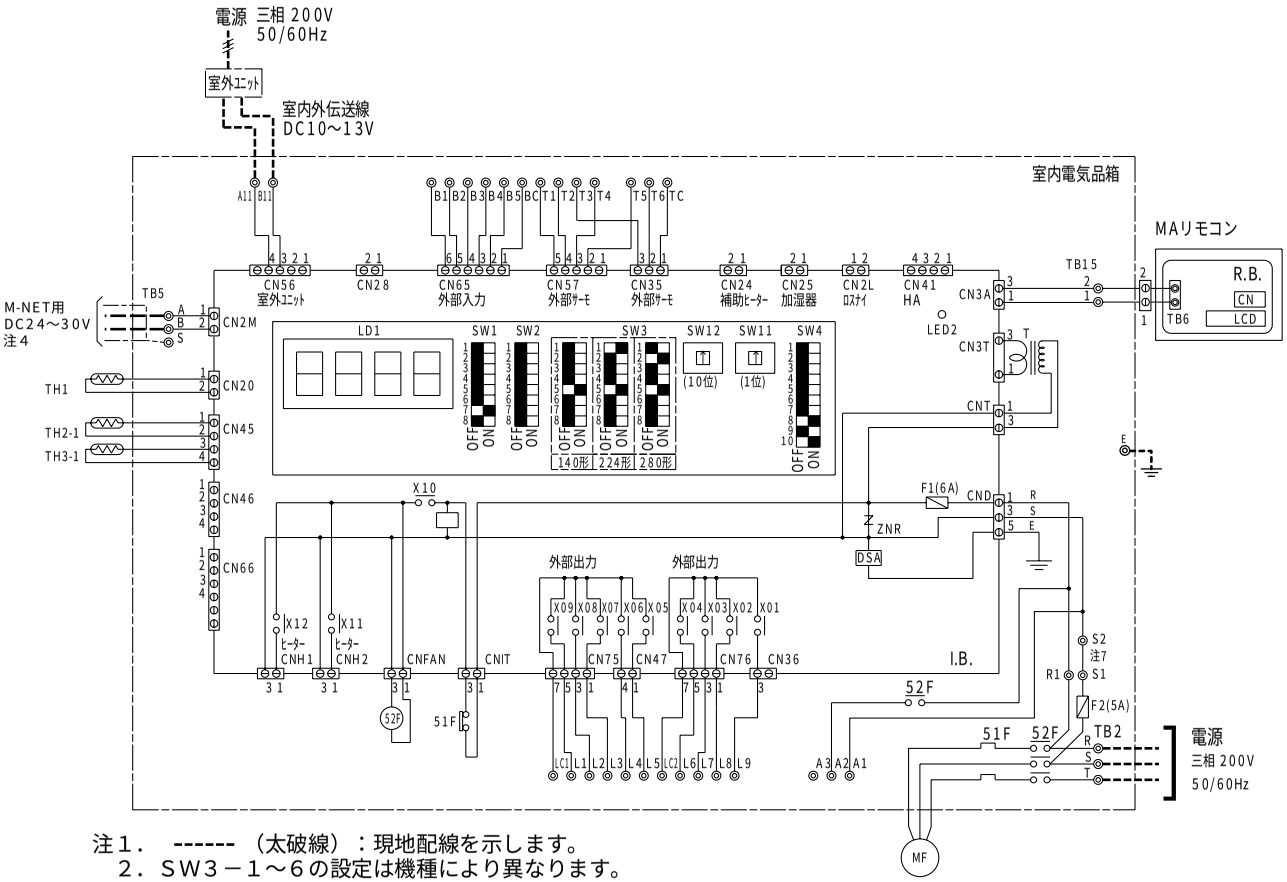
記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	LD1	発光ダイオード（表示）
51F	熱動過電流継電器	LED2	発光ダイオード（リモコン給電）
52F	補助継電器（送風機用）	TH1	サーミスター（吸込み空気温度）
TB2	電源端子台	TH2－1	サーミスター（No.1熱交液管温度）
TB5	集中管理用、M-NETﾘﾓｺﾝ伝送端子台	TH3－1	サーミスター（No.1熱交二相管温度）
TB15	MAリモコン用端子台	SW1（I.B）	スイッチ（機種設定）
I. B.	室内制御基板	SW2（I.B）	スイッチ（自己診断）
ZNR	バリスター	SW3（I.B）	スイッチ（能力設定）
CN24	コネクター（補助ヒーター）	SW4（I.B）	スイッチ（機能切換）
CN25	コネクター（加湿器）	SW11（I.B）	スイッチ（ｱﾄﾞﾚｽ設定用 1の位）
CN41	コネクター（HA）	SW12（I.B）	スイッチ（ｱﾄﾞﾚｽ設定用 10の位）
CNH1	コネクター（暖房ヒーター1）	R.B.	リモコン基板
CNH2	コネクター（暖房ヒーター2）	CN	コネクター（別売：スケジュールタイマー）
CNIT	コネクター（51F）	TB6	端子台（室内ユニット接続）
CNFAN	コネクター（52F）	LCD	液晶表示器
CN2L	コネクター（ロスナイ）	DSA	アレスター
T	トランス	E	アース端子
F1,F2	ヒューズ		
X01～X12	補助継電器（室内基板内）		

外部接続端子の説明

※冷房専用室外ﾕﾆｯﾄと組合わせた場合、暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーターを組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル接点入力 回路電圧:DC12V	B1	RC／遠方切換え	ONでRC操作になります。	･外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。･配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号をﾘﾚｰ受けして基板に入力してください。推奨ﾘﾚｰ:微小電流用ｵﾑﾛﾝ製MY形 ･本体制御箱内にリレー取付ｽﾍﾟｰｽがありますので制御箱内に取付けることが可能です。･低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。･パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。･外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。･冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
		B2	冷房運転ON－OFF	･B2～B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON－OFF		
		B4	送風運転ON－OFF		
		B5	自動運転ON－OFF		
		BC	B1～B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル接点入力 回路電圧:DC12V	T1	冷房ON-OFF	･外部サーモは左記内容に従って間違いの無いように接続してください。間違って接続しますと正常に運転しなくなります。･T5端子は補助ヒーター組込み時のみ配線接続してください。	
		T2	配線接続しない		
		T3	配線接続しない		
		T4	暖房 高段側ON-OFF		
		T5	暖房 低段側ON-OFF(補助ヒーター)		
		T6	配線接続しない		
		TC	T1～T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧 a接点出力 接点容量…AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	･左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	･出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
		L2	52F ON時出力		
		L3	サーモ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	霜取運転時出力		
		LC1	L1～L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力（室内、室外共通）		
		L7	異常出力（室外ユニット）		
		L8	使用しない		
		L9	使用しない		
		LC2	L6～L9端子のコモン端子		



注１．　------（太破線）：現地配線を示します。
２．ＳＷ３－１～６の設定は機種により異なります。
３．配線は、内線規程に従って接続してください。
４．M-NET接続時には、必ず伝送線用給電ユニット（別売）が必要です。
５．◎印は端子台、⊖印はコネクターを示します
６．停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON（有効）にしてください。標準出荷時は、OFF（無効）となっています。但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
７．緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
８．DIPSWの設定は、標準仕様を示します。受注仕様または現地にて設定変更した場合、本図とは異なることがあります。

記　号　説　明

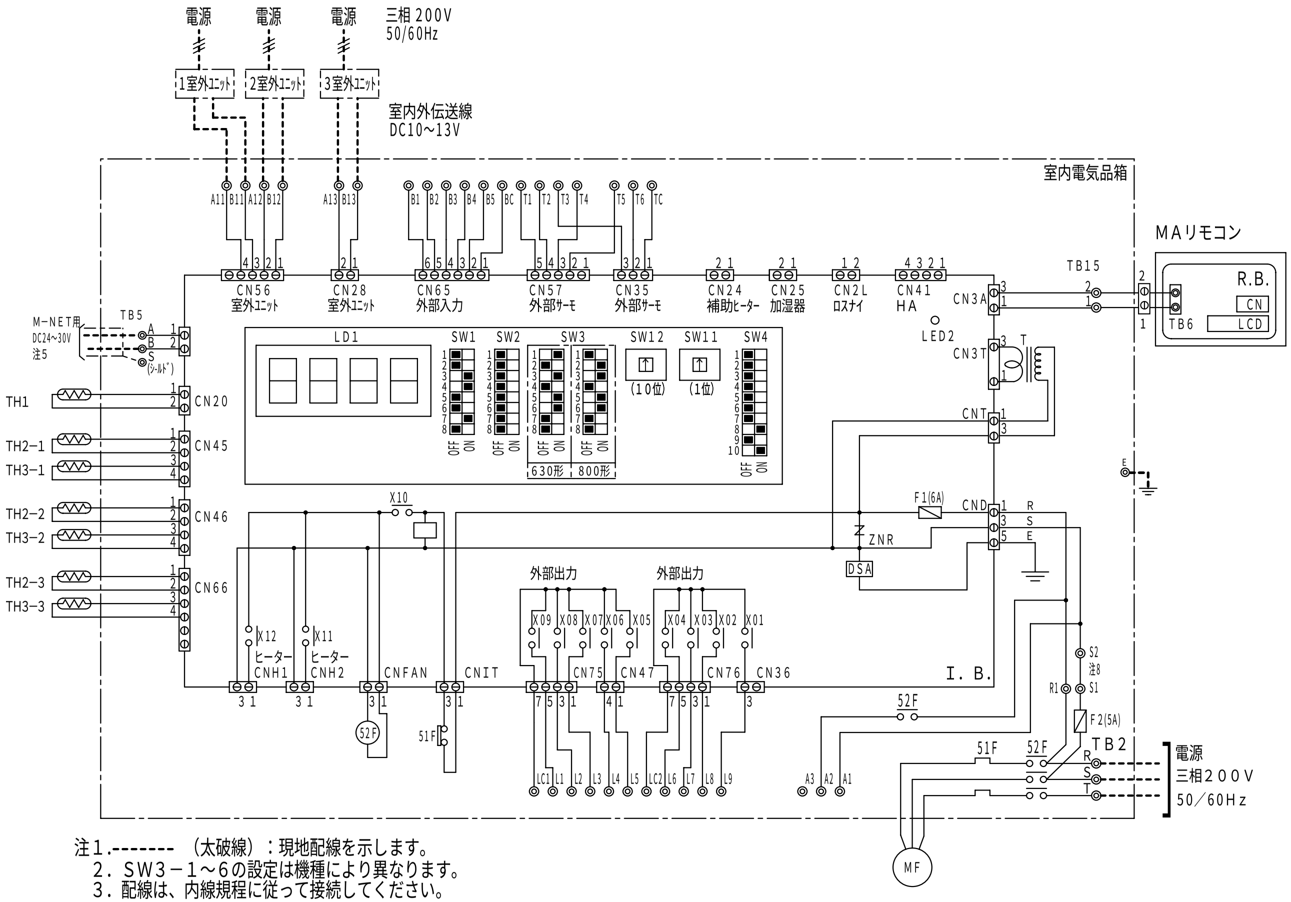
記　号	名　称	記　号	名　称
MF	送風機用電動機	LD1	発光ダイオード（表示）
51F	熱動過電流継電器	LED2	発光ダイオード（リモコン給電）
52F	補助継電器（送風機用）	TH1	サーミスター（吸込み空気温度）
TB2	電　源　端　子　台	TH2－1	サーミスター（No.1熱交液管温度）
TB5	集中管理用、M-NETﾘﾓｺﾝ伝送端子台	TH3－1	サーミスター（No.1熱交二相管温度）
TB15	ＭＡリモコン用端子台	SW1（I.B）	スイッチ（機種設定）
I．B．	室内制御基板	SW2（I.B）	スイッチ（自己診断）
ZNR	バリスター	SW3（I.B）	スイッチ（能力設定）
CN24	コネクター（補助ヒーター）	SW4（I.B）	スイッチ（機能切換）
CN25	コネクター（加湿器）	SW11（I.B）	スイッチ（ｱﾄﾞﾚｽ設定用 1の位）
CN41	コネクター（ＨＡ）	SW12（I.B）	スイッチ（ｱﾄﾞﾚｽ設定用　10の位）
CNH1	コネクター（暖房ヒーター１）	R.B.	リモコン基板
CNH2	コネクター（暖房ヒーター２）	CN	コネクター（別売：スケジュールタイマー）
CNIT	コネクター（５１Ｆ）	TB6	端子台（室内ユニット接続）
CNFAN	コネクター（５２Ｆ）	LCD	液晶表示器
CN2L	コネクター（ロスナイ）	DSA	アレスター
T	トランス	E	アース端子
F1,F2	ヒューズ		
X01～X12	補助継電器（室内基板内）		

外部接続端子の説明

※冷房専用室外ユニットと組合わせた場合、暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーターを組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル接点入力回路電圧:DC12V	B1	ＲＣ／遠方切換え	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号をﾘﾚｰ受けして基板に入力してください。 推奨リレー:微小電流用ｶﾑﾛﾝ製MY形 ・本体制御箱内にリレー取付ｽﾍﾟｰｽがありますので制御箱内に取付けることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 ・パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 ・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
		B2	冷房運転ＯＮ－ＯＦＦ	・Ｂ２～Ｂ５端子は必ず１端子のみに入力してください。２端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ＯＮ－ＯＦＦ		
		B4	送風運転ＯＮ－ＯＦＦ		
		B5	自動運転ＯＮ－ＯＦＦ		
		BC	Ｂ１～Ｂ５端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル接点入力回路電圧:DC12V	T1	冷房ON-OFF	・外部サーモは左記内容に従って間違いの無いように接続してください。間違って接続しますと正常に運転しなくなります。 ・Ｔ５端子は補助ヒーター組込み時のみ配線接続してください。	
		T2	配線接続しない		
		T3	配線接続しない		
		T4	暖房 高段側ON-OFF		
		T5	暖房 低段側ON-OFF(補助ヒーター)		
		T6	配線接続しない		
		TC	Ｔ１～Ｔ６端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧ａ接点出力 接点容量…AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のａ接点出力をします。	・出力のａ接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
		L2	５２Ｆ ＯＮ時出力		
		L3	サーモ ＯＮ時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	霜取運転時出力		
		LC1	Ｌ１～Ｌ５端子のコモン端子		
		L6	異常出力（室内、室外共通）		
		L7	異常出力（室外ユニット）		
		L8	使用しない		
		L9	使用しない		
		LC2	Ｌ６～Ｌ９端子のコモン端子		

●PFAK-P630,800AWM-A



注1.------- (太破線):現地配線を示します。
2. SW3−1~6の設定は機種により異なります。
3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
4. 室外ユニットへの室内外伝送線No.1、No.2、No.3は、冷媒配管系統No.1、No.2、No.3と一致するよう確実に配線してください。
5. M−NET接続時には、必ず伝送用給電ユニット(別売)が必要です。
6. ◎ 印は端子台、⊖ 印はコネクターを示します。
7. 停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON(有効)にしてください。標準出荷時は、OFF(無効)となっています。
但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
8. 緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
9. DIPSWの設定は、標準仕様を示します。受注仕様または現地にて設定変更した場合、本図とは異なることがあります。

記号説明

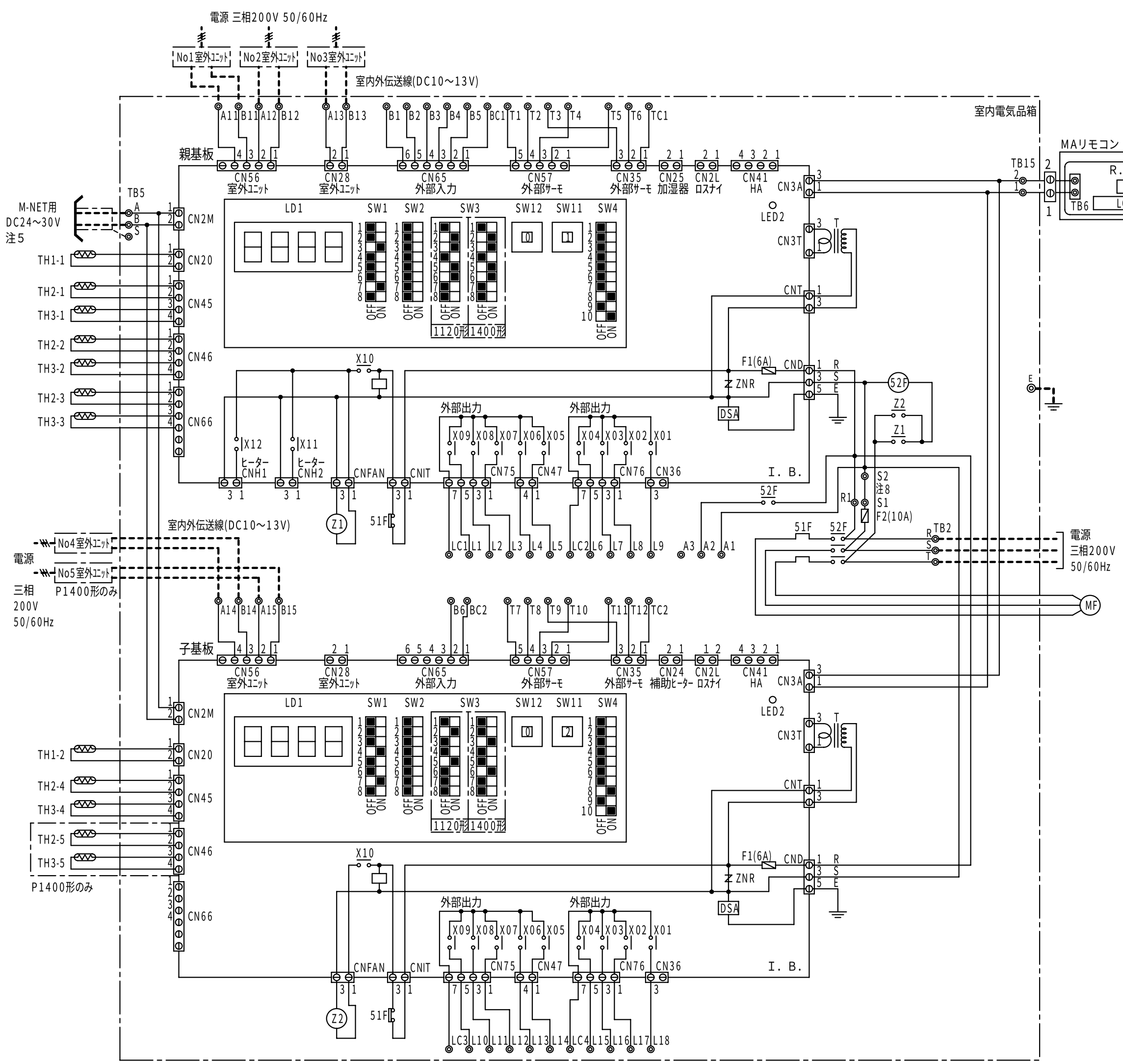
記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスター(吸込み空気温度)
51F	熱動過電流継電器	TH2−1	サーミスター(No.1熱交液管温度)
52F	補助継電器(送風機用)	TH2−2	サーミスター(No.2熱交液管温度)
TB2	電源端子台	TH2−3	サーミスター(No.3熱交液管温度)
TB5	集中管理用,M-NETリモコン伝送端子台	TH3−1	サーミスター(No.1熱交二相管温度)
TB15	MAリモコン用端子台	TH3−2	サーミスター(No.2熱交二相管温度)
I. B.	室内制御基板	TH3−3	サーミスター(No.3熱交二相管温度)
ZNR	バリスター	SW1(I. B)	スイッチ(機種設定)
CN24	コネクター(補助ヒーター)	SW2(I. B)	スイッチ(自己診断)
CN25	コネクター(加湿器)	SW3(I. B)	スイッチ(能力設定)
CN41	コネクター(HA)	SW4(I. B)	スイッチ(機能切換)
CNH1	コネクター(暖房ヒーター1)	SW11(I. B)	スイッチ(アドレス設定用 1の位)
CNH2	コネクター(暖房ヒーター2)	SW12(I. B)	スイッチ(アドレス設定用 10の位)
CNIT	コネクター(51F)	R. B.	リモコン基板
CNFAN	コネクター(52F)	CN	コネクター(別売:スケジュールタイマー)
CN2L	コネクター(ロスナイ)	TB6	端子台(室内ユニット接続)
T	トランス	LCD	液晶表示器
F1,F2	ヒューズ	DSA	アレスター
X01~X12	補助継電器(室内基板内)	E	アース端子
LD1	発光ダイオード(表示)		
LED2	発光ダイオード(リモコン給電)		

外部接続端子の説明

※冷房専用室外ユニットと組合わせた場合、暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーターを組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル接点入力 回路電圧:DC12V	B1	RC/遠方切換え	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号をリレー受けして基板に入力してください。推奨リレー:微小電流用オムロン製MY形・本体制御箱内にリレー取付スペースがありますので制御箱内に取付けることが可能です。・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。・パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
		B2	冷房運転ON−OFF	・B2~B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON−OFF		
		B4	送風運転ON−OFF		
		B5	自動運転ON−OFF		
		BC	B1~B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル接点入力 回路電圧:DC12V	T1	冷房 高段側 ON-OFF(No.3回路)	・外部サーモは左記内容に従って間違いの無いように接続してください。間違って接続しますと正常に運転しなくなります。	
		T2	冷房 低段側 ON-OFF(No.2回路)		
		T3	冷房 最低段側 ON-OFF(No.1回路)		
		T4	暖房 高段側 ON-OFF(No.1回路)		
		T5	暖房 低段側 ON-OFF(No.2回路)		
		T6	暖房 最低段側 ON-OFF(3回路+補助ヒーター)		
		TC	T1~T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧a接点出力 接点容量…AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	・出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
		L2	52F ON時出力		
		L3	サーモ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	霜取運転時出力		
		LC1	L1~L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力(室内、室外共通)		
		L7	異常出力(No.1室外ユニット)		
		L8	異常出力(No.2室外ユニット)		
		L9	異常出力(No.3室外ユニット)		
		LC2	L6~L9端子のコモン端子		

●PFAK-P1120,1400AWM-A-L,R



記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1－1,2	サーミスター（吸込み空気温度）
51F	熱動過電流継電器	TH2－1	サーミスター（No．1熱交液管温度）
52F	補助継電器（送風機用）	TH2－2	サーミスター（No．2熱交液管温度）
TB2	電源端子台	TH2－3	サーミスター（No．3熱交液管温度）
TB5	集中管理用,M-NETﾘﾓｺﾝ伝送端子台	TH2－4	サーミスター（No．4熱交液管温度）
TB15	MAリモコン用端子台	TH2－5	サーミスター（No．5熱交液管温度）<P1400形>
I．B．	室内制御基板	TH3－1	サーミスター（No．1熱交二相管温度）
ZNR	バリスター	TH3－2	サーミスター（No．2熱交二相管温度）
CN24	コネクター（補助ヒーター）	TH3－3	サーミスター（No．3熱交二相管温度）
CN25	コネクター（加湿器）	TH3－4	サーミスター（No．4熱交二相管温度）
CN41	コネクター（HA）	TH3－5	サーミスター（No．5熱交二相管温度）<P1400形>
CNH1	コネクター（暖房ヒーター1）	SW 1（I．B．）	スイッチ（機種設定）
CNH2	コネクター（暖房ヒーター2）	SW 2（I．B．）	スイッチ（自己診断）
CNIT	コネクター（51F）	SW 3（I．B．）	スイッチ（能力設定）
CNFAN	コネクター（52F）	SW 4（I．B．）	スイッチ（機能切換）
CN2L	コネクター（ロスナイ）	SW11（I．B．）	スイッチ（アドレス設定用　1の位）
T	トランス	SW12（I．B．）	スイッチ（アドレス設定用　10の位）
F1,F2	ヒューズ	R．B	リモコン基板
X01～X12	補助継電器（室内基板内）	CN	コネクター（別売：スケジュールタイマー）
Z1,Z2	補助継電器（送風機用）	TB6	端子台（室内ユニット接続）
LD1	発光ダイオード（表示）	LCD	液晶表示器
LED2	発光ダイオード（リモコン給電）	DSA	アレスター
E	アース端子		

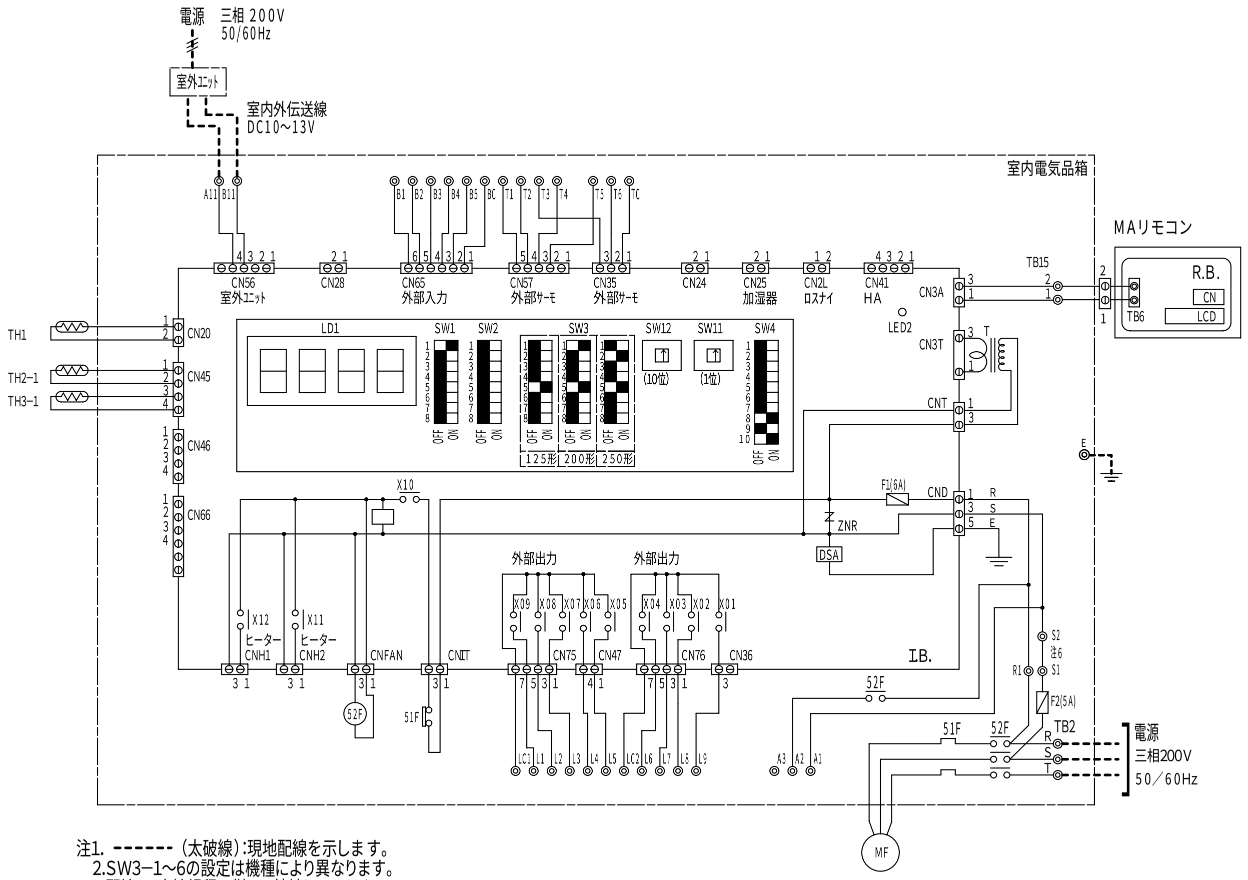
外部接続端子の説明

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル接点入力 回路電圧: DC12V	B1	RC／遠方切換え	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合（Max200mまで）は、必ず100m以内で現地信号をリレー受けして基板に入力してください。推奨リレー：微小電流用ｵﾑﾛﾝ製MY形 ・本体制御箱内にリレー取付けスペースがありますので制御箱内に取付けることが可能です。低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 ・パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC－CG91RCK」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、No.1制御基板(上側)のみSW1－5をON、外部サーモ接続する場合はNo.1 No.2両方の制御基板SW1－6をONにしてください。 ・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
		B2	冷房運転ON－OFF	・B2～B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON－OFF		
		B4	送風運転ON－OFF		
		B5	自動運転ON－OFF		
		B6	蒸気温水ヒーター切換入力		
		BC1	B1～B5端子のコモン端子		
		BC2	B6端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル接点入力 回路電圧: DC12V	T1	冷房 ON-OFF(No.3回路)	・外部サーモは左記内容に従って間違いの無いように接続してください。間違って接続しますと正常に運転しなくなります。 ・P1120のT11端子、P1400のT12端子は補助ヒーター組み時のみ配線接続してください。	
		T2	冷房 ON-OFF(No.2回路)		
		T3	冷房 ON-OFF(No.1回路)		
		T4	暖房 ON-OFF(No.1回路)		
		T5	暖房 ON-OFF(No.2回路)		
		T6	暖房 ON-OFF(No.3回路)		
		T7	冷房 ON-OFF(No.4回路)<P1120形>		
			冷房 ON-OFF(No.5回路)<P1400形>		
		T8	冷房 ON-OFF(No.4回路)<P1400形>		
		T9	配線接続しない		
		T10	暖房 ON-OFF(No.4回路)		
		T11	暖房 ON-OFF(補助ヒーター)〈P1120形〉		
			暖房 ON-OFF(No.5回路)<P1400形>		
		T12	暖房 ON-OFF(補助ヒーター)〈P1400形〉		
		TC1	T1～T6端子のコモン端子		
		TC2	T7～T12端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧a接点出力	L1,L10	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	・出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2．5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
		L2,L11	52F ON時出力		
		L3,L12	サーモ ON時出力		
		L4,L13	暖房運転時出力		
		L5,L14	霜取運転時出力		
		LC1	L1～L5端子のコモン端子		
		LC3	L10～L14端子のコモン端子		
	接点容量 AC200V 2.5A	L6,L15	異常出力（室内、室外共通）		
		L7	異常出力（室外ユニット No.1）		
		L8	異常出力（室外ユニット No.2）		
		L9	異常出力（室外ユニット No.3）		
		L16	異常出力（室外ユニット No.4）		
		L17	異常出力（室外ユニット No.5）<P1400形>		
		L18	使用しない		
		LC2	L6～L9端子のコモン端子		
		LC4	L15～L18端子のコモン端子		

注1．----（太破線）：現地配線を示します。
2．SW3－1～6の設定は機種により異なります。
3．配線は、内線規程に従って接続してください。
4．室外ユニットへの室内外伝送線No．1～No．5は、冷媒配管系統No．1～No．5と一致するよう確実に配線してください。
（No．5はP1400形のみ）
5．M－NET接続時には、必ず伝送用給電ユニット（別売）が必要です。
6．◎印は端子台、⊖印はコネクターを示します。
7．停電自動復帰させる場合は、室内ユニット基板2枚共SW4-1をON（有効）にしてください。
標準出荷時は、OFF（無効）となっています。
但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
8．緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
9．DIPSWの設定は、標準仕様を示します。受注仕様または現地にて設定変更した場合、本図とは異なることがあります。

(b) 中温タイプ〈PFTK形〉

●PFTK-P125,200,250AW-A



注1. - - - - - - (太破線):現地配線を示します。
2.SW3−1～6の設定は機種により異なります。
3.配線は、内線規程に従って接続してください。
4. ◎印は端子台、⊖印はコネクタを示します。
5.停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON（有効）にしてください。標準出荷時は、OFF（無効）となっています。但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
6.緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
7．DIPSWの設定は、標準仕様を示します。受注仕様または現地にて設定変更した場合、本図とは異なることがあります。

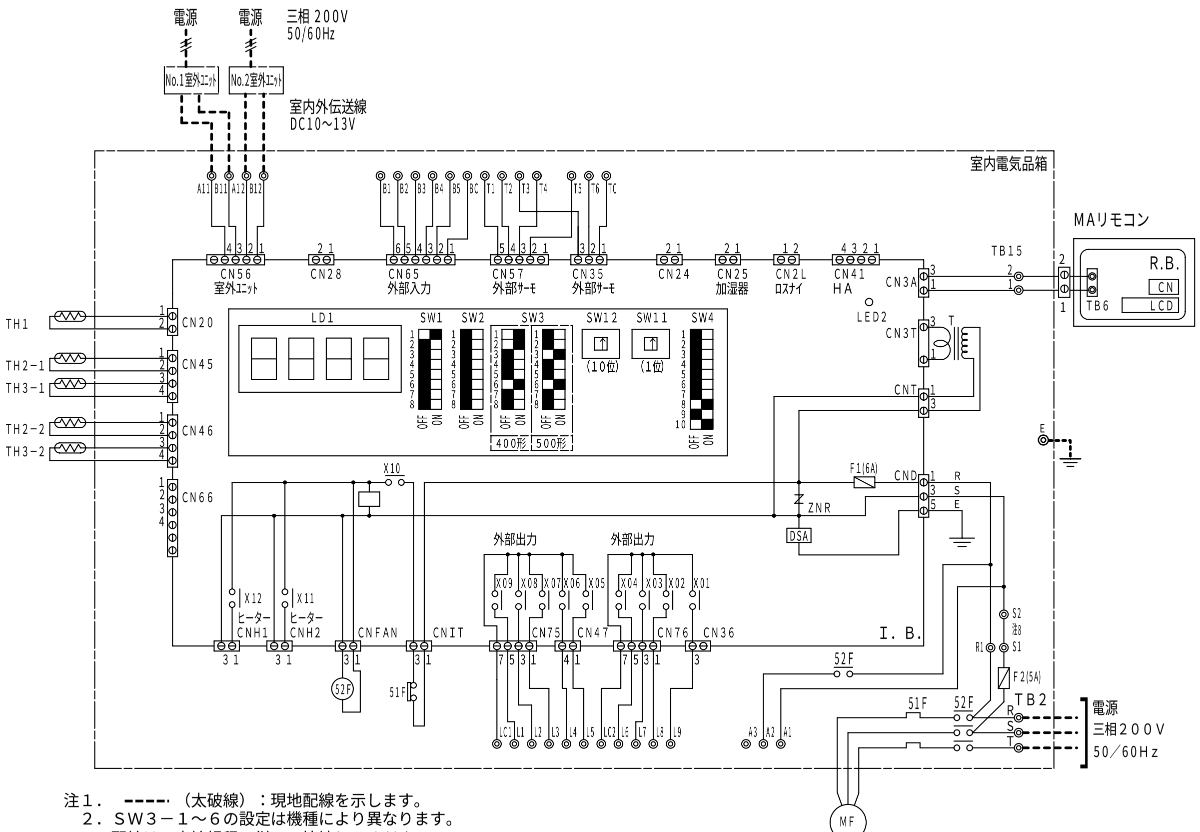
記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	LD1	発光ダイオード(表示)
51F	熱動過電流継電器	LED2	発光ダイオード(リモコン給電)
52F	補助継電器(送風機用)	TH1	サーミスター(吸込み空気温度)
TB2	電源端子台	TH2−1	サーミスター(1熱交液管温度)
TB15	MAリモコン用端子台	TH3−1	サーミスター(1熱交二相管温度)
I.B.	室内制御基板	SW1(I.B)	スイッチ(機種設定)
ZNR	バリスター	SW2(I.B)	スイッチ(自己診断)
CN25	コネクター(加湿器)	SW3(I.B)	スイッチ(能力設定)
CN41	コネクター(HA)	SW4(I.B)	スイッチ(機能切換)
CNH1	コネクター(暖房ヒーター1)	SW11(I.B)	スイッチ(アドレス設定用1の位)
CNH2	コネクター(暖房ヒーター2)	SW12(I.B)	スイッチ(アドレス設定用10の位)
CNIT	コネクター(51F)	R.B.	リモコン基板
CNFAN	コネクター(52F)	CN	コネクター(別売スケジュールタイマー)
CN2L	コネクター(ロスナイ)	TB6	端子台(室内ユニット接続)
T	トランス	LCD	液晶表示器
F1,F2	ヒューズ	DSA	アレスター
X01～X12	補助継電器(室内基板内)	E	アース端子

外部接続端子の説明　※暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーター(蒸気・温水ヒーター,大容量電気ヒーター)を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル接点入力 回路電圧 :DC12V	B1	RC／遠方切換え	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号をリレー受けして基板に入力してください。推奨リレー:微小電流用オムロン製MY形 ・本体制御箱内にリレー取付スペースがありますので制御箱内に取付けることが可能です。・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。・パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
		B2	冷房運転ON−OFF	・B2～B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON−OFF		
		B4	送風運転ON−OFF		
		B5	自動運転できません		
		BC	B1～B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル接点入力 回路電圧 :DC12V	T1	冷房高段・暖房高段	・外部サーモは左記内容に従って間違いの無いように接続してください。間違って接続しますと正常に運転しなくなります。・T1,T2の順に設定温度が低くなるように配線接続してください。・暖房時は、T1・T2への入力がOFFでサーモONとなります。	
		T2	冷房低段・暖房低段		
		T3	配線接続しない		
		T4	配線接続しない		
		T5	配線接続しない		
		T6	配線接続しない		
		TC	T1～T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧a接点出力 接点容量…AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	・出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
		L2	52F ON時出力		
		L3	サーモ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	使用しない		
		LC1	L1～L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力(室内、室外共通)		
		L7	異常出力(室外ユニット)		
		L8	使用しない		
		L9	使用しない		
		LC2	L6～L9端子のコモン端子		

●PFTK-P400,500AW-A



注1．━━━（太破線）：現地配線を示します。
2．SW3－1～6の設定は機種により異なります。
3．配線は、内線規程に従って接続してください。
4．室外ユニットへの室内外伝送線No.1、No.2は、冷媒配管系統No.1、No.2と一致するよう確実に配線してください。
5．◎印は端子台、⊖印はコネクターを示します。
6．停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON（有効）にしてください。標準出荷時は、OFF（無効）となっています。但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
7．緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
8．DIPSWの設定は、標準仕様を示します。受注仕様または現地にて設定変更した場合、本図とは異なることがあります。

記　号　説　明

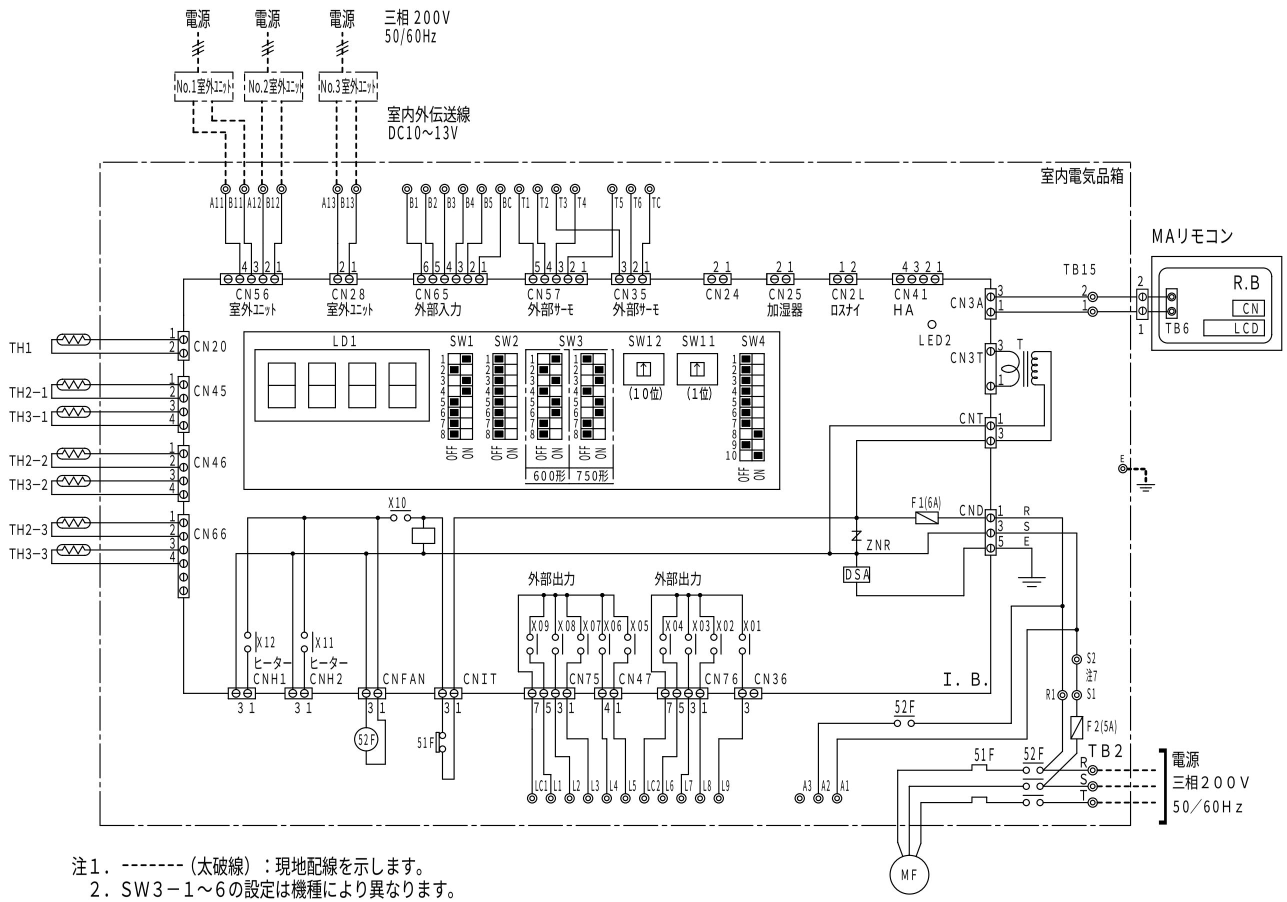
記　号	名　称	記　号	名　称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスター（吸込み空気温度）
51F	熱動過電流継電器	TH2－1	サーミスター（No.1熱交液管温度）
52F	補助継電器（送風機用）	TH2－2	サーミスター（No.2熱交液管温度）
TB2	電源端子台	TH3－1	サーミスター（No.1熱交二相管温度）
TB15	MAリモコン用端子台	TH3－2	サーミスター（No.2熱交二相管温度）
I．B．	室内制御基板	SW1（I.B）	スイッチ（機種設定）
ZNR	バリスター	SW2（I.B）	スイッチ（自己診断）
CN25	コネクター（加湿器）	SW3（I.B）	スイッチ（能力設定）
CN41	コネクター（HA）	SW4（I.B）	スイッチ（機能切換）
CNH1	コネクター（暖房ヒーター1）	SW11（I.B）	スイッチ（アドレス設定用1の位）
CNH2	コネクター（暖房ヒーター2）	SW12（I.B）	スイッチ（アドレス設定用10の位）
CNIT	コネクター（51F）	R．B．	リモコン基板
CNFAN	コネクター（52F）	CN	コネクター（別売スケジュールタイマー）
CN2L	コネクター（ロスナイ）	TB6	端子台（室内ユニット接続）
T	トランス	LCD	液晶表示器
F1,F2	ヒューズ	DSA	アレスター
X01～X12	補助継電器（室内基板内）	E	アース端子
LD1	発光ダイオード（表示）		
LED2	発光ダイオード（リモコン給電）		

外部接続端子の説明

※暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーター（蒸気・温水ヒーター,大容量電気ヒーター）を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル接点入力 回路電圧 :DC12V	B1	RC／遠方切換え	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号をリレー受けして基板に入力してください。推奨リレー:微小電流用オムロン製MY形・本体制御箱内にリレー取付スペースがありますので制御箱内に取付けることが可能です。・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。・パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
		B2	冷房運転ON－OFF	・B2～B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON－OFF		
		B4	送風運転ON－OFF		
		B5	自動運転できません		
		BC	B1～B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル接点入力 回路電圧 :DC12V	T1	冷房高段2・暖房高段1	・外部サーモは左記内容に従って間違いの無いように接続してください。間違って接続しますと正常に運転しなくなります。・T1,T2,T3,T4の順に設定温度が低くなるように配線接続してください。・暖房時はT1～T4への入力がOFFでサーモONとなります。	
		T2	冷房高段1・暖房高段2		
		T3	冷房低段2・暖房低段1		
		T4	冷房低段1・暖房低段2		
		T5	配線接続しない		
		T6	配線接続しない		
		TC	T1～T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧 a接点 出力 接点容量 …AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	・出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
		L2	52F ON時出力		
		L3	サーモ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	使用しない		
		LC1	L1～L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力（室内、室外共通）		
		L7	異常出力（No.1室外ユニット）		
		L8	異常出力（No.2室外ユニット）		
		L9	使用しない		
		LC2	L6～L9端子のコモン端子		

●PFTK-P600,750AW-A



注1．-------（太破線）：現地配線を示します。
2．SW3－1～6の設定は機種により異なります。
3．配線は、内線規程に従って接続してください。
4．室外ユニットへの室内外伝送線No.1、No.2、No.3は、冷媒配管系統No.1、No.2、No.3と一致するよう確実に配線してください。
5．◎ 印は端子台、⊖ 印はコネクターを示します。
6．停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON（有効）にしてください。
標準出荷時は、OFF（無効）となっています。
但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
7．緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
8．DIPSWの設定は、標準仕様を示します。受注仕様または現地にて設定変更した場合、本図とは異なることがあります。

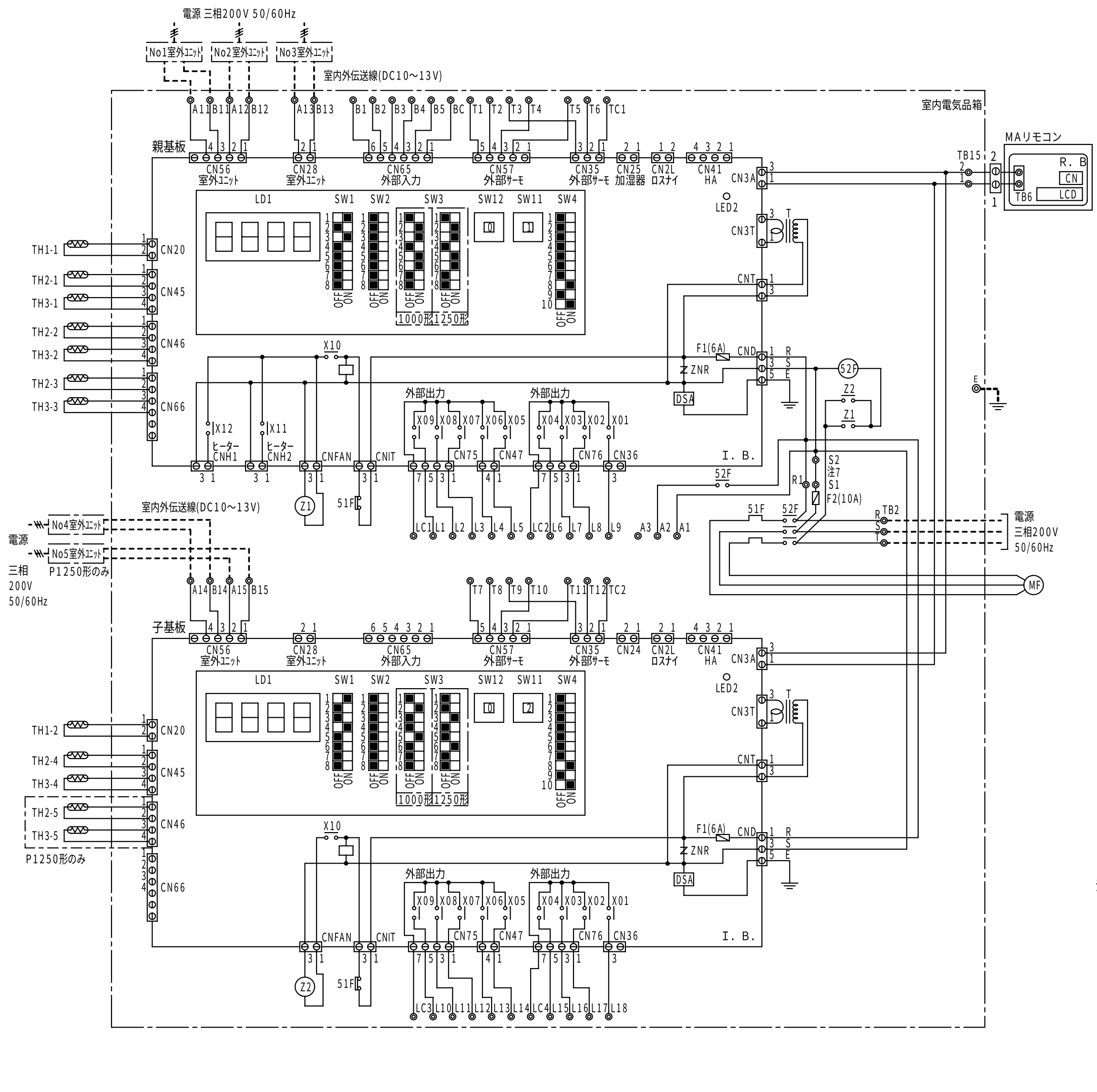
記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスター（吸込み空気温度）
51F	熱動過電流継電器	TH2−1	サーミスター（No.1熱交液管温度）
52F	補助継電器（送風機用）	TH2−2	サーミスター（No.2熱交液管温度）
TB2	電源端子台	TH2−3	サーミスター（No.3熱交液管温度）
TB15	MAリモコン用端子台	TH3−1	サーミスター（No.1熱交二相管温度）
I．B．	室内制御基板	TH3−2	サーミスター（No.2熱交二相管温度）
ZNR	バリスター	TH3−3	サーミスター（No.3熱交二相管温度）
CN25	コネクター（加湿器）	SW1（I．B）	スイッチ（機種設定）
CN41	コネクター（HA）	SW2（I．B）	スイッチ（自己診断）
CNH1	コネクター（暖房ヒーター1）	SW3（I．B）	スイッチ（能力設定）
CNH2	コネクター（暖房ヒーター2）	SW4（I．B）	スイッチ（機能切換）
CNIT	コネクター（51F）	SW11（I．B）	スイッチ（ｱﾄﾞﾚｽ設定用 1の位）
CNFAN	コネクター（52F）	SW12（I．B）	スイッチ（ｱﾄﾞﾚｽ設定用 10の位）
CN2L	コネクター（ロスナイ）	R．B．	リモコン基板
T	トランス	CN	コネクター（別売：スケジュールタイマー）
F1,F2	ヒューズ	TB6	端子台（室内ユニット接続）
X01～X12	補助継電器（室内基板内）	LCD	液晶表示器
LD1	発光ダイオード（表示）	DSA	アレスター
LED2	発光ダイオード（リモコン給電）	E	アース端子

外部接続端子の説明　※暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーターを組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル接点入力 回路電圧:DC12V	B1	RC／遠方切換え	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号をﾘﾚｰ受けして基板に入力してください。推奨ﾘﾚｰ:微小電流用ｵﾑﾛﾝ製ＭＹ形 ・本体制御箱内にリレー取付ｽﾍﾟｰｽがありますので制御箱内に取付けることが可能です。・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。・パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
		B2	冷房運転ON−OFF	・B2～B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON−OFF		
		B4	送風運転ON−OFF		
		B5	自動運転できません		
		BC	B1～B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル接点入力 回路電圧:DC12V	T1	冷房 高段2・暖房 高段2	・外部サーモは左記内容に従って間違いの無いように接続してください。間違って接続しますと正常 ・T1,T2,T3,T4,T5,T6の順に設定温度が低くなるように配線してください。・暖房時はT1,T2,T3,T4,T5,T6への入力がOFFでサーモONとなります。	
		T2	冷房 高段1・暖房 高段1		
		T3	冷房 中段2・暖房 中段2		
		T4	冷房 中段1・暖房 中段1		
		T5	冷房 低段2・暖房 低段2		
		T6	冷房 低段1・暖房 低段1		
		TC	T1～T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧 a接点出力 接点容量…AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	・出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
		L2	52F ON時出力		
		L3	サーモ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	使用しない		
		LC1	L1～L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力（室内、室外共通）		
		L7	異常出力（No.1室外ユニット）		
		L8	異常出力（No.2室外ユニット）		
		L9	異常出力（No.3室外ユニット）		
		LC2	L6～L9端子のコモン端子		

●PFTK-P1000,1250AW-A-L,R



記号説明

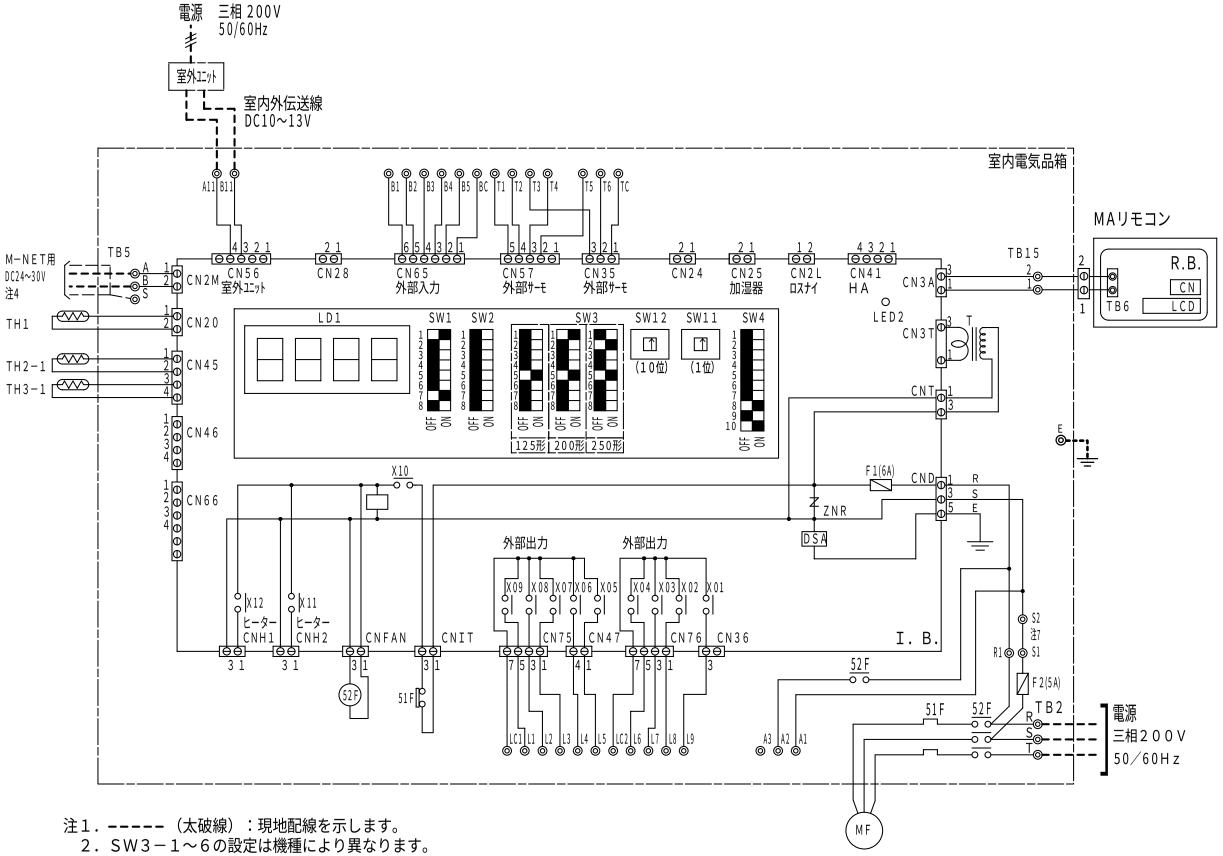
記号	名称	記号	名称
ＭＦ	送風機用電動機	ＴＨ１－1,2	サーミスター（吸込み空気温度）
５１Ｆ	熱動過電流継電器	ＴＨ２－１	サーミスター（Ｎｏ．１熱交液管温度）
５２Ｆ	補助継電器（送風機用）	ＴＨ２－２	サーミスター（Ｎｏ．２熱交液管温度）
ＴＢ２	電　源　端　子　台	ＴＨ２－３	サーミスター（Ｎｏ．３熱交液管温度）
ＴＢ１５	ＭＡリモコン用端子台	ＴＨ２－４	サーミスター（Ｎｏ．４熱交液管温度）
Ｉ．Ｂ．	室内制御基板	ＴＨ２－５	サーミスター（Ｎｏ．５熱交液管温度）<P1400形>
ＺＮＲ	バリスター	ＴＨ３－１	サーミスター（Ｎｏ．１熱交二相管温度）
ＣＮ２５	コネクター（加湿器）	ＴＨ３－２	サーミスター（Ｎｏ．２熱交二相管温度）
ＣＮ４１	コネクター（ＨＡ）	ＴＨ３－３	サーミスター（Ｎｏ．３熱交二相管温度）
ＣＮＨ１	コネクター（暖房ヒーター１）	ＴＨ３－４	サーミスター（Ｎｏ．４熱交二相管温度）
ＣＮＨ２	コネクター（暖房ヒーター２）	ＴＨ３－５	サーミスター（Ｎｏ．５熱交二相管温度）<P1400形>
ＣＮＩＴ	コネクター（５１Ｆ）	ＳＷ　１（Ｉ．Ｂ．）	スイッチ（機種設定）
ＣＮＦＡＮ	コネクター（５２Ｆ）	ＳＷ　２（Ｉ．Ｂ．）	スイッチ（自己診断）
ＣＮ２Ｌ	コネクター（ロスナイ）	ＳＷ　３（Ｉ．Ｂ．）	スイッチ（能力設定）
Ｔ	トランス	ＳＷ　４（Ｉ．Ｂ．）	スイッチ（機能切換）
Ｆ１,Ｆ２	ヒューズ	ＳＷ１１（Ｉ．Ｂ．）	スイッチ（アドレス設定用　１の位）
Ｘ０１～Ｘ１２	補助継電器（室内基板内）	ＳＷ１２（Ｉ．Ｂ．）	スイッチ（アドレス設定用　１０の位）
Ｚ１,Ｚ２	補助継電器（送風機用）	Ｒ．Ｂ．	リモコン基板
ＬＤ１	発光ダイオード（表示）	ＣＮ	コネクター（別売：スケジュールタイマー）
ＬＥＤ２	発光ダイオード（リモコン給電）	ＴＢ６	端子台（室内ユニット接続）
Ｅ	アース端子	ＬＣＤ	液晶表示器
		ＤＳＡ	アレスター

外部接続端子の説明　（暖房に関する内容はヒーター（受注仕様）を組込んだ場合を示します。）

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル接点入力 回路電圧: DC12V	Ｂ１	ＲＣ／遠方切換え	ＯＮでＲＣ操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長１００ｍを超える場合（Max200mまで）は、必ず１００ｍ以内で現地信号をリレー受けして基板に入力してください。推奨リレー：微小電流用ｵﾑﾛﾝ製ＭＹ形 ・本体制御箱内にリレー取付けスペースがありますので制御箱内に取付けることが可能です。低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 ・パルス入力、ＡＣ２００Ｖ等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット ＰＡＣ－ＣＧ９１ＲＣＫ」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、No.1制御基板(上側)のみＳＷ１－５をＯＮ、外部サーモ接続する場合はNo.1 No.2両方の制御基板ＳＷ１－６をＯＮにしてください。 ・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
		Ｂ２	冷房運転ＯＮ－ＯＦＦ	・Ｂ２～Ｂ５端子は必ず１端子のみに入力してください。２端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		Ｂ３	暖房運転ＯＮ－ＯＦＦ		
		Ｂ４	送風運転ＯＮ－ＯＦＦ		
		Ｂ５	自動運転できない		
		ＢＣ	Ｂ１～Ｂ５端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル接点入力 回路電圧: DC12V	Ｔ１	冷房3回路 暖房高段<P1000形>,暖房高段<P1250形>	・外部サーモは左記内容に従って間違いの無いように接続してください。間違って接続しますと正常に運転しなくなります。 ・Ｔ８,Ｔ９,Ｔ１,Ｔ２,Ｔ３の順に設定温度が低くなるように配線接続してください。 ・暖房時はＴ８,Ｔ９,Ｔ１,Ｔ２,Ｔ３への入力がＯＦＦでサーモＯＮとなります。	
		Ｔ２	冷房2回路 暖房低段<P1000形>,暖房低段<P1250形>		
		Ｔ３	冷房1回路 暖房低段<P1000形>,暖房低段<P1250形>		
		Ｔ４	配線接続しない		
		Ｔ５	配線接続しない		
		Ｔ６	配線接続しない		
		Ｔ７	配線接続しない		
		Ｔ８	冷房5回路 暖房高段<P1250形>		
		Ｔ９	冷房4回路 暖房高段<P1000形>,暖房高段<P1250形>		
		Ｔ１０	配線接続しない		
		Ｔ１１	配線接続しない		
			配線接続しない		
		Ｔ１２	配線接続しない		
		ＴＣ１	Ｔ１～Ｔ６端子のコモン端子		
		ＴＣ２	Ｔ７～Ｔ１２端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧 a接点 出力	L1,L10	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のａ接点出力をします。	・出力のａ接点の接点電流容量はＡＣ２００Ｖ ２．５Ａです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
		L2,L11	５２Ｆ ＯＮ時出力		
		L3,L12	サーモ ＯＮ時出力		
		L4,L13	暖房運転時出力		
		L5,L14	霜取運転時出力		
		ＬＣ１	Ｌ１～Ｌ５端子のコモン端子		
	接点容量 AC200V 2.5A	ＬＣ３	Ｌ１０～Ｌ１４端子のコモン端子		
		L6,L15	異常出力（室内、室外共通）		
		Ｌ７	異常出力（室外ユニット No.1）		
		Ｌ８	異常出力（室外ユニット No.2）		
		Ｌ９	異常出力（室外ユニット No.3）		
		Ｌ１６	異常出力（室外ユニット No.4）		
		Ｌ１７	異常出力（室外ユニット No.5）<P1250形>		
		Ｌ１８	使用しない		
		ＬＣ２	Ｌ６～Ｌ９端子のコモン端子		
		ＬＣ４	Ｌ１５～Ｌ１８端子のコモン端子		

注１．－－－－（太破線）：現地配線を示します。
２．ＳＷ３－１～６の設定は機種により異なります。
３．配線は、内線規程に従って接続してください。
４．室外ユニットへの室内外伝送線Ｎｏ．１～Ｎｏ．５は、冷媒配管系統Ｎｏ．１～Ｎｏ．５と一致するよう確実に配線してください。（Ｎｏ．５はＰ１４００形のみ）
５．◎印は端子台、⊖印はコネクターを示します。
６．停電自動復帰させる場合は、室内ユニット基板2枚共SW4-1をON（有効）にしてください。標準出荷時は、OFF（無効）となっています。但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
７．緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
８．DIPSWの設定は、標準仕様を示します。受注仕様または現地にて設定変更した場合、本図とは異なることがあります。

●PFTK-P125,200,250AWM-A



注1．－－－－－（太破線）：現地配線を示します。
2．SW3－1～6の設定は機種により異なります。
3．配線は、内線規程に従って接続してください。
4．M－NET接続時には、必ず伝送用給電ユニット（別売）が必要です。
5．◎ 印は端子台、㊀ 印はコネクターを示します。
6．停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON（有効）にしてください。
標準出荷時は、OFF（無効）となっています。
但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
7．緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
8．DIPSWの設定は、標準仕様を示します。受注仕様または現地にて
設定変更した場合、本図とは異なることがあります。

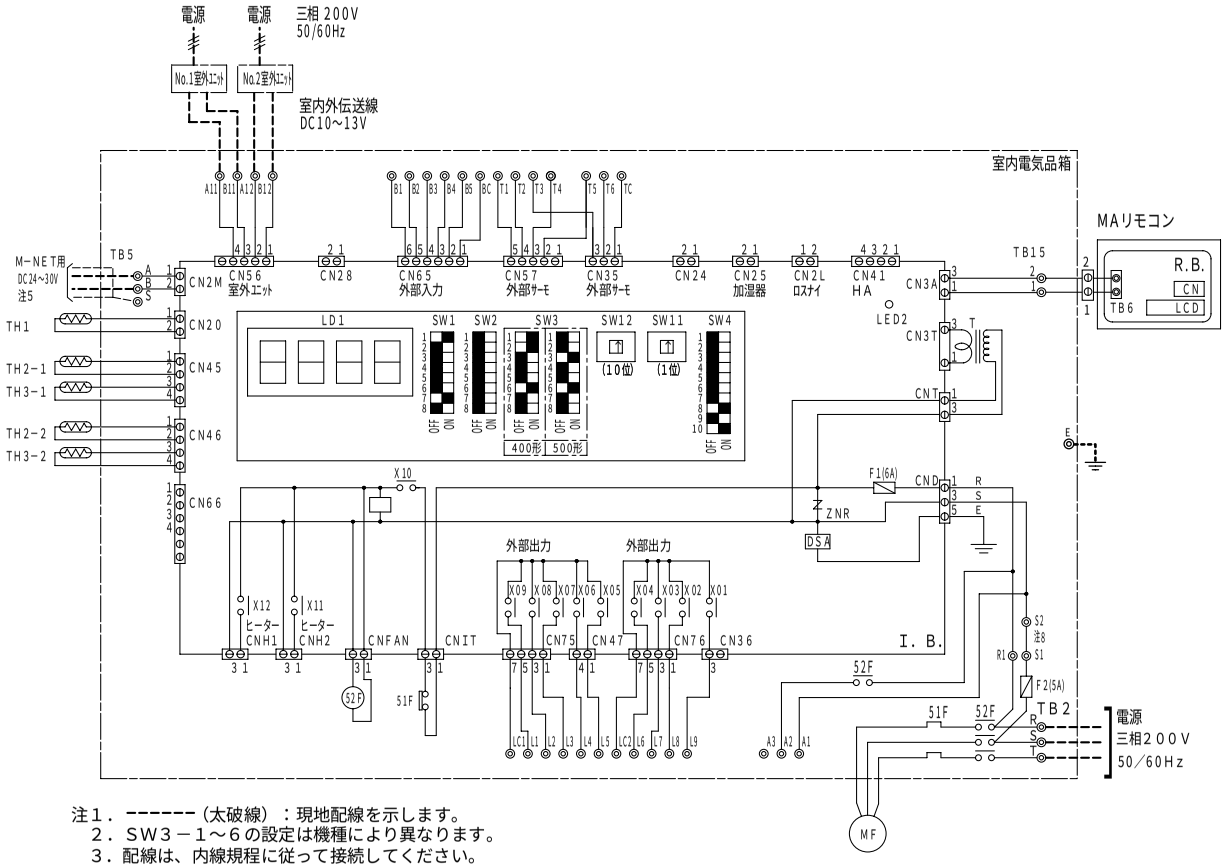
記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	LD1	発光ダイオード（表示）
51F	熱動過電流継電器	LED2	発光ダイオード（リモコン給電）
52F	補助継電器（送風機用）	TH1	サーミスター（吸込み空気温度）
TB2	電源端子台	TH2－1	サーミスター（1熱交液管温度）
TB5	集中管理用,M-NETリモコン伝送端子台	TH3－1	サーミスター（1熱交二相管温度）
TB15	MAリモコン用端子台	SW1(I.B)	スイッチ（機種設定）
I. B.	室内制御基板	SW2(I.B)	スイッチ（自己診断）
ZNR	バリスター	SW3(I.B)	スイッチ（能力設定）
CN25	コネクター（加湿器）	SW4(I.B)	スイッチ（機能切換）
CN41	コネクター（HA）	SW11(I.B)	スイッチ（アドレス設定用1の位）
CNH1	コネクター（暖房ヒーター1）	SW12(I.B)	スイッチ（アドレス設定用10の位）
CNH2	コネクター（暖房ヒーター2）	R. B.	リモコン基板
CNIT	コネクター（51F）	CN	コネクター（別売スケジュールタイマー）
CNFAN	コネクター（52F）	TB6	端子台（室内ユニット接続）
CN2L	コネクター（ロスナイ）	LCD	液晶表示器
T	トランス	DSA	アレスター
F1,F2	ヒューズ	E	アース端子
X01～X12	補助継電器（室内基板内）		

外部接続端子の説明 ※暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーター（蒸気・温水ヒーター,大容量電気ヒーター）を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル接点入力 回路電圧 :DC12V	B1	RC／遠方切換え	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号をリレー受けして基板に入力してください。推奨リレー微小電流用オムロン製MY形・本体制御箱内にリレー取付スペースがありますので制御箱内に取付けることが可能です。・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。・パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
		B2	冷房運転ON－OFF	・B2～B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON－OFF		
		B4	送風運転ON－OFF		
		B5	自動運転できません		
		BC	B1～B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル接点入力 回路電圧 :DC12V	T1	冷房高段・暖房高段	・外部サーモは接続要領に従って間違いの無いように接続してください。間違って接続しますと正常に運転しなくなります。・T1,T2の順に設定温度が低くなるように配線接続してください。・暖房時は、T1・T2への入力がOFFでサーモONとなります。	
		T2	冷房低段・暖房低段		
		T3	配線接続しない		
		T4	配線接続しない		
		T5	配線接続しない		
		T6	配線接続しない		
		TC	T1～T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧a接点出力 接点容量…AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	・出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
		L2	52F ON時出力		
		L3	サーモON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	使用しない		
		LC1	L1～L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力（室内、室外共通）		
		L7	異常出力（室外ユニット）		
		L8	使用しない		
		L9	使用しない		
		LC2	L6～L9端子のコモン端子		

●PFTK-P400,500AWM-A



注１．－－－－－－（太破線）：現地配線を示します。
２．ＳＷ３－１～６の設定は機種により異なります。
３．配線は、内線規程に従って接続してください。
４．室外ユニットへの室内外伝送線No.１、No.２は、冷媒配管系統No.１、No.２と一致するよう確実に配線してください。
５．M-NET接続時には、必ず伝送線用給電ユニット（別売）が必要です。
６．◎印は端子台、⊖印はコネクターを示します。
７．停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON（有効）にしてください。標準出荷時は、OFF（無効）となっています。
但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
８．緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
９．DIPSWの設定は、標準仕様を示します。受注仕様または現地にて設定変更した場合、本図とは異なることがあります。

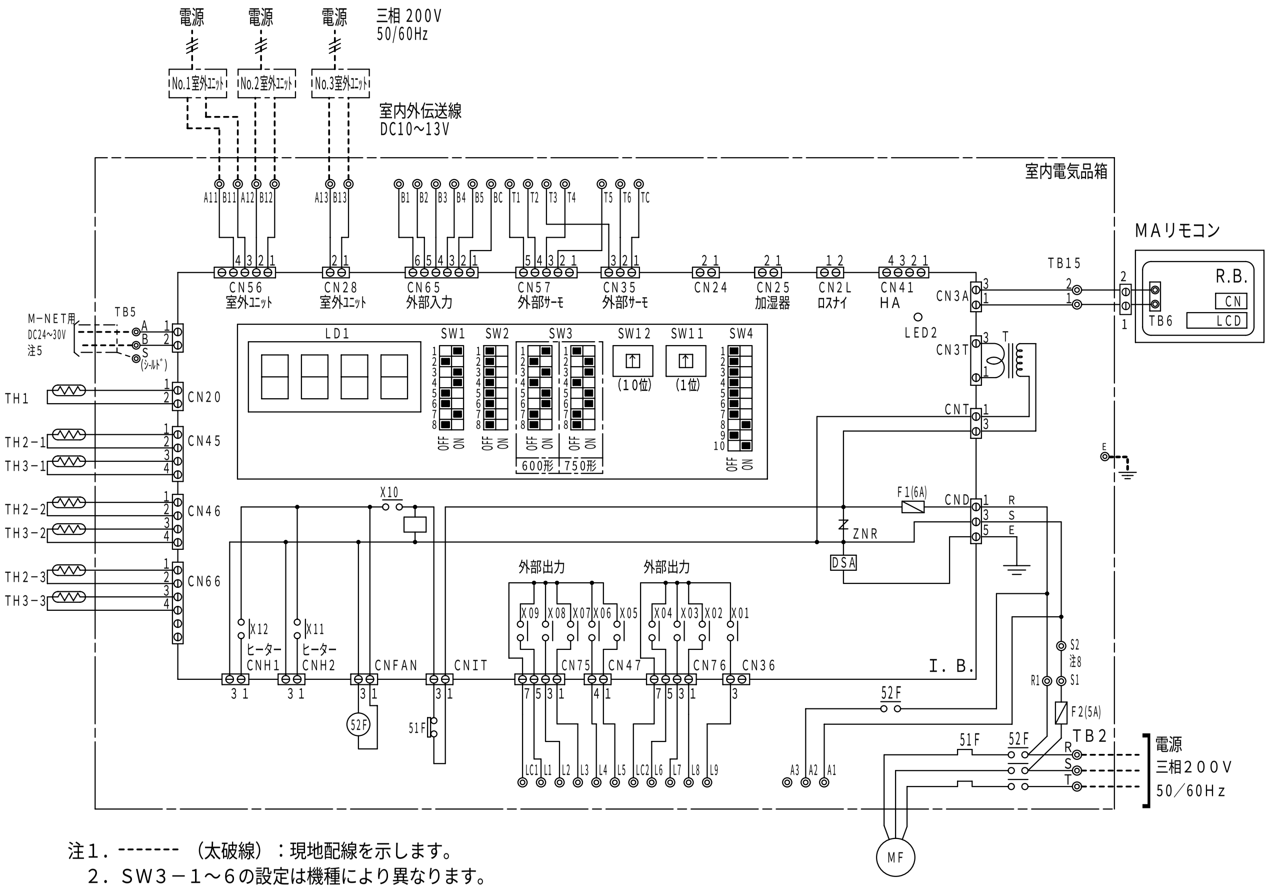
記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	LD1	発光ダイオード（表示）
51F	熱動過電流継電器	LED2	発光ダイオード（リモコン給電）
52F	補助継電器（送風機用）	TH1	サーミスター（吸込み空気温度）
TB2	電源端子台	TH2－1	サーミスター（No.1熱交液管温度）
TB5	集中管理用,M-NETｱﾀﾞﾌﾟﾀ伝送端子台	TH2－2	サーミスター（No.2熱交液管温度）
TB15	MAリモコン用端子台	TH3－1	サーミスター（No.1熱交二相管温度）
I. B.	室内制御基板	TH3－2	サーミスター（No.2熱交二相管温度）
ZNR	バリスター	SW1（IB）	スイッチ（機種設定）
CN25	コネクター（加湿器）	SW2（IB）	スイッチ（自己診断）
CN41	コネクター（HA）	SW3（IB）	スイッチ（能力設定）
CNH1	コネクター（暖房ヒーター1）	SW4（IB）	スイッチ（機能切換）
CNH2	コネクター（暖房ヒーター2）	SW11（IB）	スイッチ（ｱﾄﾞﾚｽ設定用1の位）
CNIT	コネクター（51F）	SW12（IB）	スイッチ（ｱﾄﾞﾚｽ設定用10の位）
CNFAN	コネクター（52F）	R. B.	リモコン基板
CN2L	コネクター（ロスナイ）	CN	コネクター（別売スケジュールタイマー）
T	トランス	TB6	端子台（室内ユニット接続）
F1,F2	ヒューズ	LCD	液晶表示器
X01～X12	補助継電器（室内基板内）	DSA	アレスター
E	アース端子		

外部接続端子の説明　※暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーター（蒸気・温水ヒーター,大容量電気ヒーター）を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル接点入力 回路電圧:DC12V	B1	RC／遠方切換え	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号をリレー受けして基板に入力してください。 推奨ﾘﾚｰ:微小電流用ﾏｲｸﾛ製MY形 ・本体制御箱内にリレー取付ｽﾍﾟｰｽがありますので制御箱内に取付けることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。 同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 ・パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 ・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。 詳しくは技術資料を参照ください。
		B2	冷房運転ON－OFF	・B2～B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON－OFF		
		B4	送風運転ON－OFF		
		B5	自動運転できません		
		BC	B1～B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル接点入力 回路電圧:DC12V	T1	冷房高段2・暖房高段1	・外部サーモは接続要領に従って間違いの無いように接続してください。間違って接続しますと正常に運転しなくなります。 ・T1,T2,T3,T4の順に設定温度が低くなるように配線接続してください。 ・暖房時はT1～T4への入力がOFFでサーモONとなります。	
		T2	冷房高段1・暖房高段2		
		T3	冷房低段2・暖房低段1		
		T4	冷房低段1・暖房低段2		
		T5	配線接続しない		
		T6	配線接続しない		
		TC	T1～T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧a接点出力 接点容量…AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	・出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
		L2	52F ON時出力		
		L3	サーモ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	使用しない		
		LC1	L1～L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力（室内、室外共通）		
		L7	異常出力（No.1室外ユニット）		
		L8	異常出力（No.2室外ユニット）		
		L9	使用しない		
		LC2	L6～L9端子のコモン端子		

●PFTK-P600,750AWM-A



注1．------- （太破線）：現地配線を示します。
2．SW3－1～6の設定は機種により異なります。
3．配線は、内線規程に従って接続してください。
4．室外ユニットへの室内外伝送線No.1、No.2、No.3は、冷媒配管系統No.1、No.2、No.3と一致するよう確実に配線してください。
5．M－NET接続時には必ず伝送用給電ユニット（別売）が必要です。
6．◎印は端子台、⊖印はコネクターを示します。
7．停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON（有効）にしてください。標準出荷時は、OFF（無効）となっています。但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
8．緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
9．DIPSWの設定は、標準仕様を示します。受注仕様または現地にて設定変更した場合、本図とは異なることがあります。

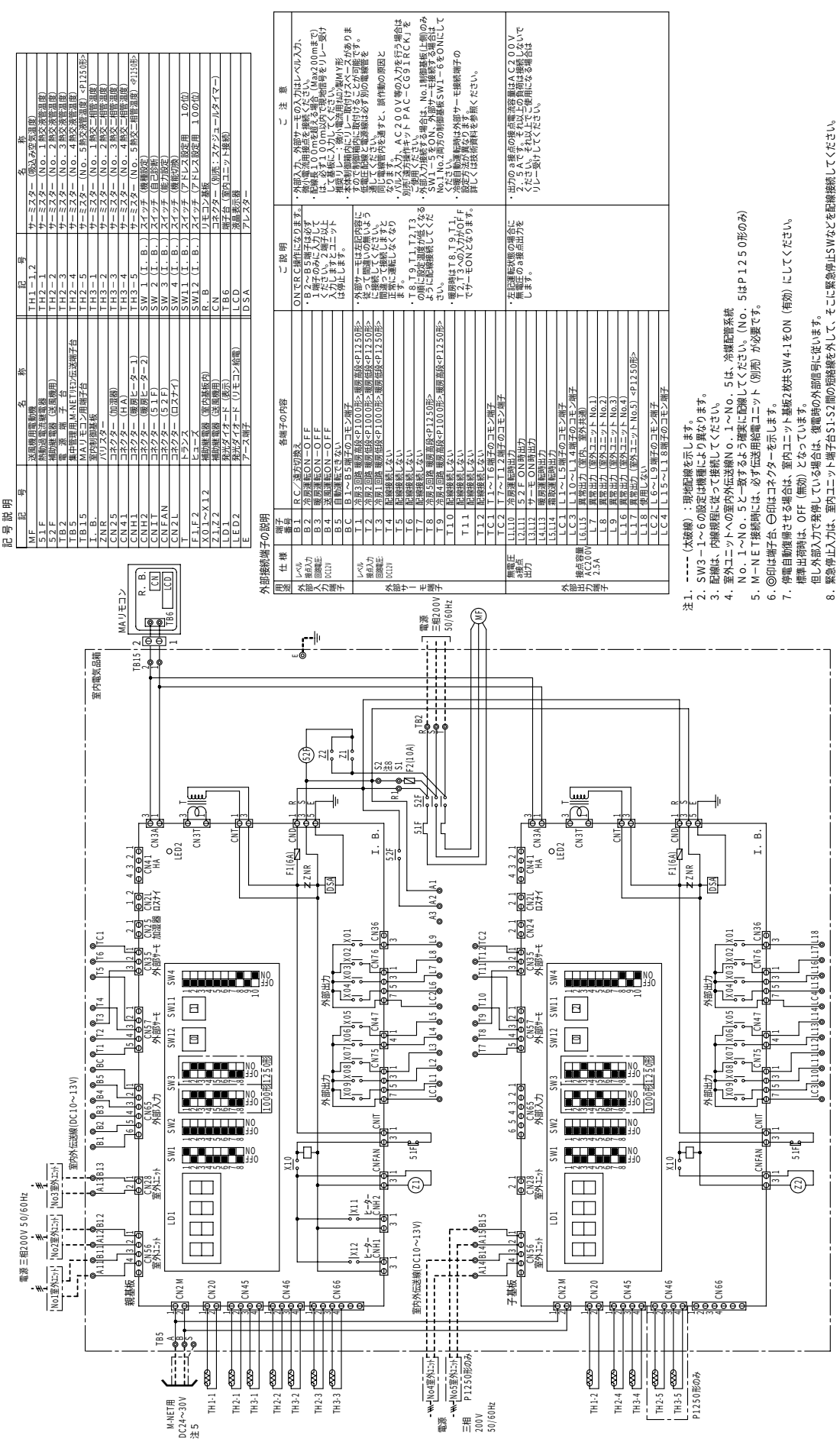
記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスター（吸い込み空気温度）
51F	熱動過電流継電器	TH2－1	サーミスター（No.1熱交液管温度）
52F	補助継電器（送風機用）	TH2－2	サーミスター（No.2熱交液管温度）
TB2	電源端子台	TH2－3	サーミスター（No.3熱交液管温度）
TB5	集中管理用,M-NETリモコン伝送端子台	TH3－1	サーミスター（No.1熱交二相管温度）
TB15	MAリモコン用端子台	TH3－2	サーミスター（No.2熱交二相管温度）
I. B.	室内制御基板	TH3－3	サーミスター（No.3熱交二相管温度）
ZNR	バリスター	SW1（I. B）	スイッチ（機種設定）
CN25	コネクター（加湿器）	SW2（I. B）	スイッチ（自己診断）
CN41	コネクター（HA）	SW3（I. B）	スイッチ（能力設定）
CNH1	コネクター（暖房ヒーター1）	SW4（I. B）	スイッチ（機能切換）
CNH2	コネクター（暖房ヒーター2）	SW11（I. B）	スイッチ（アドレス設定用 1の位）
CNIT	コネクター（51F）	SW12（I. B）	スイッチ（アドレス設定用 10の位）
CNFAN	コネクター（52F）	R. B.	リモコン基板
CN2L	コネクター（ロスナイ）	CN	コネクター（別売：スケジュールタイマー）
T	トランス	TB6	端子台（室内ユニット接続）
F1,F2	ヒューズ	LCD	液晶表示器
X01～X12	補助継電器（室内基板内）	DSA	アレスター
LD1	発光ダイオード（表示）	E	アース端子
LED2	発光ダイオード（リモコン給電）		

外部接続端子の説明　※暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーターを組込んだ場合を示します。

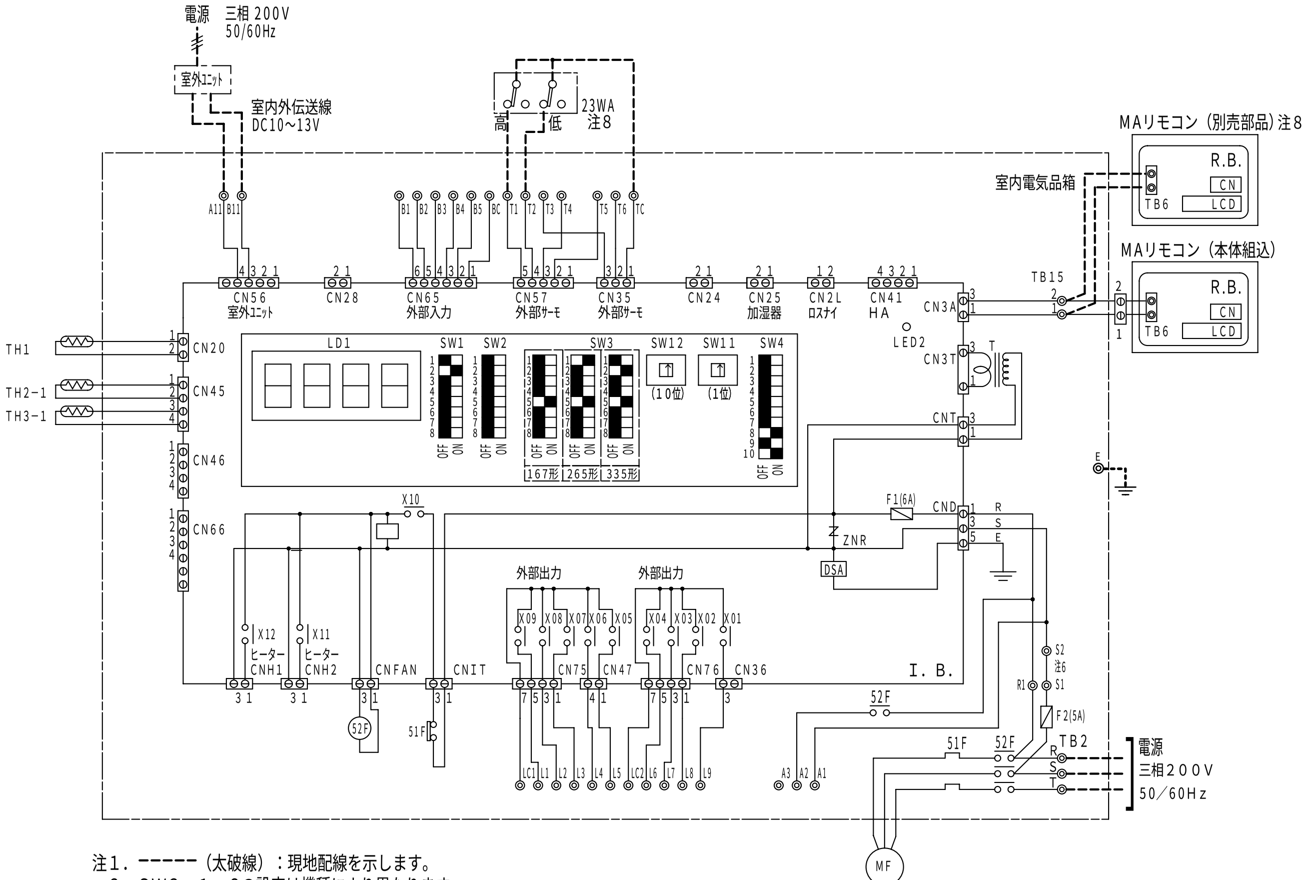
用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル接点入力 回路電圧: DC12V	B1	RC／遠方切換え	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号をリレー受けして基板に入力してください。 推奨リレー:微小電流用オムロン製MY形 ・本体制御箱内にリレー取付スペースがありますので制御箱内に取付けることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。 同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 ・パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 ・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。 詳しくは技術資料を参照ください。
		B2	冷房運転ON－OFF	・B2～B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON－OFF		
		B4	送風運転ON－OFF		
		B5	自動運転できません		
		BC	B1～B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル接点入力 回路電圧: DC12V	T1	冷房 高段2・暖房 高段2	・外部サーモは接続要領に従って間違いの無いように接続してください。間違って接続しますと正常に運転しなくなります。 ・T1,T2,T3,T4,T5,T6の順に設定温度が低くなるように配線してください。 ・暖房時はT1,T2,T3,T4,T5,T6への入力がOFFでサーモONとなります。	
		T2	冷房 高段1・暖房 高段1		
		T3	冷房 中段2・暖房 中段2		
		T4	冷房 中段1・暖房 中段1		
		T5	冷房 低段2・暖房 低段2		
		T6	冷房 低段1・暖房 低段1		
		TC	T1～T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧 a接点出力 接点容量…AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	・出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
		L2	52F ON時出力		
		L3	サーモ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	使用しない		
		LC1	L1～L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力（室内、室外共通）		
		L7	異常出力（No.1室外ユニット）		
		L8	異常出力（No.2室外ユニット）		
		L9	異常出力（No.3室外ユニット）		
		LC2	L6～L9端子のコモン端子		

●PFTK-P1000,1250AWM-A-L,R



(c) オールフレッシュタイプ〈PFAK-F形〉

●PFAK-P167,265,335AW-A-F



注1．━ ━ ━（太破線）：現地配線を示します。
2．SW3－1～6の設定は機種により異なります。
3．配線は、内線規程に従って接続してください。
4．◎印は端子台、⊖印はコネクターを示します。
5．停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON（有効）にしてください。
標準出荷時は、OFF（無効）となっています。
但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
6．緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
7．室内温度調節のため下表に示す①または②の内容を実施ください。
8．DIPSWの設定は、標準仕様を示します。受注仕様または現地にて
設定変更した場合、本図とは異なることがあります。

	内容	SW設定の変更
①	温度調節器23WA（現地手配）を接続する。	DIPSW 1-6 をONにしてください。
②	リモコン（別売部品）を接続し、室内に設置してそのリモコンサーモを使用する。	DIPSW 4-2 をONにしてください。 本体取付のﾘﾓｺﾝを”従”、室内に設置するリモコンを”主”に設定してください。 詳しくは据付説明書およびリモコンの取付説明書を参照ください。

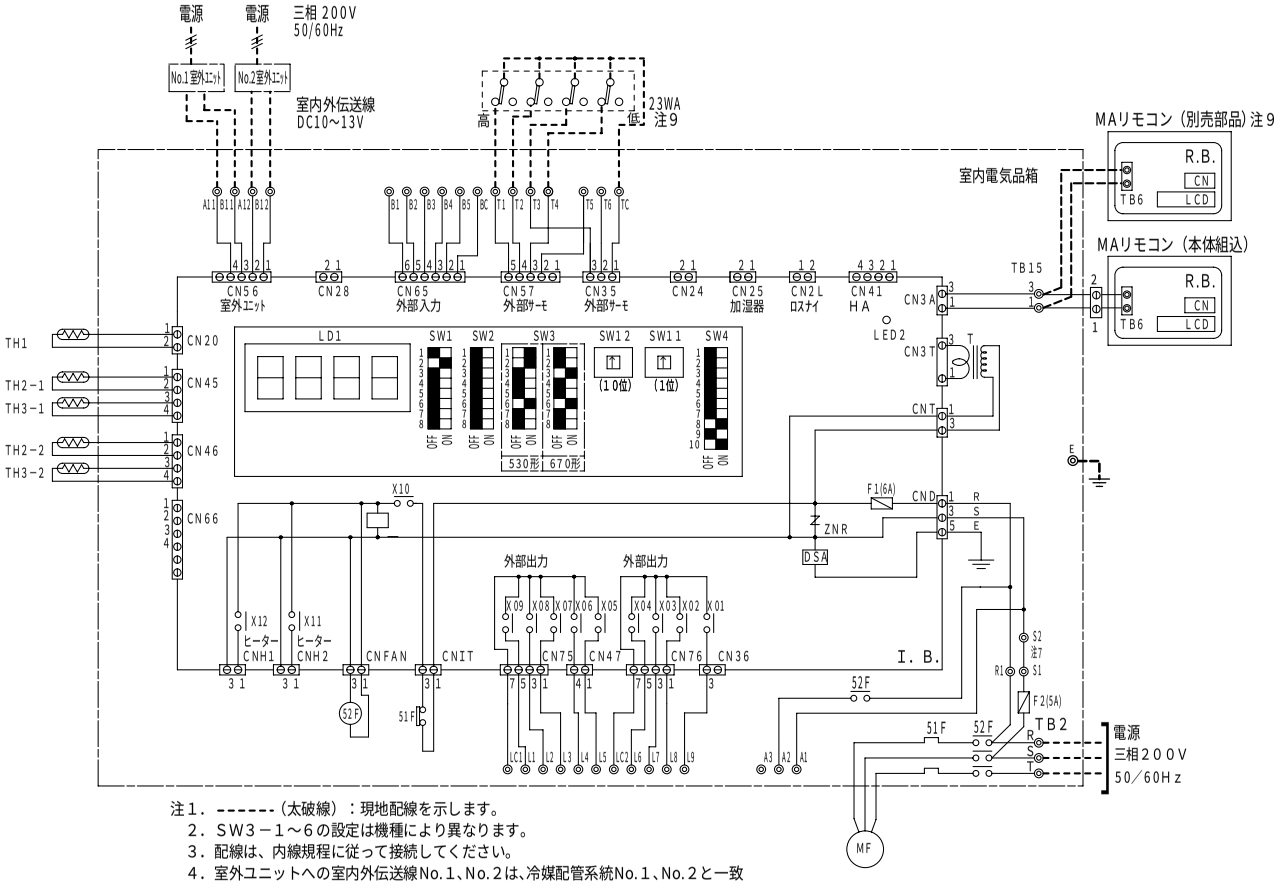
	167形	265形	335形
開閉器	15A	15A	15A
過電流保護器	15A	15A	15A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上	1.6mm以上

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	LD1	発光ダイオード（表示）
51F	熱動過電流継電器	LED2	発光ダイオード（リモコン給電）
52F	補助継電器（送風機用）	TH1	サーミスター（吸込み空気温度）
TB2	電源端子台	TH2－1	サーミスター（1熱交液管温度）
TB15	MAリモコン用端子台	TH3－1	サーミスター（1熱交二相管温度）
I. B.	室内制御基板	SW1（I.B）	スイッチ（機種設定）
ZNR	バリスター	SW2（I.B）	スイッチ（自己診断）
CN25	コネクター（加湿器）	SW3（I.B）	スイッチ（能力設定）
CN41	コネクター（HA）	SW4（I.B）	スイッチ（機能切換）
CNH1	コネクター（暖房ヒーター1）	SW11（I.B）	スイッチ（ｱﾄﾞﾚｽ設定用1の位）
CNH2	コネクター（暖房ヒーター2）	SW12（I.B）	スイッチ（ｱﾄﾞﾚｽ設定用10の位）
CNIT	コネクター（51F）	R. B.	リモコン基板
CNFAN	コネクター（52F）	CN	コネクター（別売スケジュールタイマー）
CN2L	コネクター（ロスナイ）	TB6	端子台（室内ユニット接続）
T	トランス	LCD	液晶表示器
F1,F2	ヒューズ	DSA	アレスター
X01～X12	補助継電器（室内基板内）	23WA	温度調節器（現地手配）
E	アース端子		

外部接続端子の説明　※暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーター（蒸気・温水ヒーター）を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル接点入力 回路電圧 :DC12V	B1	RC／遠方切換え	ONでRC操作になります。	微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号をﾘﾚｰ受けして基板に入力してください。 推奨ﾘﾚｰ:微小電流用ｵﾑﾛﾝ製MY形 ・本体制御箱内にリレー取付ｽﾍﾟｰｽがありますので制御箱内に取付けることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。 同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 ・パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 ・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。 詳しくは技術資料を参照ください。
		B2	冷房運転ON－OFF	・B2～B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON－OFF		
		B4	送風運転ON－OFF		
		B5	自動運転できません		
		BC	B1～B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル接点入力 回路電圧 :DC12V	T1	冷房高段・暖房低段	・外部サーモは接続要領に従って間違いの無いように接続してください。 間違って接続しますと正常に運転しなくなります。 ・T1,T2の順に設定温度が低くなるように配線接続してください。 ・暖房時はT1～T4への入力がOFFでサーモONとなります。	
		T2	冷房低段・暖房高段		
		T3	配線接続しない		
		T4	配線接続しない		
		T5	配線接続しない		
		T6	配線接続しない		
		TC	T1～T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧a接点出力 接点容量 …AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	・出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
		L2	52F ON時出力		
		L3	サーモON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	使用しない		
		LC1	L1～L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力（室内、室外共通）		
		L7	異常出力（室外ユニット）		
		L8	使用しない		
		L9	使用しない		
		LC2	L6～L9端子のコモン端子		



注1．------（太破線）：現地配線を示します。
2．SW3－1～6の設定は機種により異なります。
3．配線は、内線規程に従って接続してください。
4．室外ユニットへの室内外伝送線No.1、No.2は、冷媒配管系統No.1、No.2と一致するよう確実に配線してください。
5．◎印は端子台、⊖印はコネクターを示します。
6．停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON（有効）にしてください。
標準出荷時は、OFF（無効）となっています。
但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
7．緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
8．DIPSWの設定は、標準仕様を示します。受注仕様または現地にて設定変更した場合、本図とは異なることがあります。
9．室内温度調節のため下表に示す①または②の内容を実施ください。

	内容	SW設定の変更
①	温度調節器23WA（現地手配）を接続する。	DIPSW 1-6 をONにしてください。
②	リモコン（別売部品）を接続し、室内に設置してそのリモコンサーモを使用する。	DIPSW 4-2 をONにしてください。
		本体取付のﾘﾓｺﾝを”従”、室内に設置するリモコンを”主”に設定してください。詳しくは据付説明書およびリモコンの取付説明書を参照ください。

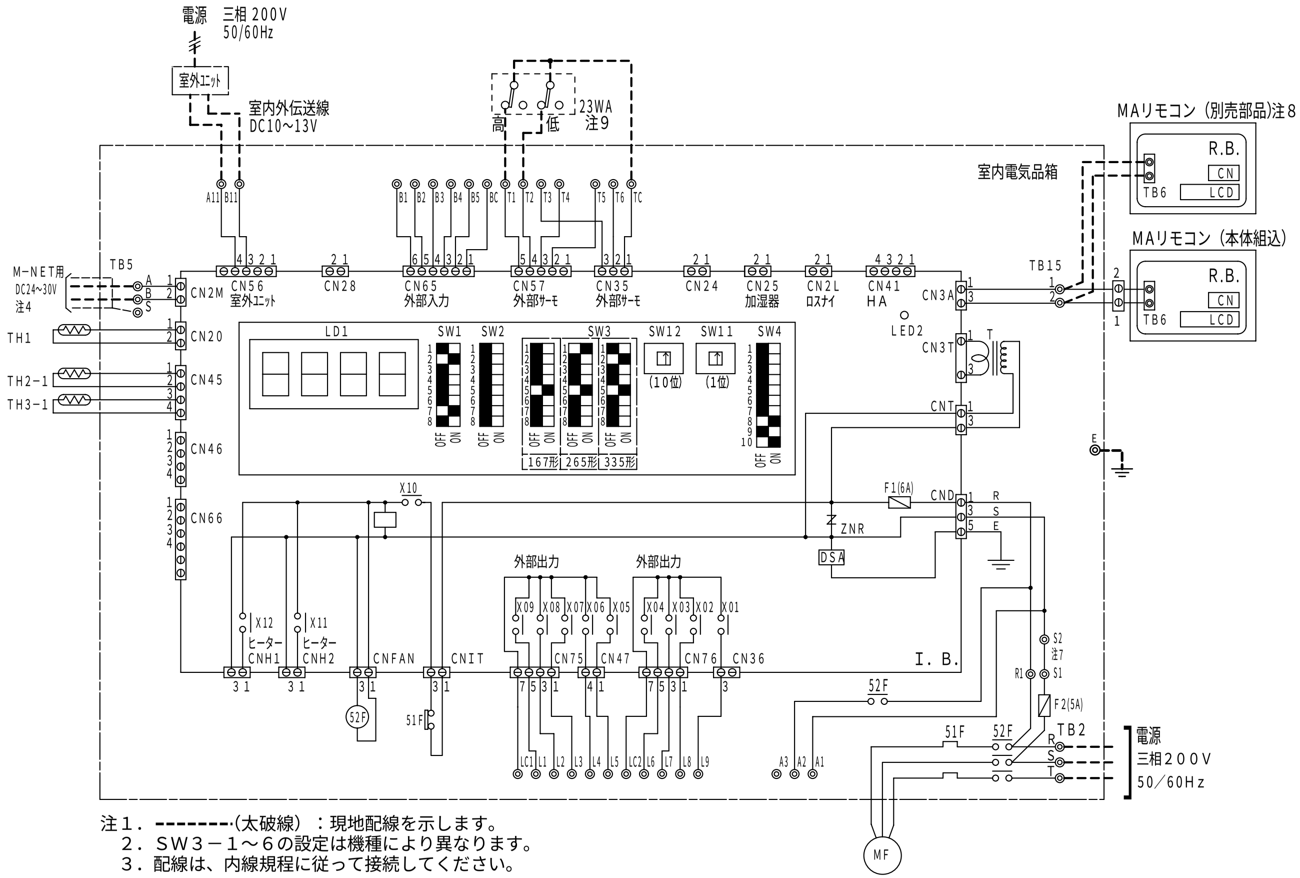
記 号 説 明

記　号	名　　称	記　号	名　　称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスター（吸込み空気温度）
51F	熱動過電流継電器	TH2－1	サーミスター（No.1熱交液管温度）
52F	補助継電器（送風機用）	TH2－2	サーミスター（No.2熱交液管温度）
TB2	電源端子台	TH3－1	サーミスター（No.1熱交二相管温度）
TB15	MAリモコン用端子台	TH3－2	サーミスター（No.2熱交二相管温度）
I. B.	室内制御基板	SW1（IB）	スイッチ（機種設定）
ZNR	バリスター	SW2（IB）	スイッチ（自己診断）
CN25	コネクター（加湿器）	SW3（IB）	スイッチ（能力設定）
CN41	コネクター（HA）	SW4（IB）	スイッチ（機能切換）
CNH1	コネクター（暖房ヒーター1）	SW11（IB）	スイッチ（ｱﾄﾞﾚｽ設定用1の位）
CNH2	コネクター（暖房ヒーター2）	SW12（IB）	スイッチ（ｱﾄﾞﾚｽ設定用10の位）
CNIT	コネクター（51F）	R. B.	リモコン基板
CNFAN	コネクター（52F）	CN	コネクター（別売スケジュールタイマー）
CN2L	コネクター（ロスナイ）	TB6	端子台（室内ユニット接続）
T	トランス	LCD	液晶表示器
F1,F2	ヒューズ	DSA	アレスター
X01～X12	補助継電器（室内基板内）	23WA	温度調節器（現地手配）
LD1	発光ダイオード（表示）	E	アース端子
LED2	発光ダイオード（リモコン給電）		

外部接続端子の説明　※暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーター（蒸気・温水ヒーター）を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル接点入力回路電圧:DC12V	B1	RC／遠方切換え	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号をﾘﾚｰ受けして基板に入力してください。 推奨ﾘﾚｰ:微小電流用ｶﾚﾝﾄﾞ製MY形 ・本体制御箱内にリレー取付ｽﾍﾟｰｽがありますので制御箱内に取付けることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。 同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 ・パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 ・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。 詳しくは技術資料を参照ください。
		B2	冷房運転ON－OFF	・B2～B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON－OFF		
		B4	送風運転ON－OFF		
		B5	自動運転できません		
		BC	B1～B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル接点入力回路電圧:DC12V	T1	冷房高段2・暖房高段2	・外部サーモは接続要領に従って間違いの無いように接続してください。間違って接続しますと正常に運転しなくなります。 ・T1,T2,T3,T4の順に設定温度が低くなるように配線接続してください。 ・暖房時はT1～T4への入力がOFFでサーモONとなります。	
		T2	冷房高段1・暖房高段2		
		T3	冷房低段2・暖房低段2		
		T4	冷房低段1・暖房低段1		
		T5	配線接続しない		
		T6	配線接続しない		
		TC	T1～T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧a接点出力 接点容量…AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	・出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
		L2	52F ON時出力		
		L3	サーモ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	使用しない		
		LC1	L1～L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力（室内、室外共通）		
		L7	異常出力（No.1室外ユニット）		
		L8	異常出力（No.2室外ユニット）		
		L9	使用しない		
		LC2	L6～L9端子のコモン端子		

●PFAK-P167,265,335AWM-A-F



注1．‐‐‐‐‐‐‐‐(太破線)：現地配線を示します。
2．SW3－1～6の設定は機種により異なります。
3．配線は、内線規程に従って接続してください。
4．M-NET接続時には、必ず伝送線用給電ユニット（別売）が必要です。
5．◎印は端子台、⊖印はコネクターを示します。
6．停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON（有効）にしてください。標準出荷時は、OFF（無効）となっています。但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
7．緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
8．DIPSWの設定は、標準仕様を示します。受注仕様または現地にて設定変更した場合、本図とは異なることがあります。
9．室内温度調節のため下表に示す①または②の内容を実施ください。

	内容	SW設定の変更
①	温度調節器23WA（現地手配）を接続する。	DIPSW 1-6 をONにしてください。
②	リモコン（別売部品）を接続し、室内に設置してそのリモコンサーモを使用する。	DIPSW 4-2 をONにしてください。 本体取付のリモコンを"従"、室内に設置するリモコンを"主"に設定してください。 詳しくは据付説明書およびリモコンの取付説明書を参照ください。

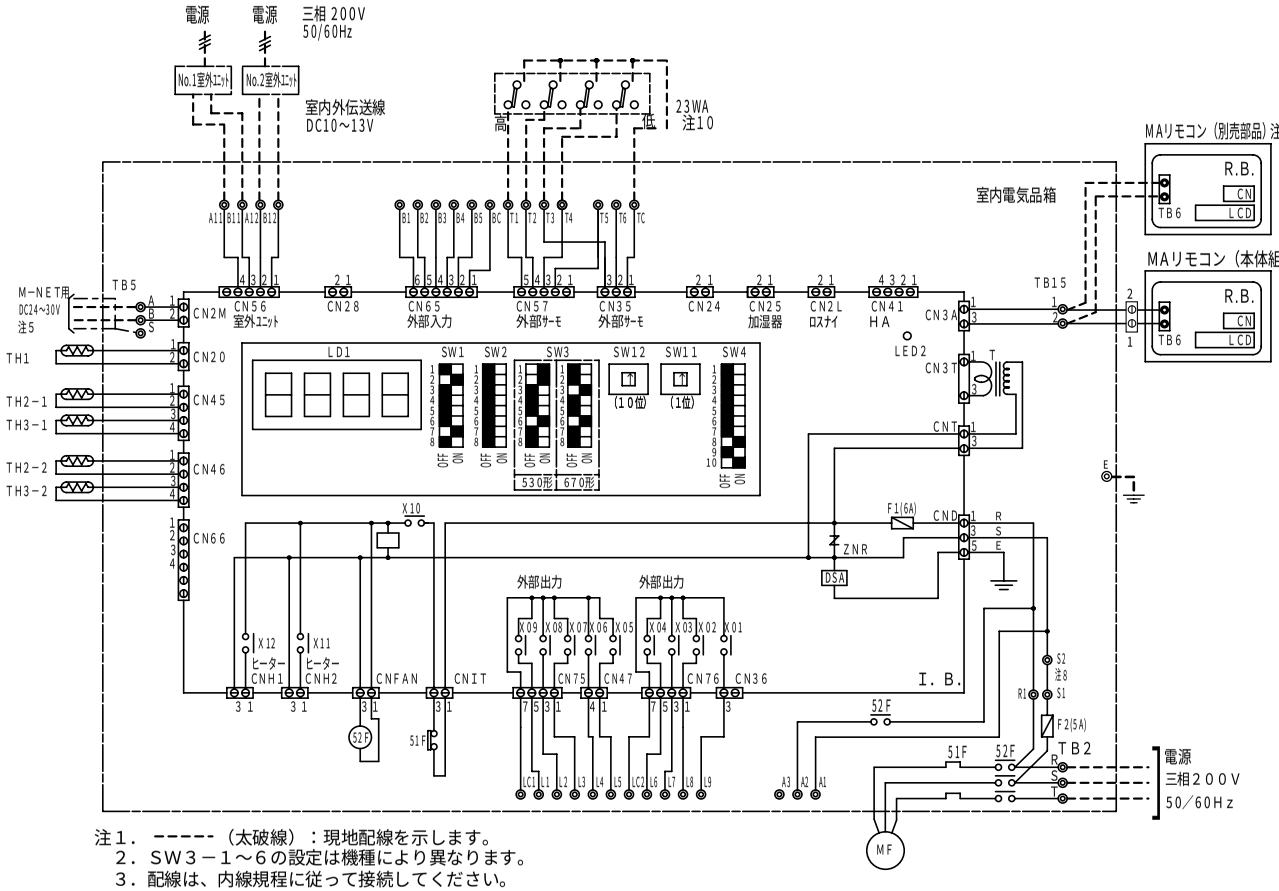
記 号 説 明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	LD1	発光ダイオード（表示）
51F	熱動過電流継電器	LED2	発光ダイオード（リモコン給電）
52F	補助継電器（送風機用）	TH1	サーミスター（吸込み空気温度）
TB2	電源端子台	TH2－1	サーミスター（1熱交液管温度）
TB5	集中管理用,M-NETリモコン伝送端子台	TH3－1	サーミスター（1熱交二相管温度）
TB15	MAリモコン用端子台	SW1（I.B）	スイッチ（機種設定）
I．B．	室内制御基板	SW2（I.B）	スイッチ（自己診断）
ZNR	バリスター	SW3（I.B）	スイッチ（能力設定）
CN25	コネクター（加湿器）	SW4（I.B）	スイッチ（機能切換）
CN41	コネクター（HA）	SW11（I.B）	スイッチ（アドレス設定用1の位）
CNH1	コネクター（暖房ヒーター1）	SW12（I.B）	スイッチ（アドレス設定用10の位）
CNH2	コネクター（暖房ヒーター2）	R．B．	リモコン基板
CNIT	コネクター（51F）	CN	コネクター（別売スケジュールタイマー）
CNFAN	コネクター（52F）	TB6	端子台（室内ユニット接続）
CN2L	コネクター（ロスナイ）	LCD	液晶表示器
T	トランス	DSA	アレスター
F1,F2	ヒューズ	23WA	温度調節器（現地手配）
X01～X12	補助継電器（室内基板内）	E	アース端子

外部接続端子の説明 ※暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーター（蒸気・温水ヒーター）を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル接点入力 回路電圧:DC12V	B1	RC／遠方切換え	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号をリレー受けして基板に入力してください。推奨リレー:微小電流用オムロン製MY形・本体制御箱内にリレー取付スペースがありますので制御箱内に取付けることが可能です。・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。・パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
		B2	冷房運転ON－OFF	・B2～B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON－OFF		
		B4	送風運転ON－OFF		
		B5	自動運転できません		
		BC	B1～B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル接点入力 回路電圧:DC12V	T1	冷房高段・暖房低段	・外部サーモは接続要領に従って間違いの無いように接続してください。間違って接続しますと正常に運転しなくなります。・T1,T2の順に設定温度が低くなるように配線接続してください。・暖房時はT1～T4への入力がOFFでサーモONとなります。	
		T2	冷房低段・暖房高段		
		T3	配線接続しない		
		T4	配線接続しない		
		T5	配線接続しない		
		T6	配線接続しない		
		TC	T1～T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧a接点出力 接点容量…AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	・出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
		L2	52F ON時出力		
		L3	サーモ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	使用しない		
		LC1	L1～L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力（室内、室外共通）		
		L7	異常出力（室外ユニット）		
		L8	使用しない		
		L9	使用しない		
		LC2	L6～L9端子のコモン端子		

●PFAK-P530,670AWM-A-F



注１．－－－－－（太破線）：現地配線を示します。
２．ＳＷ３－１～６の設定は機種により異なります。
３．配線は、内線規程に従って接続してください。
４．室外ユニットへの室内外伝送線No.１、No.２は、冷媒配管系統No.１、No.２と一致するよう確実に配線してください。
５．M-NET接続時には、必ず伝送線用給電ユニット（別売）が必要です。
６．◎印は端子台、㊀印はコネクターを示します。
７．停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON（有効）にしてください。標準出荷時は、OFF（無効）となっています。但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
８．緊急停止入力は、室内ユニット端子台Ｓ1-Ｓ2間の短絡線を外して、そこに緊急停止ＳＷなどを配線接続してください。
９．DIPSWの設定は、標準仕様を示します。受注仕様または現地にて設定変更した場合、本図とは異なることがあります。
１０．室内温度調節のため下表に示す①または②の内容を実施ください。

	内容	ＳＷ設定の変更
①	温度調節器23WA（現地手配）を接続する。	DIPSW 1-6 をONにしてください。
②	リモコン（別売部品）を接続し、室内に設置してそのリモコンサーモを使用する。	DIPSW 4-2 をONにしてください。 本体取付のﾘﾓｺﾝを”従”、室内に設置するリモコンを”主”に設定してください。 詳しくは据付説明書およびリモコンの取付説明書を参照ください。

記　号　説　明

記　号	名　　称	記　号	名　　称
MF	送風機用電動機	ＴＨ１	サーミスター（吸込み空気温度）
51F	熱動過電流継電器	ＴＨ２－１	サーミスター（No.１熱交液管温度）
52F	補助継電器（送風機用）	ＴＨ２－２	サーミスター（No.２熱交液管温度）
TB2	電源端子台	ＴＨ３－１	サーミスター（No.１熱交二相管温度）
TB5	集中管理用,M-NETﾘﾓｺﾝ伝送端子台	ＴＨ３－２	サーミスター（No.２熱交二相管温度）
TB15	MAリモコン用端子台	ＳＷ１（ΣB）	スイッチ（機種設定）
Ｉ．Ｂ．	室内制御基板	ＳＷ２（ΣB）	スイッチ（自己診断）
ZNR	バリスター	ＳＷ３（ΣB）	スイッチ（能力設定）
CN25	コネクター（加湿器）	ＳＷ４（ΣB）	スイッチ（機能切換）
CN41	コネクター（HA）	ＳＷ１１（ΣB）	スイッチ（ｱﾄﾞﾚｽ設定用１の位）
CNH1	コネクター（暖房ヒーター１）	ＳＷ１２（ΣB）	スイッチ（ｱﾄﾞﾚｽ設定用１０の位）
CNH2	コネクター（暖房ヒーター２）	Ｒ．Ｂ．	リモコン基板
CNIT	コネクター（５１Ｆ）	ＣＮ	コネクター（別売スケジュールタイマー）
CNFAN	コネクター（５２Ｆ）	ＴＢ６	端子台（室内ユニット接続）
CN2L	コネクター（ロスナイ）	ＬＣＤ	液晶表示器
T	トランス	ＤＳＡ	アレスター
F1,F2	ヒューズ	２３ＷＡ	温度調節器（現地手配）
X01～X12	補助継電器（室内基板内）	Ｅ	アース端子
LD1	発光ダイオード（表示）		
LED2	発光ダイオード（リモコン給電）		

外部接続端子の説明　※暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーター（蒸気・温水ヒーター）を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル接点入力回路電圧:DC12V	Ｂ１	ＲＣ／遠方切換え	ONでRC操作になります。 ・Ｂ２～Ｂ５端子は必ず１端子のみに入力してください。２端子以上入力しますとユニットは停止します。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長１００ｍを超える場合(Max200mまで)は、必ず１００ｍ以内で現地信号をﾘﾚｰ受けして基板に入力してください。 推奨ﾘﾚｰ:微小電流用ﾀｲﾌﾟ製ＭＹ形 ・本体制御箱内にリレー取付ｽﾍﾟｰｽがありますので制御箱内に取付けることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。 同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 ・パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 ・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。 詳しくは技術資料を参照ください。
		Ｂ２	冷房運転ＯＮ－ＯＦＦ		
		Ｂ３	暖房運転ＯＮ－ＯＦＦ		
		Ｂ４	送風運転ＯＮ－ＯＦＦ		
		Ｂ５	自動運転できません		
		ＢＣ	Ｂ１～Ｂ５端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル接点入力回路電圧:DC12V	Ｔ１	冷房高段２・暖房高段２	・外部サーモは接続要領に従って間違いの無いように接続してください。間違って接続しますと正常に運転しなくなります。 ・Ｔ１,Ｔ２,Ｔ３,Ｔ４の順に設定温度が低くなるように配線接続して下さい。 ・Ｔ１～Ｔ４への入力がOFFでサーモONとなります。	
		Ｔ２	冷房高段１・暖房高段１		
		Ｔ３	冷房低段２・暖房低段２		
		Ｔ４	冷房低段１・暖房低段１		
		Ｔ５	配線接続しない		
		Ｔ６	配線接続しない		
		ＴＣ	Ｔ１～Ｔ６端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧ａ接点出力 接点容量…AC200V 2.5A	Ｌ１	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のａ接点出力をします。	・出力のａ接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
		Ｌ２	５２Ｆ ＯＮ時出力		
		Ｌ３	サーモ ＯＮ時出力		
		Ｌ４	暖房運転時出力		
		Ｌ５	使用しない		
		ＬＣ１	Ｌ１～Ｌ５端子のコモン端子		
		Ｌ６	異常出力（室内、室外共通）		
		Ｌ７	異常出力（No.１室外ユニット）		
		Ｌ８	異常出力（No.２室外ユニット）		
		Ｌ９	使用しない		
		ＬＣ２	Ｌ６～Ｌ９端子のコモン端子		

〈4〉冷房・暖房能力特性

（1）冷房・暖房能力の求め方

冷房・暖房能力を求めるには、定格性能値表より算出してください。
①算出例
a.室内・室外組合せシステム　50Hz地区
■室外ユニット　PUHK-P280AW-A×2台
■室内ユニット　PFAK-P560AW-A
b.定格性能値表より（50Hz地区）、

室内容量	能力(kW)		入力(kW)	
	冷房	暖房	冷房	暖房
560	50.0	60.0	18.08	18.39

定格性能値表はJIS B8615-2の標準条件で、冷媒配管長5mにおける値です。
JIS B8615-2標準条件　冷房：室内側　乾球温度27℃　湿球温度19℃　室外側　乾球温度35℃
暖房：室内側　乾球温度20℃　室外側　乾球温度7℃
湿球温度6℃
したがって、運転条件が異なる場合は、次ページ以降の各種能力補正を行ってください。
c.補正後の冷房・暖房能力の求め方
■補正後の能力（kW）＝定格能力　×　能力補正係数（温度、配管長、霜取補正係数）

●PF(H)K-P140AW(M)-A
●PF(H)K-P224,280,450,560,630,800AW(M)(U)-A
●PF(H)K-P1120,1400AW(M)(U)-A-L,R

【 冷房定格性能値 ＜50Hz/60Hz＞ 】

形名＼項目	冷房能力 <kW>	入　力 <kW>
PF(H)K-P140AW(M)-A	12.5/14.0	5.10/6.15
PF(H)K-P224AW(M)(U)-A	20.0/22.4	7.91/9.55
PF(H)K-P280AW(M)(U)-A	25.0/28.0	9.68/11.81
PF(H)K-P450AW(M)(U)-A	40.0/45.0	14.54/18.00
PF(H)K-P560AW(M)(U)-A	50.0/56.0	18.08/23.10
PF(H)K-P630AW(M)(U)-A	60.0/67.0	23.46/28.94
PF(H)K-P800AW(M)(U)-A	75.0/84.0	29.70/37.06
PF(H)K-P1120AW(M)(U)-A-L,R	100.0/112.0	40.34/50.40
PF(H)K-P1400AW(M)(U)-A-L,R	125.0/140.0	50.40/62.70

●PFHK-P140AW(M)-A
●PFHK-P224,280,450,560,630,800AW(M)(U)-A
●PFHK-P1120,1400AW(M)(U)-A-L,R

【 暖房定格性能値 ＜50Hz/60Hz＞ 】

形名＼項目	暖房能力 <kW>	入　力 <kW>
PFHK-P140AW(M)-A	15.0/17.0	4.78/5.89
PFHK-P224AW(M)(U)-A	23.6/26.5	7.79/10.02
PFHK-P280AW(M)(U)-A	30.0/33.5	9.34/11.77
PFHK-P450AW(M)(U)-A	47.5/53.0	15.02/19.85
PFHK-P560AW(M)(U)-A	60.0/67.0	18.39/23.67
PFHK-P630AW(M)(U)-A	71.0/80.0	23.10/30.35
PFHK-P800AW(M)(U)-A	90.0/100.0	28.68/36.94
PFHK-P1120AW(M)(U)-A-L,R	120.0/134.0	38.98/50.24
PFHK-P1400AW(M)(U)-A-L,R	150.0/167.0	48.70/62.50

（2）能力・入力補正

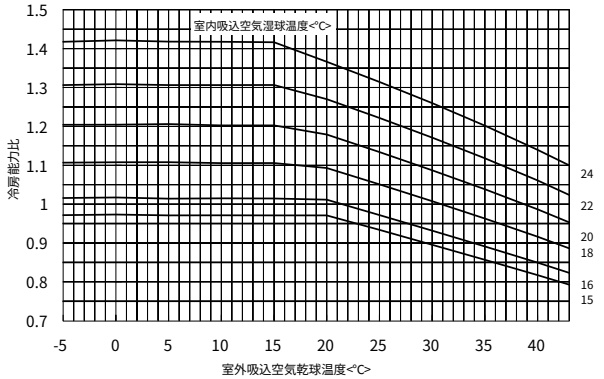
(a) 標準タイプ〈PF(H)K形〉

●PF(H)K-P140AW(M)-A

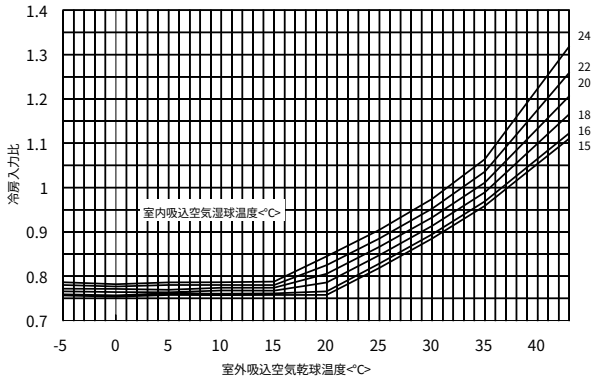
冷房

50Hz

■冷房能力補正

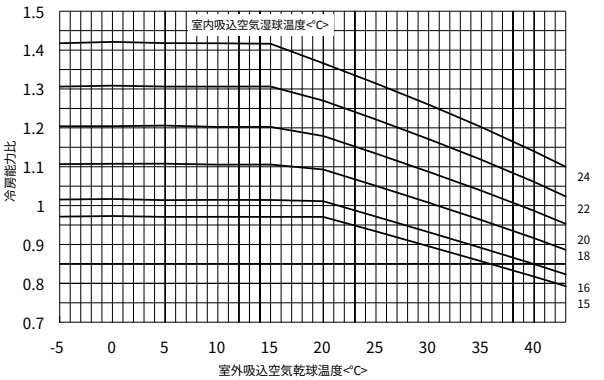


■冷房入力補正

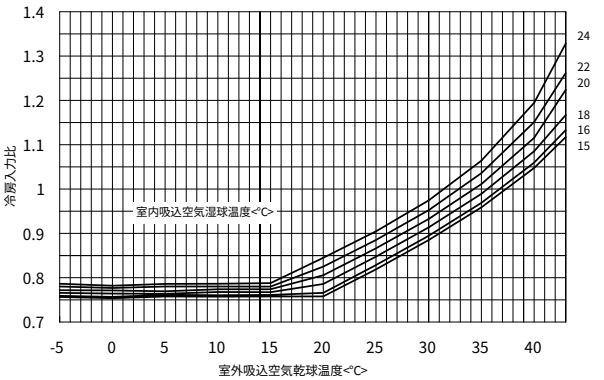


60Hz

■冷房能力補正



■冷房入力補正



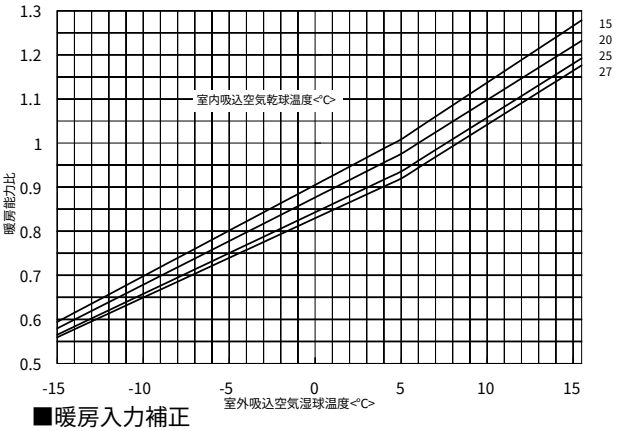
※能力値・入力値は、P1-177の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

●PFHK-P140AW(M)-A

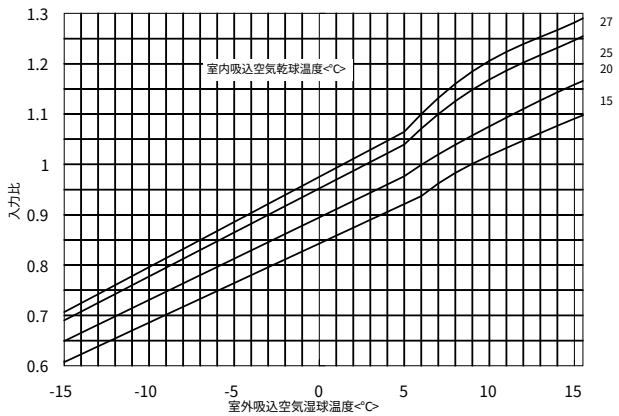
暖房

50Hz

■暖房能力補正

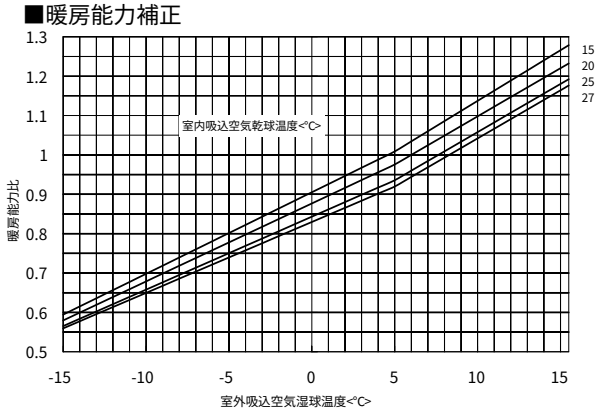


■暖房入力補正

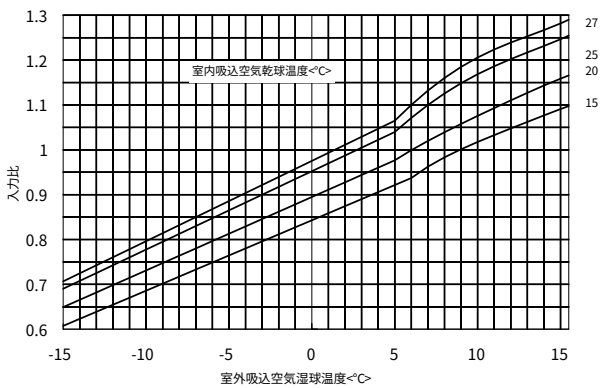


60Hz

■暖房能力補正



■暖房入力補正

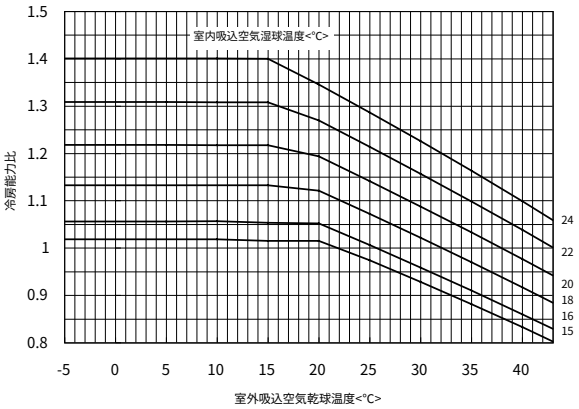


※能力値・入力値は、P1-177の暖房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

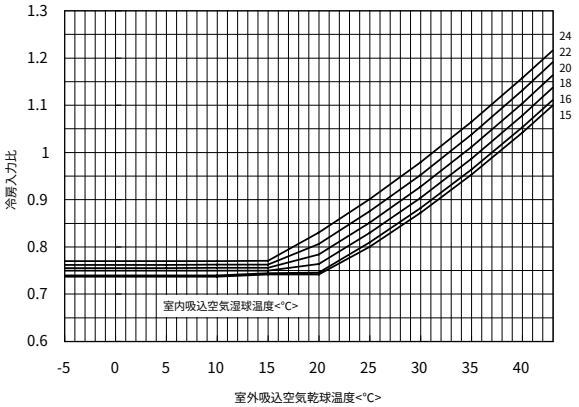
●PF(H)K-P224,450,630AW(M)(U)-A
冷房

50Hz

■冷房能力補正

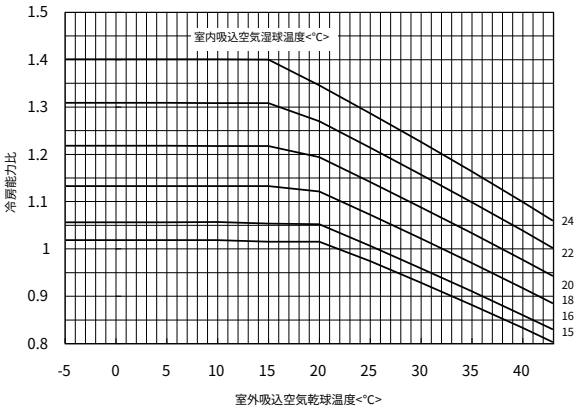


■冷房入力補正

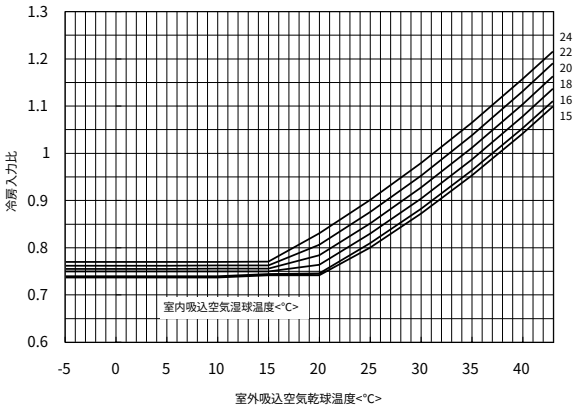


60Hz

■冷房能力補正



■冷房入力補正

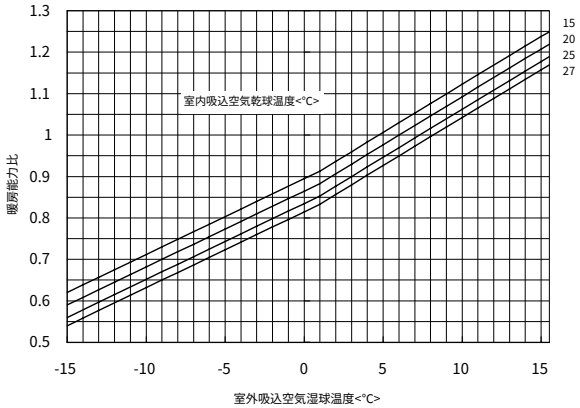


※能力値・入力値は、P1-177の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

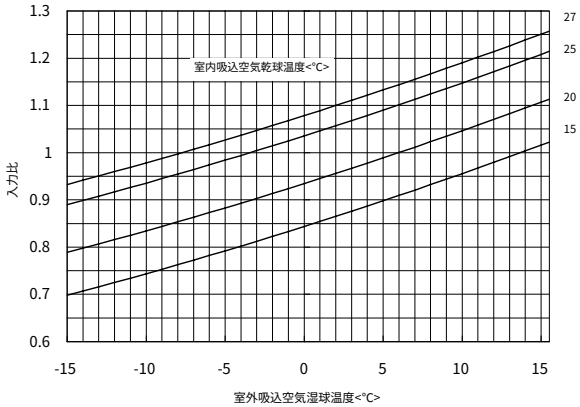
●PFHK-P224,450,630AW(M)(U)-A
暖房

50Hz

■暖房能力補正

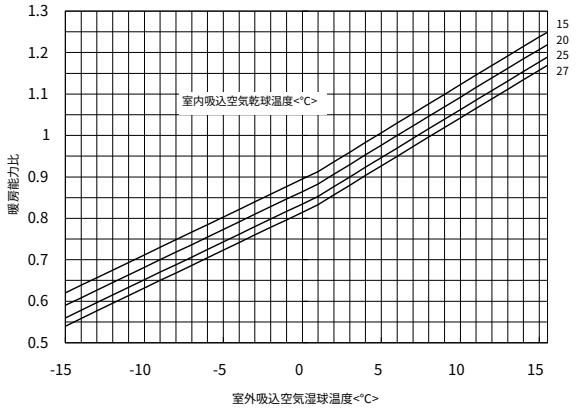


■暖房入力補正

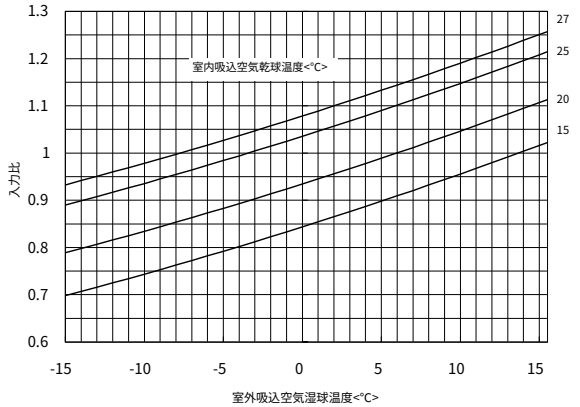


60Hz

■暖房能力補正



■暖房入力補正

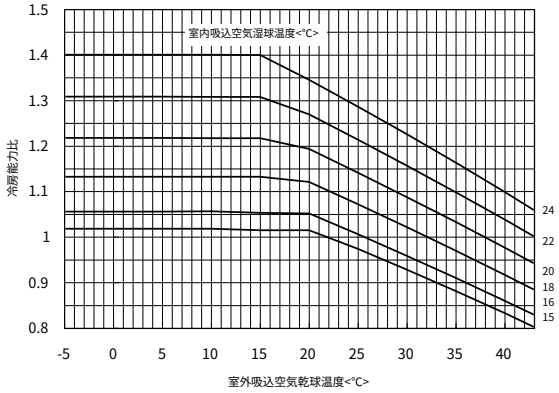


※能力値・入力値は、P1-177の暖房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

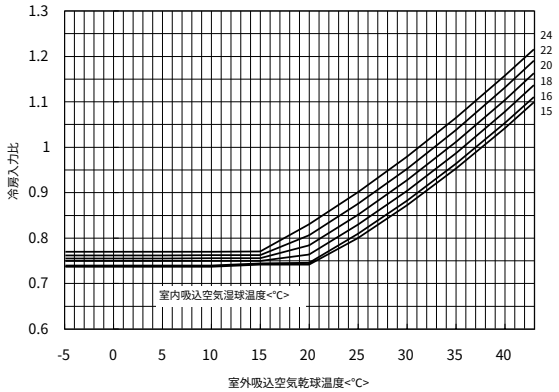
●PF(H)K-P280,560,800,1120,1400AW(M)-A
冷房

50Hz

■冷房能力補正

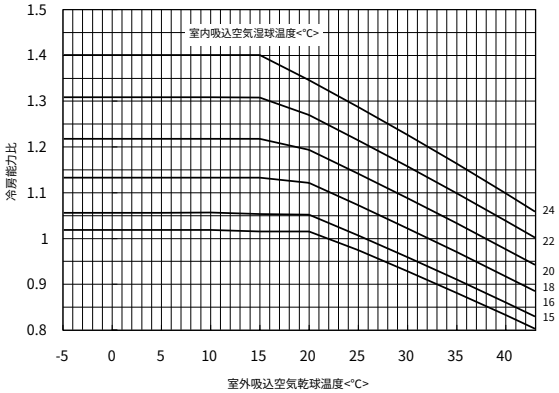


■冷房入力補正

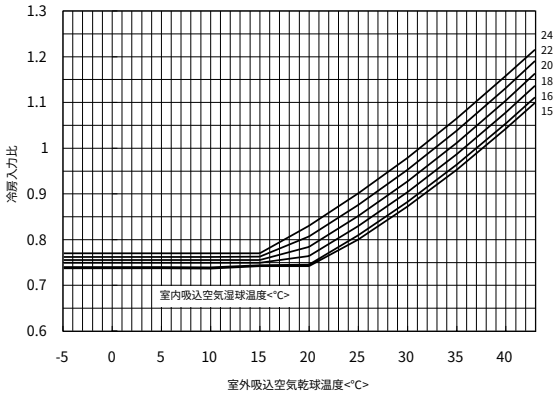


60Hz

■冷房能力補正



■冷房入力補正

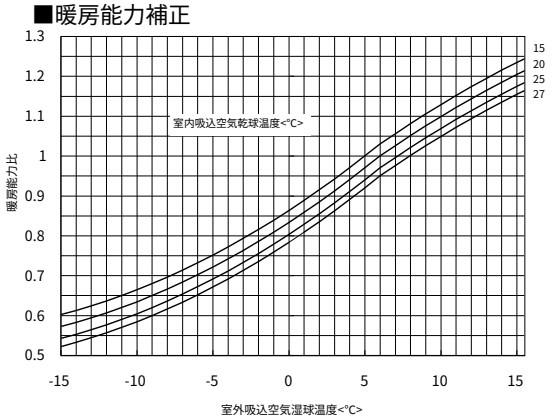


※能力値、入力値は、P1-177の冷房定格性能値にグラフの能力比、入力比を掛けて補正してください。

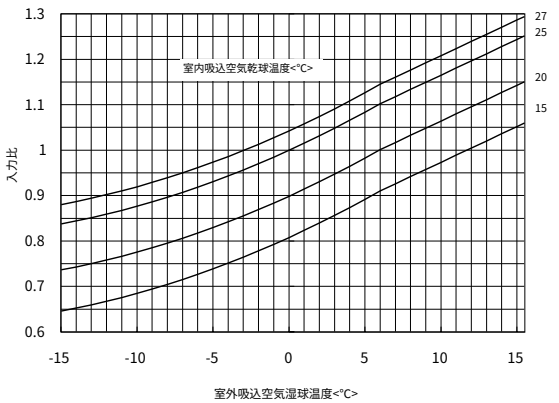
●PFHK-P280,560,800,1120,1400AW(M)(U)-A
暖房

50Hz

■暖房能力補正

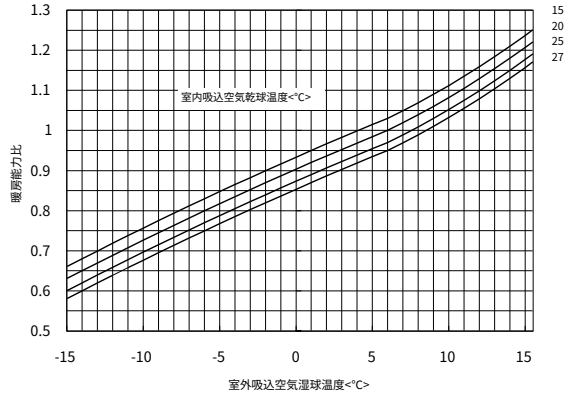


■暖房入力補正

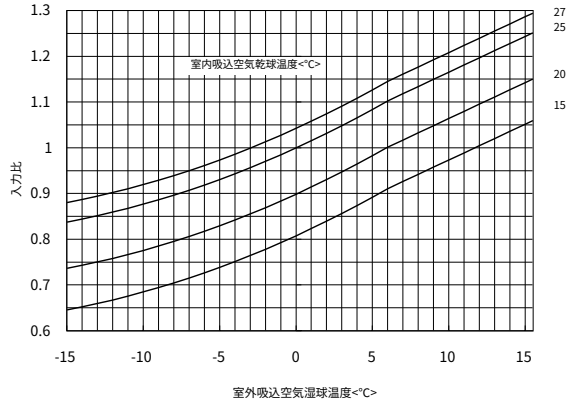


60Hz

■暖房能力補正



■暖房入力補正



※能力値・入力値は、P1-177の暖房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

(b) 中温タイプ〈PFTK形〉

●PFTK-P125AW(M)-A
●PFTK-P200,250,400,500,600,750AW(M)(U)-A
●PFTK-P1000,1250AW(M)(U)-A-L,R

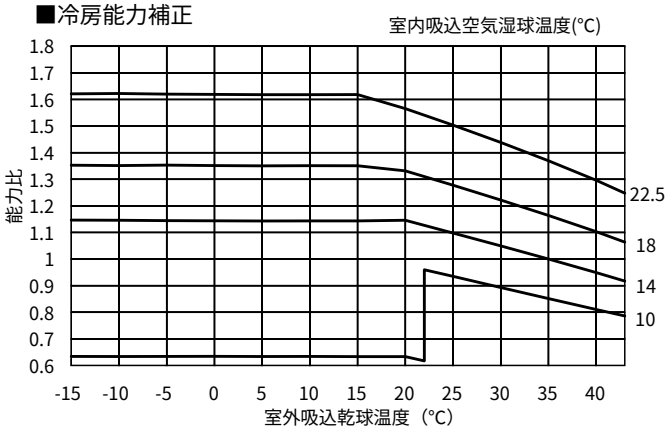
【 冷房定格性能値 ＜50Hz/60Hz＞ 】

形名＼項目	冷房能力 <kW>	入　力 <kW>
PFTK-P125AW(M)-A	11.2/12.5	4.95/6.01
PFTK-P200AW(M)(U)-A	18.0/20.0	7.53/9.05
PFTK-P250AW(M)(U)-A	23.6/25.0	9.10/11.20
PFTK-P400AW(M)(U)-A	36.0/40.0	14.19/17.39
PFTK-P500AW(M)(U)-A	45.0/50.0	18.39/22.50
PFTK-P600AW(M)(U)-A	54.0/60.0	22.33/27.45
PFTK-P750AW(M)(U)-A	67.5/75.0	27.96/35.23
PFTK-P1000AW(M)(U)-A-L,R	90.0/100.0	38.02/47.96
PFTK-P1250AW(M)(U)-A-L,R	112.5/125.0	47.50/59.65

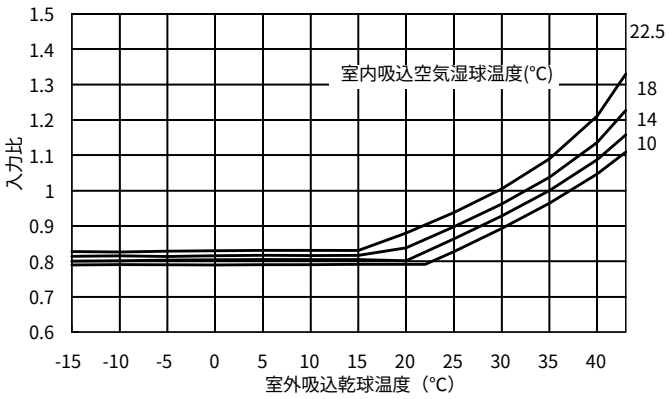
●PFTK-P125AW(M)-A
冷房

50Hz

■冷房能力補正

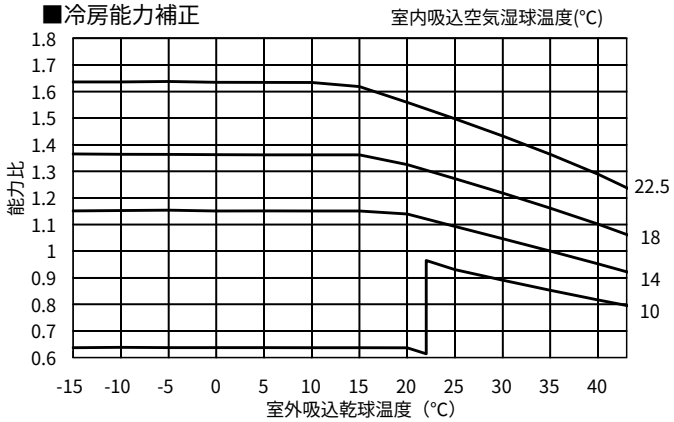


■冷房入力補正

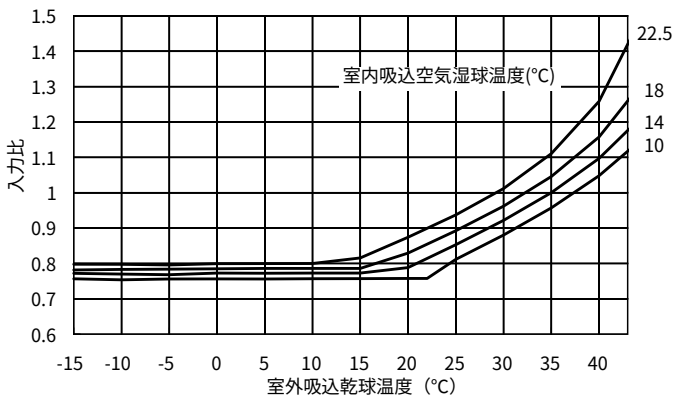


60Hz

■冷房能力補正



■冷房入力補正

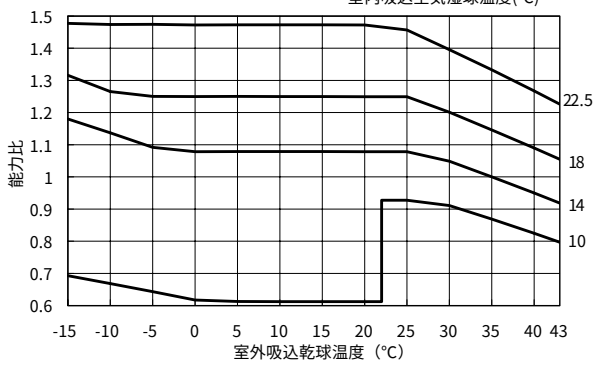


※能力値・入力値は、上記の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

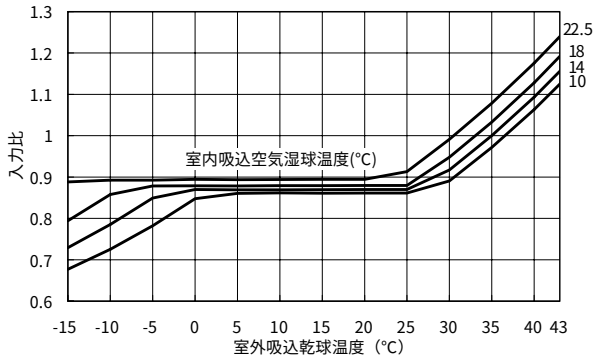
●PFTK-P200,400,600AW(M)(U)-A
冷房

50Hz

■冷房能力補正

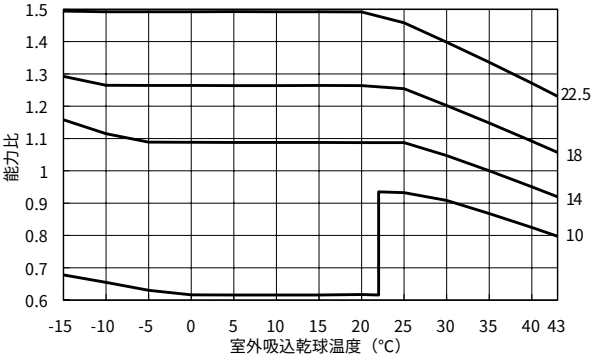


■冷房入力補正

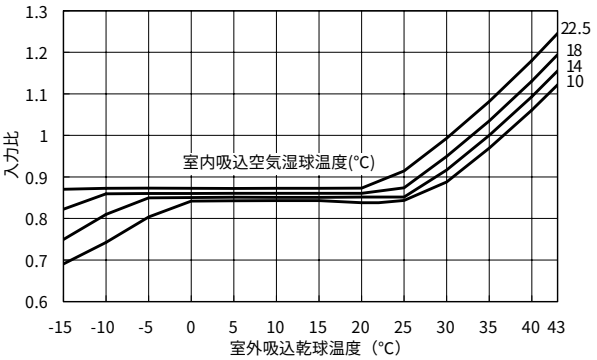


60Hz

■冷房能力補正



■冷房入力補正

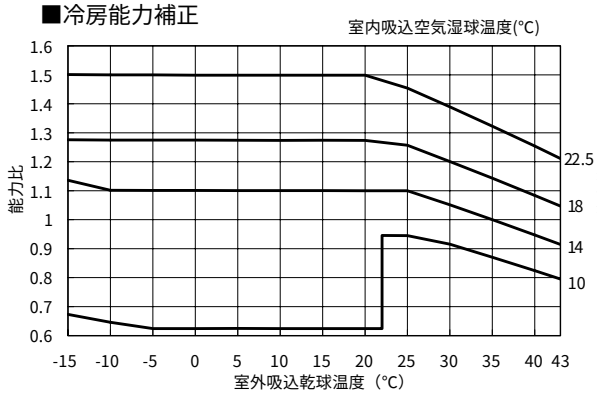


※能力値・入力値は、P1-181の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

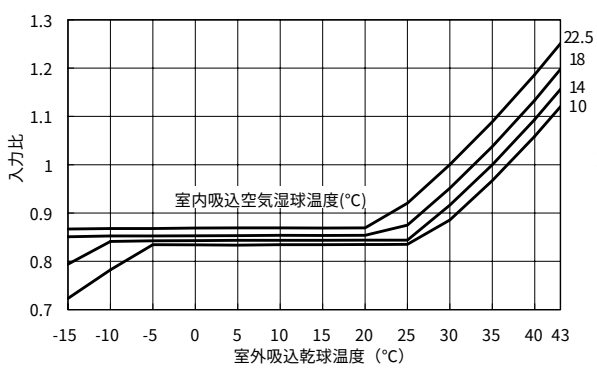
●PFTK-P250,500,750,1000,1250AW(M)(U)-A
冷房

50Hz

■冷房能力補正

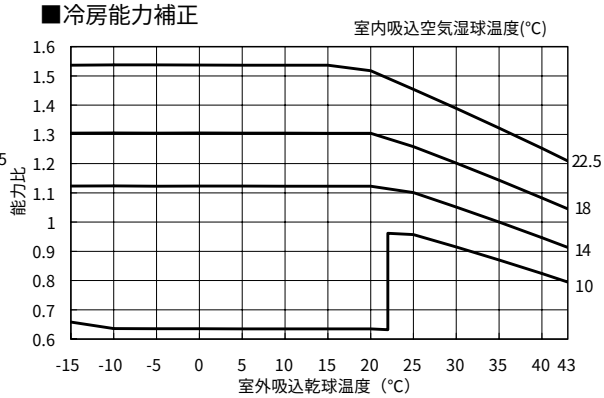


■冷房入力補正

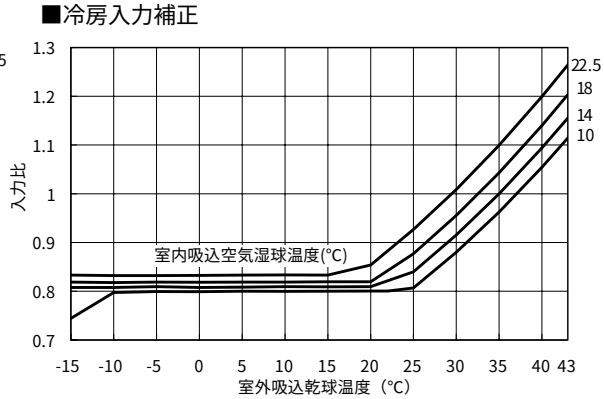


60Hz

■冷房能力補正



■冷房入力補正



※能力値・入力値は、P1-181の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

(c) オールフレッシュタイプ〈PFK-F形〉

●PFK-P167AW(M)-A-F
●PFK-P265,335,530,670AW(M)(U)-A-F

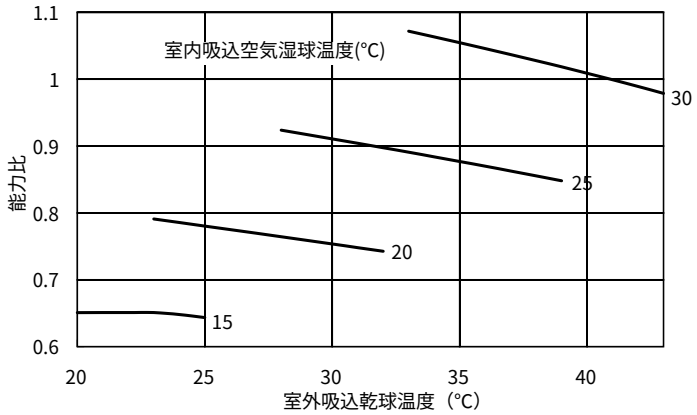
【 冷房定格性能値 ＜50Hz/60Hz＞ 】

形名＼項目	暖房能力 <kW>	入　力 <kW>
PFK-P167AW(M)-A-F	15.0/16.7	4.91/5.99
PFK-P265AW(M)(U)-A-F	23.6/26.5	7.50/9.58
PFK-P335AW(M)(U)-A-F	30.0/33.5	8.90/11.30
PFK-P530AW(M)(U)-A-F	47.2/53.0	14.77/18.84
PFK-P670AW(M)(U)-A-F	60.0/67.0	18.54/22.76

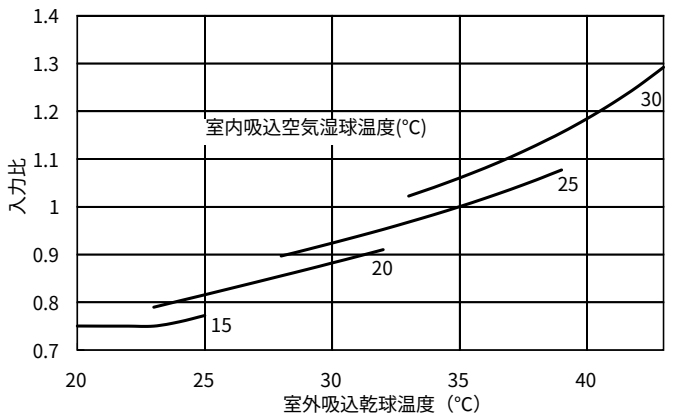
●PFK-P167AW(M)-A
冷房

50Hz

■冷房能力補正

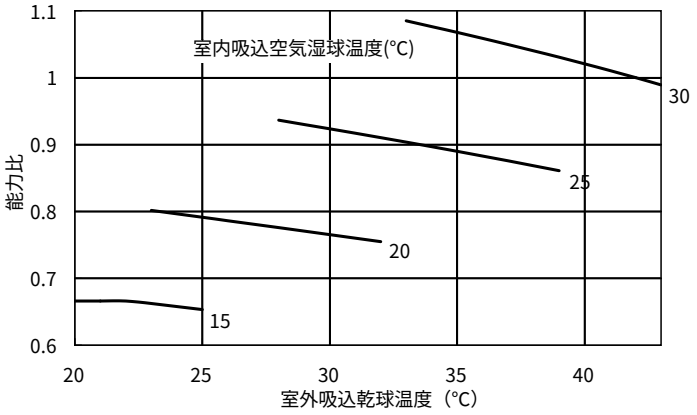


■冷房入力補正

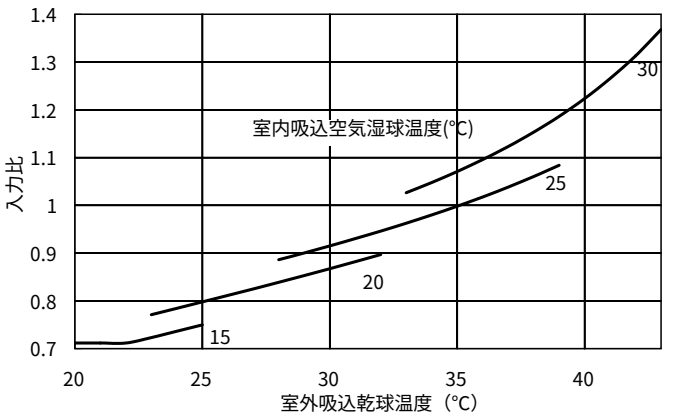


60Hz

■冷房能力補正



■冷房入力補正

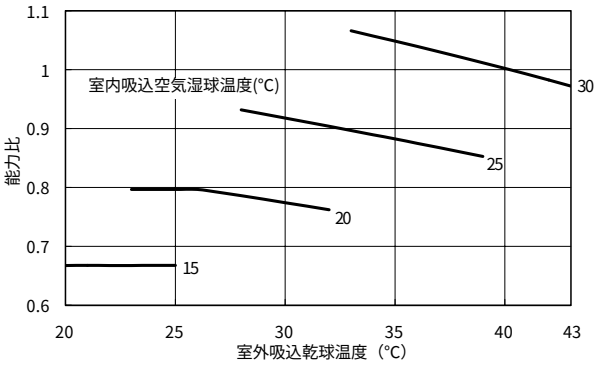


※能力値・入力値は、上記の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

●PFK-P265,530AW(M)(U)-A-F
冷房

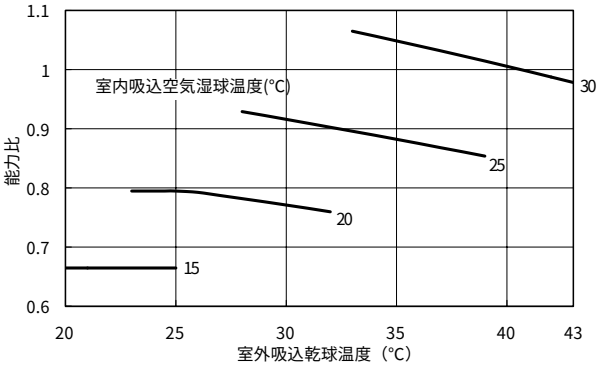
50Hz

■冷房能力補正

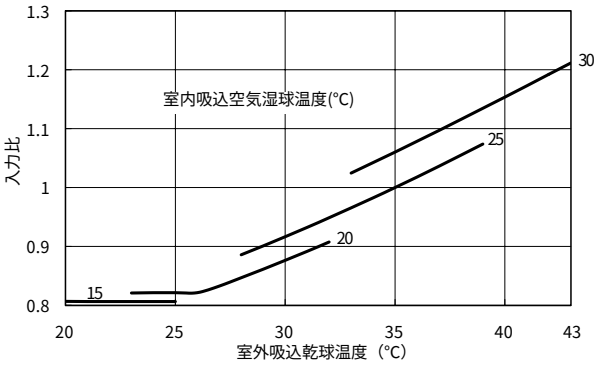


60Hz

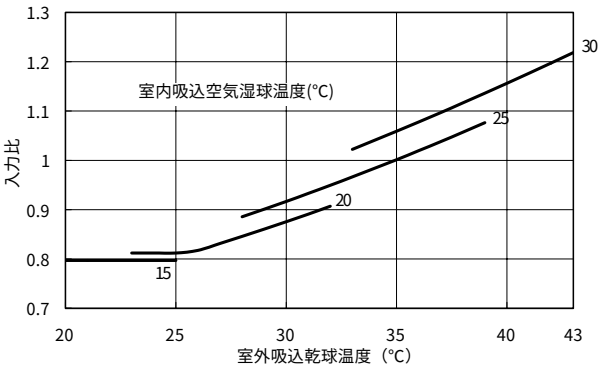
■冷房能力補正



■冷房入力補正



■冷房入力補正

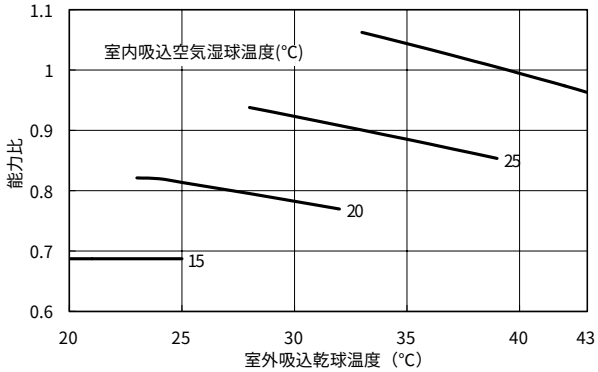


※能力値・入力値は、P1-183の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

●PFK-P335,670AW(M)(U)-A-F
冷房

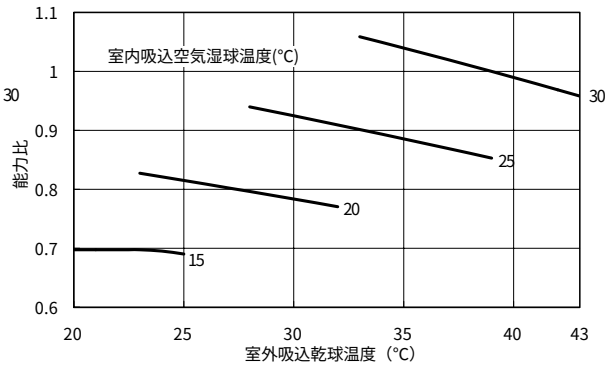
50Hz

■冷房能力補正

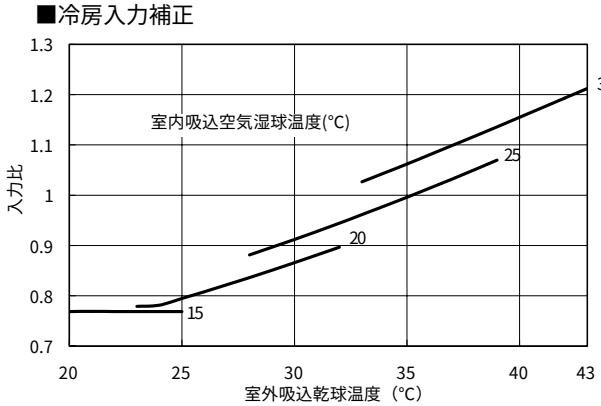


60Hz

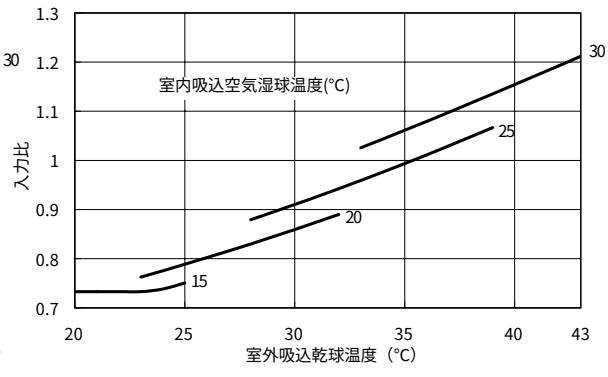
■冷房能力補正



■冷房入力補正



■冷房入力補正



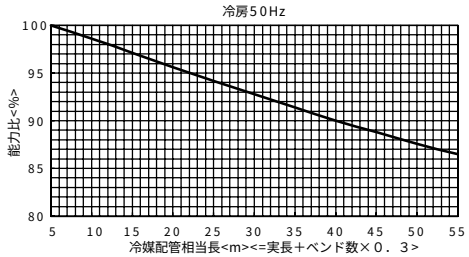
※能力値・入力値は、P1-183の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

（3）冷媒配管長による冷房能力補正係数

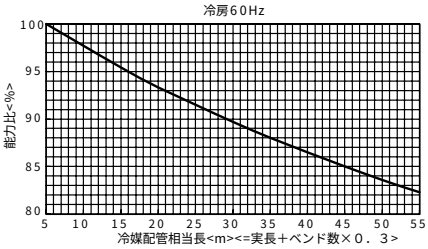
■PU(H)K-P・AW-A（最大62.5m）、PU(H)K-P・UAW-A（最大125m）配管長に対する能力比

●PF(H)K-P140AW(M)-A
●PFTK-P125AW(M)-A
●PFK-P167AW(M)-A-F

50Hz

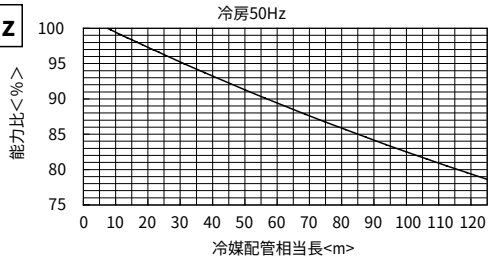


60Hz

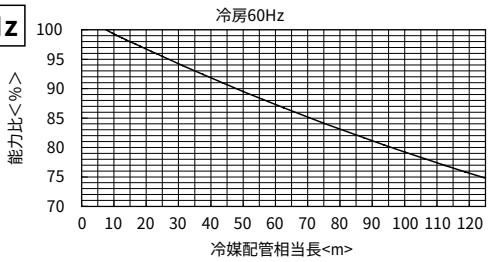


●PF(H)K-P224,450,630AW(M)(U)-A
●PFTK-P200,400,600AW(M)(U)-A
●PFK-P265,530AW(M)(U)-A-F

50Hz

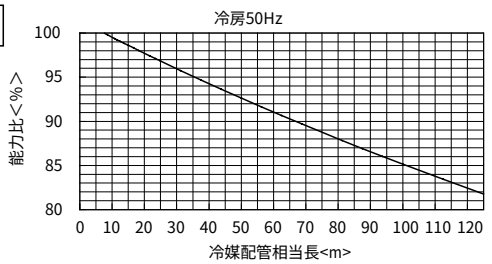


60Hz

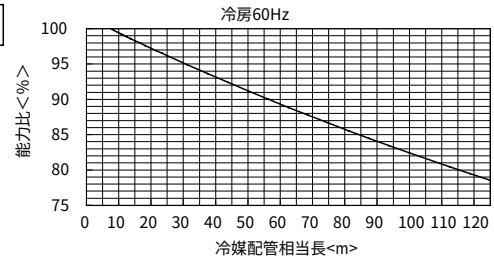


●PFTK-P250,500,750,1000,1250AW(M)(U)-A
●PFK-P335,670AW(M)(U)-A-F
●PF(H)K-P280,560,800,1120,1400AW(M)(U)-A

50Hz



60Hz

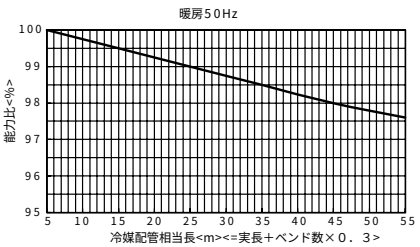


（4）冷媒配管長による暖房能力補正係数

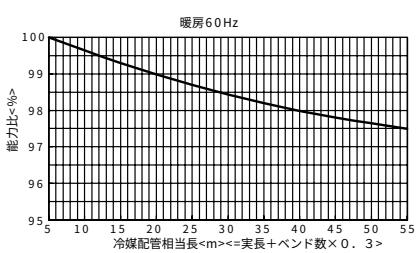
■PU(H)K-P・AW-A（最大62.5m）、PU(H)K-P・UAW-A（最大125m）配管長に対する能力比

●PFHK-P140AW(M)-A

50Hz

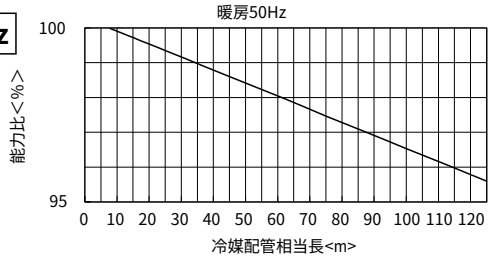


60Hz

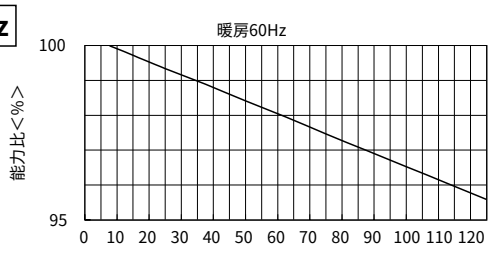


●PFHK-P224,450,630AW(M)(U)-A

50Hz

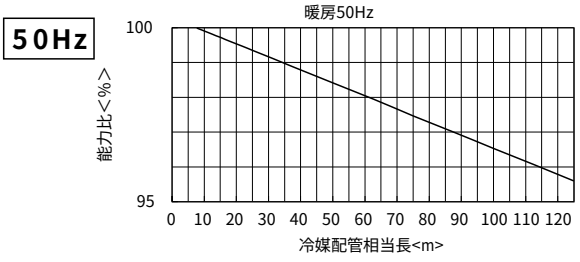


60Hz

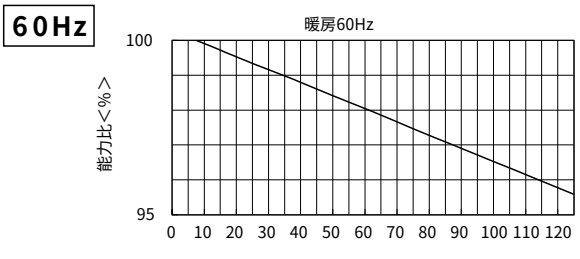


●PFHK-P280,560,800,1120,1400AW(M)(U)-A

50Hz



60Hz



（5）霜取補正

●PFHK-P140AW(M)-A

下表に各室外吸入空気湿球温度（℃）の補正係数を示す。

室外吸入空気湿球温度（℃）	能力比
6	1
5	0.98
4	0.92
3	0.87
2	0.84
1	0.83
0	0.83
-1	0.83
-2	0.83
-3	0.84
-4	0.85

室外吸入空気湿球温度（℃）	能力比
-5	0.85
-6	0.86
-7	0.87
-8	0.88
-9	0.89
-10	0.91
-11	0.92
-12	0.93
-13	0.94
-14	0.95
-15	0.95

●PFHK-P224,280,450,560,630,800,1120,1400AW(M)(U)-A

下表に各室外吸入空気湿球温度（℃）の補正係数を示す。

室外吸入空気湿球温度（℃）	能力比
6	1
5	0.98
4	0.96
3	0.92
2	0.87
1	0.85
0	0.86
-1	0.87
-2	0.88
-3	0.89
-4	0.9

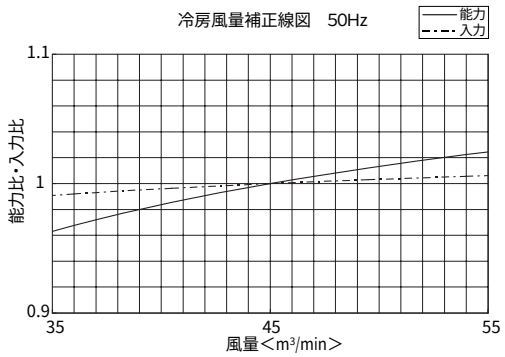
室外吸入空気湿球温度（℃）	能力比
-5	0.92
-6	0.95
-7	0.95
-8	0.95
-9	0.95
-10	0.95
-11	0.95
-12	0.95
-13	0.95
-14	0.95
-15	0.95

（6）風量変化による能力・入力補正係数

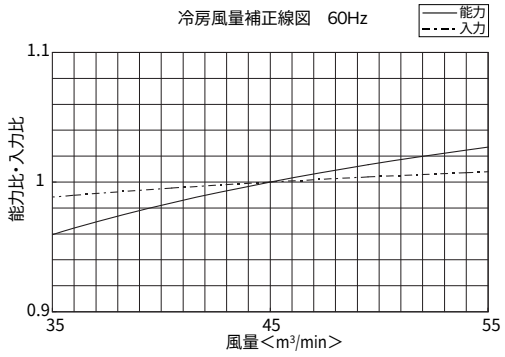
(a) 標準タイプ〈PF(H)K形〉

●PF(H)K-P140AW(M)-A【冷房】

50Hz

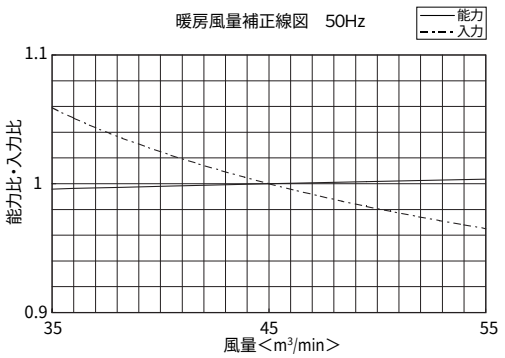


60Hz

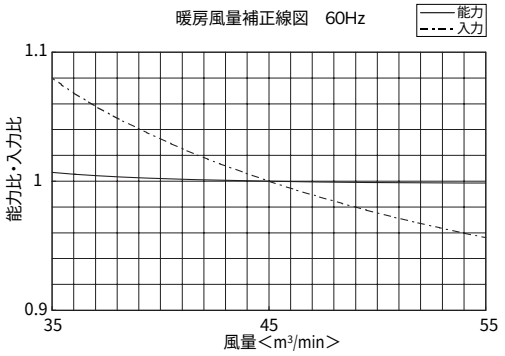


●PFHK-P140AW(M)-A【暖房】

50Hz

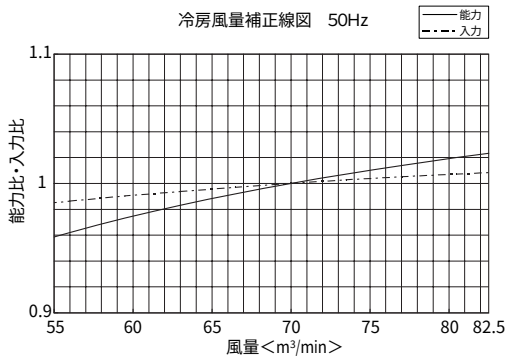


60Hz

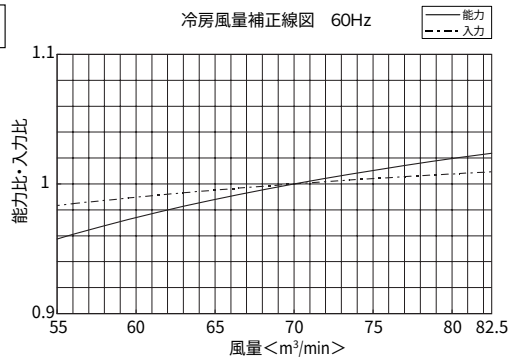


●PF(H)K-P224AW(M)(U)-A【冷房】

50Hz

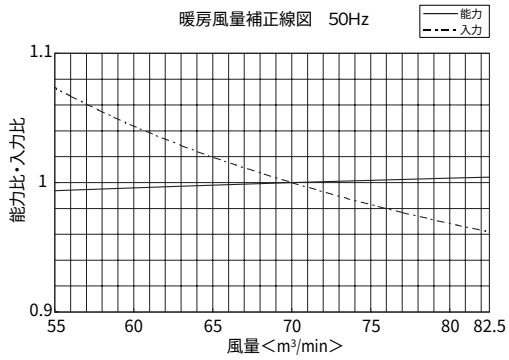


60Hz

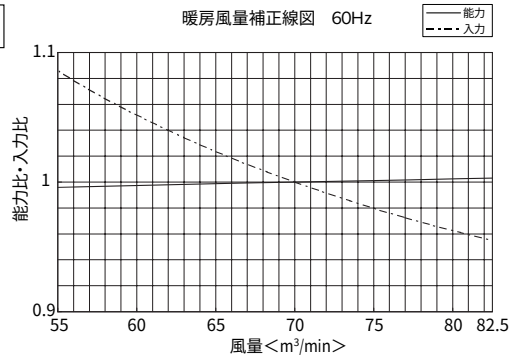


●PFHK-P224AW(M)(U)-A【暖房】

50Hz

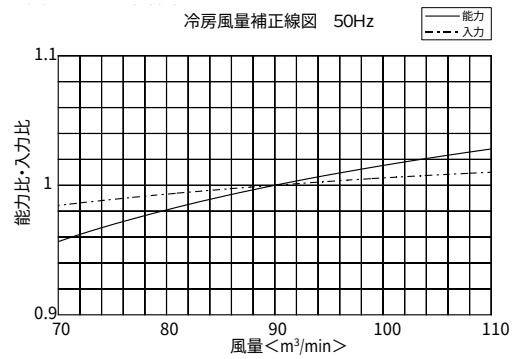


60Hz

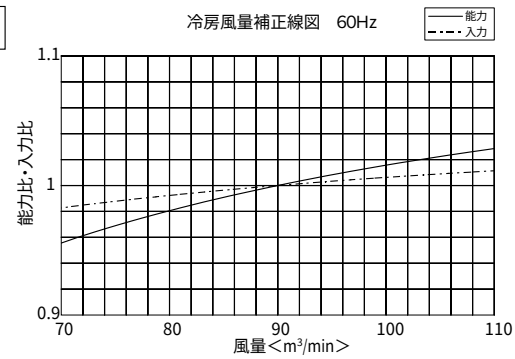


●PF(H)K-P280AW(M)(U)-A【冷房】

50Hz

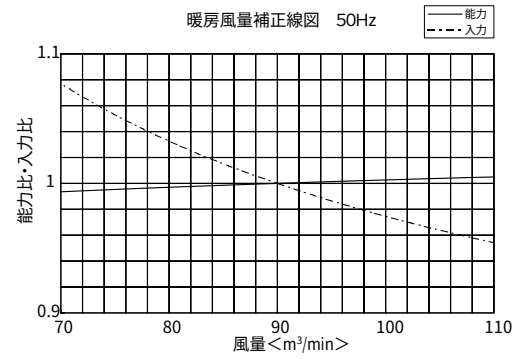


60Hz

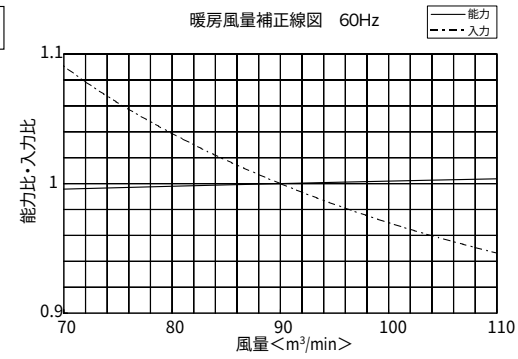


●PFHK-P280AW(M)(U)-A【暖房】

50Hz

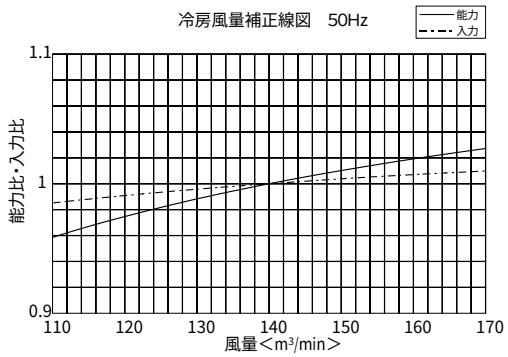


60Hz

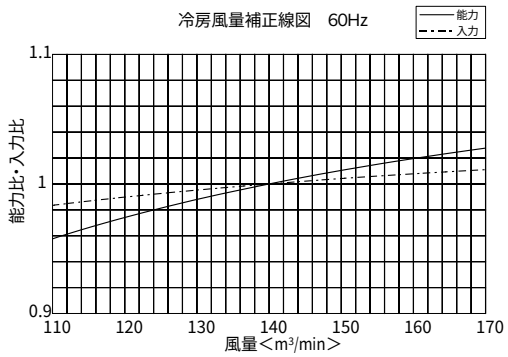


●PF(H)K-P450AW(M)(U)-A 【冷房】

50Hz

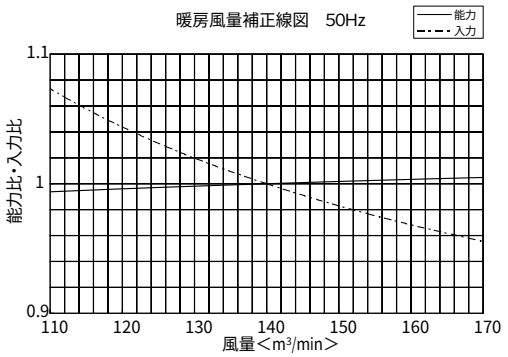


60Hz

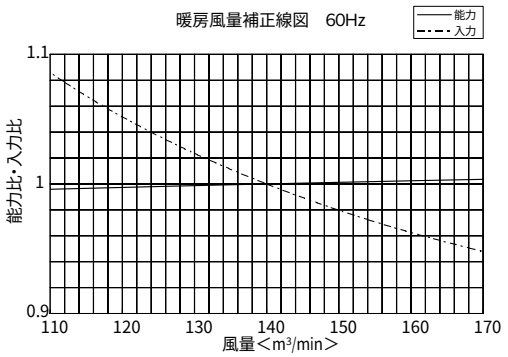


●PFHK-P450AW(M)(U)-A【暖房】

50Hz

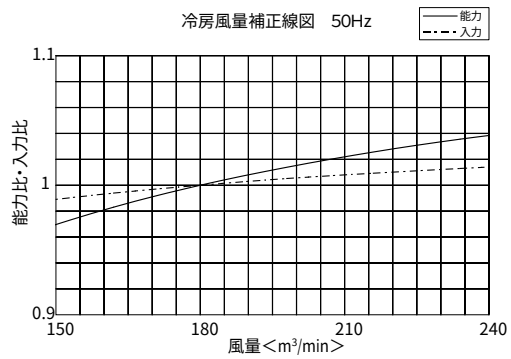


60Hz

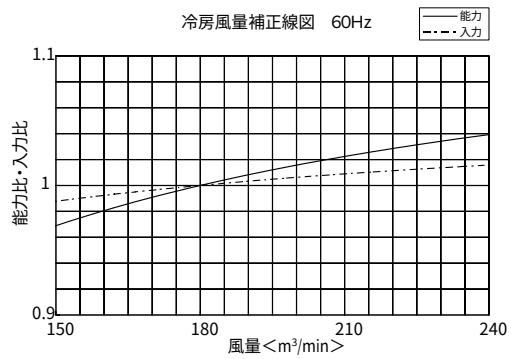


●PF(H)K-P560AW(M)(U)-A【冷房】

50Hz

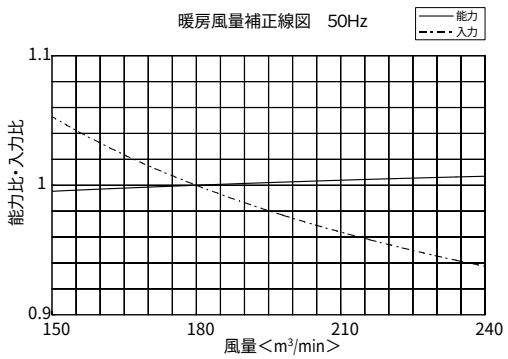


60Hz

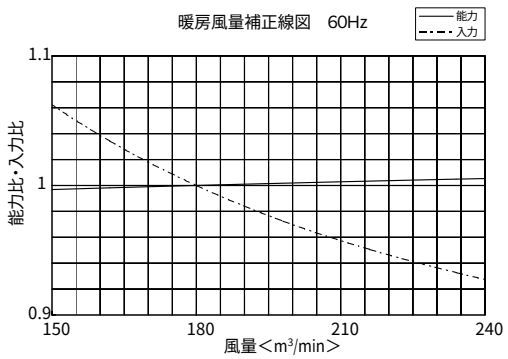


●PFHK-P560AW(M)(U)-A【暖房】

50Hz

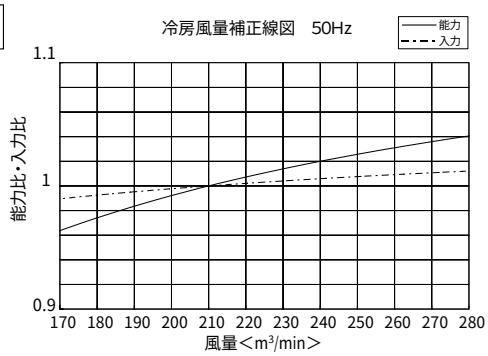


60Hz

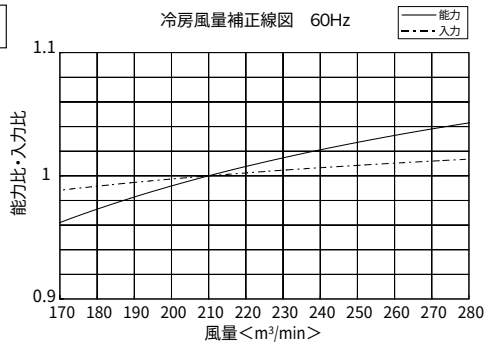


●PF(H)K-P630AW(M)(U)-A【冷房】

50Hz

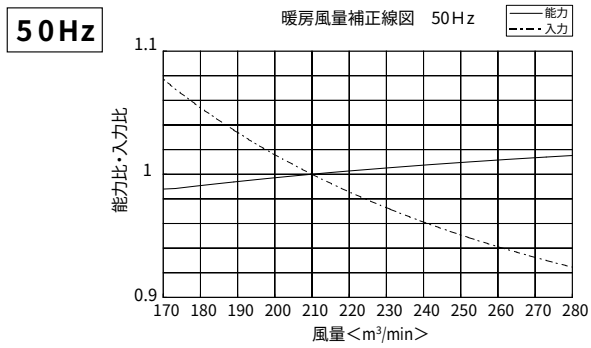


60Hz

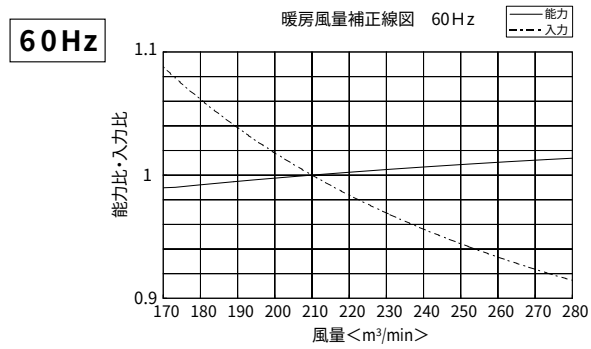


●PFHK-P630AW(M)(U)-A【暖房】

50Hz

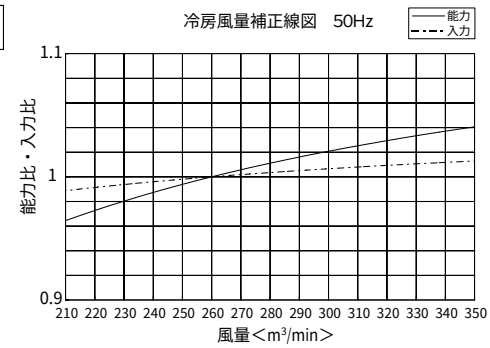


60Hz

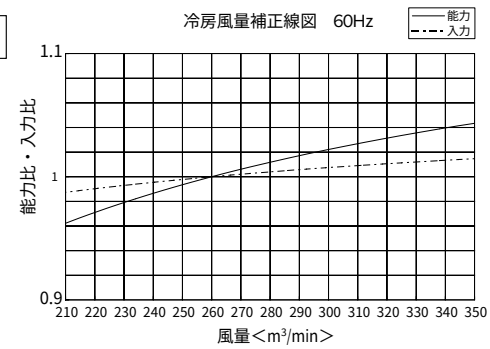


●PF(H)K-P800AW(M)(U)-A 【冷房】

50Hz

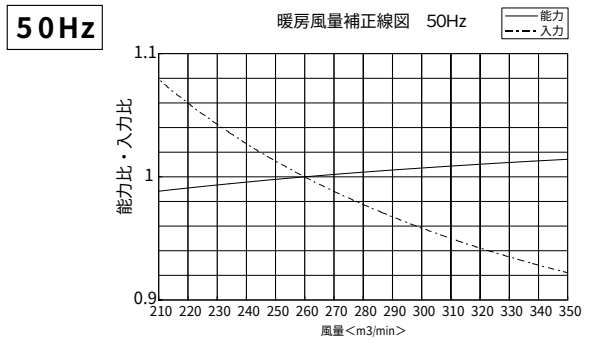


60Hz

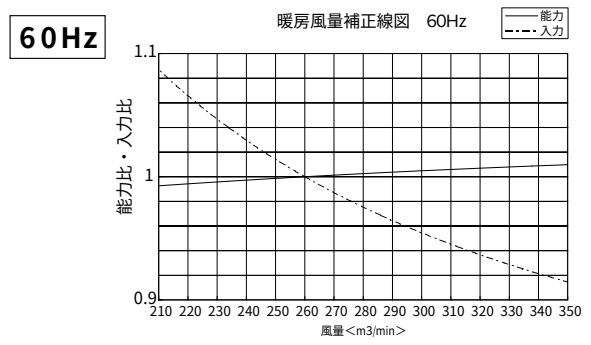


●PFHK-P800AW(M)(U)-A【暖房】

50Hz

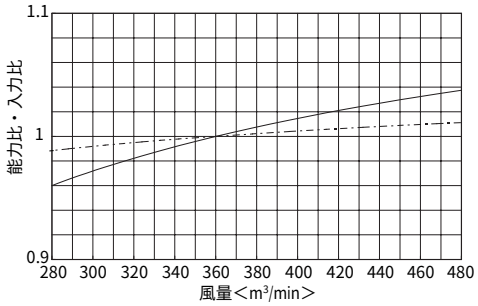


60Hz

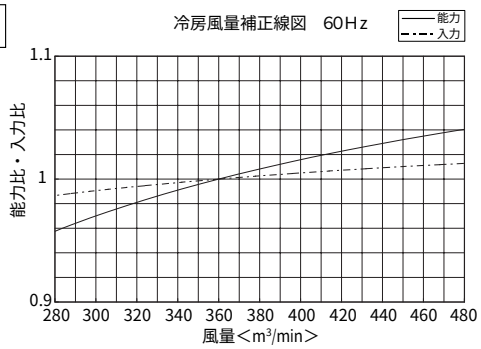


●PF(H)K-P1120AW(M)(U)-A-L,R【冷房】

50Hz

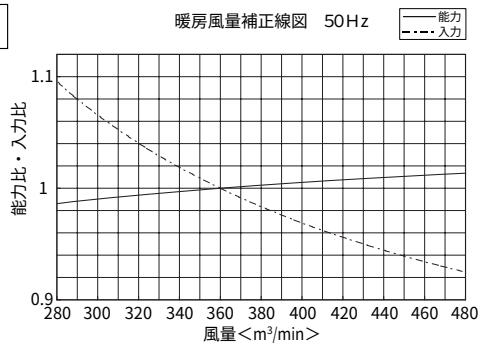


60Hz

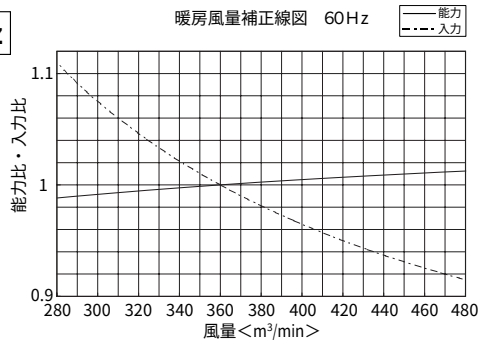


●PFHK-P1120AW(M)(U)-A-L,R【暖房】

50Hz

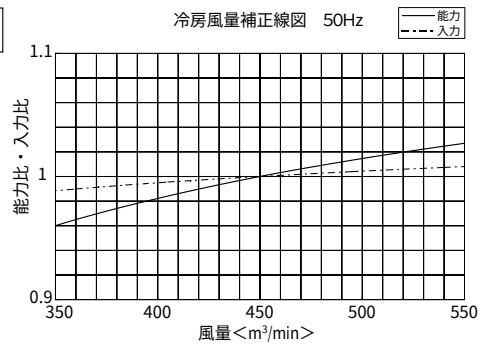


60Hz

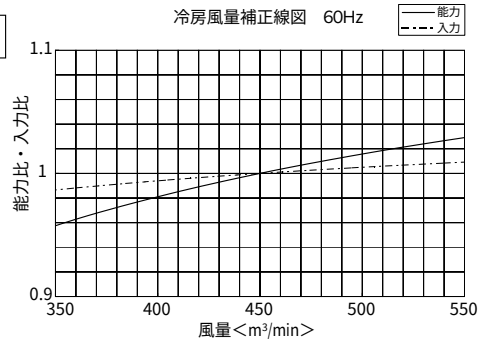


●PF(H)K-P1400AW(M)(U)-A-L,R【冷房】

50Hz

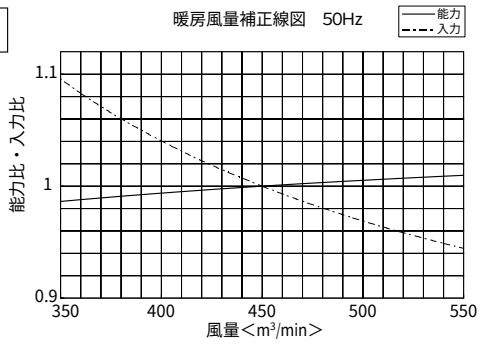


60Hz

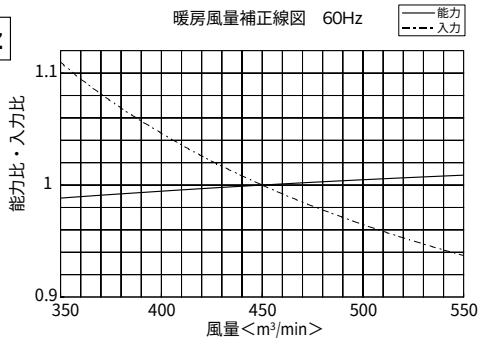


●PFHK-P1400AW(M)(U)-A-L,R【暖房】

50Hz



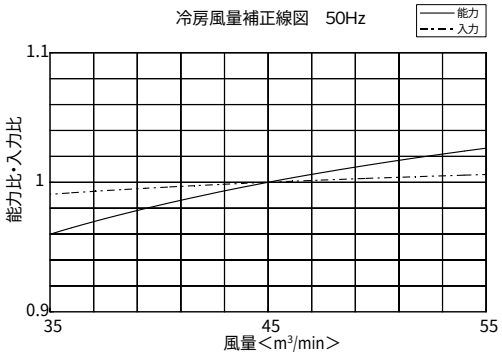
60Hz



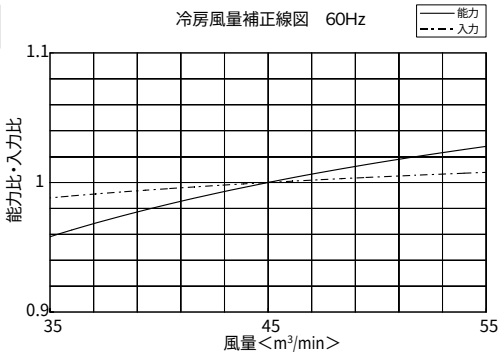
(b) 中温タイプ〈PFTK形〉

●PFTK-P125AW(M)-A

50Hz

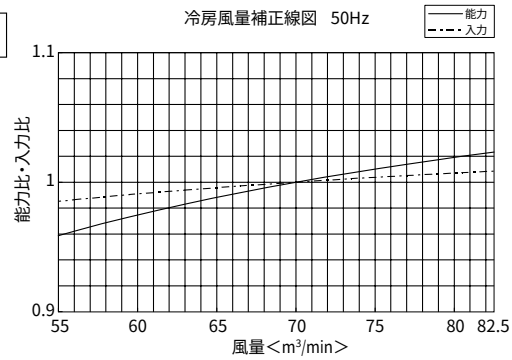


60Hz

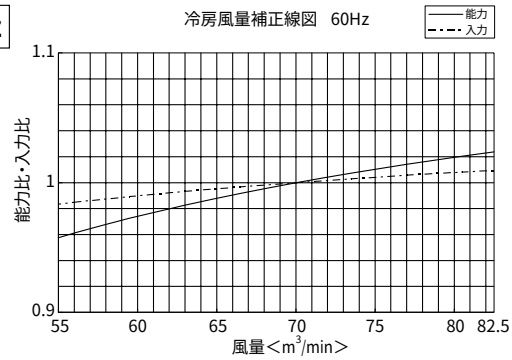


●PFTK-P200AW(M)(U)-A

50Hz

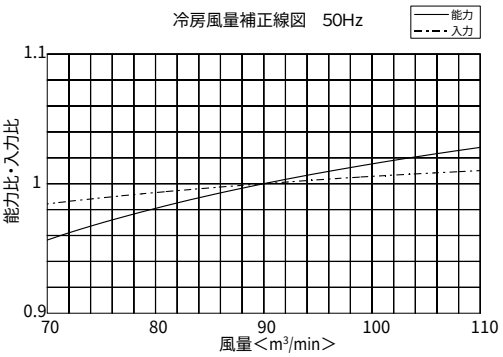


60Hz

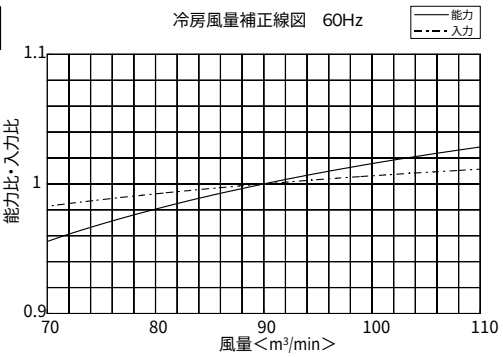


●PFTK-P250AW(M)(U)-A

50Hz

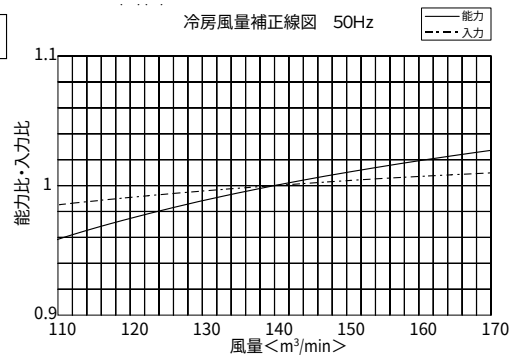


60Hz

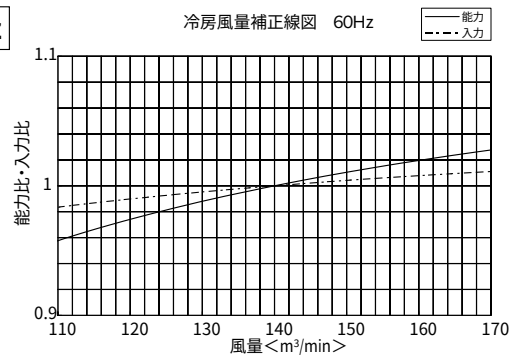


●PFTK-P400AW(M)(U)-A

50Hz

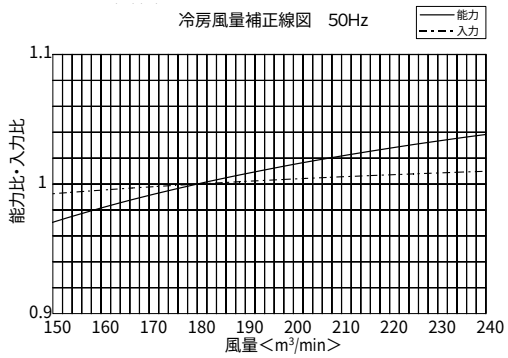


60Hz

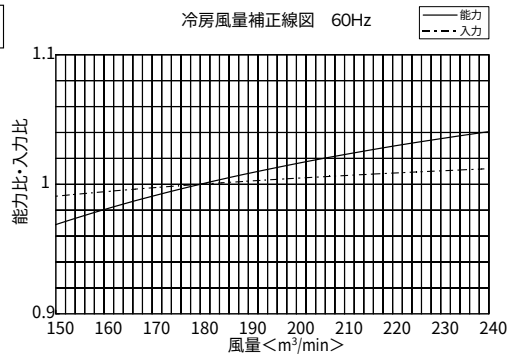


●PFTK-P500AW(M)(U)-A

50Hz

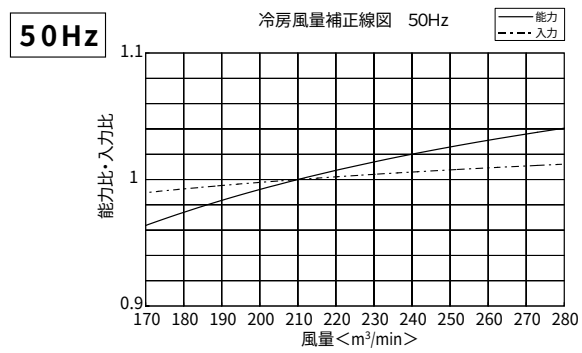


60Hz

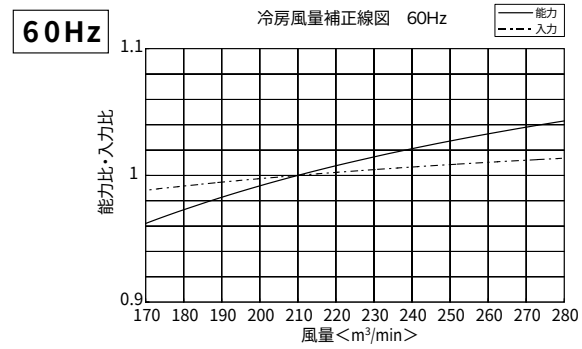


●PFTK-P600AW(M)(U)-A

50Hz

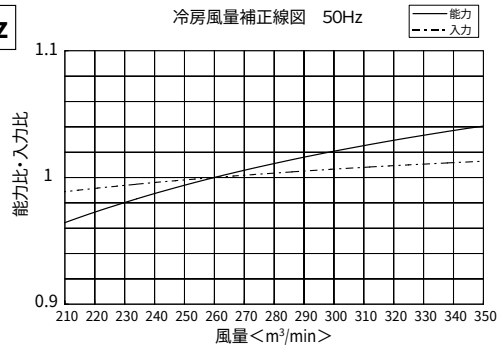


60Hz

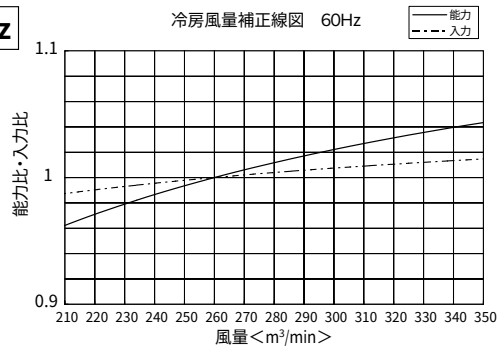


●PFTK-P750AW(M)(U)-A

50Hz

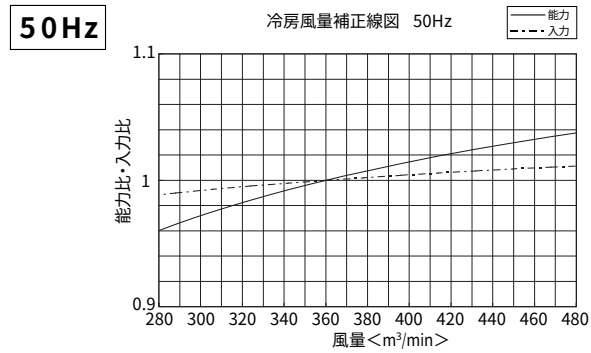


60Hz

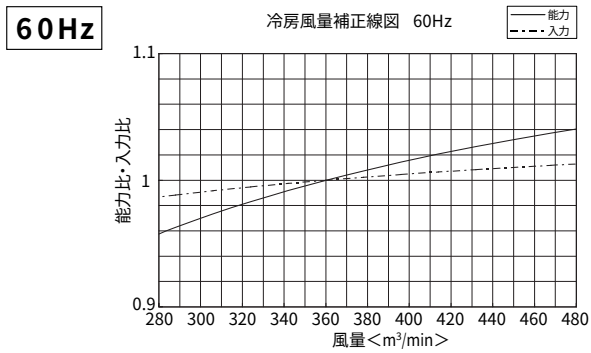


●PFTK-P1000AW(M)(U)-A-L,R

50Hz

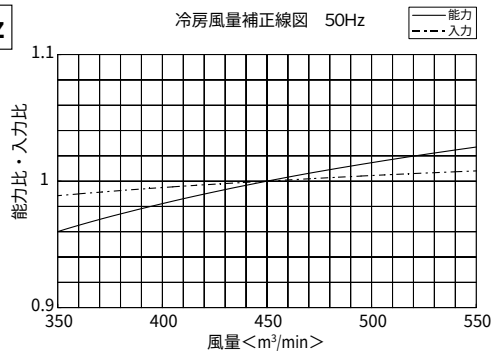


60Hz

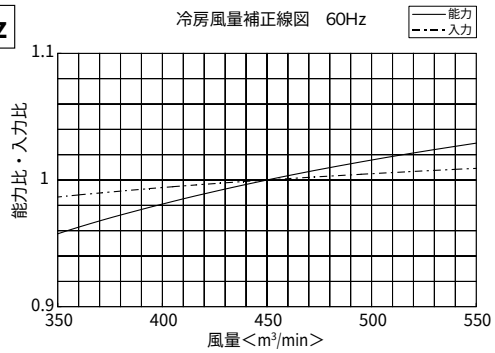


●PFTK-P1250AW(M)(U)-A-L,R

50Hz



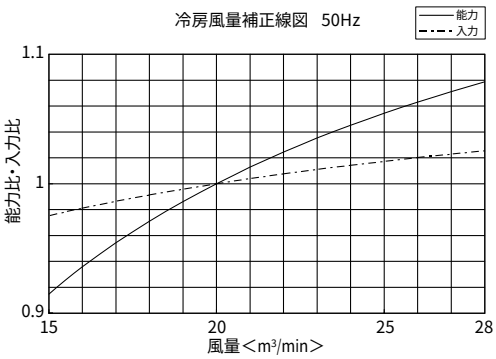
60Hz



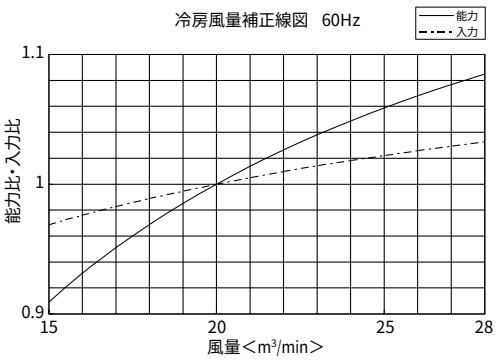
（c）オールフレッシュタイプ〈PFK-F形〉

●PFK-P167AW(M)-A-F

50Hz

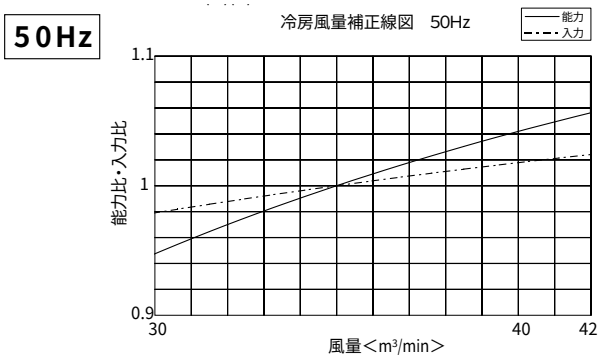


60Hz

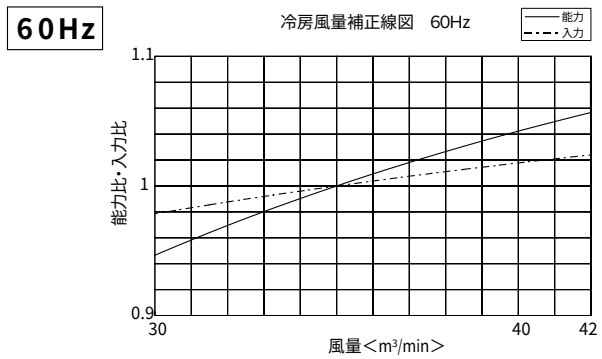


●PFK-P265AW(M)(U)-A-F

50Hz

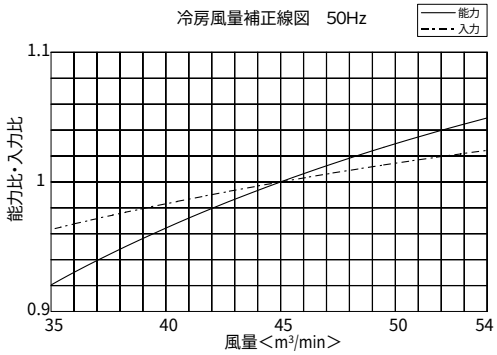


60Hz

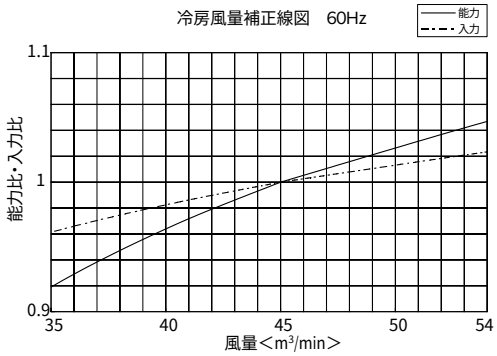


●PFK-P335AW(M)(U)-A-F

50Hz

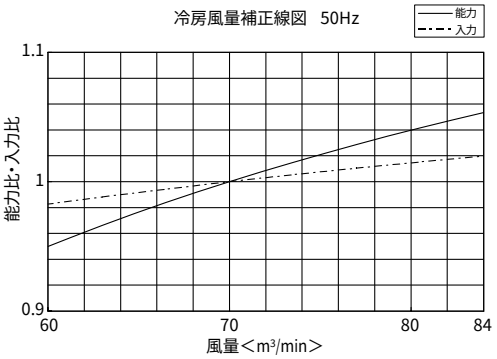


60Hz

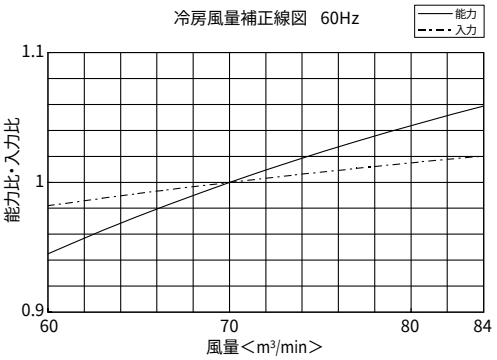


●PFK-P530AW(M)(U)-A-F

50Hz

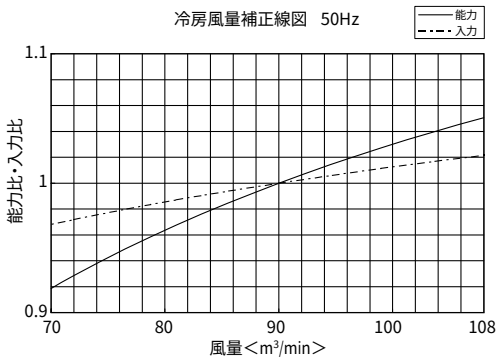


60Hz

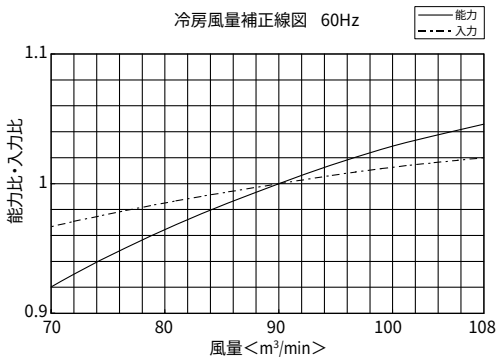


●PFK-P670AW(M)(U)-A-F

50Hz



60Hz

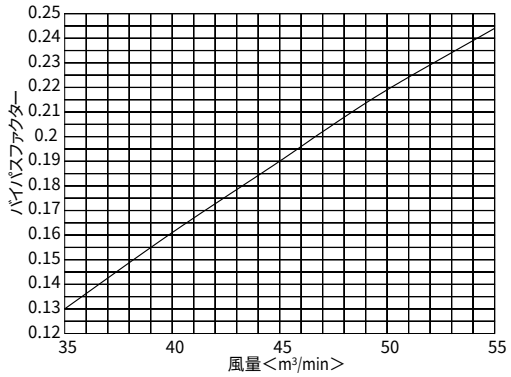


（7）バイパスファクター線図

(a) 標準タイプ〈PF（H）K形〉

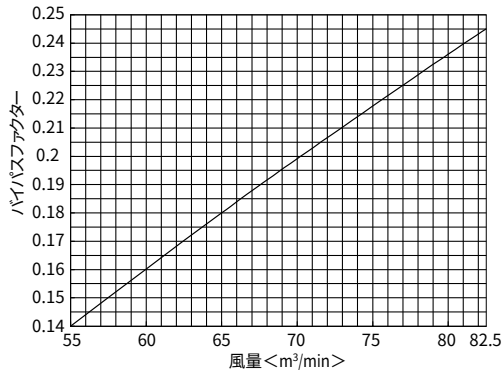
●PF(H)K-P140AW(M)-A

50Hz 60Hz



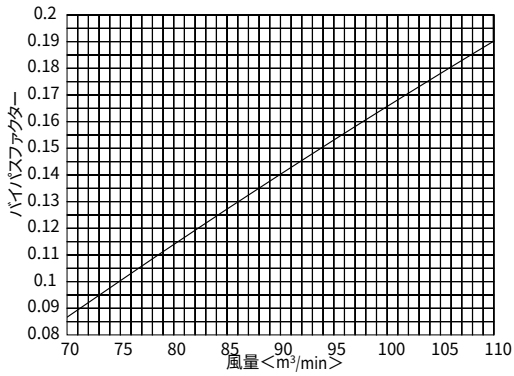
●PF(H)K-P224AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



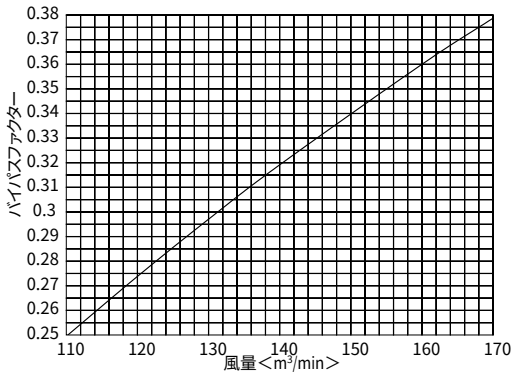
●PF(H)K-P280AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



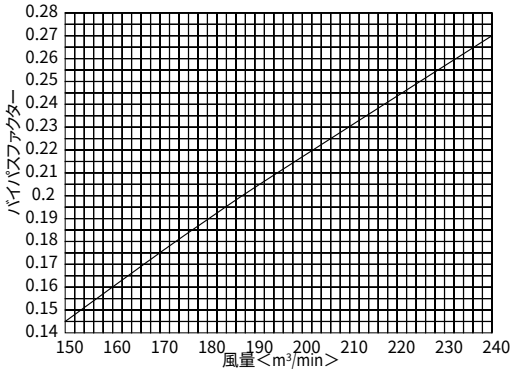
●PF(H)K-P450AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



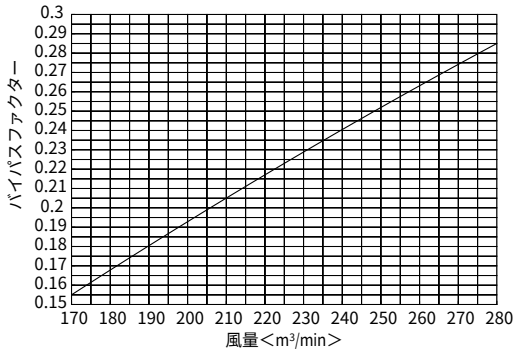
●PF(H)K-P560AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



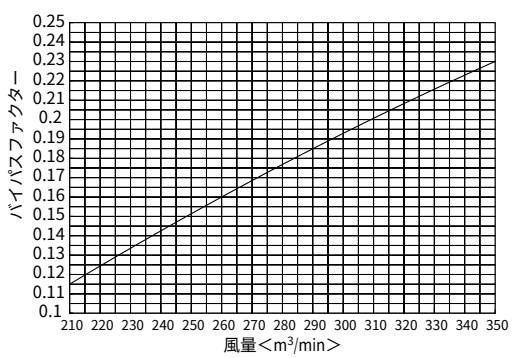
●PF(H)K-P630AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



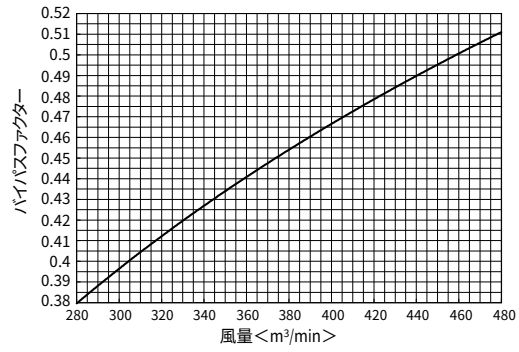
●PF(H)K-P800AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



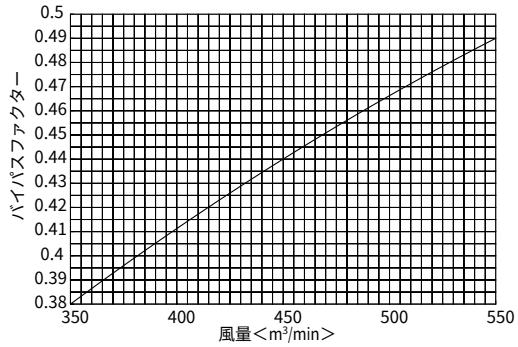
●PF(H)K-P1120AW(M)(U)-A-L,R

50Hz 60Hz



●PF(H)K-P1400AW(M)(U)-A-L,R

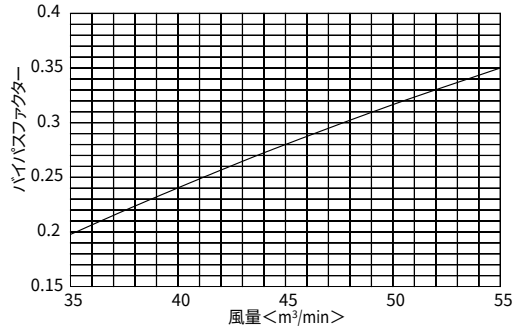
50Hz 60Hz



(b) 中温タイプ〈PFTK形〉

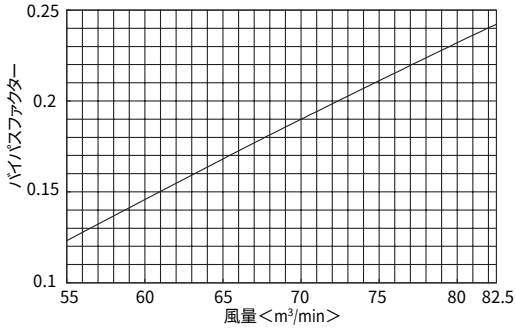
●PFTK-P125AW(M)-A

50Hz 60Hz



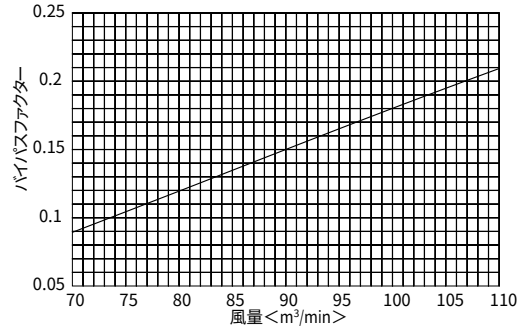
●PFTK-P200AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



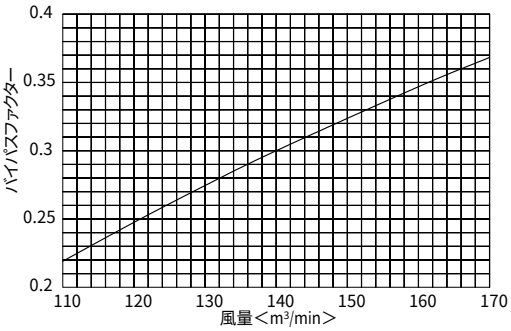
●PFTK-P250AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



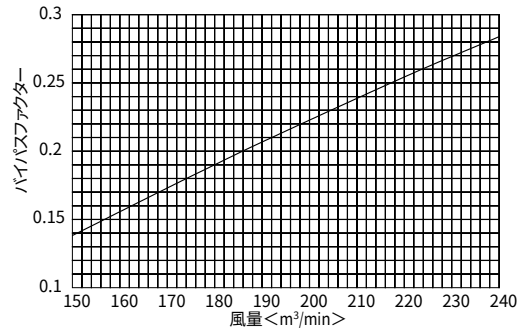
●PFTK-P400AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



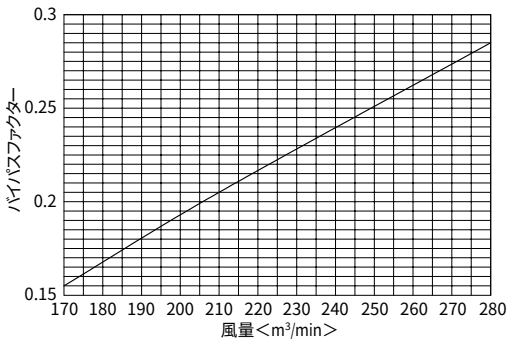
●PFTK-P500AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



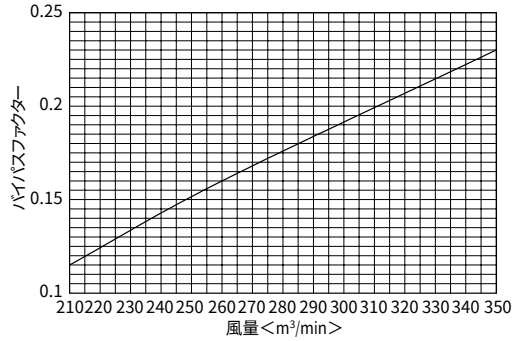
●PFTK-P600AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



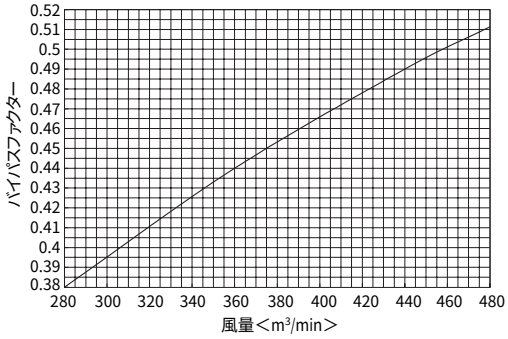
●PFTK-P750AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



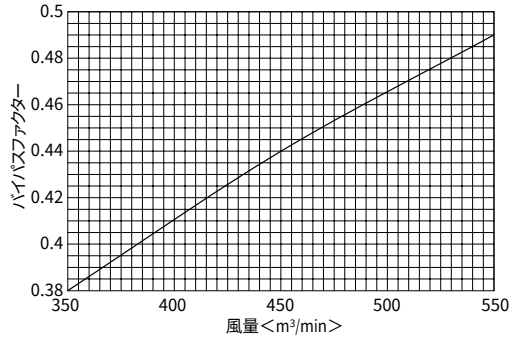
●PFTK-P1000AW(M)(U)-A-L,R

50Hz 60Hz



●PFTK-P1250AW(M)(U)-A-L,R

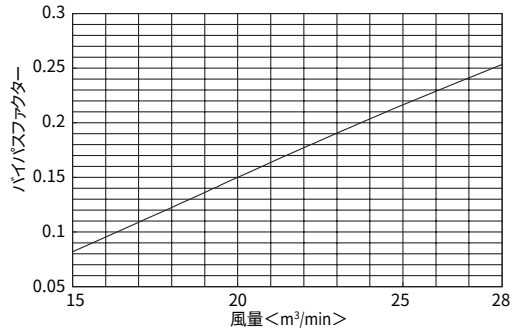
50Hz 60Hz



(c) オールフレッシュタイプ〈PFK-F形〉

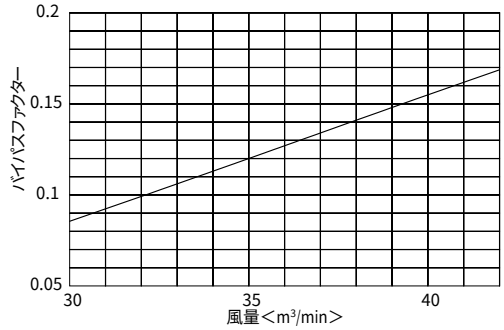
●PFK-P167AW(M)-A-F

50Hz 60Hz



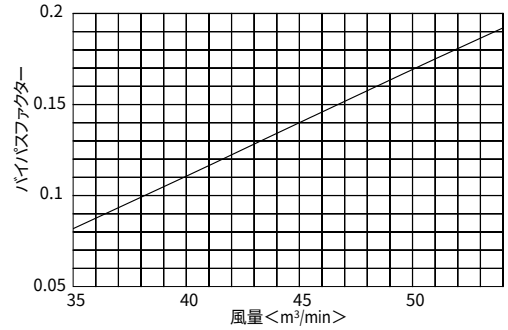
●PFK-P265AW(M)(U)-A-F

50Hz 60Hz



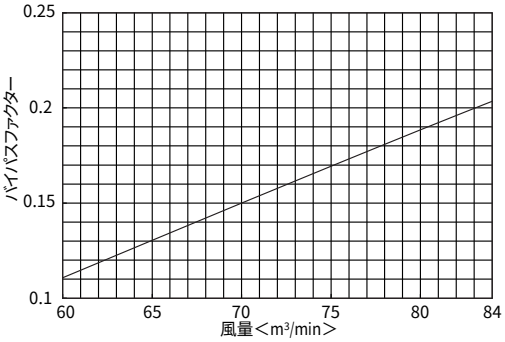
●PFK-P335AW(M)(U)-A-F

50Hz 60Hz



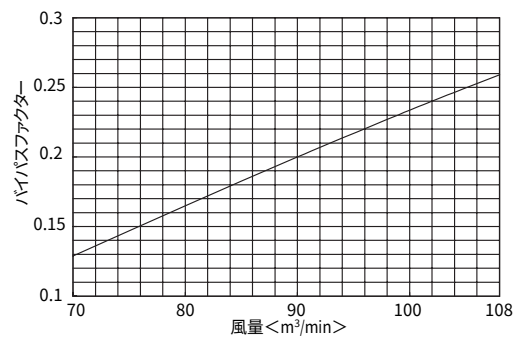
●PFK-P530AW(M)(U)-A-F

50Hz 60Hz



●PFK-P670AW(M)(U)-A-F

50Hz 60Hz

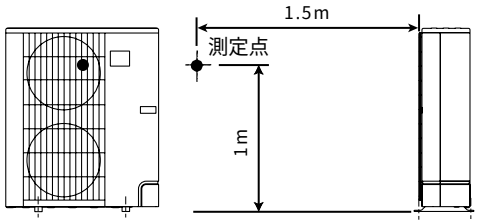


〈5〉騒音特性

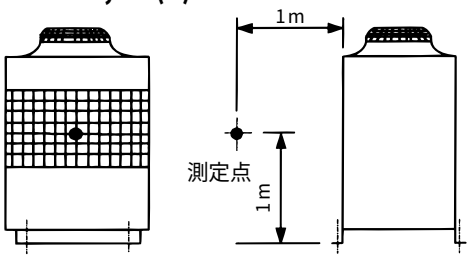
(1) 室外ユニット〈PU(H)K形〉

●PU(H)K-P140AW-A

測定場所：無響音室
計　　器：B&K

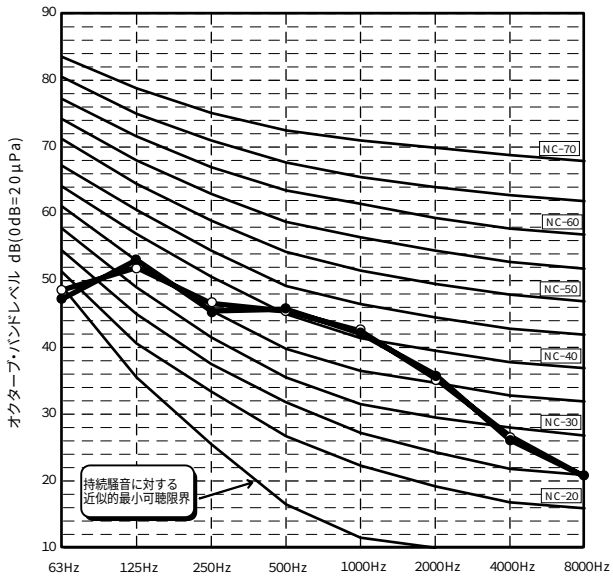


●PUHK-P224,280(U)AW-A



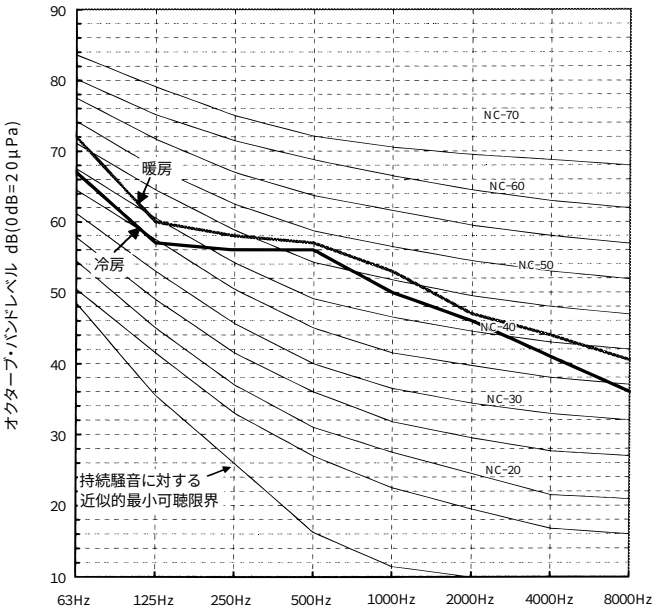
●PU(H)K-P140AW-A

グラフ記号	電波周波数	バンド Hz								オーバーオール値
		63	125	250	500	1000	2000	4000	8000	dB[A特性]
○○	50	48.6	52.0	46.6	45.4	42.5	35.4	26.7	20.7	47.0
●●	60	47.2	53.1	45.5	45.7	42.1	35.9	26.1	20.7	47.0



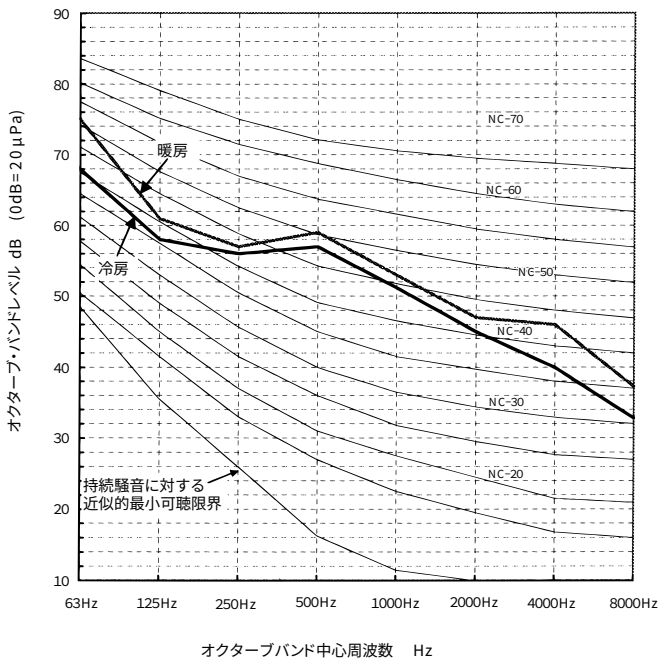
●PUHK-P224AW-A

	63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	
冷房	67	57	56	56	50	46	41	36	56	(dB)
暖房	72	60	58	57	53	47	44	41	58	



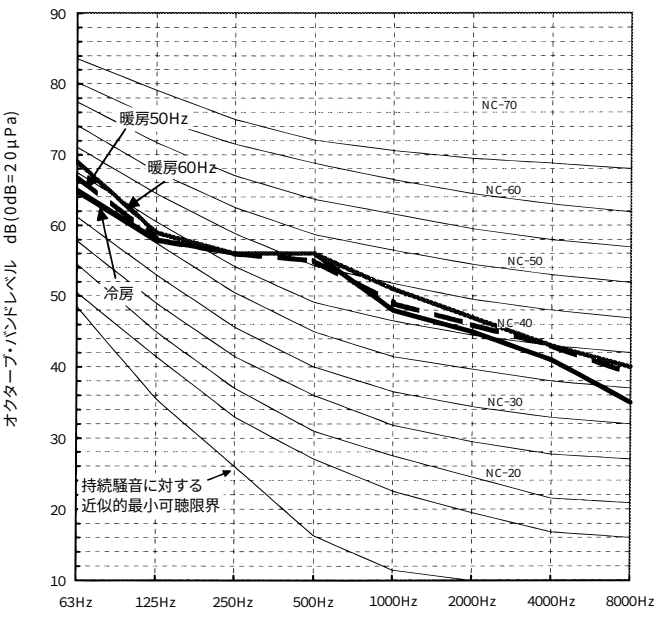
●PUHK-P280AW-A

	63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	
冷房	68	58	56	57	51	45	40	33	57	(dB)
暖房	75	61	57	59	53	47	46	37	59	



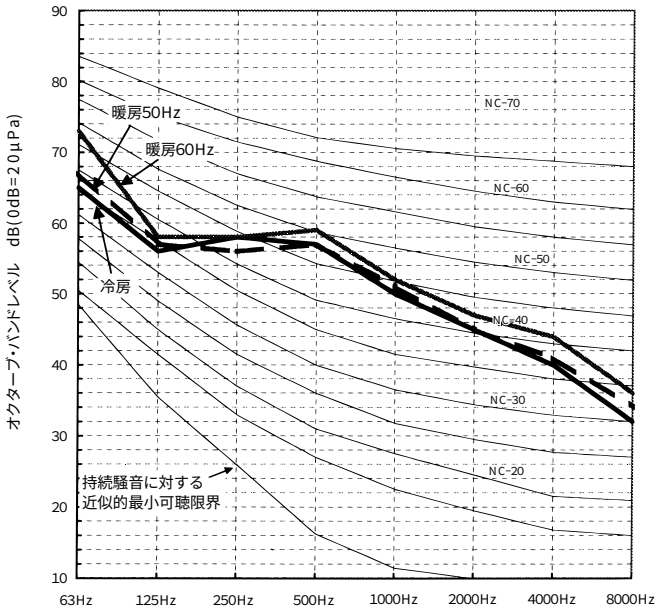
●PUHK-P224UAW-A

		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	
冷房	50Hz	65	58	56	56	48	45	41	35	56	(dB)
冷房	60Hz	65	58	56	56	48	45	41	35	56	
暖房	50Hz	67	58	56	55	49	46	43	39	56	
暖房	60Hz	69	59	56	56	51	47	43	40	57	



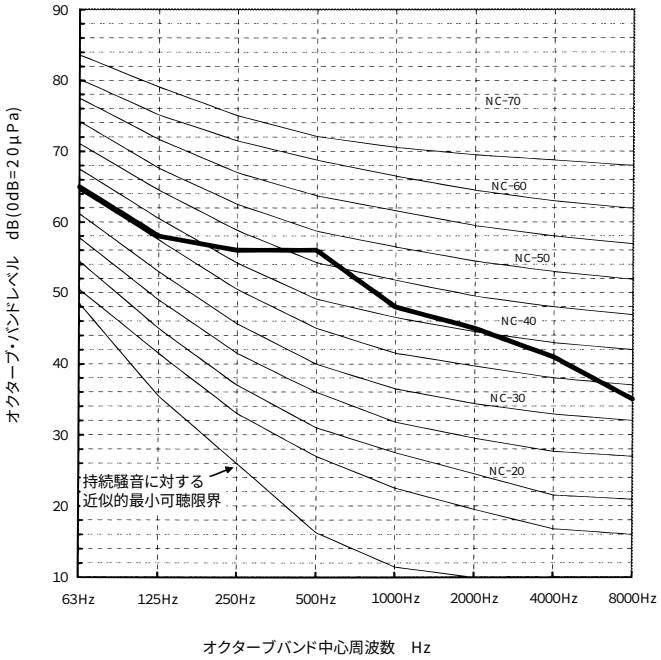
●PUHK-P280UAW-A

		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	
冷房	50Hz	65	56	58	57	50	45	40	32	57	(dB)
冷房	60Hz	65	56	58	57	50	45	40	32	57	
暖房	50Hz	67	57	56	57	51	45	41	34	57	
暖房	60Hz	73	58	58	59	52	47	44	36	59	



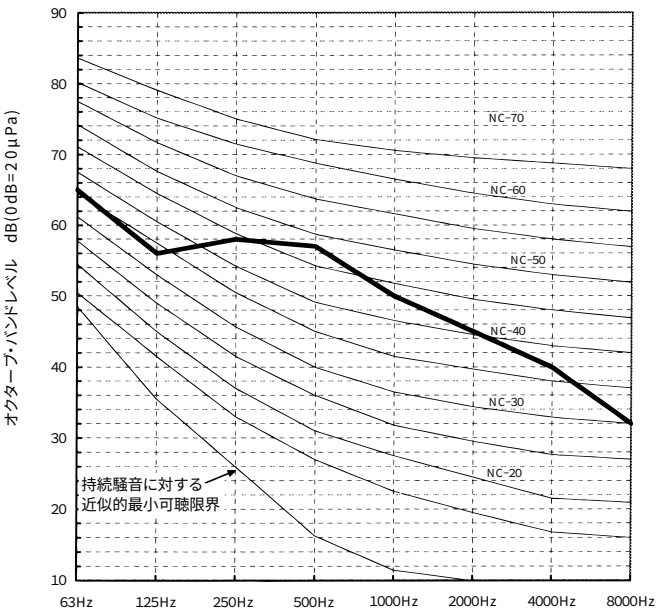
●PUK-P224(U)AW-A

		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	
冷房	50Hz	65	58	56	56	48	45	41	35	56	(dB)
冷房	60Hz	65	58	56	56	48	45	41	35	56	



●PUK-P280(U)AW-A

		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	
冷房	50Hz	65	56	58	57	50	45	40	32	57	(dB)
冷房	60Hz	65	56	58	57	50	45	40	32	57	



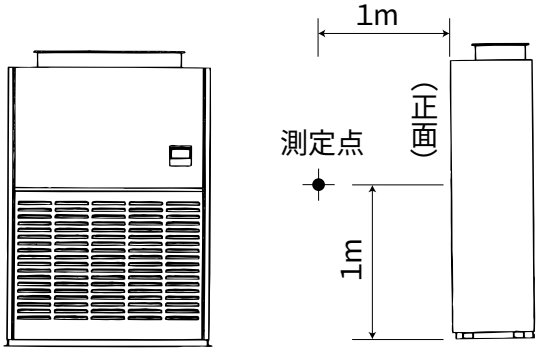
（2）室内ユニット

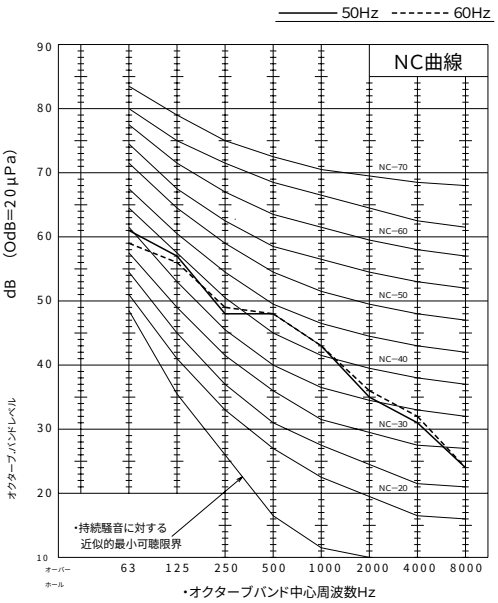
(a) 標準・中温タイプ〈PFAK・PFTK形〉

【測定条件】

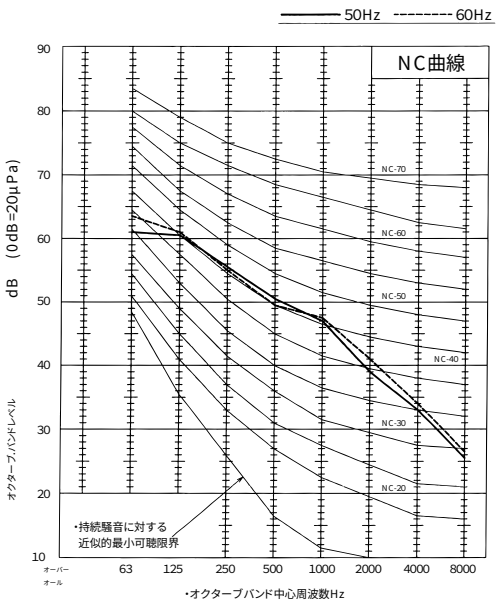
■無響音室：暗騒音25dB（A）以下

形　名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A 標準	49/49

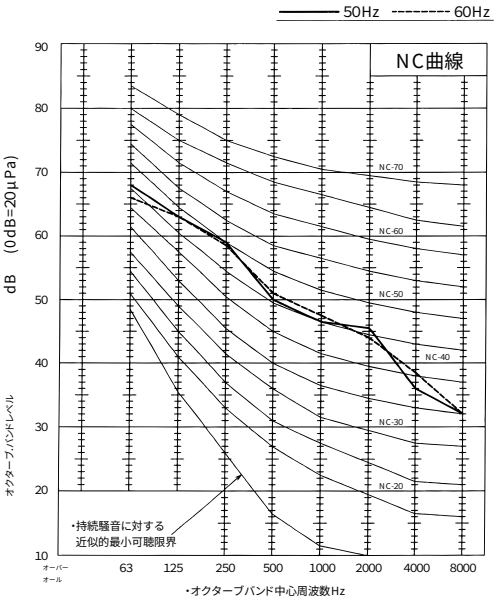




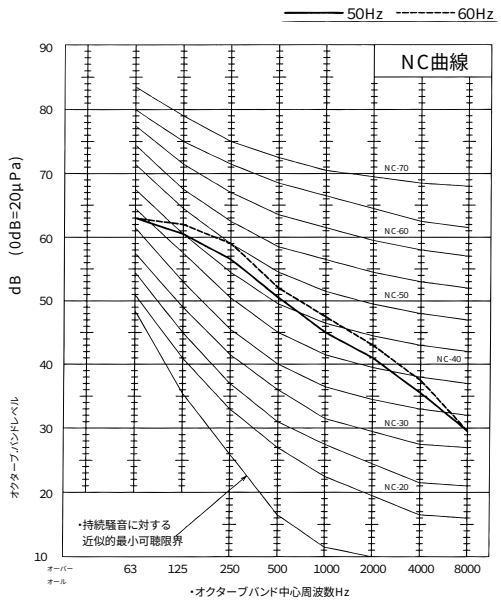
形　名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A 標準	53/53



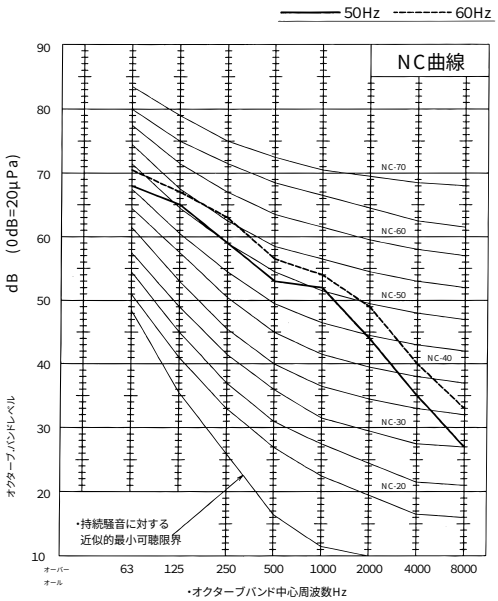
形　名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A 標準	55/55



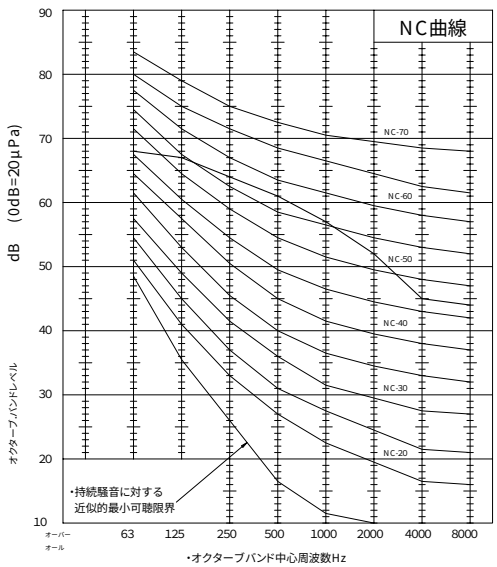
形　名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A 標準	53/55



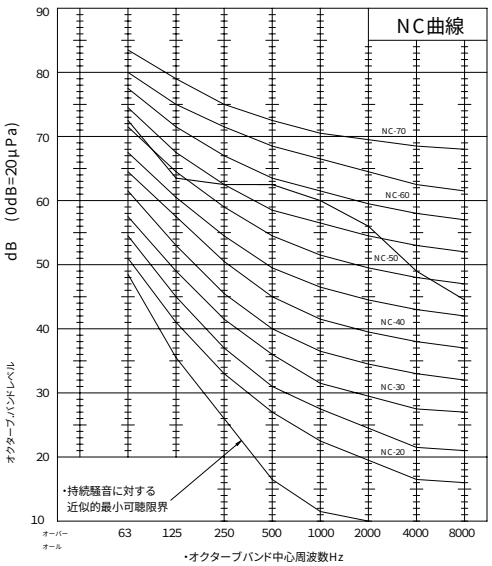
形　名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A 標準	57/60



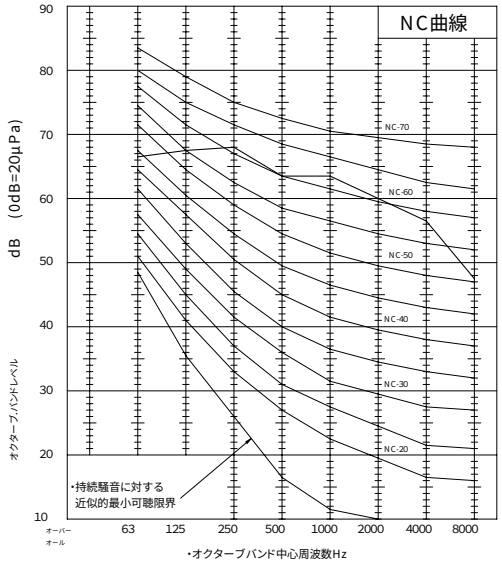
形　名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P630AW(M)-A PFTK-P600AW(M)-A 標準	63/63



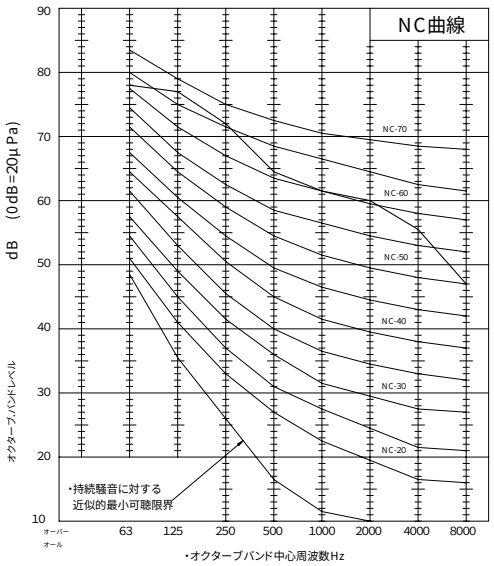
形　名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P800AW(M)-A PFTK-P750AW(M)-A 標準	65/65



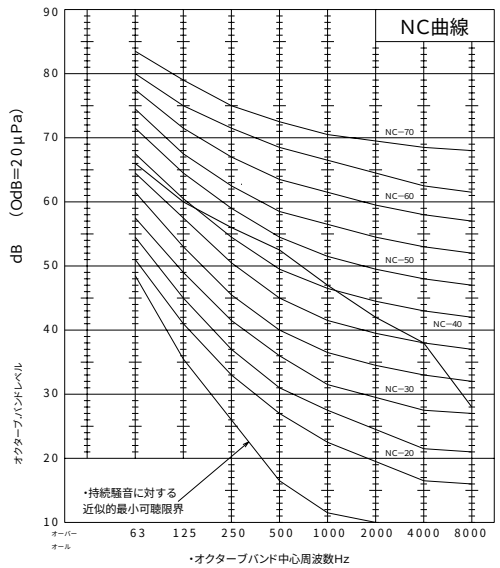
形　名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P1120AW(M)-A-L,R PFTK-P1000AW(M)-A-L,R 標準	68/68



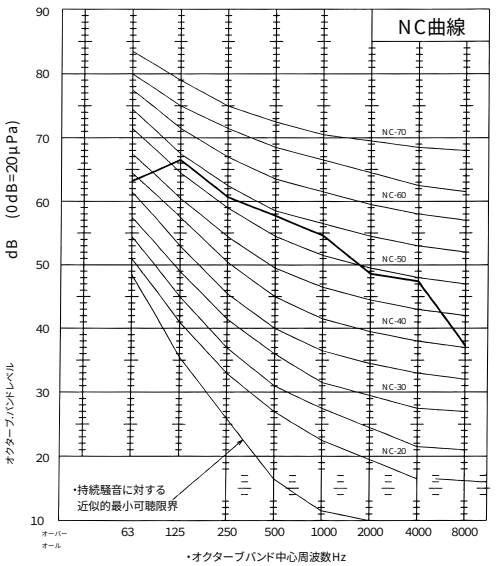
形　名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P1400AW(M)-A-L,R PFTK-P1250AW(M)-A-L,R 標準	69/69



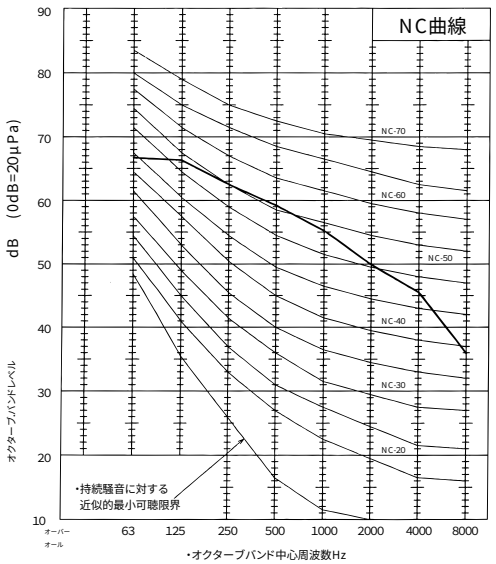
形　名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A 別売プレナム取付時	54/54



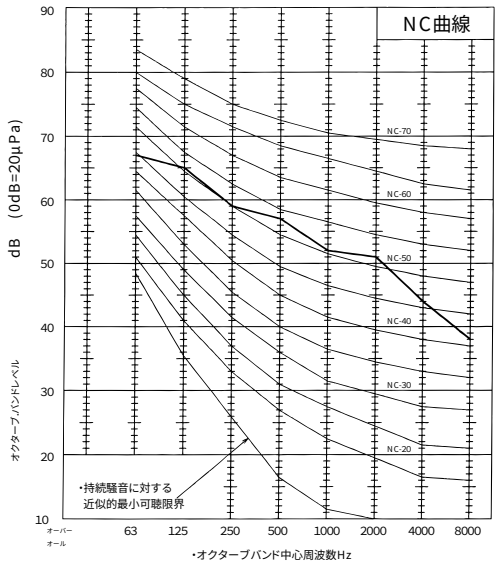
形　名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A 別売プレナム取付時	60/60



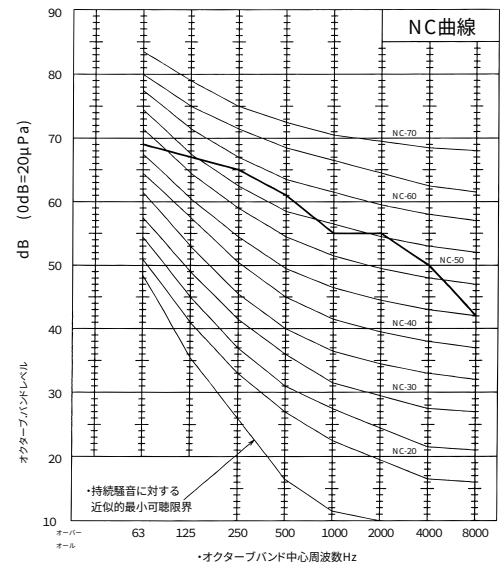
形　名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A 別売プレナム取付時	61/61



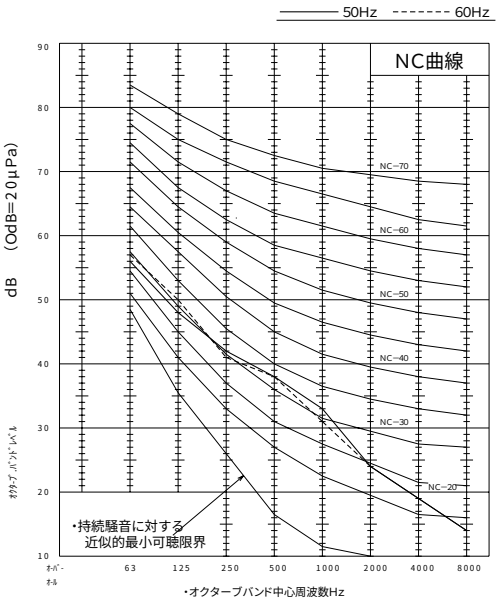
形　名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A 別売プレナム取付時	59/59



形　名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A 別売プレナム取付時	63/63

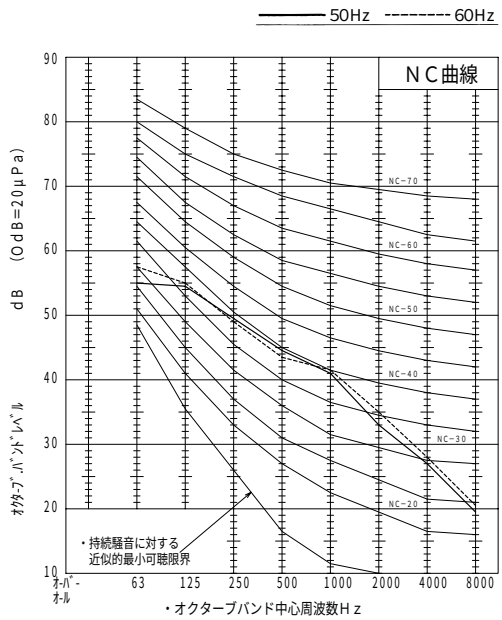


形　名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P167AW(M)-A-F標準	40/40

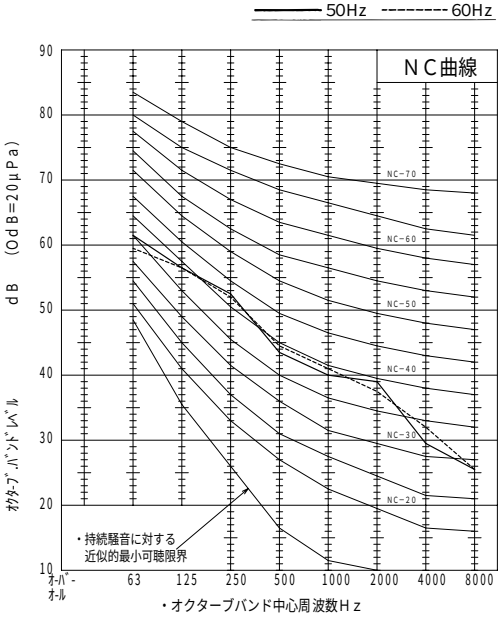


(b) オールフレッシュタイプ〈PFAK-F形〉

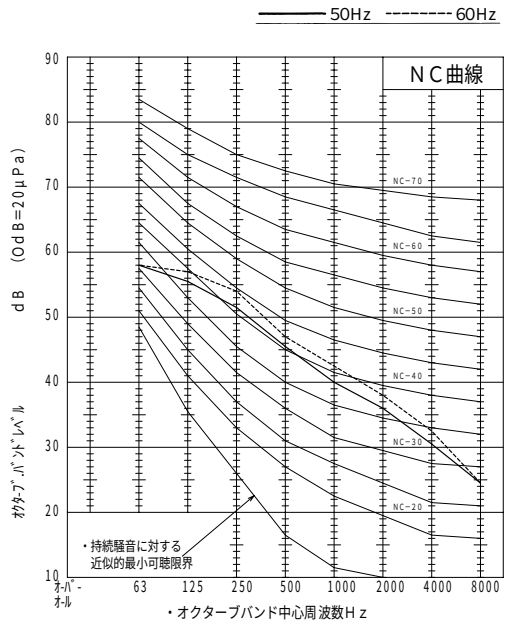
形　名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P265AW(M)-A-F標準	53/53



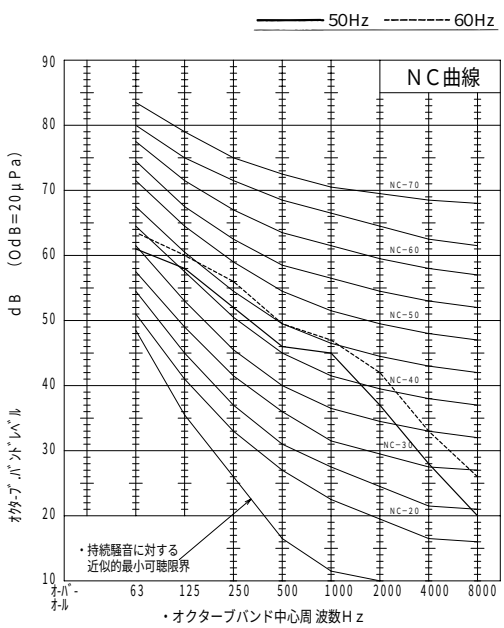
形　名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P335AW(M)-A-F標準	55/55



形　名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P530AW(M)-A-F標準	53/55



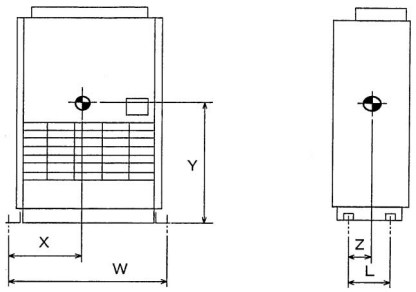
形　名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P670AW(M)-A-F標準	57/60



〈6〉重心位置

（1）室内ユニット

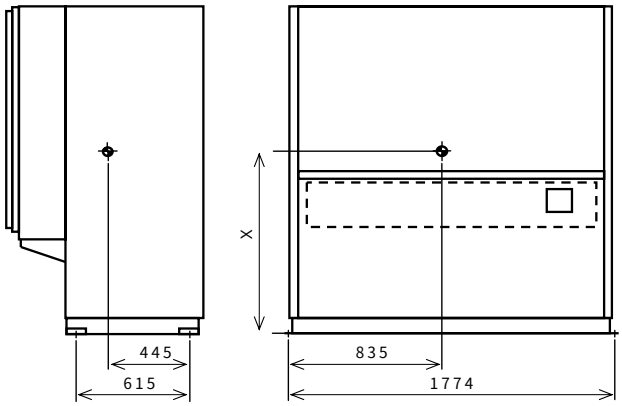
●PFAK-P140,224,280,450,560形
●PFAK-P167,265,335,530,670-F形
●PFTK-P125,200,250,400,500形



※室外ユニットの重心位置は、〈7〉耐震強度計算を参照ください。

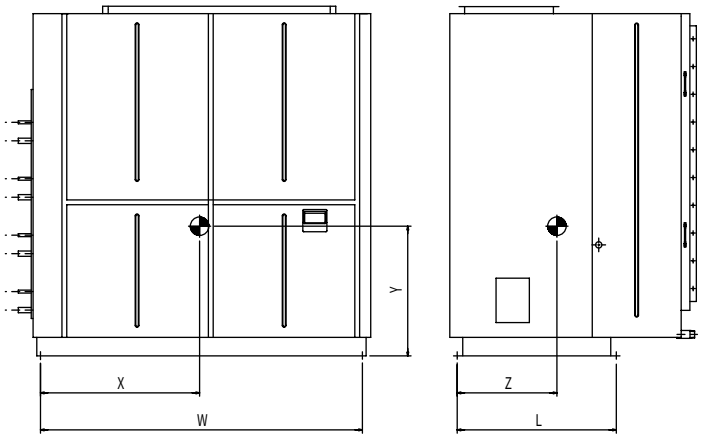
機　種	W	L	X	Y	Z
PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A	794	300	388	808	155
PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A	1014	300	467	809	158
PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A	1234	300	573	835	156
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A	1230	440	567	1017	225
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A	1450	440	647	1017	225
PFAK-P167AW(M)-A-F	794	300	388	799	159
PFAK-P265AW(M)-A-F	1014	300	467	798	163
PFAK-P335AW(M)-A-F	1234	300	573	825	161
PFAK-P530AW(M)-A-F	1230	440	567	1009	230
PFAK-P670AW(M)-A-F	1450	440	647	1008	231

●PFAK-P630,800形
●PFTK-P600,750形



機　種	X
PFAK−P630AW（M)−A	1010
PFTK−P600AW（M)−A	
PFAK−P800AW（M)−A	1020
PFTK−P750AW（M)−A	

●PFAK-P1120,1400形
●PFTK-P1000,1250形



機種	W	L	X	Y	Z
PFAK-P1120AW(M)-A-L,R	1740	860	860	701	539
PFAK-P1400AW(M)-A-L,R	1740	860	845	754	533
PFTK-P1000AW(M)-A-L,R	1740	860	860	701	539
PFTK-P1250AW(M)-A-L,R	1740	860	845	754	533

注．Rタイプ（右配管仕様）はX寸法が左右対称となります。

〈7〉耐震強度計算
（1）室外ユニット〈PU(H)K形〉

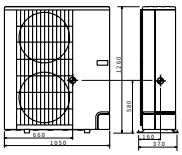
●PU(H)K-P140AW-A

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）	W=	108	kg			
(2) アンカーボルト						
①総本数	N=	4	本			
②サイズ	=M	10	形			
③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）	A=	78	mm^2=	78×10^{-6}	m^2	
④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数	Nt=	2	本			
(3) 据付面より機器重心までの高さ	Hg=	580	mm =	0.580	m	
(4) 検討する方向から見たボルトスパン	L=	370	mm =	0.370	m	
(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 (Lg≦L/2)	Lg=	160	mm =	0.160	m	

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度	Kh=	1			
(2) 設計用鉛直震度	Kv=Kh/2=	0.5			
(3) 設計用水平地震力	Fh=Kh・W・9.8=	1058.4	N		
(4) 設計用鉛直地震力	Fv=Kv・W・9.8=	529.2	N		
(5) アンカーボルトの引抜力 $Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$	=	715.1	N		
(6) アンカーボルトのせん断力 $Q=\frac{Fh}{N}$	=	264.6	N		
(7) アンカーボルトに生じる応力度					
①引張り応力度 $\sigma=\frac{Rb}{A}$	=	9.2	MPa＜ft = 176.4	MPa	
②せん断応力度 $\tau=\frac{Q}{A}$	=	3.4	MPa＜fs = 132.3	MPa	
③引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し.fts≦ft)	fts =1.4ft−1.6τ =	176.4	MPa		
	σ = 9.2 MPa＜fts=	176.4	MPa		
(8) アンカーボルトの施工法					
①アンカーボルトの施工法	=	箱抜き式J形アンカー			
②コンクリート厚さ	=	120	mm =	0.120	m
③ボルトの埋込長さ	=	70	mm =	0.070	m
④許容引抜荷重	Ta=	3136	N＞Rb=	715	N



以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています

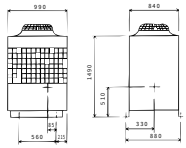
●PU(H)K-P280AW-A

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）	W=	220	kg			
(2) アンカーボルト						
①総本数	N=	4	本			
②サイズ・形状	=M	10	形			
③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）	A=	78	mm^2=	78×10^{-6}	m^2	
④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数	Nt=	2	本			
(3) 据付面より機器重心までの高さ	Hg=	510	mm =	0.510	m	
(4) 検討する方向から見たボルトスパン	L=	560	mm =	0.560	m	
(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離	Lg=	85	mm(Lg≦L/2) =	0.085	m	

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度	Kh=	1.0			
(2) 設計用鉛直震度	Kv=Kh/2=	0.5			
(3) 設計用水平地震力	Fh=Kh・W・9.8=	2156.0	N		
(4) 設計用鉛直地震力	Fv=Kv・W・9.8=	1078.0	N		
(5) アンカーボルトの引抜力 $Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$	=	899.9	N		
(6) アンカーボルトのせん断力 $Q=\frac{Fh}{N}$	=	539.0	N		
(7) アンカーボルトに生じる応力度					
①引張り応力度 $\sigma=\frac{Rb}{A}$	=	11.5	MPa＜ft = 176.4	MPa	
②せん断応力度 $\tau=\frac{Q}{A}$	=	6.9	MPa＜fs = 132.3	MPa	
③引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し.fts≦ft)	fts =1.4ft−1.6τ =	176.4	MPa		
	σ = 11.5 MPa＜fts=	176.4	MPa		
(8) アンカーボルトの施工法					
①アンカーボルトの施工法	=	箱抜き式J形アンカー			
②コンクリート厚さ	=	150	mm =	0.150	m
③ボルトの埋込長さ	=	100	mm =	0.100	m
④許容引抜荷重	Ta=	4508	N＞Rb=	900	N



以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています

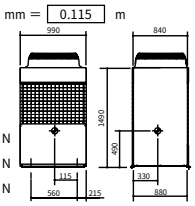
●PU(H)K-P224AW-A

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）	W=	215	kg			
(2) アンカーボルト						
①総本数	N=	4	本			
②サイズ	=M	10	形			
③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）	A=	78	mm^2=	78×10^{-6}	m^2	
④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数	Nt=	2	本			
(3) 据付面より機器重心までの高さ	Hg=	490	mm =	0.490	m	
(4) 検討する方向から見たボルトスパン	L=	560	mm =	0.560	m	
(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 (Lg≦L/2)	Lg=	115	mm =	0.115	m	

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度	Kh=	1.0			
(2) 設計用鉛直震度	Kv=Kh/2=	0.5			
(3) 設計用水平地震力	Fh=Kh・W・9.8=	2107	N		
(4) 設計用鉛直地震力	Fv=Kv・W・9.8=	1053.5	N		
(5) アンカーボルトの引抜力 $Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$	=	813.6	N		
(6) アンカーボルトのせん断力 $Q=\frac{Fh}{N}$	=	526.8	N		
(7) アンカーボルトに生じる応力度					
①引張り応力度 $\sigma=\frac{Rb}{A}$	=	10.4	MPa＜ft = 176.4	MPa	
②せん断応力度 $\tau=\frac{Q}{A}$	=	6.8	MPa＜fs = 132.3	MPa	
③引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し.fts≦ft)	fts =1.4ft−1.6τ =	176.4	MPa		
	σ = 6.04 MPa＜fts=	176.4	MPa		
(8) アンカーボルトの施工法					
①アンカーボルトの施工法	=	箱抜き式J形アンカー			
②コンクリート厚さ	=	150	mm =	0.150	m
③ボルトの埋込長さ	=	100	mm =	0.100	m
④許容引抜荷重	Ta=	4508	N＞Rb=	814	N



以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています

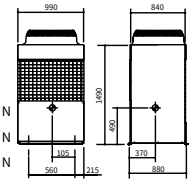
●PUK-P224UAW-A

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）	W=	230	kg			
(2) アンカーボルト						
①総本数	N=	4	本			
②サイズ	=M	10	形			
③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）	A=	78	mm^2=	78×10^{-6}	m^2	
④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数	Nt=	2	本			
(3) 据付面より機器重心までの高さ	Hg=	490	mm =	0.490	m	
(4) 検討する方向から見たボルトスパン	L=	560	mm =	0.560	m	
(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 (Lg≦L/2)	Lg=	105	mm =	0.105	m	

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度	Kh=	1.0			
(2) 設計用鉛直震度	Kv=Kh/2=	0.5			
(3) 設計用水平地震力	Fh=Kh・W・9.8=	2254.0	N		
(4) 設計用鉛直地震力	Fv=Kv・W・9.8=	1127.0	N		
(5) アンカーボルトの引抜力 $Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$	=	880.5	N		
(6) アンカーボルトのせん断力 $Q=\frac{Fh}{N}$	=	563.5	N		
(7) アンカーボルトに生じる応力度					
①引張り応力度 $\sigma=\frac{Rb}{A}$	=	11.3	MPa＜ft = 176.4	MPa	
②せん断応力度 $\tau=\frac{Q}{A}$	=	7.2	MPa＜fs = 132.3	MPa	
③引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し.fts≦ft)	fts =1.4ft−1.6τ =	176.4	MPa		
	σ = 6.04 MPa＜fts=	176.4	MPa		
(8) アンカーボルトの施工法					
①アンカーボルトの施工法	=	箱抜き式J形アンカー			
②コンクリート厚さ	=	150	mm =	0.150	m
③ボルトの埋込長さ	=	100	mm =	0.100	m
④許容引抜荷重	Ta=	4508	N＞Rb=	881	N



以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています

●PUK-P280UAW-A

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）　W= 235 kg

(2) アンカーボルト

①総本数　N= 4 本

②サイズ・形状　=M 10 形

③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）　A= 78 mm^2= 78×10^{-6} m^2

④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数　Nt= 2 本

(3) 据付面より機器重心までの高さ　Hg= 510 mm = 0.510 m

(4) 検討する方向から見たボルトスパン　L= 560 mm = 0.560 m

(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離　Lg= 75 mm(Lg≦L/2) = 0.075 m

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度　Kh= 1.0

(2) 設計用鉛直震度　Kv=Kh/2= 0.5

(3) 設計用水平地震力　Fh=Kh・W・9.8= 2303.0 N

(4) 設計用鉛直地震力　Fv=Kv・W・9.8= 1151.5 N

(5) アンカーボルトの引抜力　$Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$ = 971.6 N

(6) アンカーボルトのせん断力　$Q=\frac{Fh}{N}$ = 575.8 N

(7) アンカーボルトに生じる応力度

①引張り応力度　$\sigma=\frac{Rb}{A}$ = 12.5 MPa<ft = 176.4 MPa

②せん断応力度　$\tau=\frac{Q}{A}$ = 7.4 MPa<fs = 132.3 MPa

③引張りとせん断を同時に受ける場合（但し.fts≦ft）　fts =1.4ft−1.6τ = 176.4 MPa

σ = 11.5 MPa<fts= 176.4 MPa

(8) アンカーボルトの施工法

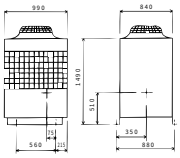
①アンカーボルトの施工法　= 箱抜き式J形アンカー

②コンクリート厚さ　= 150 mm = 0.150 m

③ボルトの埋込長さ　= 100 mm = 0.100 m

④許容引抜荷重　Ta= 4508 N>Rb= 972 N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



●PFAK-P224AW(M)-A　●PFTK-P200AW(M)-A

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）　W= 123 kg

(2) アンカーボルト

①総本数　N= 4 本

②サイズ・形状　=M 8 形

③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）　A= 50 mm^2= 50×10^{-6} m^2

④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数　Nt= 2 本

(3) 据付面より機器重心までの高さ　Hg= 809 mm = 0.809 m

(4) 検討する方向から見たボルトスパン　L= 300 mm = 0.3 m

(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離　Lg= 142 mm(Lg≦L/2) = 0.142 m

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度　Kh= 1.0

(2) 設計用鉛直震度　Kv=Kh/2= 0.5

(3) 設計用水平地震力　Fh=Kh・W・9.8= 1205.4 N

(4) 設計用鉛直地震力　Fv=Kv・W・9.8= 602.7 N

(5) アンカーボルトの引抜力　$Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$ = 1482.6 N

(6) アンカーボルトのせん断力　$Q=\frac{Fh}{N}$ = 301.4 N

(7) アンカーボルトに生じる応力度

①引張り応力度　$\sigma=\frac{Rb}{A}$ = 29.7 MPa<ft = 176.4 MPa

②せん断応力度　$\tau=\frac{Q}{A}$ = 6.0 MPa<fs = 132.3 MPa

③引張りとせん断を同時に受ける場合（但し.fts≦ft）　fts =1.4ft−1.6τ = 176.4 MPa

σ = 29.7 MPa<fts= 176.4 MPa

(8) アンカーボルトの施工法

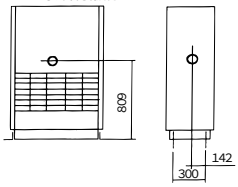
①アンカーボルトの施工法　= 箱抜き式J形アンカー

②コンクリート厚さ　= 150 mm = 0.150 m

③ボルトの埋込長さ　= 102 mm = 0.102 m

④許容引抜荷重　Ta= 4508 N>Rb= 1482.6 N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



（2）室内ユニット

(a) 標準・中温タイプ〈PFAK・PFTK形〉

●PFAK-P140AW(M)-A　●PFTK-P125AW(M)-A

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）　W= 108 kg

(2) アンカーボルト

①総本数　N= 4 本

②サイズ・形状　=M 8 形

③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）　A= 50 mm^2= 50×10^{-6} m^2

④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数　Nt= 2 本

(3) 据付面より機器重心までの高さ　Hg= 808 mm = 0.808 m

(4) 検討する方向から見たボルトスパン　L= 300 mm = 0.3 m

(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離　Lg= 145 mm(Lg≦L/2) = 0.145 m

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度　Kh= 1.0

(2) 設計用鉛直震度　Kv=Kh/2= 0.5

(3) 設計用水平地震力　Fh=Kh・W・9.8= 1058.4 N

(4) 設計用鉛直地震力　Fv=Kv・W・9.8= 529.2 N

(5) アンカーボルトの引抜力　$Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$ = 1297.4 N

(6) アンカーボルトのせん断力　$Q=\frac{Fh}{N}$ = 264.6 N

(7) アンカーボルトに生じる応力度

①引張り応力度　$\sigma=\frac{Rb}{A}$ = 25.9 MPa<ft = 176.4 MPa

②せん断応力度　$\tau=\frac{Q}{A}$ = 5.3 MPa<fs = 132.3 MPa

③引張りとせん断を同時に受ける場合（但し.fts≦ft）　fts =1.4ft−1.6τ = 176.4 MPa

σ = 25.9 MPa<fts= 176.4 MPa

(8) アンカーボルトの施工法

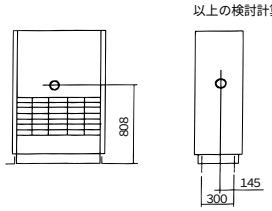
①アンカーボルトの施工法　= 箱抜き式J形アンカー

②コンクリート厚さ　= 150 mm = 0.15 m

③ボルトの埋込長さ　= 102 mm = 0.102 m

④許容引抜荷重　Ta= 4508 N>Rb= 1297.4 N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



●PFAK-P280AW(M)-A　●PFTK-P250AW(M)-A

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）　W= 147 kg

(2) アンカーボルト

①総本数　N= 4 本

②サイズ・形状　=M 8 形

③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）　A= 50 mm^2= 50×10^{-6} m^2

④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数　Nt= 2 本

(3) 据付面より機器重心までの高さ　Hg= 835 mm = 0.835 m

(4) 検討する方向から見たボルトスパン　L= 300 mm = 0.3 m

(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離　Lg= 144 mm(Lg≦L/2) = 0.144 m

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度　Kh= 1.0

(2) 設計用鉛直震度　Kv=Kh/2= 0.5

(3) 設計用水平地震力　Fh=Kh・W・9.8= 1440.6 N

(4) 設計用鉛直地震力　Fv=Kv・W・9.8= 720.3 N

(5) アンカーボルトの引抜力　$Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$ = 1832.0 N

(6) アンカーボルトのせん断力　$Q=\frac{Fh}{N}$ = 360.2 N

(7) アンカーボルトに生じる応力度

①引張り応力度　$\sigma=\frac{Rb}{A}$ = 36.6 MPa<ft = 176.4 MPa

②せん断応力度　$\tau=\frac{Q}{A}$ = 7.2 MPa<fs = 132.3 MPa

③引張りとせん断を同時に受ける場合（但し.fts≦ft）　fts =1.4ft−1.6τ = 176.4 MPa

σ = 36.6 MPa<fts= 176.4 MPa

(8) アンカーボルトの施工法

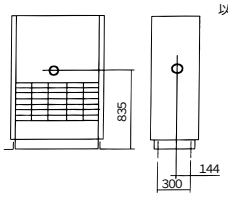
①アンカーボルトの施工法　= 箱抜き式J形アンカー

②コンクリート厚さ　= 150 mm = 0.15 m

③ボルトの埋込長さ　= 102 mm = 0.102 m

④許容引抜荷重　Ta= 4508 N>Rb= 1832.0 N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



●PFAK-P450AW(M)-A　●PFTK-P400AW(M)-A

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）　W= 235 kg

(2) アンカーボルト

①総本数　N= 4 本

②サイズ・形状　=M 8 形

③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）　A= 50 mm^2= 50×10^{-6} m^2

④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数　Nt= 2 本

(3) 据付面より機器重心までの高さ　Hg= 1017 mm = 1.017 m

(4) 検討する方向から見たボルトスパン　L= 440 mm = 0.44 m

(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離　Lg= 215 mm(Lg≦L/2) = 0.215 m

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度　Kh= 1.0

(2) 設計用鉛直震度　Kv=Kh/2= 0.5

(3) 設計用水平地震力　Fh=Kh・W・9.8= 2303.0 N

(4) 設計用鉛直地震力　Fv=Kv・W・9.8= 1151.5 N

(5) アンカーボルトの引抜力　$Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$ = 2380.2 N

(6) アンカーボルトのせん断力　$Q=\frac{Fh}{N}$ = 575.8 N

(7) アンカーボルトに生じる応力度

①引張り応力度　$\sigma=\frac{Rb}{A}$ = 47.6 MPa<ft = 176.4 MPa

②せん断応力度　$\tau=\frac{Q}{A}$ = 11.5 MPa<fs = 132.3 MPa

③引張りとせん断を同時に受ける場合（但し.fts≦ft）　fts =1.4ft−1.6τ = 176.4 MPa

σ = 47.6 MPa<fts= 176.4 MPa

(8) アンカーボルトの施工法

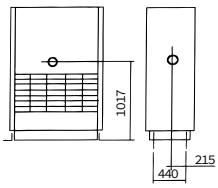
①アンカーボルトの施工法　= 箱抜き式J形アンカー

②コンクリート厚さ　= 150 mm = 0.15 m

③ボルトの埋込長さ　= 102 mm = 0.102 m

④許容引抜荷重　Ta= 4508 N>Rb= 2380.2 N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



●PFAK-P630AW(M)-A　●PFTK-P600AW(M)-A

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）　W= 410 kg

(2) アンカーボルト

①総本数　N= 4 本

②サイズ・形状　=M 10 形

③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）　A= 78 mm^2= 78×10^{-6} m^2

④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数　Nt= 2 本

(3) 据付面より機器重心までの高さ　Hg= 1010 mm = 1.01 m

(4) 検討する方向から見たボルトスパン　L= 615 mm = 0.615 m

(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離　Lg= 170 mm(Lg≦L/2) = 0.17 m

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度　Kh= 1.0

(2) 設計用鉛直震度　Kv=Kh/2= 0.5

(3) 設計用水平地震力　Fh=Kh・W・9.8= 4018.0 N

(4) 設計用鉛直地震力　Fv=Kv・W・9.8= 2009.0 N

(5) アンカーボルトの引抜力　$Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$ = 3021.7 N

(6) アンカーボルトのせん断力　$Q=\frac{Fh}{N}$ = 1004.5 N

(7) アンカーボルトに生じる応力度

①引張り応力度　$\sigma=\frac{Rb}{A}$ = 38.7 MPa<ft = 176.4 MPa

②せん断応力度　$\tau=\frac{Q}{A}$ = 12.9 MPa<fs = 132.3 MPa

③引張りとせん断を同時に受ける場合（但し.fts≦ft）　fts =1.4ft−1.6τ = 176.4 MPa

σ = 38.7 MPa<fts= 176.4 MPa

(8) アンカーボルトの施工法

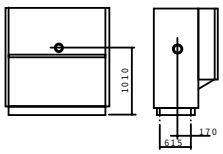
①アンカーボルトの施工法　= 箱抜き式J形アンカー

②コンクリート厚さ　= 150 mm = 0.15 m

③ボルトの埋込長さ　= 100 mm = 0.1 m

④許容引抜荷重　Ta= 4508 N>Rb= 3021.7 N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



●PFAK-P560AW(M)-A　●PFTK-P500AW(M)-A

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）　W= 257 kg

(2) アンカーボルト

①総本数　N= 4 本

②サイズ・形状　=M 8 形

③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）　A= 50 mm^2= 50×10^{-6} m^2

④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数　Nt= 2 本

(3) 据付面より機器重心までの高さ　Hg= 1017 mm = 1.017 m

(4) 検討する方向から見たボルトスパン　L= 440 mm = 0.44 m

(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離　Lg= 215 mm(Lg≦L/2) = 0.215 m

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度　Kh= 1.0

(2) 設計用鉛直震度　Kv=Kh/2= 0.5

(3) 設計用水平地震力　Fh=Kh・W・9.8= 2518.6 N

(4) 設計用鉛直地震力　Fv=Kv・W・9.8= 1259.3 N

(5) アンカーボルトの引抜力　$Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$ = 2603.0 N

(6) アンカーボルトのせん断力　$Q=\frac{Fh}{N}$ = 629.7 N

(7) アンカーボルトに生じる応力度

①引張り応力度　$\sigma=\frac{Rb}{A}$ = 52.1 MPa<ft = 176.4 MPa

②せん断応力度　$\tau=\frac{Q}{A}$ = 12.6 MPa<fs = 132.3 MPa

③引張りとせん断を同時に受ける場合（但し.fts≦ft）　fts =1.4ft−1.6τ = 176.4 MPa

σ = 52.1 MPa<fts= 176.4 MPa

(8) アンカーボルトの施工法

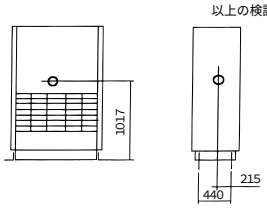
①アンカーボルトの施工法　= 箱抜き式J形アンカー

②コンクリート厚さ　= 150 mm = 0.15 m

③ボルトの埋込長さ　= 102 mm = 0.102 m

④許容引抜荷重　Ta= 4508 N>Rb= 2603.0 N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



●PFAK-P800AW(M)-A　●PFTK-P750WA(M)-A

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）　W= 425 kg

(2) アンカーボルト

①総本数　N= 4 本

②サイズ・形状　=M 10 形

③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）　A= 78 mm^2= 78×10^{-6} m^2

④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数　Nt= 2 本

(3) 据付面より機器重心までの高さ　Hg= 1020 mm = 1.02 m

(4) 検討する方向から見たボルトスパン　L= 615 mm = 0.615 m

(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離　Lg= 170 mm(Lg≦L/2) = 0.17 m

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度　Kh= 1.0

(2) 設計用鉛直震度　Kv=Kh/2= 0.5

(3) 設計用水平地震力　Fh=Kh・W・9.8= 4165.0 N

(4) 設計用鉛直地震力　Fv=Kv・W・9.8= 2082.5 N

(5) アンカーボルトの引抜力　$Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$ = 3166.1 N

(6) アンカーボルトのせん断力　$Q=\frac{Fh}{N}$ = 1041.3 N

(7) アンカーボルトに生じる応力度

①引張り応力度　$\sigma=\frac{Rb}{A}$ = 40.6 MPa<ft = 176.4 MPa

②せん断応力度　$\tau=\frac{Q}{A}$ = 13.3 MPa<fs = 132.3 MPa

③引張りとせん断を同時に受ける場合（但し.fts≦ft）　fts =1.4ft−1.6τ = 176.4 MPa

σ = 40.6 MPa<fts= 176.4 MPa

(8) アンカーボルトの施工法

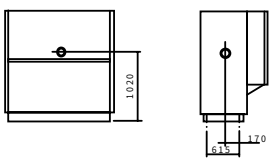
①アンカーボルトの施工法　= 箱抜き式J形アンカー

②コンクリート厚さ　= 150 mm = 0.15 m

③ボルトの埋込長さ　= 100 mm = 0.1 m

④許容引抜荷重　Ta= 4508 N>Rb= 3166.1 N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



●PFAK-P1120AW(M)-A-L　●PFTK-P1000AW(M)-A-L

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）　W= 600 kg

(2) アンカーボルト

①総本数　N= 4 本

②サイズ・形状　=M 16 形

③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）　A= 200 mm^2= 200×10^{-6} m^2

④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数　Nt= 2 本

(3) 据付面より機器重心までの高さ　Hg= 701 mm = 0.701 m

(4) 検討する方向から見たボルトスパン　L= 860 mm = 0.86 m

(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離　Lg= 321 mm(Lg≦L/2) = 0.321 m

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度　Kh= 1.0

(2) 設計用鉛直震度　Kv=Kh/2= 0.5

(3) 設計用水平地震力　Fh=Kh・W・9.8= 5880.0 N

(4) 設計用鉛直地震力　Fv=Kv・W・9.8= 2940.0 N

(5) アンカーボルトの引抜力　$Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$ = 1847.8 N

(6) アンカーボルトのせん断力　$Q=\frac{Fh}{N}$ = 1470.0 N

(7) アンカーボルトに生じる応力度

①引張り応力度　$\sigma=\frac{Rb}{A}$ = 9.2 MPa<ft = 176.4 MPa

②せん断応力度　$\tau=\frac{Q}{A}$ = 7.4 MPa<fs = 132.3 MPa

③引張りとせん断を同時に受ける場合（但し.fts≦ft）　fts =1.4ft−1.6τ = 176.4 MPa

σ = 9.2 MPa<fts= 176.4 MPa

(8) アンカーボルトの施工法

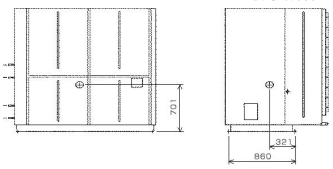
①アンカーボルトの施工法　= 後打ち式おねじ形メカニカルアンカー

②コンクリート厚さ　= 120 mm = 0.12 m

③ボルトの埋込長さ　= 70 mm = 0.07 m

④許容引抜荷重　Ta= 9016 N>Rb= 1847.8 N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



●PFAK-P1120AW(M)-A-R　●PFTK-P1000AW(M)-A-R

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）　W= 600 kg

(2) アンカーボルト

①総本数　N= 4 本

②サイズ・形状　=M 16 形

③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）　A= 200 mm^2= 200×10^{-6} m^2

④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数　Nt= 2 本

(3) 据付面より機器重心までの高さ　Hg= 701 mm = 0.701 m

(4) 検討する方向から見たボルトスパン　L= 860 mm = 0.86 m

(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離　Lg= 321 mm(Lg≦L/2) = 0.321 m

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度　Kh= 1.0

(2) 設計用鉛直震度　Kv=Kh/2= 0.5

(3) 設計用水平地震力　Fh=Kh・W・9.8= 5880.0 N

(4) 設計用鉛直地震力　Fv=Kv・W・9.8= 2940.0 N

(5) アンカーボルトの引抜力　$Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$ = 1847.8 N

(6) アンカーボルトのせん断力　$Q=\frac{Fh}{N}$ = 1470.0 N

(7) アンカーボルトに生じる応力度

①引張り応力度　$\sigma=\frac{Rb}{A}$ = 9.2 MPa<ft = 176.4 MPa

②せん断応力度　$\tau=\frac{Q}{A}$ = 7.4 MPa<fs = 132.3 MPa

③引張りとせん断を同時に受ける場合（但し.fts≦ft）　fts =1.4ft−1.6τ = 176.4 MPa

σ = 9.2 MPa<fts= 176.4 MPa

(8) アンカーボルトの施工法

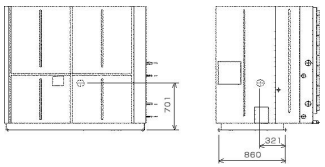
①アンカーボルトの施工法　= 後打ち式おねじ形メカニカルアンカー

②コンクリート厚さ　= 120 mm = 0.12 m

③ボルトの埋込長さ　= 70 mm = 0.07 m

④許容引抜荷重　Ta= 9016 N>Rb= 1847.8 N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



●PFAK-P1400AW(M)-A-L　●PFTK-P1250AW(M)-A-L

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）　W= 650 kg

(2) アンカーボルト

①総本数　N= 4 本

②サイズ・形状　=M 16 形

③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）　A= 200 mm^2= 200×10^{-6} m^2

④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数　Nt= 2 本

(3) 据付面より機器重心までの高さ　Hg= 754 mm = 0.754 m

(4) 検討する方向から見たボルトスパン　L= 860 mm = 0.86 m

(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離　Lg= 327 mm(Lg≦L/2) = 0.327 m

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度　Kh= 1.0

(2) 設計用鉛直震度　Kv=Kh/2= 0.5

(3) 設計用水平地震力　Fh=Kh・W・9.8= 6370.0 N

(4) 設計用鉛直地震力　Fv=Kv・W・9.8= 3185.0 N

(5) アンカーボルトの引抜力　$Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$ = 2186.9 N

(6) アンカーボルトのせん断力　$Q=\frac{Fh}{N}$ = 1592.5 N

(7) アンカーボルトに生じる応力度

①引張り応力度　$\sigma=\frac{Rb}{A}$ = 10.9 MPa<ft = 176.4 MPa

②せん断応力度　$\tau=\frac{Q}{A}$ = 8.0 MPa<fs = 132.3 MPa

③引張りとせん断を同時に受ける場合（但し.fts≦ft）　fts =1.4ft−1.6τ = 176.4 MPa

σ = 10.9 MPa<fts= 176.4 MPa

(8) アンカーボルトの施工法

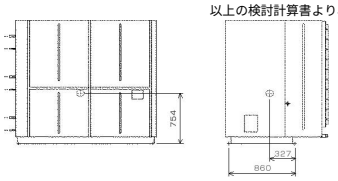
①アンカーボルトの施工法　= 後打ち式おねじ形メカニカルアンカー

②コンクリート厚さ　= 120 mm = 0.12 m

③ボルトの埋込長さ　= 70 mm = 0.07 m

④許容引抜荷重　Ta= 9016 N>Rb= 2186.9 N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



●PFAK-P1400AW(M)-A-R　●PFTK-P1250AW(M)-A-R

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）　W= 650 kg

(2) アンカーボルト

①総本数　N= 4 本

②サイズ・形状　=M 16 形

③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）　A= 200 mm^2= 200×10^{-6} m^2

④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数　Nt= 2 本

(3) 据付面より機器重心までの高さ　Hg= 754 mm = 0.754 m

(4) 検討する方向から見たボルトスパン　L= 860 mm = 0.86 m

(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離　Lg= 327 mm(Lg≦L/2) = 0.327 m

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度　Kh= 1.0

(2) 設計用鉛直震度　Kv=Kh/2= 0.5

(3) 設計用水平地震力　Fh=Kh・W・9.8= 6370.0 N

(4) 設計用鉛直地震力　Fv=Kv・W・9.8= 3185.0 N

(5) アンカーボルトの引抜力　$Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$ = 2186.9 N

(6) アンカーボルトのせん断力　$Q=\frac{Fh}{N}$ = 1592.5 N

(7) アンカーボルトに生じる応力度

①引張り応力度　$\sigma=\frac{Rb}{A}$ = 10.9 MPa<ft = 176.4 MPa

②せん断応力度　$\tau=\frac{Q}{A}$ = 8.0 MPa<fs = 132.3 MPa

③引張りとせん断を同時に受ける場合（但し.fts≦ft）　fts =1.4ft−1.6τ = 176.4 MPa

σ = 10.9 MPa<fts= 176.4 MPa

(8) アンカーボルトの施工法

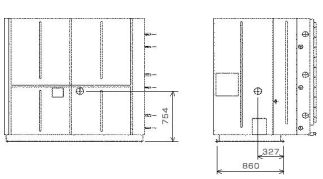
①アンカーボルトの施工法　= 後打ち式おねじ形メカニカルアンカー

②コンクリート厚さ　= 120 mm = 0.12 m

③ボルトの埋込長さ　= 70 mm = 0.07 m

④許容引抜荷重　Ta= 9016 N>Rb= 2186.9 N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



(b) オールフレッシュタイプ〈PFAK-F形〉

●PFAK-P167AW(M)-A-F

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）　W= 110 kg

(2) アンカーボルト

①総本数　N= 4 本

②サイズ・形状　=M 8 形

③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）　A= 50 mm^2= 50×10^{-6} m^2

④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数　Nt= 2 本

(3) 据付面より機器重心までの高さ　Hg= 799 mm = 0.799 m

(4) 検討する方向から見たボルトスパン　L= 300 mm = 0.3 m

(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離　Lg= 141 mm(Lg≦L/2) = 0.141 m

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度　Kh= 1.0

(2) 設計用鉛直震度　Kv=Kh/2= 0.5

(3) 設計用水平地震力　Fh=Kh・W・9.8= 1078.0 N

(4) 設計用鉛直地震力　Fv=Kv・W・9.8= 539.0 N

(5) アンカーボルトの引抜力　$Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$ = 1308.9 N

(6) アンカーボルトのせん断力　$Q=\frac{Fh}{N}$ = 269.5 N

(7) アンカーボルトに生じる応力度

①引張り応力度　$\sigma=\frac{Rb}{A}$ = 26.2 MPa<ft = 176.4 MPa

②せん断応力度　$\tau=\frac{Q}{A}$ = 5.4 MPa<fs = 132.3 MPa

③引張りとせん断を同時に受ける場合（但し.fts≦ft）　fts =1.4ft−1.6τ = 176.4 MPa

σ = 26.2 MPa<fts= 176.4 MPa

(8) アンカーボルトの施工法

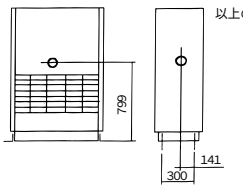
①アンカーボルトの施工法　= 箱抜き式J形アンカー

②コンクリート厚さ　= 150 mm = 0.15 m

③ボルトの埋込長さ　= 102 mm = 0.102 m

④許容引抜荷重　Ta= 4508 N>Rb= 1308.9 N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



●PFAK-P265AW(M)-A-F

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）　W= 126 kg

(2) アンカーボルト

①総本数　N= 4 本

②サイズ・形状　=M 8 形

③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）　A= 50 mm^2= 50×10^{-6} m^2

④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数　Nt= 2 本

(3) 据付面より機器重心までの高さ　Hg= 798 mm = 0.798 m

(4) 検討する方向から見たボルトスパン　L= 300 mm = 0.3 m

(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離　Lg= 137 mm(Lg≦L/2) = 0.137 m

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度　Kh= 1.0

(2) 設計用鉛直震度　Kv=Kh/2= 0.5

(3) 設計用水平地震力　Fh=Kh・W・9.8= 1234.8 N

(4) 設計用鉛直地震力　Fv=Kv・W・9.8= 617.4 N

(5) アンカーボルトの引抜力　$Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$ = 1501.3 N

(6) アンカーボルトのせん断力　$Q=\frac{Fh}{N}$ = 308.7 N

(7) アンカーボルトに生じる応力度

①引張り応力度　$\sigma=\frac{Rb}{A}$ = 30.0 MPa<ft = 176.4 MPa

②せん断応力度　$\tau=\frac{Q}{A}$ = 6.2 MPa<fs = 132.3 MPa

③引張りとせん断を同時に受ける場合（但し.fts≦ft）　fts =1.4ft−1.6τ = 176.4 MPa

σ = 30.0 MPa<fts= 176.4 MPa

(8) アンカーボルトの施工法

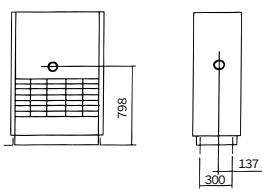
①アンカーボルトの施工法　= 箱抜き式J形アンカー

②コンクリート厚さ　= 150 mm = 0.15 m

③ボルトの埋込長さ　= 102 mm = 0.102 m

④許容引抜荷重　Ta= 4508 N>Rb= 1501.3 N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



●PFAK-P335AW(M)-A-F

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）　W= 150 kg

(2) アンカーボルト

①総本数　N= 4 本

②サイズ・形状　=M 8 形

③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）　A= 50 mm^2= 50×10^{-6} m^2

④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数　Nt= 2 本

(3) 据付面より機器重心までの高さ　Hg= 825 mm = 0.825 m

(4) 検討する方向から見たボルトスパン　L= 300 mm = 0.3 m

(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離　Lg= 139 mm(Lg≦L/2) = 0.139 m

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度　Kh= 1.0

(2) 設計用鉛直震度　Kv=Kh/2= 0.5

(3) 設計用水平地震力　Fh=Kh・W・9.8= 1470.0 N

(4) 設計用鉛直地震力　Fv=Kv・W・9.8= 735.0 N

(5) アンカーボルトの引抜力　$Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$ = 1851.0 N

(6) アンカーボルトのせん断力　$Q=\frac{Fh}{N}$ = 367.5 N

(7) アンカーボルトに生じる応力度

①引張り応力度　$\sigma=\frac{Rb}{A}$ = 37.0 MPa<ft = 176.4 MPa

②せん断応力度　$\tau=\frac{Q}{A}$ = 7.4 MPa<fs = 132.3 MPa

③引張りとせん断を同時に受ける場合（但し.fts≦ft）　fts =1.4ft−1.6τ = 176.4 MPa

σ = 37.0 MPa<fts= 176.4 MPa

(8) アンカーボルトの施工法

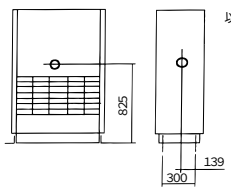
①アンカーボルトの施工法　= 箱抜き式J形アンカー

②コンクリート厚さ　= 150 mm = 0.15 m

③ボルトの埋込長さ　= 102 mm = 1.102 m

④許容引抜荷重　Ta= 4508 N>Rb= 1851.0 N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



●PFAK-P530AW(M)-A-F

1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）　W= 239 kg

(2) アンカーボルト

①総本数　N= 4 本

②サイズ・形状　=M 8 形

③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）　A= 50 mm^2= 50×10^{-6} m^2

④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数　Nt= 2 本

(3) 据付面より機器重心までの高さ　Hg= 1009 mm = 1.009 m

(4) 検討する方向から見たボルトスパン　L= 440 mm = 0.44 m

(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離　Lg= 210 mm(Lg≦L/2) = 0.21 m

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度　Kh= 1.0

(2) 設計用鉛直震度　Kv=Kh/2= 0.5

(3) 設計用水平地震力　Fh=Kh・W・9.8= 2342.2 N

(4) 設計用鉛直地震力　Fv=Kv・W・9.8= 1171.1 N

(5) アンカーボルトの引抜力　$Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$ = 2406.1 N

(6) アンカーボルトのせん断力　$Q=\frac{Fh}{N}$ = 585.6 N

(7) アンカーボルトに生じる応力度

①引張り応力度　$\sigma=\frac{Rb}{A}$ = 48.1 MPa<ft = 176.4 MPa

②せん断応力度　$\tau=\frac{Q}{A}$ = 11.7 MPa<fs = 132.3 MPa

③引張りとせん断を同時に受ける場合（但し.fts≦ft）　fts =1.4ft−1.6τ = 176.4 MPa

σ = 48.1 MPa<fts= 176.4 MPa

(8) アンカーボルトの施工法

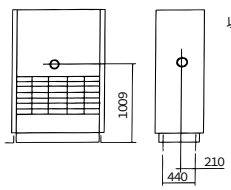
①アンカーボルトの施工法　= 箱抜き式J形アンカー

②コンクリート厚さ　= 150 mm = 0.15 m

③ボルトの埋込長さ　= 102 mm = 0.102 m

④許容引抜荷重　Ta= 4508 N>Rb= 2406.1 N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



●PFAK-P670AW(M)-A-F

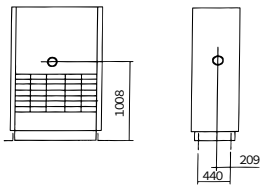
1. 仕　様

(1) 機器質量（運転質量）	W=	262	kg		
(2) アンカーボルト					
①総本数	N=	4	本		
②サイズ・形状	=M	8	形		
③1本当たりの軸断面積（呼径による断面積）	A=	50	mm^2=	50×10^{-6}	m^2
④機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数	Nt=	2	本		
(3) 据付面より機器重心までの高さ	Hg=	1008	mm =	1.008	m
(4) 検討する方向から見たボルトスパン	L=	440	mm =	0.44	m
(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離	Lg=	209	mm(Lg≦L/2) =	0.209	m

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

(1) 設計用水平震度	Kh=	1.0	
(2) 設計用鉛直震度	Kv=Kh/2=	0.5	
(3) 設計用水平地震力	Fh=Kh・W・9.8=	2567.6	N
(4) 設計用鉛直地震力	Fv=Kv・W・9.8=	1283.8	N
(5) アンカーボルトの引抜力	$Rb=\frac{Fh\cdot Hg-(W\cdot 9.8-Fv)\cdot Lg}{L\cdot Nt}$ =	2636.2	N
(6) アンカーボルトのせん断力	$Q=\frac{Fh}{N}$ =	641.9	N
(7) アンカーボルトに生じる応力度			
①引張り応力度	$\sigma=\frac{Rb}{A}$ =	52.7	MPa<ft = 176.4 MPa
②せん断応力度	$\tau=\frac{Q}{A}$ =	12.8	MPa<fs = 132.3 MPa
③引張りとせん断を同時に受ける場合	fts =1.4ft−1.6τ =	176.4	MPa
（但し.fts≦ft）	σ = 52.7 MPa<fts=	176.4	MPa
(8) アンカーボルトの施工法			
①アンカーボルトの施工法	=	箱抜き式Ｊ形アンカー	
②コンクリート厚さ	= 150	mm = 0.15	m
③ボルトの埋込長さ	= 102	mm = 0.102	m
④許容引抜荷重	Ta= 4508	N>Rb= 2636.2	N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています

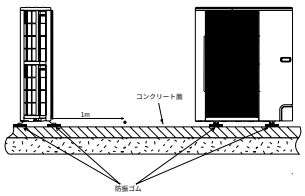


〈8〉室外ユニット振動レベル

●PU(H)K-P140AW-A

1．測定条件

(1)測定周波数帯：1Hz～80Hz
(2)測 定 位 置 ：ユニット正面より1m
(3)据 付 状 態 ：コンクリート床面に防振ゴム（ブリジストン社製　IP-1003　55×55mm）を敷いた上からアンカーボルトにて固定



(4)電　　源 ：三相200V　50Hz/60Hz
(5)運 転 条 件 ：外気温度32℃

2．振動レベル値

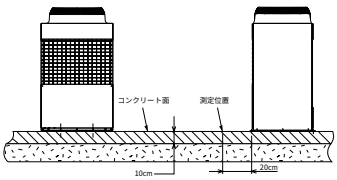
振動レベル値　40dB [A特性]以下

注.上記値は、暗振動補正を行ったものである。

●PU(H)K-P224,280(U)AW-A

1．測定条件

(1)測定周波数帯：1Hz～80Hz
(2)測 定 位 置 ：ユニット脚部より20cmの距離の路面
(3)据 付 状 態 ：コンクリート床面直置



(4)電　　源 ：三相200V　50Hz/60Hz
(5)運 転 条 件 ：JIS条件（冷房・暖房）
(6)測 定 機 器 ：公害用振動レベル計　VM−1220C（JIS適合品）

2．振動レベル値

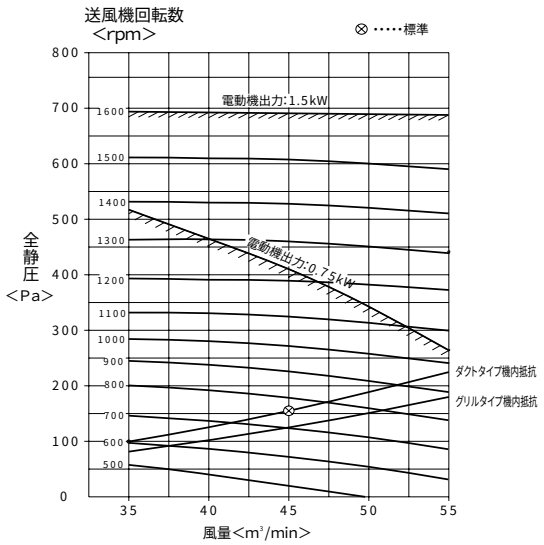
振動レベル値　44/45dB [A特性]

注.上記値は、暗振動補正を行ったものである。

〈9〉送風機性能線図

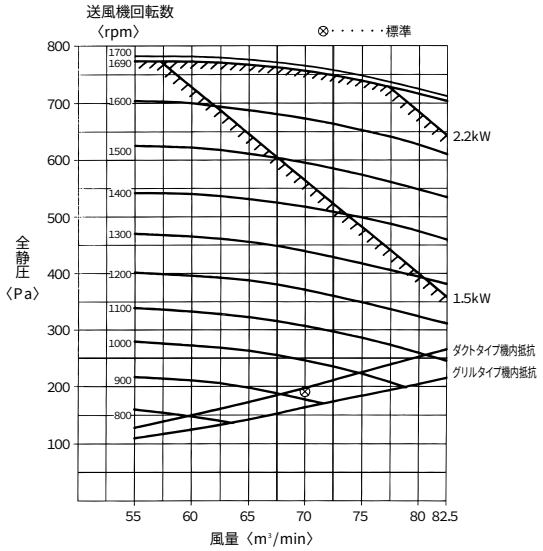
（1）標準・中温タイプ〈PFAK・PFTK形〉

●PFAK-P140AW(M)-A
●PFTK-P125AW(M)-A



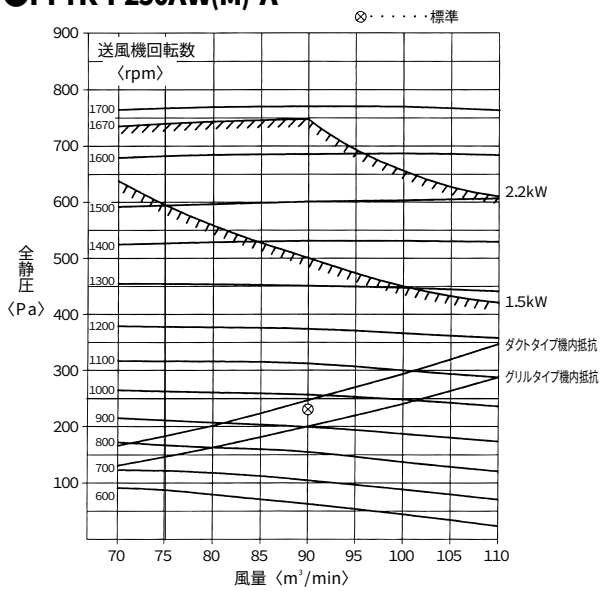
※50Hz地区の場合、モータープーリー径（可変プーリー）をφ93.9（出荷時はφ77.9）に調整した値を示します。

●PFAK-P224AW(M)-A
●PFTK-P200AW(M)-A



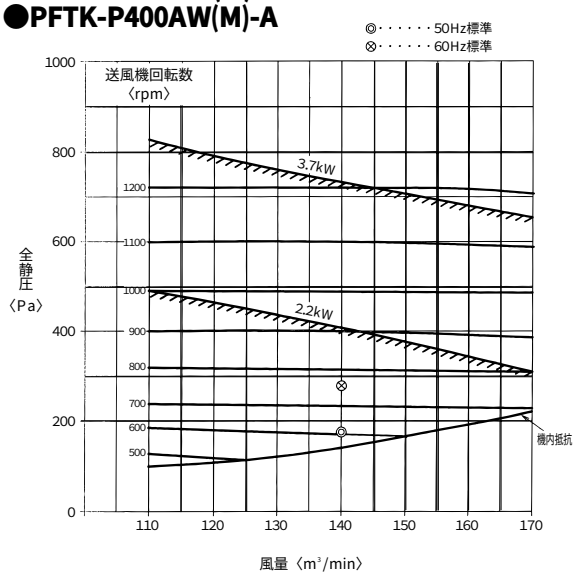
※50Hz地区の場合、モータープーリー径（可変プーリー）をφ140（出荷時はφ116.7）に調整した値を示します。

●PFAK-P280AW(M)-A
●PFTK-P250AW(M)-A

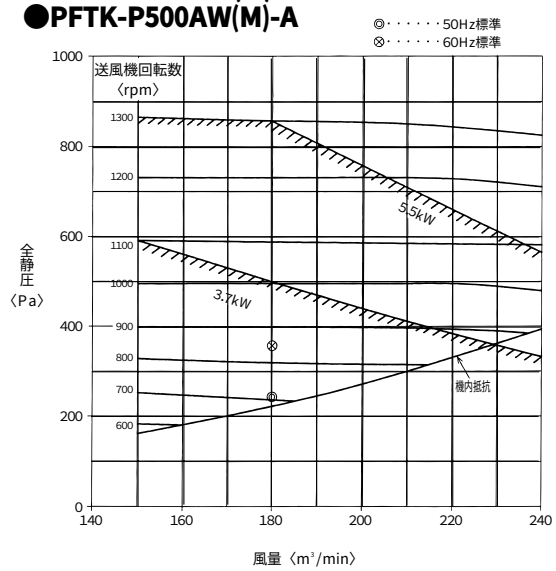


※50Hz地区の場合、モータープーリー径（可変プーリー）をφ140（出荷時はφ116.7）に調整した値を示します。

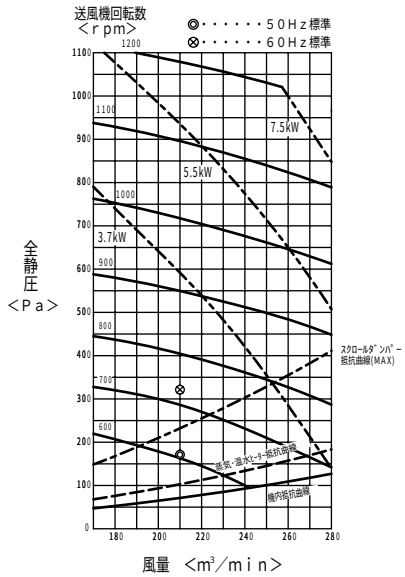
●PFAK-P450AW(M)-A
●PFTK-P400AW(M)-A



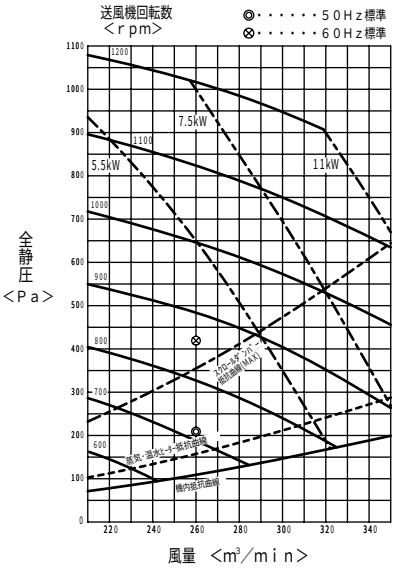
●PFAK-P560AW(M)-A
●PFTK-P500AW(M)-A



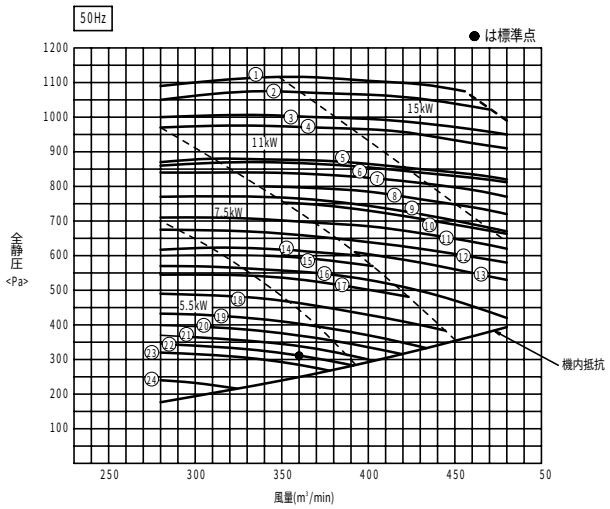
●PFAK-P630AW(M)-A
●PFTK-P600AW(M)-A



●PFAK-P800AW(M)-A
●PFTK-P750AW(M)-A

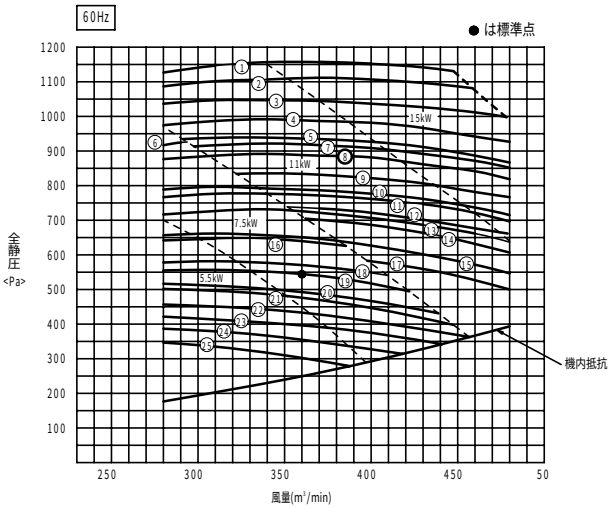


●PFAK-P1120AW(M)-A-L,R
●PFTK-P1000AW(M)-A-L,R



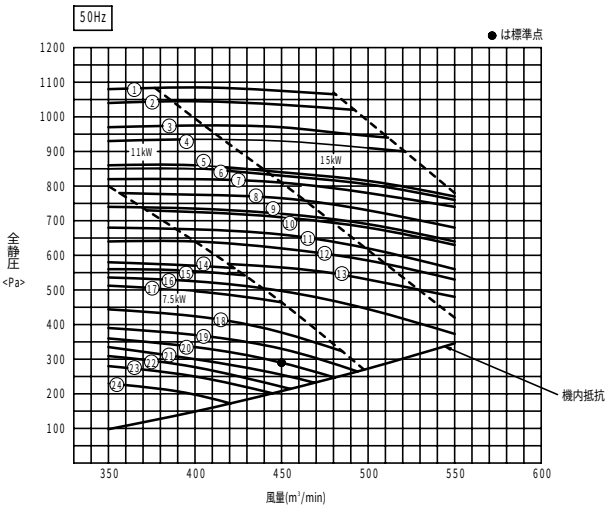
注1. ①～㉔はプーリー組合わせNo.を示します。
プーリー径およびベルトサイズは静風圧部品選定表（P204）
の同じNo.のプーリー組合わせを参照ください。

●PFAK-P1120AW(M)-A-L,R
●PFTK-P1000AW(M)-A-L,R



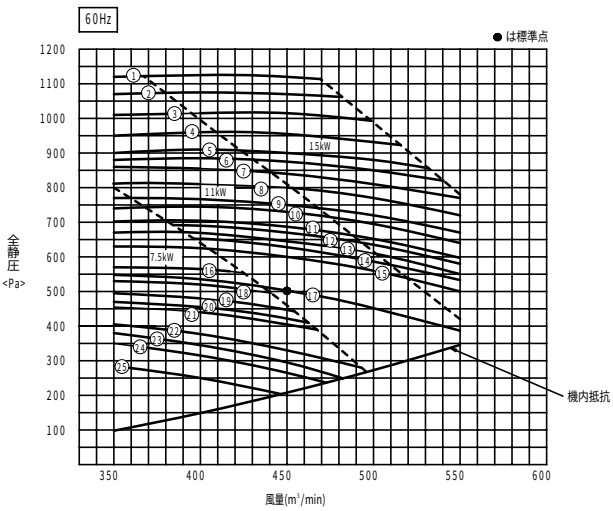
注1. ①～㉕はプーリー組合わせNo.を示します。
プーリー径およびベルトサイズは静風圧部品選定表（P204）
の同じNo.のプーリー組合わせを参照ください。

●PFAK-P1400AW(M)-A-L,R
●PFTK-P1250AW(M)-A-L,R



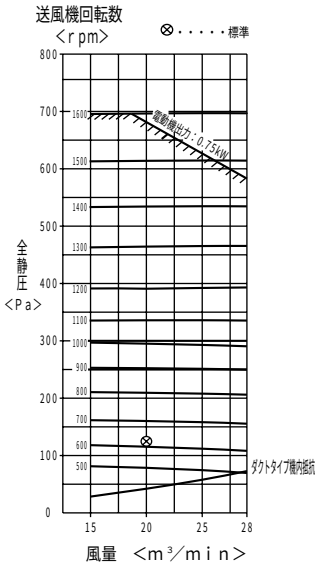
注1. ①～㉔はプーリー組み合わせNo.を示します。
プーリー径およびベルトサイズは静風圧部品選定表（P204）
の同じNo.のプーリー組合わせを参照ください。

●PFAK-P1400AW(M)-A-L,R
●PFTK-P1250AW(M)-A-L,R



注1. ①～㉕はプーリー組合わせNo.を示します。
プーリー径およびベルトサイズは静風圧部品選定表（P204）
の同じNo.のプーリー組合わせを参照ください。

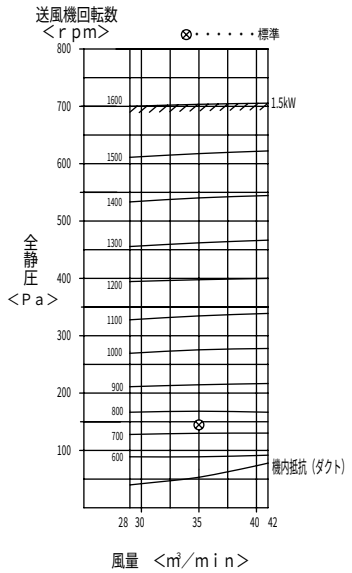
●PFAK-P167AW(M)-A-F



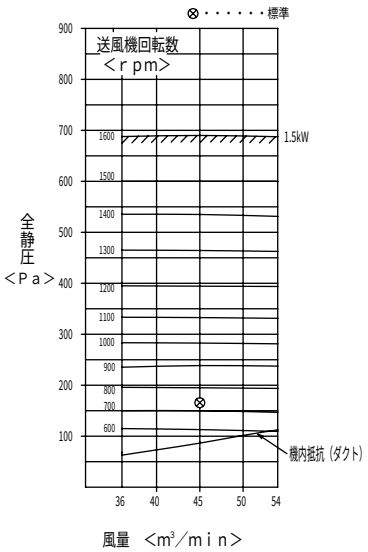
※50Hz地区の場合、モータープーリー径（可変プーリー）をφ93.9（出荷時はφ77.9）に調整した値を示します。

（2）オールフレッシュタイプ〈PFAK-F形〉

●PFAK-P265AW(M)-A-F

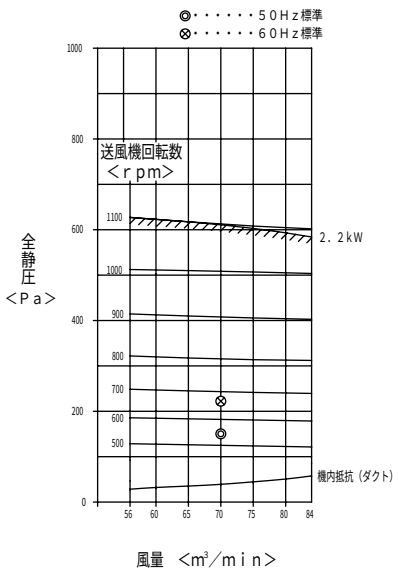


●PFAK-P335AW(M)-A-F

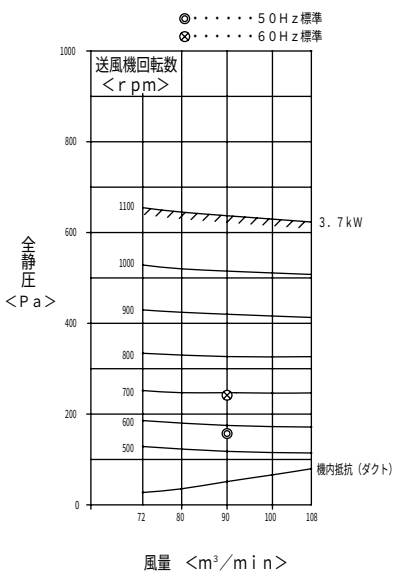


※ 50Hz地区の場合、モータープーリー径（可変プーリー）をφ140（出荷時はφ116.7）に調整した値を示します。

●PFAK-P530AW(M)-A-F



●PFAK-P670AW(M)-A-F



〈10〉据付工事

（1）据付場所の選定

(a) 室外ユニット

- ■他の熱源から直接ふく射熱を受けないところ。
- ■ユニットから発生する騒音が隣家に迷惑のかからないところ。
- ■強風が吹きつけないところ。
- ■本体の質量に十分耐えられる強度のあるところ。
- ■暖房運転時には、ユニットからドレンが流れますのでご留意ください。
- ■次項「（2）据付スペース」に示すサービス、風路スペースがあるところ。
- ■可燃性ガスの発生、流入、滞留、漏れのおそれがある場所では、火災をおこす危険性がありますので設置しないでください。
- ■酸性の溶液や特殊なスプレー(イオウ系)を頻繁に使用する場所は避けてください。
- ■油、蒸気、硫化ガスの多い特殊環境では使用しないでください。
- ■外気10℃以下にて冷房運転を実施する可能性がある場合は、ユニットの安定した運転を確保するため、室外ユニットに直接雨雪が当らない場所を選定するか、吹出ダクト、吸込ダクトを取付けるようにしてください。
- ■電源および室内側ユニットとの配線配管に便利なところ。
- ■ユニットの重さ、振動に耐え水平に据付けできるところ。

次の環境汚染地域にユニットを据付ける場合は、耐塩害仕様（BSタイプ)、耐重塩害仕様（BSGタイプ）のユニットを選定してください。

- ■潮風にはかからないが、その雰囲気にあるような場所（室外ユニットの設置j場所から海までの距離が300mを越え1km以内のところ）に据付ける場合は耐塩害仕様（BSタイプ）のユニット。
- ■潮風の影響を受ける場所に据付ける場合は耐重塩害仕様（BSGタイプ）のユニット。

(b) 室内ユニット

⚠警告	**据付けは、質量に十分耐える場所に確実に行ってください。**
	●強度不足の場合は、ユニットの転倒により、ケガの原因になります。

- ■吹出空気が部屋全体に行渡るところ。
- ■侵入外気の影響のないところ。
- ■吹出空気、吸込空気の流れに傷害物のないところ。
- ■油の飛沫や蒸気のないところ。
- ■可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれのないところ。
- ■高周波を発生する機械のないところ。
- ■吹出口側に火災報知器（センサー部）が位置しないようにしてください。
  （暖房運転時に吹出温風により火災報知器が誤作動するおそれがあります。）
- ■酸性の溶液などを頻繁に使用するところは避けてください。
- ■特殊なスプレー（イオウ系）などを頻繁に使用するところは避けてください。

室内ユニットの質量に十分耐える強固な構造の床に据付けます。

（2）据付スペース

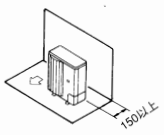
(a) 室外ユニット

●PU(H)K-P140AW-A

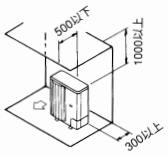
●別売エアーガイド（PAC-SF09AG）を使用する場合は、エアーガイドの説明書または技術資料の指示に従って据付けてください。

1）単独設置時の周囲必要空間

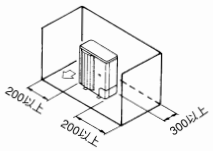
(1) 背面に障害物がある場合
（正面、側面、上方は開放）



(2) 背面と上方に障害物がある場合
（正面、側面は開放）

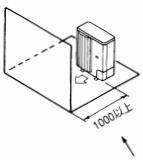


(3) 背面と側面に障害物がある場合
（正面、上方は開放）



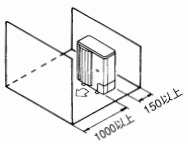
※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用にならないでください。

(4) 正面に障害物がある場合
（背面、側面、上方は開放）



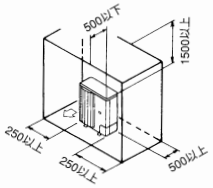
※別売吹出ガイドをご使用の場合は500以上。

(5) 背面と正面に障害物がある場合
（側面、上方は開放）



※別売吹出ガイドをご使用の場合は500以上。

(6) 背面と側面および上方に障害物がある場合（正面は開放）

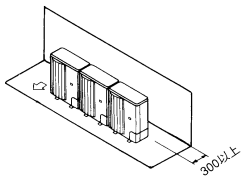


※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用にならないでください。

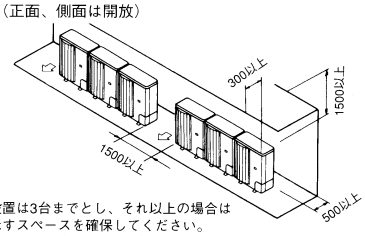
2）複数台設置時の周囲必要空間

●横連続設置の場合、ユニット間は10以上確保してください。

(1) 背面に障害物がある場合
（正面、側面、上方は開放）

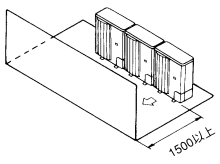


(2) 背面と上方に障害物がある場合
（正面、側面は開放）



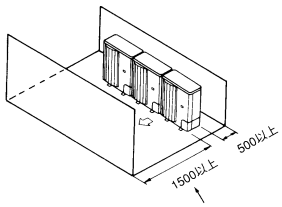
※横連続設置は3台までとし、それ以上の場合は上図に示すスペースを確保してください。
※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用にならないでください。

(3) 正面に障害物がある場合
（背面、側面、上方は開放）



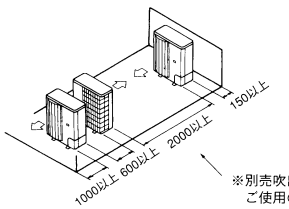
※別売吹出ガイドをご使用の場合は1000以上

(4) 背面と正面に障害物がある場合
（側面、上方は開放）



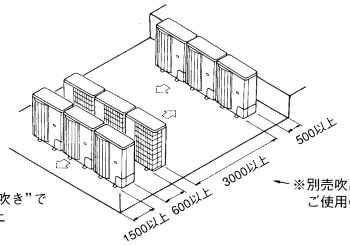
※別売吹出ガイドをご使用の場合は1000以上

(5) 1台多列設置の場合



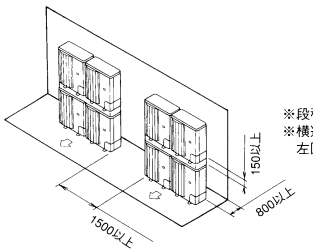
※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用の場合1000以上

(6) 複数台多列設置の場合



※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用の場合1500以上

(7) 段積み設置の場合

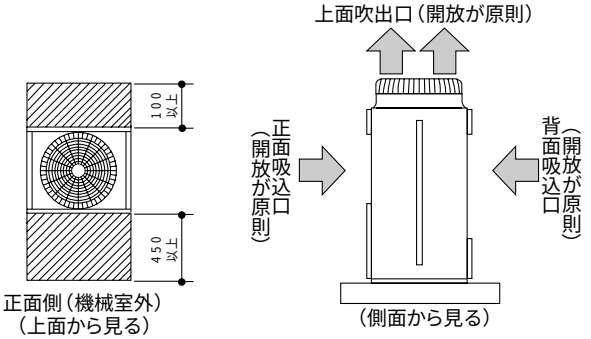


※段積みは2段までとしてください。
※横連続設置は2台までとし、それ以上の場合は左図に示すスペースを確保してください。

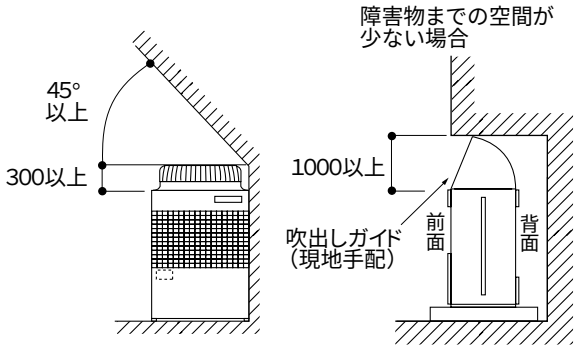
●PU(H)K-P224,280(U)AW-A

①単独設置の場合【必要空間の基本】

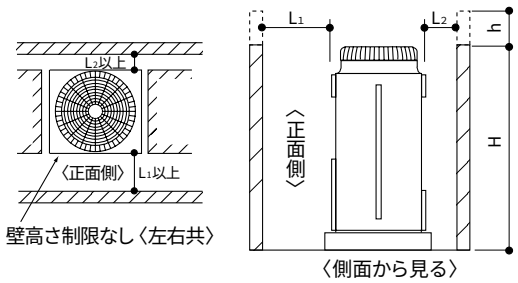
後面側は吸込空気の関係上100mm以上必要ですが、後面からのサービス等を考慮した場合、前面同様450mm程度開いていた方が便利です。



【ユニットの上方に障害物がある場合】



【ユニット左右から吸込空気が入る場合】

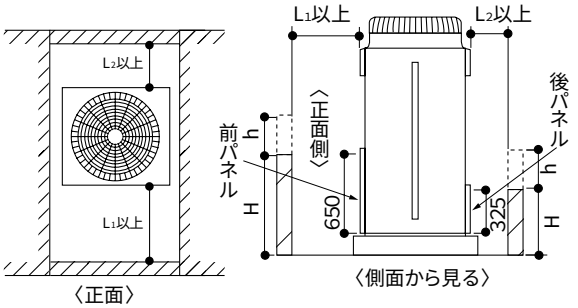


(注)・前、後の壁高さ＜H＞は、ユニットの全高以下のこと。
・前、後の壁高さ＜H'＞がユニットの全高を超える場合は、上図のh寸法を右表のL_1、L_2に加算してください。

h＝壁高さ＜H'＞－ユニット全高

L_1	L_2
450	100

【ユニット周囲が壁の場合】

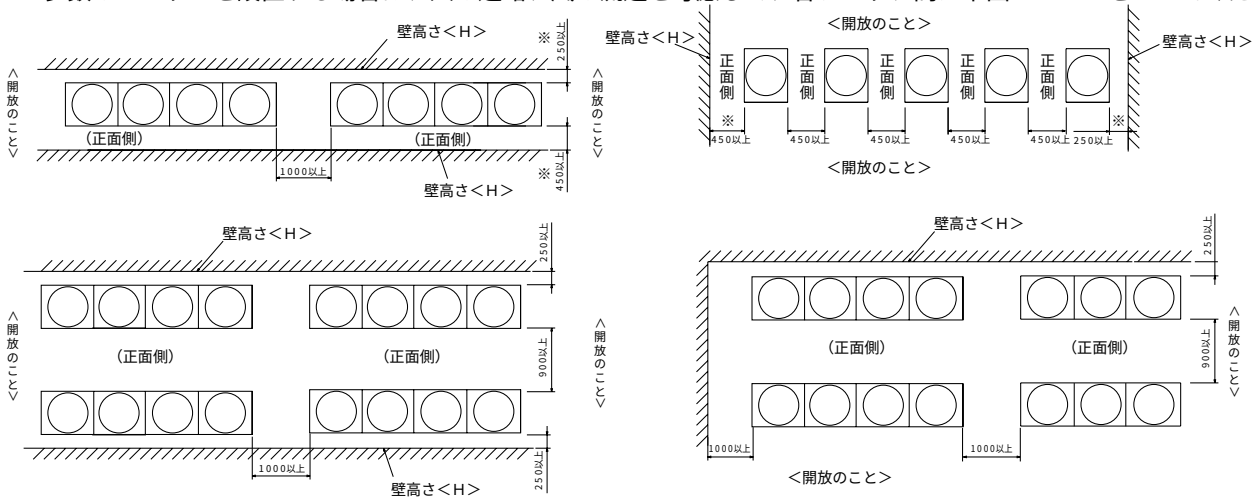


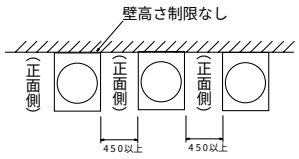
(注)・前、後の壁高さ＜H＞はユニットの前、後パネルの高さ以下のこと。
・前、後の壁高さ＜H'＞がパネル高さを超える場合は、上図のh寸法を下表のL_1、L_2に加算してください。
h＝壁高さ＜H'＞－パネル高さ
例 h＝100の場合
L1寸法は450＋100＝550となります。

L_1	L_2
450	100

②集中設置・連続設置の場合

多数のユニットを設置する場合は、人の通路、風の流通を考慮して、各ブロック間に下図スペースをとってください。





［単位：mm］

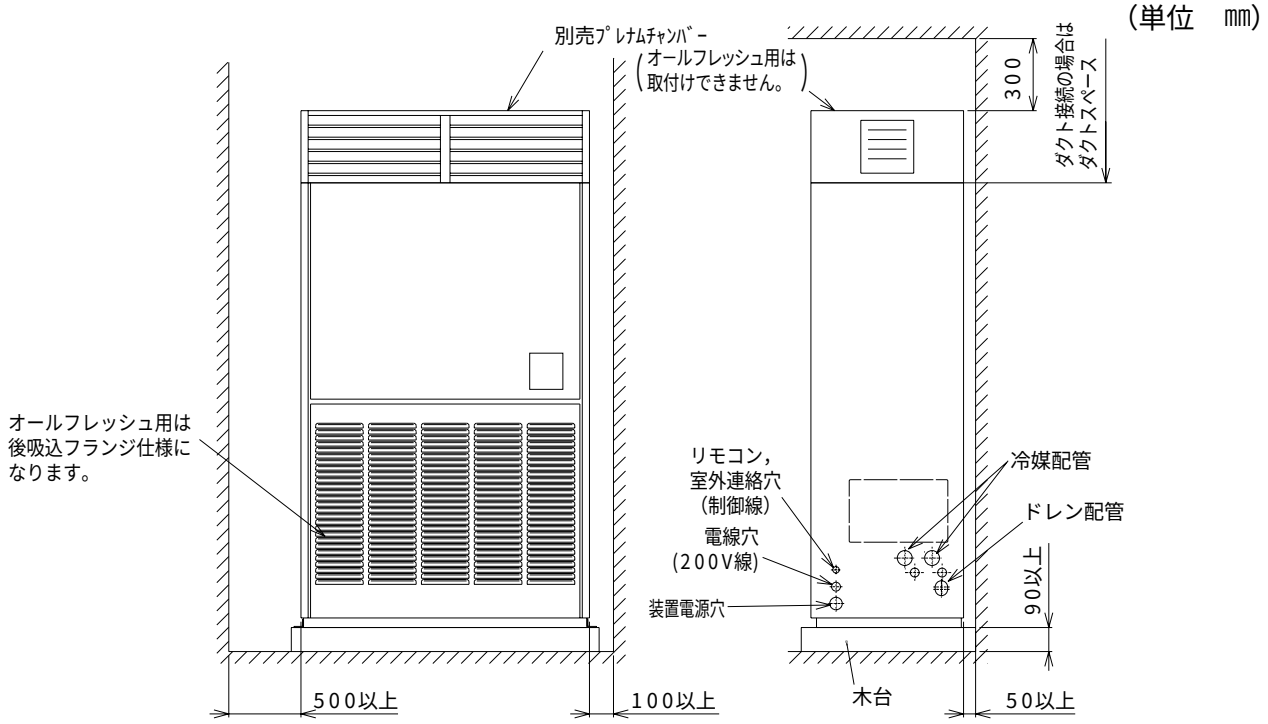
■2方向は 開放としてください。
■壁高さ〈H〉がユニットの全高を超える場合は※印の寸法にh寸法(h＝壁高さ〈H〉－ユニット全高)を加えてください。
■ユニット前後に壁がある場合は、側面方向への連続設置は最大4台とし、4台毎に吸込スペース兼通路スペースとして、1000mm以上をとってください。

項目＼形名		PU(H)K-P140AW-A	PU(H)K-P224(U)AW-A	PU(H)K-P280(U)AW-A
圧力計		ー	PAC-KA63PG	
防雪ダクト	吹出側	PAC-SF14BD	PAC-KB72TD	
	吸込側		PAC-KB82SD	
集中排水ドレンパン		PAC-SF17DP	PAC-KB92DPT	
進相コンデンサー（50Hz）		PAC-SF03CA	PAC-620CA	PAC-622CA
進相コンデンサー（60Hz）		PAC-SF02CA	PAC-621CA	PAC-623CA
後配管キット		ー	PAC-KB62RPT	

(b) 室内ユニット

●PFAK-P140,224,280,450,560形
●PFTK-P125,200,250,400,500形
●PFAK-P167,265,335,530,670形（オールフレッシュ用）

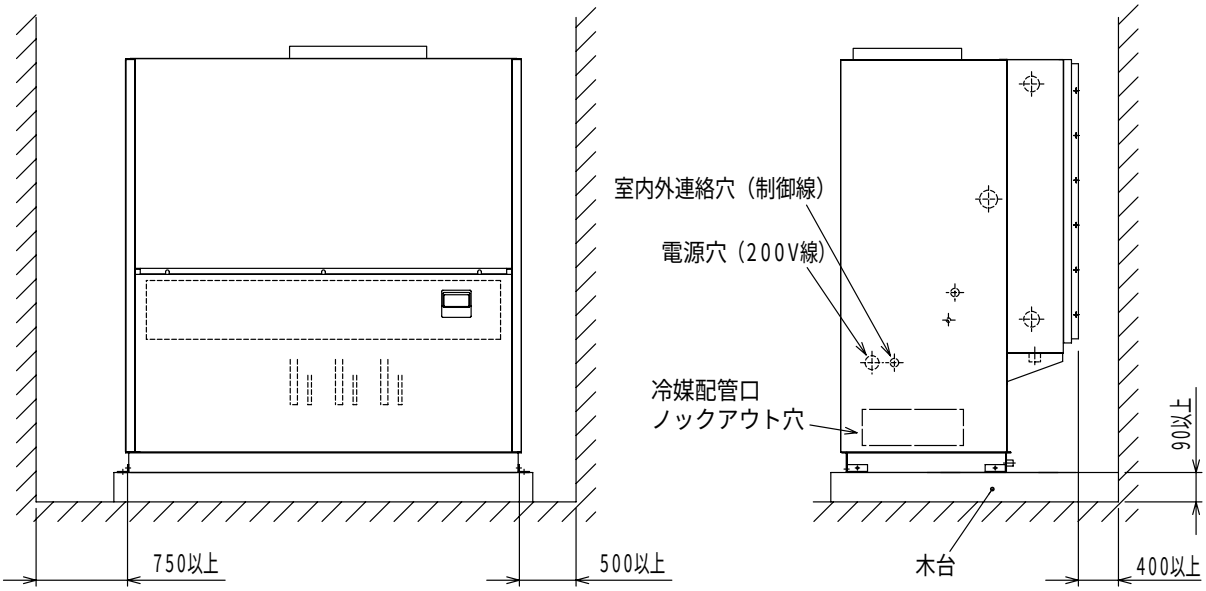
（単位　mm）



■強固な床面を選定し、ドレン排水の便を図るため、ならびにエアコンから床への振動伝幡防止のため、9cm以上の木台を使用してください。
※本図は、P450形ユニットを示しています。他の機種についても必要スペース寸法は同じです。

●PFAK-P630,800形
●PFTK-P600,750形

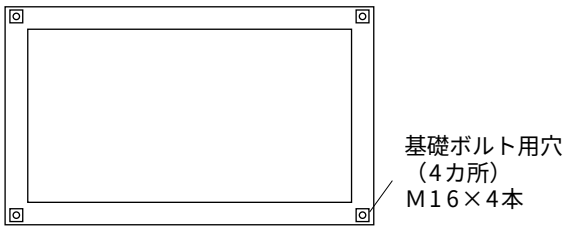
（単位 mm）



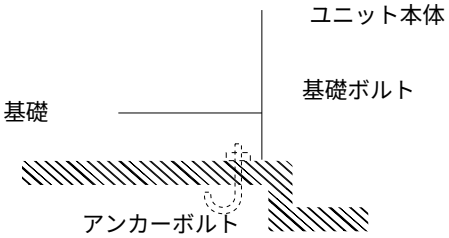
■強固な床面を選定し、ドレン排水の便を図るため、ならびにエアコンから床への振動伝幡防止のため、9cm以上の木台を使用してください。
※配管・配線等の据付工事のスペースは別途確保してください。

●PFAK-P1120,1400形
●PFTK-P1000,1250形

①ユニットを設置する場合には、コンクリートなどのしっかりした基礎の上に図1、2に示すようにユニットを載せてください。また、基礎は床面より１００mm以上高くし、水平度を取ってください。（基礎がしっかりしていませんと、振動発生の原因となります。）



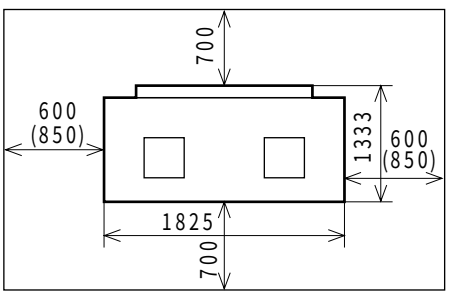
【図1】基礎図



【図2】アンカーボルト設置図

②保守・点検、エアフィルター抜出し、配管・配線作業が容易にできるように、また、後面吸込口の風路がふさがれないように図3に示したスペースを必ず確保してください。

（ユニット上面より見る）

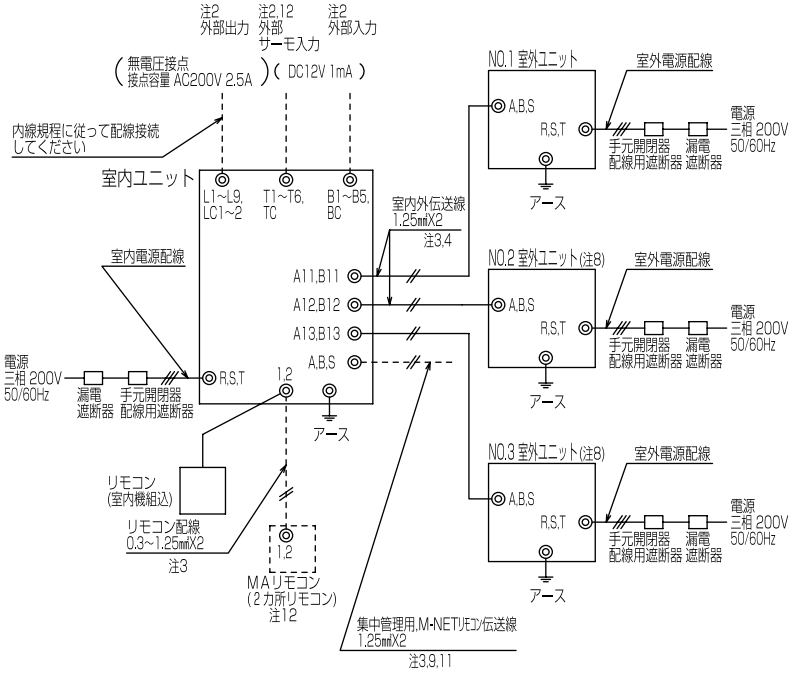


注：（　）寸法は送風機軸の引出しスペースです。

【図3】サービススペース

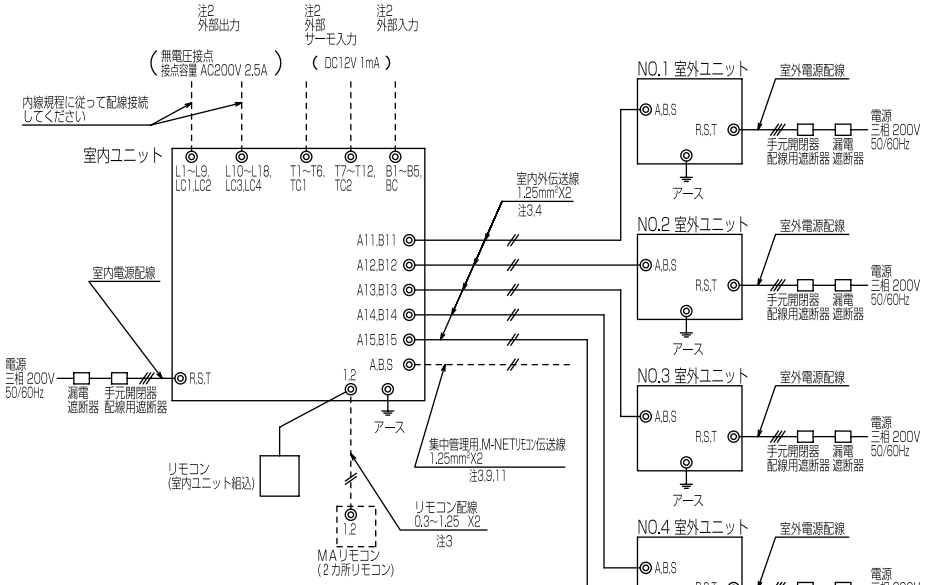
〈11〉機外配線図

●PFAK-P140,224,280,450,560,630,800形
●PFAK-P167,265,335,530,670-F形
●PFTK-P125,200,250,400,500,600,750形



〔注意事項〕
注1. ◎印はネジ端子台を示します。
2. 室内ユニットの外部接続端子は、現地で外部(サーモ)入力および、外部出力を使用する場合のみ配線接続してください。
各端子の配線接続方法は室内ユニット電気配線図、技術資料を参照してください。
3. 室内ユニット～室外ユニット間の伝送線、およびリモコン配線に極性はありません。
4. 室内外伝送線（シールド線）のシールド側は必ず室外ユニットのシールド（S）端子に接続してください。
5. 電源には、必ず漏電遮断器を取付けてください。
6. 漏電遮断器で地絡保護専用のものは、手元開閉器または配線用遮断器を組合わせて使用してください。
7. 電源配線に当っては、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従ってください。
8. NO.2室外ユニットおよび室内ユニット～NO.2室外ユニット間の伝送線は、２冷媒回路システムの場合NO.3室外ユニットおよび室内ユニット～NO.3室外ユニット間の伝送線は、３冷媒回路システムの場合を示します。
9. M－NET接続時には必ず、伝送用給電ユニット（別売）が必要です。
10. M－NET接続に関する内容は、室内ユニットPFAK（PFTK）－P・AWM－A（－F）形の場合を示します。
11. M－NET伝送線（シールド線）のシールド側は室内ユニットのシールド（S）端子にて渡り配線してください。また、アース接地は、システムコントローラーの伝送用給電ユニットのシールド（S）端子にてアース接地してください。
12. PFAK－P・AW（M）－A－F（オールフレッシュ用）の場合は、室内温度調節のため外部サーモ入力もしくは２カ所リモコンにして室内にリモコンを設置（そのリモコン内蔵センサーを使用）してください。

●PFAK-P1120,1400形
●PFTK-P1000,1250形



〔注意事項〕
注 1. ◎ 印はネジ端子台を示します。
2. 室内ユニットの外部接続端子は、現地で外部(サーモ)入力および、外部出力を使用する場合のみ配線接続してください。
各端子の配線接続方法は室内ユニット電気配線図、技術資料を参照してください。
3. 室内ユニット～室外ユニット間の伝送線、およびリモコン配線に極性はありません。
4. 室内外伝送線（シールド線）のシールド側は必ず室外ユニットのシールド（S）端子に接続してください。
5. 電源には、必ず漏電遮断器を取付けてください。
6. 漏電遮断器で地絡保護専用のものは、手元開閉器または配線用遮断器を組合わせて使用してください。
7. 電源配線にあたっては、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従ってください。
8. P１４００,P１２５０形の場合、室内ユニット～室外ユニット間の伝送線は５冷媒回路システムとなります。
9. M－NET接続時には必ず、伝送用給電ユニット（別売）が必要です。
10. M－NET接続に関する内容は、室内ユニットPFAK－P・AWM－A、PFTK－P・AWM－A形の場合を示します。
11. M－NET伝送線（シールド線）は室内ユニットのシールド（S）端子にて渡り配線してください。
また、アース接地は、システムコントローラーの伝送用給電ユニットのシールド（S）端子にてアース接地してください。

〈12〉取付可能部品

（1）取付可能部品表

(a) 室内ユニット適用表

(ア) 標準タイプ〈PFAK形〉用

室内ユニット形名		PFAK-P140AW(M)-A	PFAK-P224AW(M)-A	PFAK-P280AW(M)-A	PFAK-P450AW(M)-A	PFAK-P560AW(M)-A
加熱器	蒸気・温水ﾋｰﾀｰ※1	PAC-CG41XH	PAC-CG42XH	PAC-CG43XH	PAC-CG44XH	PAC-CG45XH
	電気ﾋｰﾀｰ（補助）※2	PAC-CE41EH	PAC-CE42EH	PAC-CE43EH	PAC-CE44EH	PAC-CE45EH
	電気ﾋｰﾀｰ（大容量）※3	PAC-CE51EH	PAC-CE52EH	PAC-CE53EH	PAC-CE54EH	PAC-CE55EH
加湿器※4	透湿膜※2	PAC-CE31TF	PAC-CE32TF	PAC-CE33TF	PAC-CE34TF	PAC-CE35TF
	蒸気ｽﾌﾟﾚｰ	PAC-CG03SS			PAC-CG04SS	PAC-CG05SS
	ﾍﾞｰﾊﾟｰﾊﾟﾝ	PAC-CG31VP	PAC-CG33VP		PAC-CG35VP	
	水ｽﾌﾟﾚｰ（ﾍｯﾀﾞｰ1本）	PAC-CG11WS	PAC-CG12WS	PAC-CG13WS	PAC-CG14WS	PAC-CG15WS
	水ｽﾌﾟﾚｰ（ﾍｯﾀﾞｰ2本）	PAC-CG21WS	PAC-CG22WS	PAC-CG23WS	PAC-CG24WS	PAC-CG25WS
風路部品	ﾌﾟﾚﾅﾑ	PAC-CG51PL	PAC-CG52PL	PAC-CG53PL	PAC-CG54PL	PAC-CG55PL
	後吸込ﾀﾞｸﾄﾌﾗﾝｼﾞ	PAC-CG61DF	PAC-CG62DF	PAC-CG63DF	PAC-CG64DF	PAC-CG65DF
	外気取入ﾌﾗﾝｼﾞ	PAC-CG73GF			PAC-CG75GF	
エアフィルター	ﾌｨﾚﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ（PS-400）	PAC-CJ71FF	PAC-CJ72FF	PAC-CJ73FF	PAC-CJ74FF	PAC-CJ75FF
	予備ﾌｨﾙﾀｰ	PAC-CF81YF	PAC-CF82YF	PAC-CF83YF	PAC-CF84YF	PAC-CF85YF
	高性能ﾌｨﾙﾀｰ（NBS90%）※6	PAC-CF91AF	PAC-CF92AF	PAC-CF93AF	PAC-CF94AF	PAC-CF95AF
	中性能ﾌｨﾙﾀｰ（NBS65%）※6	PAC-CF61AF	PAC-CF62AF	PAC-CF63AF	PAC-CF64AF	PAC-CF65AF
	中・高性能ﾌｨﾙﾀｰﾎﾞｯｸｽ	PAC-CF71TB	PAC-CF72TB	PAC-CF73TB	PAC-CF74TB	PAC-CF75TB
	HEPAﾌｨﾙﾀｰ※6	PAC-CF31CLF	PAC-CF32CLF	PAC-CF33CLF	—	—
	ｸﾘｰﾝﾙｰﾑ用ﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ	PAC-CF41CLB	PAC-CF42CLB	PAC-CF43CLB	—	—
	ｸﾘｰﾝﾙｰﾑ用吹出ﾀﾞｸﾄﾌﾗﾝｼﾞ	PAC-TS04FD	PAC-TS05FD	PAC-TS08FD	—	—
	ｵｲﾙﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ※7	PAC-CE21UTB	PAC-CE22UTB	PAC-CE23UTB	PAC-CE24UTB	PAC-CE25UTB
	ｵｲﾙﾌｨﾙﾀｰ（再生形）	PAC-CE11UTB	PAC-CE12UTB	PAC-CE13UTB	PAC-CE14UTB	PAC-CE15UTB
	ｵｲﾙﾌｨﾙﾀｰ（交換用ろ材5枚）	PAC-CE01UF	PAC-CE02UF	PAC-CE03UF	PAC-CE04UF	PAC-CE05UF
電気部品	遠方操作ｷｯﾄ	PAC-CG91RCK				
	MAﾘﾓｺﾝ	PAR-20MA				
	ﾜｲﾔﾚｽﾘﾓｺﾝ	PAR-SL9MA/FA32M				
	ｻｰﾐｽﾀｰ取付位置変更部品	PAC-SE40TS				
	進相ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ※9	PAC-CP31～37CA				
	進相ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ取付ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ	PAC-CG85CAA				
その他	右配管部品(加湿器組込用)※5	—	—	—	PAC-CF54RPH	PAC-CF55RPH
	木台	PAC-CQ30MD	PAC-CQ31MD	PAC-CQ32MD	PAC-CG94MD	PAC-CG95MD
	ｻｰﾋﾞｽ工具	PAC-CQ04SK				

室内ユニット形名		PFAK-P630AW(M)-A	PFAK-P800AW(M)-A	PFAK-P1120AW(M)-A	PFAK-P1400AW(M)-A
加熱器	蒸気・温水ﾋｰﾀｰ※1	PAC-CG47XH		受注対応	受注対応
	電気ﾋｰﾀｰ（補助）※2	PAC-CE46EH		—	—
	電気ﾋｰﾀｰ（大容量）※3	受注対応		—	—
加湿器※4	蒸気ｽﾌﾟﾚｰ※8	PAC-CL35SS		受注対応	受注対応
	ﾍﾞｰﾊﾟｰﾊﾟﾝ	PAC-CM08VP		受注対応	受注対応
	水ｽﾌﾟﾚｰ※8	PAC-CL25WS		受注対応	受注対応
風路部品	ﾌﾟﾚﾅﾑ	PAC-CG57PL		—	—
	後吸込ﾀﾞｸﾄﾌﾗﾝｼﾞ	付		付	付
エアフィルター	ﾌｨﾚﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ	受注対応(PS-300・400・600)		受注対応(PS-400・600)	受注対応(PS-400・600)
	予備ﾌｨﾙﾀｰ	PAC-CQ61YF		—	—
	ｴﾘﾐﾈｰﾀｰ（ﾋﾞﾆﾛｯｸ）	PAC-CM36EN		受注対応	受注対応
	ｴﾘﾐﾈｰﾀｰ（SUS）	PAC-CM37EN		受注対応	受注対応
電気部品	遠方操作ｷｯﾄ	PAC-CG91RCK		受注対応	受注対応
	MAﾘﾓｺﾝ	PAR-20MA			
	ﾜｲﾔﾚｽﾘﾓｺﾝ	PAR-SL9MA/FA32M			
	ｻｰﾐｽﾀｰ取付位置変更部品	PAC-SE40TS			
	進相ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ※9	PAC-CP31～37CA		受注対応	受注対応
	進相ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ取付ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ	PAC-CP82CA		—	—
その他	木台	—		—	—
	ｻｰﾋﾞｽ工具	PAC-CQ04SK			

※1．ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ暖房運転との併用運転はできません。

※2．ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ形室外ﾕﾆｯﾄとの組合せの場合のみ取付可能です。

※3．冷房専用形室外ﾕﾆｯﾄとの組合せの場合のみ取付可能です。

※4．加湿器は暖房運転で加湿してください。冷房運転での加湿はできません。

※5．加湿器（透湿膜を除く）を組込んで右配管接続する場合に必要となります。

※6．中・高性能、HEPAﾌｨﾙﾀｰは、それぞれﾌｨﾙﾀｰﾎﾞｯｸｽ、ﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄが必要になります。

※7．ｵｲﾙﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄにはﾌｨﾙﾀｰろ材が１枚入っています。交換用ろ材はｵｲﾙﾌｨﾙﾀｰ（交換用ろ材5枚）を手配ください。

※8．ｴﾘﾐﾈｰﾀｰ（ﾋﾞﾆﾛｯｸ or SUS）との併用組込みが必要となります。

※9．進相ｺﾝﾃﾞﾝｻｰは、使用する電動機出力に合ったものを手配ください。（P1-223参照）

(イ) 中温タイプ〈PFTK形〉用

室内ユニット形名		PFTK-P125AW(M)-A	PFTK-P200AW(M)-A	PFTK-P250AW(M)-A	PFTK-P400AW(M)-A	PFTK-P500AW(M)-A
加熱器	蒸気・温水ﾋｰﾀｰ	PAC-CG41XH	PAC-CG42XH	PAC-CG43XH	PAC-CG44XH	PAC-CG45XH
	電気ﾋｰﾀｰ(大容量)	PAC-CE51EH	PAC-CE52EH	PAC-CE53EH	PAC-CE54EH	PAC-CE55EH
加湿器※1	蒸気ｽﾌﾟﾚｰ	PAC-CG03SS			PAC-CG04SS	PAC-CG05SS
	ﾍﾞｰﾊﾟｰﾊﾟﾝ	PAC-CG31VP	PAC-CG33VP		PAC-CG35VP	
	水ｽﾌﾟﾚｰ(ﾍｯﾀﾞｰ1本)	PAC-CG11WS	PAC-CG12WS	PAC-CG13WS	PAC-CG14WS	PAC-CG15WS
	水ｽﾌﾟﾚｰ(ﾍｯﾀﾞｰ2本)	PAC-CG21WS	PAC-CG22WS	PAC-CG23WS	PAC-CG24WS	PAC-CG25WS
風路部品	ﾌﾟﾚﾅﾑ	PAC-CG51PL	PAC-CG52PL	PAC-CG53PL	PAC-CG54PL	PAC-CG55PL
	後吸込ﾀﾞｸﾄﾌﾗﾝｼﾞ	PAC-CG61DF	PAC-CG62DF	PAC-CG63DF	PAC-CG64DF	PAC-CG65DF
	外気取入ﾌﾗﾝｼﾞ	PAC-CG73GF			PAC-CG75GF	
エアフィルター	ﾌｨﾚﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ (PS-400)	PAC-CJ71FF	PAC-CJ72FF	PAC-CJ73FF	PAC-CJ74FF	PAC-CJ75FF
	予備ﾌｨﾙﾀｰ	PAC-CF81YF	PAC-CF82YF	PAC-CF83YF	PAC-CF84YF	PAC-CF85YF
	高性能ﾌｨﾙﾀｰ(NBS90%)※3	PAC-CF91AF	PAC-CF92AF	PAC-CF93AF	PAC-CF94AF	PAC-CF95AF
	中性能ﾌｨﾙﾀｰ(NBS65%)※3	PAC-CF61AF	PAC-CF62AF	PAC-CF63AF	PAC-CF64AF	PAC-CF65AF
	中・高性能ﾌｨﾙﾀｰﾎﾞｯｸｽ	PAC-CF71TB	PAC-CF72TB	PAC-CF73TB	PAC-CF74TB	PAC-CF75TB
	HEPAﾌｨﾙﾀｰ※3	PAC-CF31CLF	PAC-CF32CLF	PAC-CF33CLF	—	—
	ｸﾘｰﾝﾙｰﾑ用ﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ	PAC-CF41CLB	PAC-CF42CLB	PAC-CF43CLB	—	—
	ｸﾘｰﾝﾙｰﾑ用吹出ﾀﾞｸﾄﾌﾗﾝｼﾞ	PAC-TS04FD	PAC-TS05FD	PAC-TS08FD	—	—
	ｵｲﾙﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ※4	PAC-CE21UTB	PAC-CE22UTB	PAC-CE23UTB	PAC-CE24UTB	PAC-CE25UTB
	ｵｲﾙﾌｨﾙﾀｰ(再生形)	PAC-CE11UTB	PAC-CE12UTB	PAC-CE13UTB	PAC-CE14UTB	PAC-CE15UTB
	ｵｲﾙﾌｨﾙﾀｰ(交換用ろ材5枚)	PAC-CE01UF	PAC-CE02UF	PAC-CE03UF	PAC-CE04UF	PAC-CE05UF
電気部品	遠方操作ｷｯﾄ	PAC-CG91RCK				
	MAﾘﾓｺﾝ	PAR-20MA				
	ﾜｲﾔﾚｽﾘﾓｺﾝ	PAR-SL9MA/FA32M				
	ｻｰﾐｽﾀｰ取付位置変更部品	PAC-SE40TS				
	進相ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ※6	PAC-CP31～37CA				
	進相ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ取付ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ	PAC-CG85CAA				
その他	右配管部品(加湿器組込用)※2	—	—	—	PAC-CF54RPH	PAC-CF55RPH
	木台	PAC-CQ30MD	PAC-CQ31MD	PAC-CQ32MD	PAC-CG94MD	PAC-CG95MD
	ｻｰﾋﾞｽ工具	PAC-CQ04SK				

室内ユニット形名		PFTK-P600AW(M)-A	PFTK-P750AW(M)-A	PFTK-P1000AW(M)-A	PFTK-P1250AW(M)-A
加熱器	蒸気・温水ﾋｰﾀｰ※1	PAC-CG47XH		受注対応	受注対応
	電気ﾋｰﾀｰ(大容量)	受注対応		—	—
加湿器※1	蒸気ｽﾌﾟﾚｰ※5	PAC-CL35SS		受注対応	受注対応
	ﾍﾞｰﾊﾟｰﾊﾟﾝ	PAC-CM08VP		受注対応	受注対応
	水ｽﾌﾟﾚｰ※5	PAC-CL25WS		受注対応	受注対応
風路部品	ﾌﾟﾚﾅﾑ	PAC-CG57PL		—	—
	後吸込ﾀﾞｸﾄﾌﾗﾝｼﾞ	付		付	付
エアフィルター	ﾌｨﾚﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ	受注対応(PS-300・400・600)		受注対応(PS-400・600)	受注対応(PS-400・600)
	予備ﾌｨﾙﾀｰ	PAC-CQ61YF		—	—
	ｴﾘﾐﾈｰﾀｰ(ﾋﾞﾆﾛｯｸ)	PAC-CM36EN		受注対応	受注対応
	ｴﾘﾐﾈｰﾀｰ(SUS)	PAC-CM37EN		受注対応	受注対応
電気部品	遠方操作ｷｯﾄ	PAC-CG91RCK		受注対応	受注対応
	MAﾘﾓｺﾝ	PAR-20MA			
	ﾜｲﾔﾚｽﾘﾓｺﾝ	PAR-SL9MA/FA32M			
	ｻｰﾐｽﾀｰ取付位置変更部品	PAC-SE40TS			
	進相ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ※6	PAC-CP31～37CA		受注対応	受注対応
	進相ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ取付ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ	PAC-CP82CA		—	—
その他	木台	—		—	—
	ｻｰﾋﾞｽ工具	PAC-CQ04SK			

※1．加湿器は暖房運転で加湿してください。冷房運転での加湿はできません。ﾋｰﾀｰと同時組込みが必要です。

※2．加湿器を組込んで右配管接続する場合に必要となります。

※3．中・高性能、HEPAﾌｨﾙﾀｰは、それぞれﾌｨﾙﾀｰﾎﾞｯｸｽ、ﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄが必要になります。

※4．ｵｲﾙﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄにはﾌｨﾙﾀｰろ材が１枚入っています。交換用ろ材はｵｲﾙﾌｨﾙﾀｰ（交換用ろ材5枚）を手配ください。

※5．ｴﾘﾐﾈｰﾀｰ（ﾋﾞﾆﾛｯｸ or SUS）との併用組込みが必要となります。

※6．進相ｺﾝﾃﾞﾝｻｰは、使用する電動機出力に合ったものを手配ください。（P1-223参照）

(ウ) オールフレッシュタイプ〈PFAK-F形〉用

室内ユニット形名		PFAK-P167AW(M)-A-F	PFAK-P265AW(M)-A-F	PFAK-P335AW(M)-A-F	PFAK-P530AW(M)-A-F	PFAK-P670AW(M)-A-F
加熱器	蒸気・温水ﾋｰﾀｰ	PAC-CG41XH	PAC-CG42XH	PAC-CG43XH	PAC-CG44XH	PAC-CG45XH
	電気ﾋｰﾀｰ(大容量)	受注対応	受注対応	受注対応	受注対応	受注対応
加湿器※1	蒸気ｽﾌﾟﾚｰ	PAC-CG03SS			PAC-CG04SS	PAC-CG05SS
	ﾍﾞｰﾊﾟｰﾊﾟﾝ	PAC-CG31VP	PAC-CG33VP		PAC-CG35VP	
	水ｽﾌﾟﾚｰ(ﾍｯﾀﾞｰ1本)	PAC-CG11WS	PAC-CG12WS	PAC-CG13WS	PAC-CG14WS	PAC-CG15WS
	水ｽﾌﾟﾚｰ(ﾍｯﾀﾞｰ2本)	PAC-CG21WS	PAC-CG22WS	PAC-CG23WS	PAC-CG24WS	PAC-CG25WS
エアフィルタ	ﾌｨﾚﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ	PAC-CJ71FF	PAC-CJ72FF	PAC-CJ73FF	PAC-CJ74FF	PAC-CJ75FF
	予備ﾌｨﾙﾀｰ	PAC-CF81YF	PAC-CF82YF	PAC-CF83YF	PAC-CF84YF	PAC-CF85YF
電気部品	遠方操作ｷｯﾄ	PAC-CG91RCK				
	MAﾘﾓｺﾝ	PAR-20MA				
	ﾜｲﾔﾚｽﾘﾓｺﾝ	PAR-SL9MA/FA32M				
	ｻｰﾐｽﾀｰ取付位置変更部品	PAC-SE40TS				
	進相ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ※3	PAC-CP31～37CA				
	進相ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ取付ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ	PAC-CG85CAA				
その他	右配管部品(加湿器組込用)※2	－	－	－	PAC-CF54RPH	PAC-CF55RPH
	木台	PAC-CQ30MD	PAC-CQ31MD	PAC-CQ32MD	PAC-CG94MD	PAC-CG95MD
	ｻｰﾋﾞｽ工具	PAC-CQ04SK				

※1．加湿器は暖房運転で加湿してください。冷房運転での加湿はできません。ﾋｰﾀｰと同時組込みが必要です。

※2．加湿器を組込んで右配管接続する場合に必要となります。

※3．進相ｺﾝﾃﾞﾝｻｰは、使用する電動機出力に合ったものを手配ください。（下記の別表参照）

(エ) 進相コンデンサー選定一覧表

進相ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ		電動機出力	
別売形名	容量	50Hz	60Hz
PAC-CP31CA	20μF	－	0.75kW
PAC-CP32CA	30μF	0.75kW	1.5kW
PAC-CP33CA	40μF	1.5kW	2.2kW
PAC-CP34CA	50μF	2.2kW	3.7kW
PAC-CP35CA	70μF	3.7kW	5.5kW
PAC-CP36CA	100μF	5.5kW	7.5kW
PAC-CP37CA	150μF	7.5kW	11kW

(b) 室外ユニット適用表

		形　　名	適　用　機　種
進相コンデンサー	50Hz	PAC-SF03CA	5HP
	60Hz	PAC-SF02CA	5HP
エアガイド		PAC-SF09AG	5HP
吹出ガイド		PAC-SF08SG	5HP
防雪ダクト		PAC-SF14BD	5HP
ドレインソケット		PAC-SF37DS	5HP
集中排水ドレンパン		PAC-SF17DP	5HP
安全ネット		PAC-SF27AN	5HP
圧力計		PAC-KA63PG	8・10HP
防雪フード　吸込側		PAC-KB82SD	8・10HP
防雪フード　吹出側		PAC-KB72TD	8・10HP
集中排水キット		PAC-KB92DPT	8・10HP
後配管キット		PAC-KB62RPT	8・10HP
進相コンデンサー	50Hz	PAC-620CA	8HP
		PAC-622CA	10HP
	60Hz	PAC-621CA	8HP
		PAC-623CA	10HP

※室内ユニットの別売部品の仕様値等は変更になる場合があります。機種選定の際に別途お問合わせ願います。
※後配管キットと進相コンデンサーの併用はできません。
※インバーター搭載機と同一電源の場合、進相コンデンサーは使用しないでください。

(c) 取付可能部品併用組込可能組合せ表　※5～20馬力の内容を示します。

標準ヒートポンプ用PFHK形（室内PFAK, 室外PUHK）　○…併用組込可能　×…併用組込不可　－…対象外

			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	備考
ヒーター	①	温水・蒸気ヒーター		－	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ暖房運転との併用運転は出来ません
	②	大容量電気ヒーター	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	組込みできません
	③	補助ヒーター	×	－		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
加湿器	④	透湿膜加湿器	×	－	×		×	×	×	○	○	○	○	○	○	－	
	⑤	蒸気スプレー加湿器	○	－	○	×		×	×	○	○	○	○	○	○	○	
	⑥	水スプレー加湿器	○	－	○	×	×		×	○	○	○	○	○	○	○	
	⑦	ペーパーパン加湿器	○	－	○	×	×	×		○	○	○	○	○	○	○	
風路	⑧	吸込ﾀﾞｸﾄﾌﾗﾝｼﾞ	○	－	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	－	
	⑨	プレナム	○	－	○	○	○	○	○	○		○	○	※3	×	－	
	⑩	外気取入フランジ	○	－	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	－	
フィルター	⑪	ﾌｨﾙﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	
	⑫	中、高性能フィルター	○	－	○	○	○	○	○	○	※3	○	○		×	－	
	⑬	HEPAﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ	○	－	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×		－	
他	⑭	右配管部品(加湿器組込み)	－	－	－	－	○	○	○	－	－	－	－	－	－		16, 20馬力のみ ※1

標準冷房専用PFK形（室内PFAK, 室外PUK）　○…併用組込可能　×…併用組込不可　－…対象外

			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	備考
ヒーター	①	温水・蒸気ヒーター		×	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	②	大容量電気ヒーター	×		－	－	○	○	○	○	○	○	○	×	×	－	
	③	補助ヒーター	－	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	組込みできません
加湿器	④	透湿膜加湿器	－	－	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	組込みできません
	⑤	蒸気スプレー加湿器	○	○	－	－		×	×	○	○	○	○	○	○	○	冷房加湿はできません。
	⑥	水スプレー加湿器	○	○	－	－	×		×	○	○	○	○	○	○	○	※2 ヒーターと同時組込みが必要です。
	⑦	ペーパーパン加湿器	○	○	－	－	×	×		○	○	○	○	○	○	○	
風路	⑧	吸込ﾀﾞｸﾄﾌﾗﾝｼﾞ	○	○	－	－	○	○	○		○	○	○	○	×	－	
	⑨	プレナム	○	○	－	－	○	○	○	○		○	○	※3	×	－	
	⑩	外気取入フランジ	○	○	－	－	○	○	○	○	○		○	○	×	－	
フィルター	⑪	ﾌｨﾙﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ	○	○	－	－	○	○	○	○	○	○		○	○	－	
	⑫	中、高性能フィルター	○	×	－	－	○	○	○	○	※3	○	○		×	－	
	⑬	HEPAﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ	○	×	－	－	○	○	○	×	×	×	○	×		－	
他	⑭	右配管部品(加湿器組込み)	－	－	－	－	○	○	○	－	－	－	－	－	－		16, 20馬力のみ ※1

中温冷房専用PFTK形（室内PFTK、室外PUK）　○…併用組込可能　×…併用組込不可　－…対象外

			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	備考
ヒーター	①	温水・蒸気ヒーター		×	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	②	大容量電気ヒーター	×		－	－	○	○	○	○	○	○	○	×	×	－	
	③	補助ヒーター	－	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	組込みできません
加湿器	④	透湿膜加湿器	－	－	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	組込みできません
	⑤	蒸気ｽﾌﾟﾚｰ加湿器	○	○	－	－		×	×	○	○	○	○	○	○	○	冷房加湿はできません。※2 ﾋｰﾀｰと同時組込みが必要です。
	⑥	水ｽﾌﾟﾚｰ加湿器	○	○	－	－	×		×	○	○	○	○	○	○	○	
	⑦	ﾍﾞｰﾊﾟｰﾊﾟﾝ加湿器	○	○	－	－	×	×		○	○	○	○	○	○	○	
風路	⑧	吸込ﾀﾞｸﾄﾌﾗﾝｼﾞ	○	○	－	－	○	○	○		○	○	○	○	×	－	
	⑨	プレナム	○	○	－	－	○	○	○	○		○	○	※3	×	－	
	⑩	外気取入ﾌﾗﾝｼﾞ	○	○	－	－	○	○	○	○	○		○	○	×	－	
フィルター	⑪	ﾌｨﾙﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ	○	○	－	－	○	○	○	○	○	○		○	○	－	
	⑫	中、高性能フィルター	○	×	－	－	○	○	○	○	※3	○	○		×	－	
	⑬	HEPAﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ	○	×	－	－	○	○	○	×	×	×	○	×		－	
他	⑭	右配管部品(加湿器組込)	－	－	－	－	○	○	○	－	－	－	－	－	－		16,20馬力のみ※1

ｵｰﾙﾌﾚｯｼｭ冷房専用PFK-F（室内PFAK-F、室外PUK）　○…併用組込可能　×…併用組込不可　－…対象外

			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	備考
ヒーター	①	温水・蒸気ヒーター		－	－	－	○	○	○	－	－	－	○	－	－	－	
	②	大容量電気ヒーター	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	受注対応
	③	補助ヒーター	－	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	組込みできません
加湿器	④	透湿膜加湿器	－	－	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	〃
	⑤	蒸気ｽﾌﾟﾚｰ加湿器	○	－	－	－		×	×	－	－	－	○	－	－	○	冷房加湿はできません。※2 ﾋｰﾀｰと同時組込みが必要です。
	⑥	水ｽﾌﾟﾚｰ加湿器	○	－	－	－	×		×	－	－	－	○	－	－	○	
	⑦	ﾍﾞｰﾊﾟｰﾊﾟﾝ加湿器	○	－	－	－	×	×		－	－	－	○	－	－	○	
風路	⑧	吸込ﾀﾞｸﾄﾌﾗﾝｼﾞ	－	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－	－	標準組込み済
	⑨	プレナム	－	－	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－	組込みできません
	⑩	外気取入フランジ	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－	〃
フィルター	⑪	ﾌｨﾙﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ	○	－	－	－	○	○	○	－	－	－		－	－	－	
	⑫	中、高性能フィルター	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－	－	組込みできません
	⑬	HEPAﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－	〃
他	⑭	右配管部品(加湿器組込)	－	－	－	－	○	○	○	－	－	－	－	－	－		16,20馬力のみ※1

ご注意
※1. 16，20馬力ﾕﾆｯﾄに⑤、⑥、⑦加湿器を組込んで右配管接続する場合は、⑭右配管部品が必要です。
※2. 加湿器は暖房運転で加湿してください。冷房運転での加湿はできません。

(d) 静風圧部品標準仕様表

室内ユニット形名	電動機	送風機プーリー	Vベルト	電動機プーリー	51F設定値（過電流継電器）
PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A	0.75kW全閉外扇形	A180-20	A50	A可変19	3.6A
PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A	1.5kW全閉外扇形	A224-20	A56	A可変24	6.5A
PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A	1.5kW全閉外扇形	A212-20	A55	A可変24	6.5A
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A	2.2kW全閉外扇形	2B280-24	B65×2本	2B118-28	9.0A
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A	3.7kW全閉外扇形	2B280-28	B64×2本	2B135-28	15A
PFAK-P167AW(M)-A-F	0.75kW全閉外扇形	A224-20	A53	A可変19	3.6A
PFAK-P265AW(M)-A-F	1.5kW全閉外扇形	A280-20	A59	A可変24	6.5A
PFAK-P335AW(M)-A-F	1.5kW全閉外扇形	A280-20	A59	A可変24	6.5A
PFAK-P530AW(M)-A-F	2.2kW全閉外扇形	2B315-24	B67	2B118-28	9.0A
PFAK-P670AW(M)-A-F	3.7kW全閉外扇形	2B315-28	B66	2B125-28	15A

※プーリーボス部の寸法は、設備用・産業用パッケージエアコン設計・工事マニュアル（MEE03W213）を参照ください。

(e) 静風圧部品形名・仕様表

●PFAK-P140,224,280AW(M)-A　●PFTK-P125,200,250AW(M)-A
●PFAK-P167,265,335AW(M)-A-F

部品形名	部品名	プーリー	個数	ベルト	個数	電磁開閉器	個数	電動機	個数	備　考
PAC-CT01SP	送風機プーリーセット	A90-20	1							
PAC-CT02SP	〃	A118-20	1							
PAC-CT03SP	〃	A132-20	1							
PAC-CT04SP	〃	A150-20	1	注3						
PAC-CT05SP	〃	A180-20	1							
PAC-CT06SP	〃	A224-20	1							
PAC-CT07SP	〃	A250-20	1							
PAC-CT08SP	〃	A280-20	1							
PAC-CT09MP	電動機プーリーセット	A可変-24	1			PAK-6JTH(6A)	1			標準仕様変更銘板付（1.5kWモーター用）
PAC-CT10MP	〃	A可変-28	1			PAK-6JTH(9A)	1			標準仕様変更銘板付（2.2kWモーター用）
PAC-CJ63MR	電動機							SF-JR1.5kW-4P	1	
PAC-CJ14VB	Vベルト			A44	1					
PAC-CJ15VB	〃			A45	1					
PAC-CJ16VB	〃			A46	1					
PAC-CJ17VB	〃			A47	1					
PAC-CJ49VB	〃			A49	1					
PAC-CJ50VB	〃			A50	1					
PAC-CJ51VB	〃			A51	1					
PAC-CJ52VB	〃			A52	1					
PAC-CJ53VB	〃			A53	1					
PAC-CJ54VB	〃			A54	1					
PAC-CJ55VB	〃			A55	1					
PAC-CJ56VB	〃			A56	1					
PAC-CJ58VB	〃			A58	1					
PAC-CJ59VB	〃			A59	1					

注1　プーリー仕様　A　150　－　20
A形ベルト1本掛　PCφ　ボス内径

注2　ベルト仕様　A　34
A形ベルト　ベルト長さ34インチ

注3　PAC-CT01～08SPに付属のベルトは使用できません。
別途技術資料（静風圧部品選定表）を参照の上、上記PAC-CJ14～59VBをお買求めください。

●PFAK-P450,560AW(M)-A　●PFAK-P400,500AW(M)-A
●PFAK-P530,670AW(M)-A-F

別売形名	部　品　名	部品内容 ①送風機プーリー	個数	②ベルト	個数	③電動機プーリー	個数	④電磁開閉器	個数	⑤電動機	個数	備　考
PAC-CH41SP	送風機プーリーセット	2B170-24	1	B58	2							
PAC-CH42SP	送風機プーリーセット	2B180-24	1	B59	2							
PAC-CH43SP	送風機プーリーセット	2B190-24	1	B59,B60	各2							
PAC-CH44SP	送風機プーリーセット	2B200-24	1	B60	2							
PAC-CH45SP	送風機プーリーセット	2B212-24	1	B61	2							
PAC-CH46SP	送風機プーリーセット	2B224-24	1	B62	2							
PAC-CH47SP	送風機プーリーセット	2B236-24	1	B62	2							
PAC-CH39SP	送風機プーリーセット	2B250-24	1	B63,B64	各2							
PAC-CH48SP	送風機プーリーセット	2B280-24	1	B65,B66	各2							
PAC-CH49SP	送風機プーリーセット	2B300-24	1	B66	2							
PAC-CH50SP	送風機プーリーセット	2B315-24	1	B67	2							
PAC-CH51SP	送風機プーリーセット	2B355-24	1	B70	2							
PAC-CH52SP	送風機プーリーセット	2B165-28	1	B56	2							
PAC-CH53SP	送風機プーリーセット	2B170-28	1	B56	2							
PAC-CH54SP	送風機プーリーセット	2B180-28	1	B57	2							
PAC-CH55SP	送風機プーリーセット	2B200-28	1	B59,B60	各2							
PAC-CH56SP	送風機プーリーセット	2B212-28	1	B59,B60	各2							
PAC-CH57SP	送風機プーリーセット	2B224-28	1	B60,B61	各2							
PAC-CH58SP	送風機プーリーセット	2B236-28	1	B61,B62	各2							
PAC-CH40SP	送風機プーリーセット	2B250-28	1	B62,B63	各2							
PAC-CH59SP	送風機プーリーセット	2B280-28	1	B64,B65	各2							
PAC-CH60SP	送風機プーリーセット	2B300-28	1	B65,B66	各2							
PAC-CH61SP	送風機プーリーセット	2B315-28	1	B66	2							
PAC-CH62MP	電動機プーリーセット					2B125-28	1					
PAC-CH63MP	電動機プーリーセット			B63,B65	各2	2B145-28	1	PAK-21JTH(15A)	1			標準仕様変更名板付（3.7kWﾓｰﾀｰ用）
PAC-CH64MP	電動機プーリーセット			B64,B66	各2	2B155-28	1	PAK-21JTH(15A)	1			
PAC-CH65MP	電動機プーリーセット					2B145-38	1	PAK-26JTH(22.5A)	1			標準仕様変更名板付（5.5kWﾓｰﾀｰ用）
PAC-CH66MP	電動機プーリーセット					2B155-38	1	PAK-26JTH(22.5A)	1			
PAC-CH67MP	電動機プーリーセット			B63,B65	各2	2B165-38	1	PAK-26JTH(22.5A)	1			
PAC-CJ65MR	電動機									SF-JR3.7kW-4P	1	
PAC-CJ66MR	電動機									SF-JR5.5kW-4P	1	

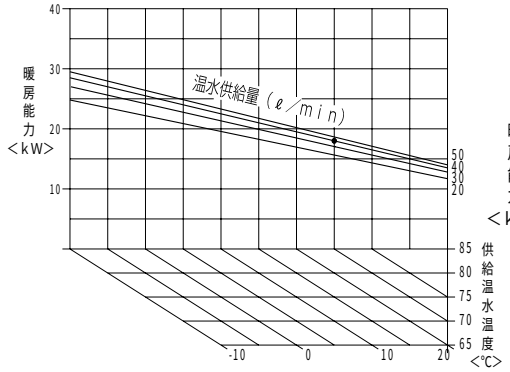
（2）取付部品能力線図

(a) 標準・中温タイプ〈PFAK・PFTK形〉

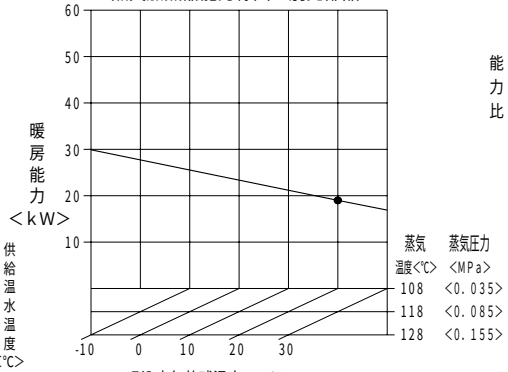
※機種によって組込み可能な別売部品があります。P1-221～P1-224の取付可能部品表を参照ください。

●PFAK-P140AW(M)-A
●PFTK-P125AW(M)-A

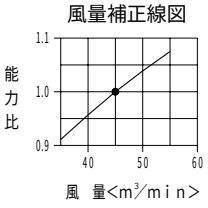
温水加熱器能力線図＜別売部品＞



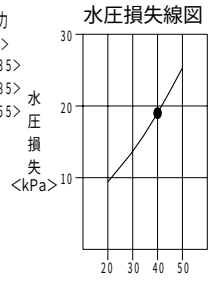
蒸気加熱器能力線図＜別売部品＞



風量補正線図



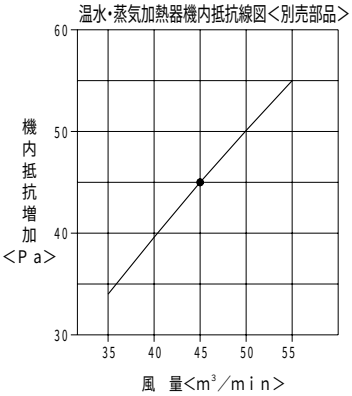
水圧損失線図



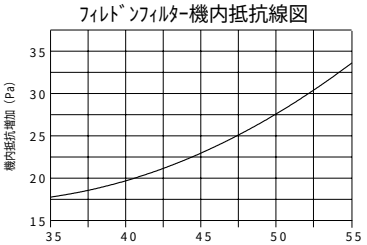
使用上のご注意＜蒸気・温水加熱器＞

1. 暖房プルアップ時（又は常時）吸込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。
（温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等）
2. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
3. 吸込ダクトでご使用になる場合は、吸込空気温度が0℃以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて周囲の機械等が不具合に至らないようにご注意ください。

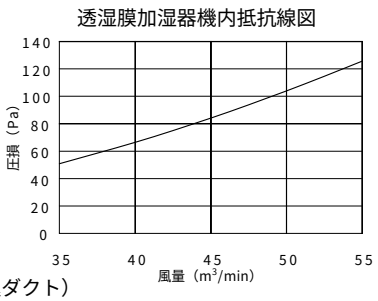
温水・蒸気加熱器機内抵抗線図＜別売部品＞



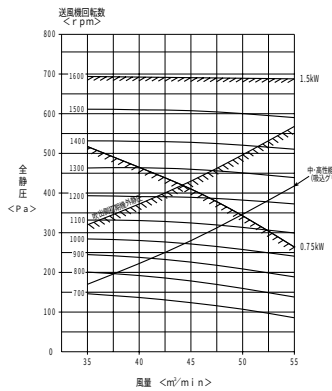
フィルドンフィルター機内抵抗線図



透湿膜加湿器機内抵抗線図

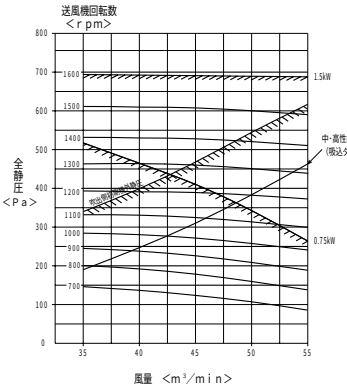


中・高性能フィルター組込（吸込グリル）送風機性能線図



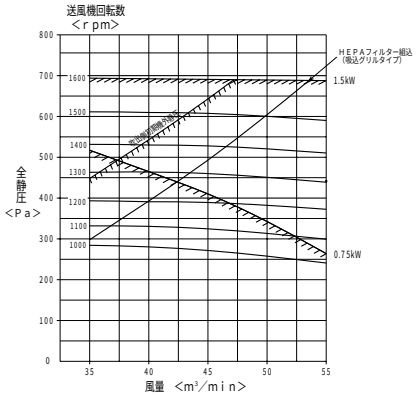
注1. 吹出ダクト接続する場合（別売吹出ダクトフランジ PAC-TS04FDが必要）、吹出側初期機外静圧150 Pa以下としてください。

中・高性能フィルター組込（吸込ダクト）送風機性能線図



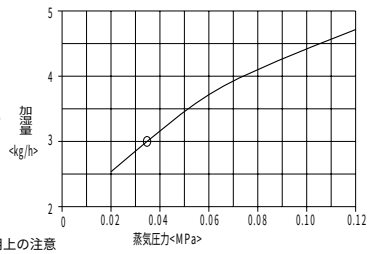
注1. 吹出ダクト接続する場合（別売吹出ダクトフランジ PAC-TS04FDが必要）、吹出側初期機外静圧150 Pa以下としてください。

HEPAフィルター組込（吸込グリル）送風機性能線図



注1. 吹出ダクト接続する場合（別売吹出ダクトフランジ PAC-TS04FDが必要）、吹出側初期機外静圧150 Pa以下としてください。

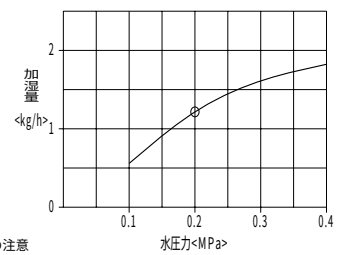
蒸気ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



使用上の注意

1. 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。
本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。
＜塞止弁にしてもよい＞　組合せ電磁弁口径　φ7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁＜または塞止弁＞を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用してください。
4. サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定（出荷時の設定通り）でご使用ください。
サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・蒸気圧・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

水ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



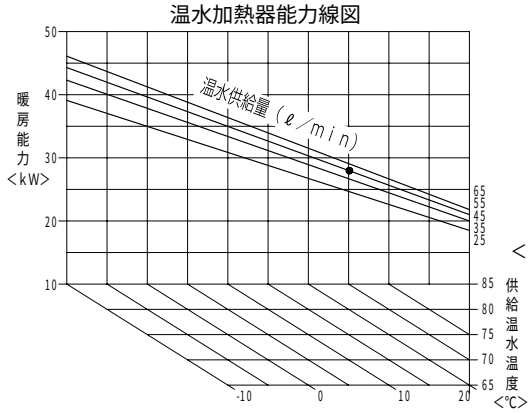
使用上の注意

1. 供給水としては60℃以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
3. 2倍形＜ヘッダー本数2本＞の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
4. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

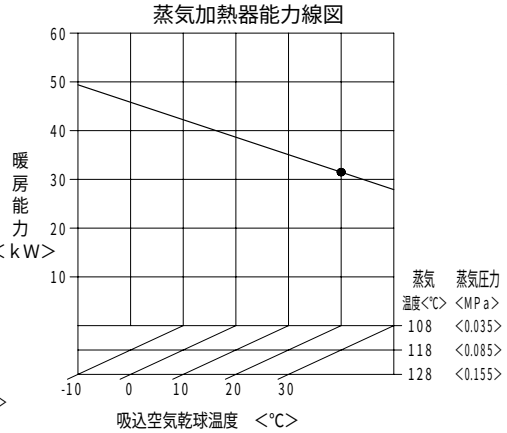
●PFAK-P224AW(M)-A
●PFTK-P200AW(M)-A

※機種によって組込み可能な別売部品があります。P1-221～P1-224の取付可能部品表を参照ください。

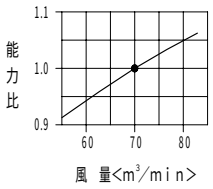
温水加熱器能力線図



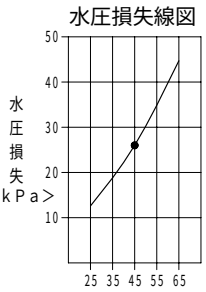
蒸気加熱器能力線図



風量補正線図



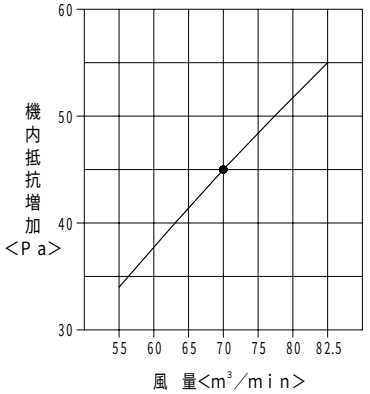
水圧損失線図



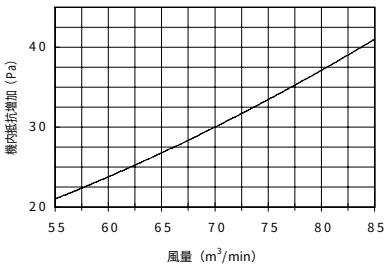
使用上のご注意＜蒸気・温水加熱器＞

1. 暖房プルアップ時（又は常時）吸込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。
（温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等）
2. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
3. 吸込ダクトでご使用になる場合は、吸込空気温度が0℃以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて周囲の機械等が不具合に至らないようにご注意ください。

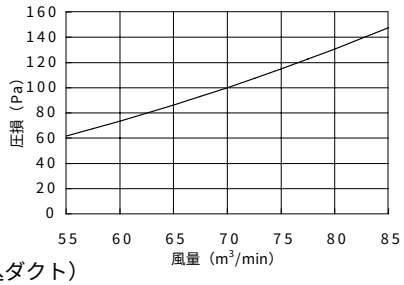
温水・蒸気加熱器機内抵抗線図



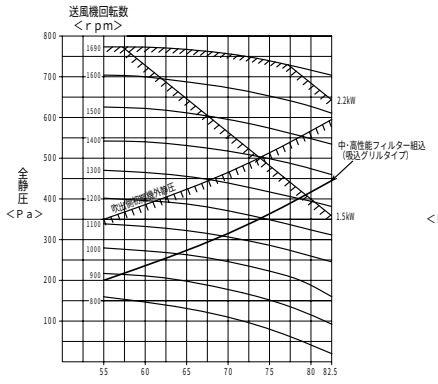
ﾌｨﾚﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ機内抵抗線図



透湿膜加湿器機内抵抗線図

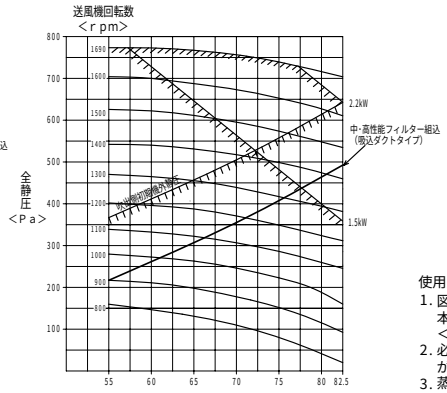


中・高性能フィルター組込（吸込グリル）送風機性能線図



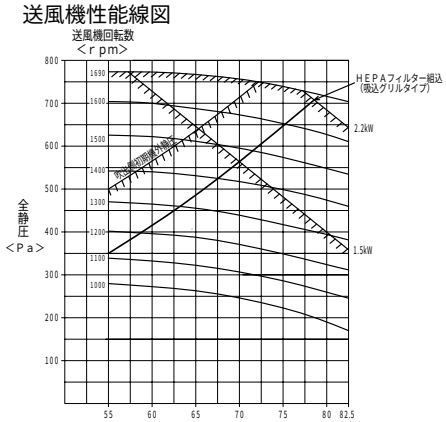
注1. 吹出ダクト接続する場合（別売吹出ダクトフランジPAC-TS05FDが必要）、吹出側初期機外静圧は150Pa以下としてください。

中・高性能フィルター組込（吸込ダクト）送風機性能線図



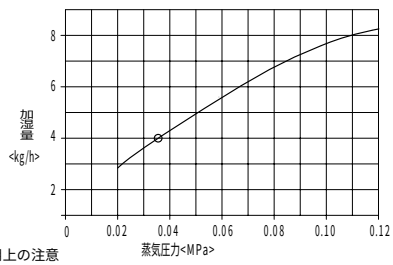
注1. 吹出ダクト接続する場合（別売吹出ダクトフランジPAC-TS05FDが必要）、吹出側初期機外静圧は150Pa以下としてください。

HEPAフィルター組込（吸込グリル）送風機性能線図



注1. 吹出ダクト接続する場合（別売吹出ダクトフランジPAC-TS05FDが必要）、吹出側初期機外静圧は150Pa以下としてください。

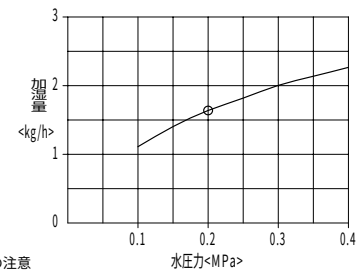
蒸気ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



使用上の注意

1. 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。
本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。
＜塞止弁にしてもよい＞　組合せ電磁弁口径　Φ7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁＜または塞止弁＞を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用してください。
4. サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定（出荷時の設定通り）でご使用ください。
サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・蒸気圧・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

水ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



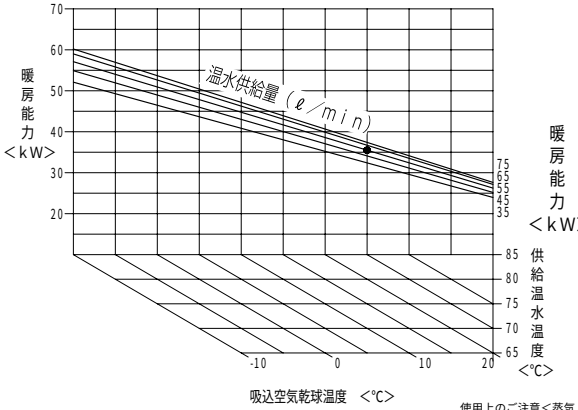
使用上の注意

1. 供給水としては60℃以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
3. 2倍形＜ヘッダー本数2本＞の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
4. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

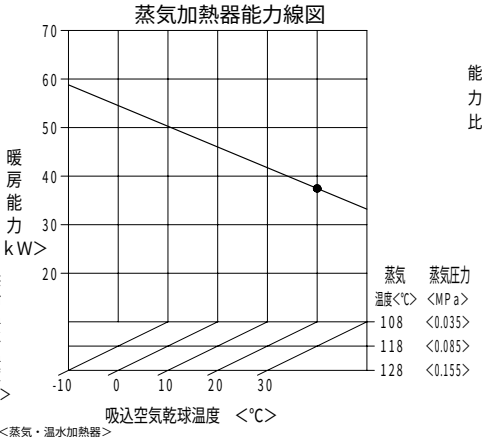
●PFAK-P280AW(M)-A
●PFTK-P250AW(M)-A

※機種によって組込み可能な別売部品があります。P1-221～P1-224の取付可能部品表を参照ください。

温水加熱器能力線図



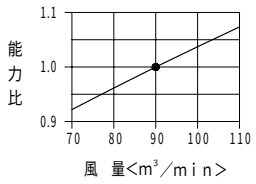
蒸気加熱器能力線図



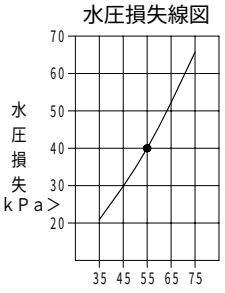
使用上のご注意＜蒸気・温水加熱器＞

1. 暖房プルアップ時（又は常時）吸込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。（温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等）
2. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
3. 吸込ダクトでご使用になる場合は、吸込空気温度が0℃以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて周囲の機械等が不具合に至らないようにご注意ください。

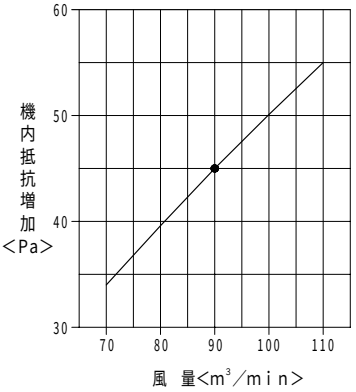
風量補正線図



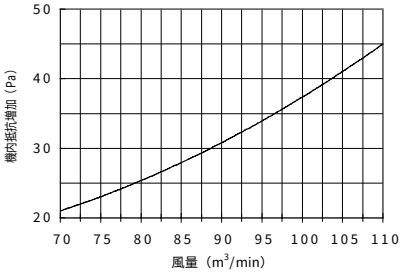
水圧損失線図



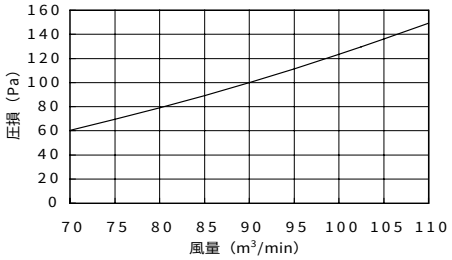
温水・蒸気加熱器機内抵抗線図



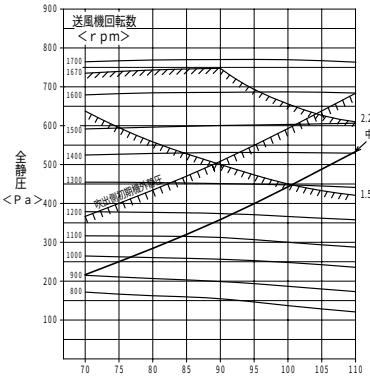
ﾌｨﾚﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ機内抵抗線図



透湿膜加湿器機内抵抗線図

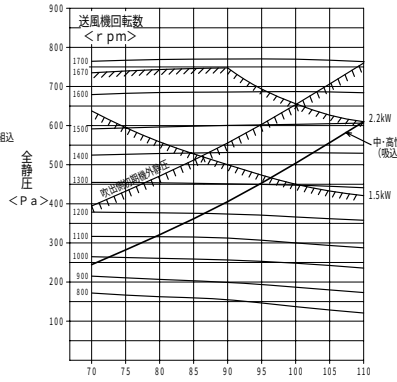


中・高性能フィルター組込（吸込グリル）送風機性能線図



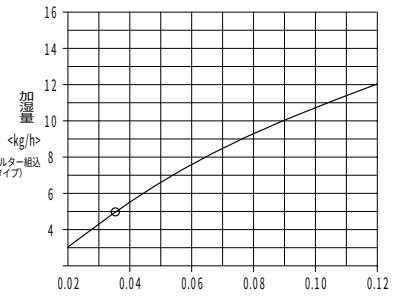
注1. 吹出ダクト接続する場合（別売吹出ダクトフランジPAC-TS08FDが必要）、吹出側初期機外静圧は150Pa以下としてください。

中・高性能フィルター組込（吸込ダクト）送風機性能線図



注1. 吹出ダクト接続する場合（別売吹出ダクトフランジPAC-TS08FDが必要）、吹出側初期機外静圧は150Pa以下としてください。

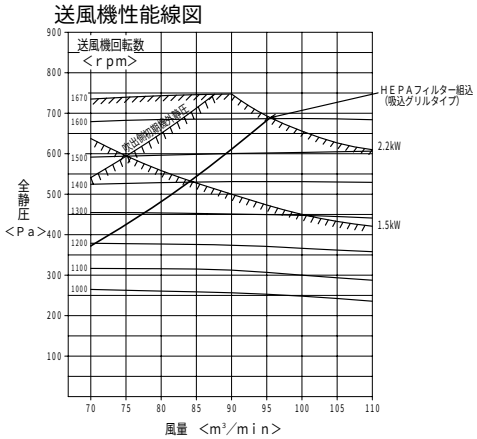
蒸気ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



使用上の注意

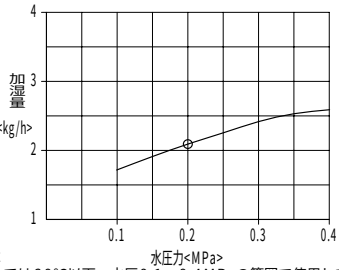
1. 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。＜塞止弁にしてもよい＞　組合せ電磁弁口径　φ7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁＜または塞止弁＞を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用してください。
4. サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定（出荷時の設定通り）でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・蒸気圧・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

HEPAフィルター組込（吸込グリル）送風機性能線図



注1. 吹出ダクト接続する場合（別売吹出ダクトフランジPAC-TS08FDが必要）、吹出側初期機外静圧は150Pa以下としてください。

水ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



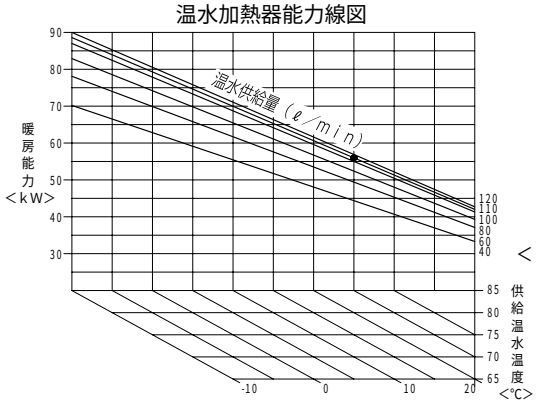
使用上の注意

1. 供給水としては60℃以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
3. 2倍形＜ヘッダー本数2本＞の場合は上記線図の数値を２倍して能力を算出してください。
4. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

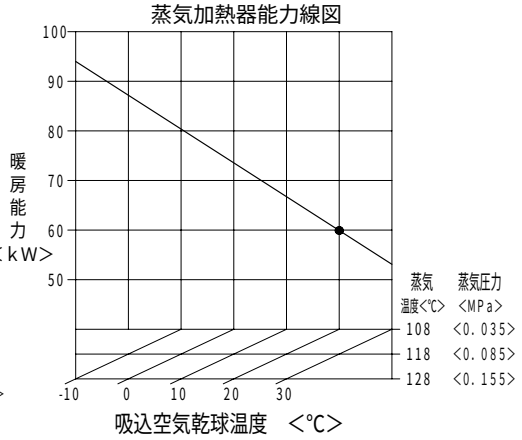
●PFAK-P450AW(M)-A
●PFTK-P400AW(M)-A

※機種によって組込み可能な別売部品があります。P1-221～P1-224の取付可能部品表を参照ください。

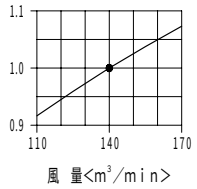
温水加熱器能力線図



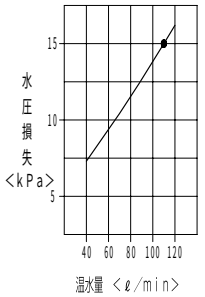
蒸気加熱器能力線図



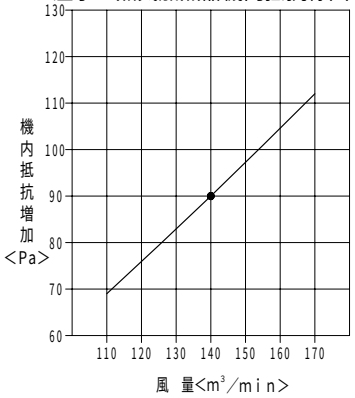
風量補正線図



水圧損失線図

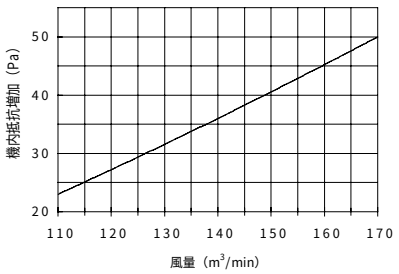


温水・蒸気加熱器機内抵抗線図

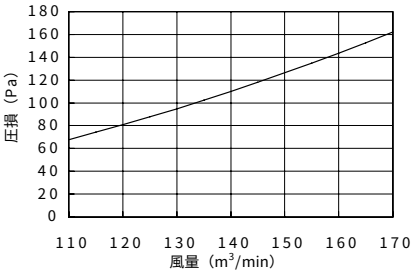


使用上のご注意<蒸気・温水加熱器>
1. 暖房プルアップ時（又は常時）吸込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。
（温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等）
2. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
3. 吸込ダクトでご使用になる場合は、吸込空気温度が0℃以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて周囲の機械等が不具合に至らないようにご注意ください。

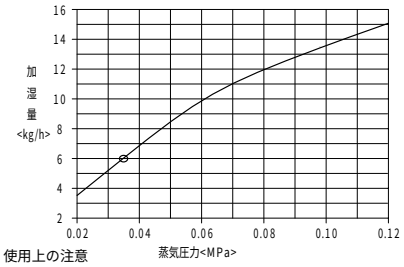
フィルドンフィルター機内抵抗線図



透湿膜加湿器機内抵抗線図

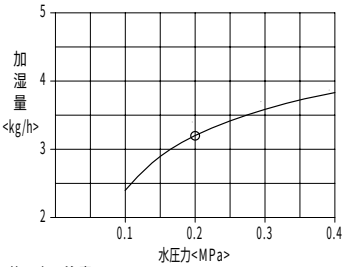


蒸気スプレー式加湿器能力線図



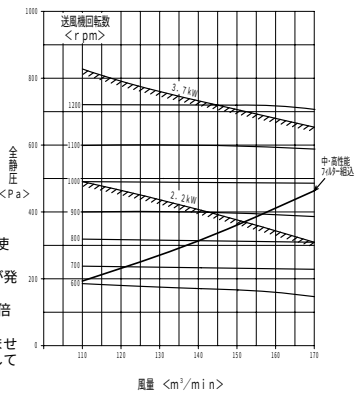
使用上の注意
1. 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。
本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。<塞止弁にしてもよい> 組合せ電磁弁口径 φ7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用してください。
4. サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定（出荷時の設定通り）でご使用ください。
サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・蒸気圧・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

水スプレー式加湿器能力線図



使用上の注意
1. 供給水としては60℃以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
3. 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
4. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

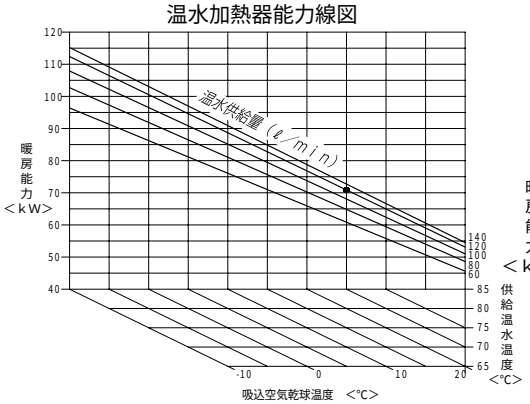
中・高性能フィルター組込 送風機性能線図



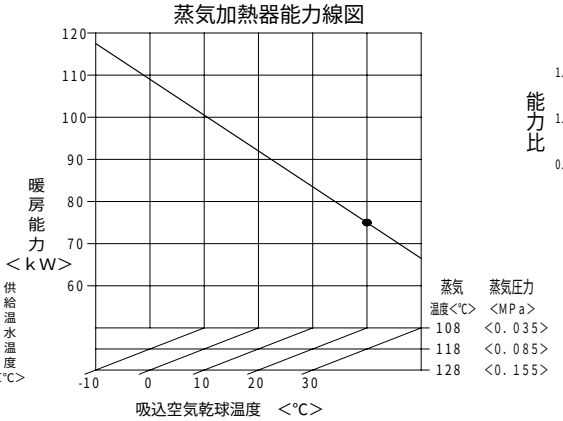
●PFAK-P560AW(M)-A
●PFTK-P500AW(M)-A

※機種によって組込み可能な別売部品があります。P1-221～P1-224の取付可能部品表を参照ください。

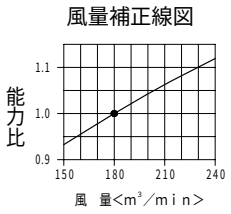
温水加熱器能力線図



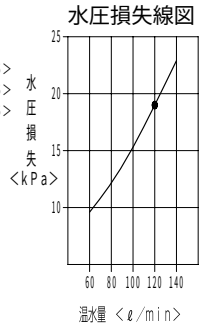
蒸気加熱器能力線図



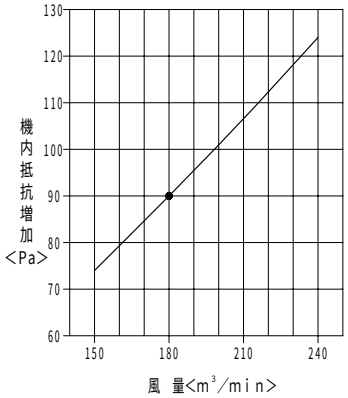
風量補正線図



水圧損失線図



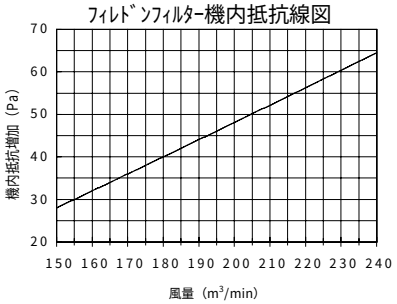
温水・蒸気加熱器機内抵抗線図



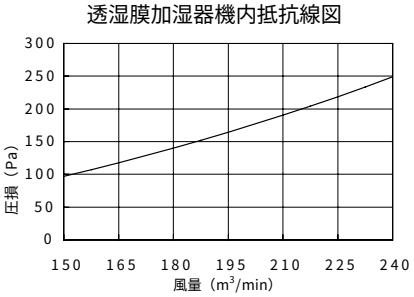
使用上のご注意＜蒸気・温水加熱器＞

1. 暖房プルアップ時（又は常時）吸込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。（温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等）
2. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
3. 吸込ダクトでご使用になる場合は、吸込空気温度が0℃以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて周囲の機械等が不具合に至らないようにご注意ください。

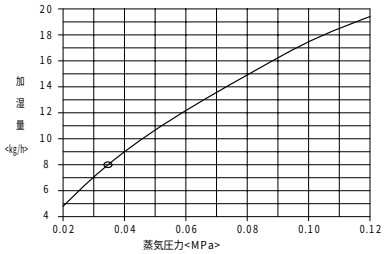
ﾌｨﾚﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ機内抵抗線図



透湿膜加湿器機内抵抗線図



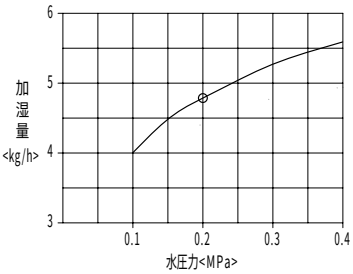
蒸気ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



使用上の注意

1. 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。＜塞止弁にしてもよい＞　組合せ電磁弁口径　φ7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏が発生することがあります。必ず電磁弁＜または塞止弁＞を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用してください。
4. サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定（出荷時の設定通り）でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・蒸気圧・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

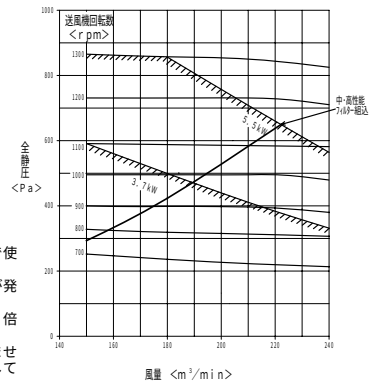
水ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



使用上の注意

1. 供給水としては60℃以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
3. 2倍形＜ヘッダー本数2本＞の場合は上記線図の数値を２倍して能力を算出してください。
4. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

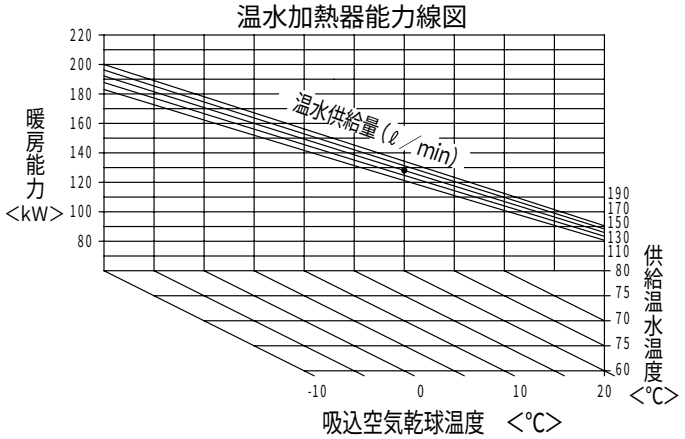
中・高性能フィルター組込送風機性能線図



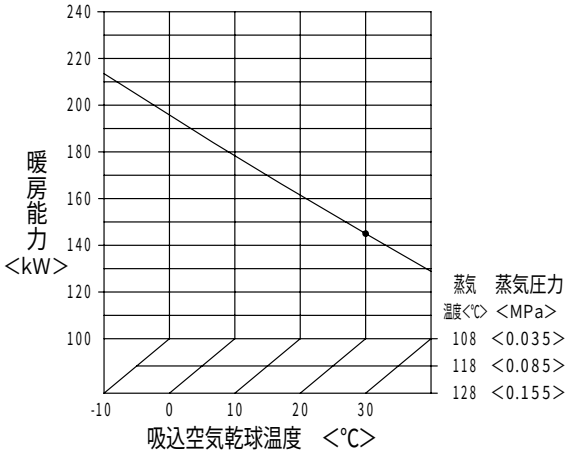
●PFAK-P630AW(M)-A
●PFTK-P600AW(M)-A

※機種によって組込み可能な別売部品があります。P1-221～P1-224の取付可能部品表を参照ください。

温水加熱器能力線図



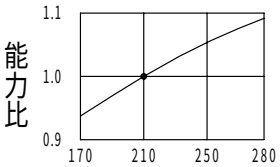
蒸気加熱器能力線図



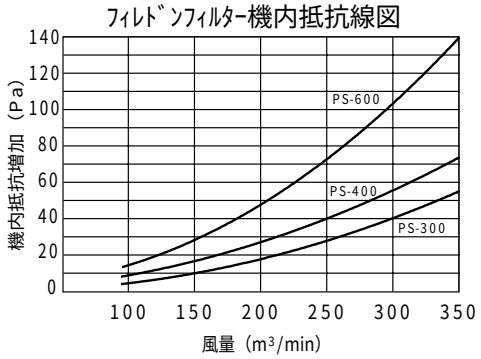
使用上のご注意＜蒸気・温水加熱器＞

1. 暖房プルアップ時(又は常時)吸込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。
（温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等）
2. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
3. 吸込ダクトでご使用になる場合は、吸込空気温度が0℃以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて周囲の機械等が不具合に至らないようにご注意ください。

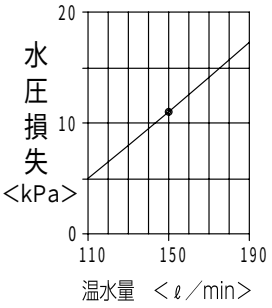
風量補正線図



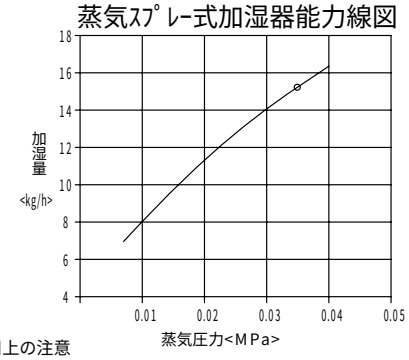
ﾌｨﾚﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ機内抵抗線図



水圧損失線図



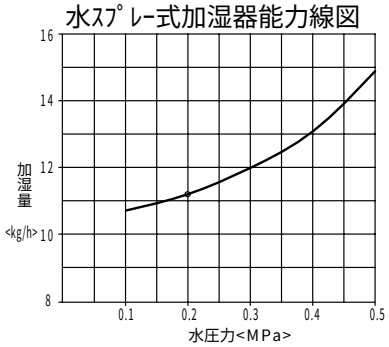
蒸気ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



使用上の注意

1. 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。
本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。＜塞止弁にしてもよい＞　組合せ電磁弁口径　φ7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁＜または塞止弁＞を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.007～0.04MPaの範囲で使用してください。
4. サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定（出荷時の設定通り）でご使用ください。
サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・蒸気圧・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

水ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



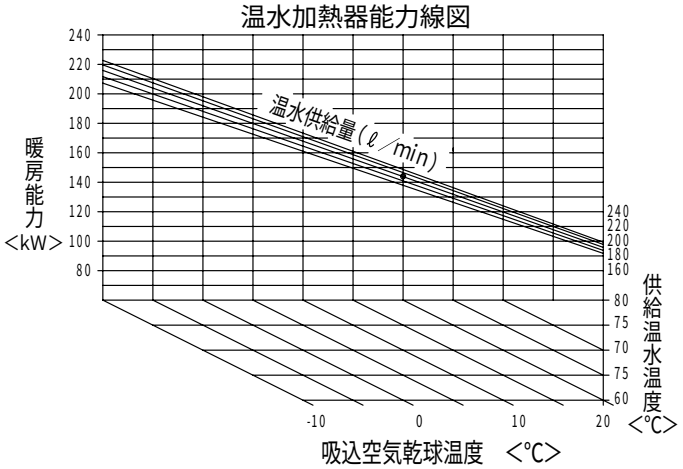
使用上の注意

1. 供給水としては60℃以下、水圧0.1～0.5MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
3. 2倍形＜ヘッダー本数2本＞の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
4. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

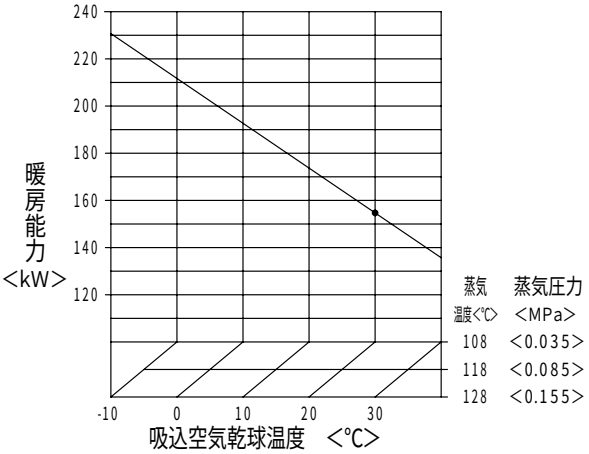
●PFAK-P800AW(M)-A
●PFTK-P750AW(M)-A

※機種によって組込み可能な別売部品があります。P1-221～P1-224の取付可能部品表を参照ください。

温水加熱器能力線図



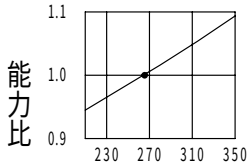
蒸気加熱器能力線図



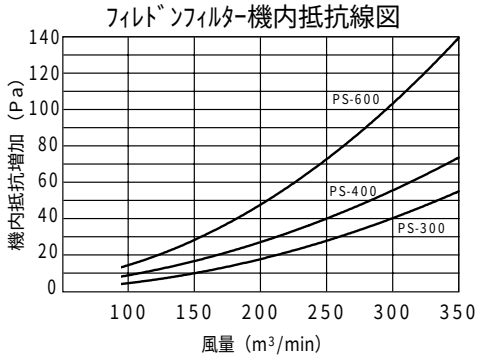
使用上のご注意＜蒸気・温水加熱器＞

1. 暖房プルアップ時（又は常時）吸込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。（温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等）
2. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
3. 吸込ダクトでご使用になる場合は、吸込空気温度が0℃以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて周囲の機械等が不具合に至らないようにご注意ください。

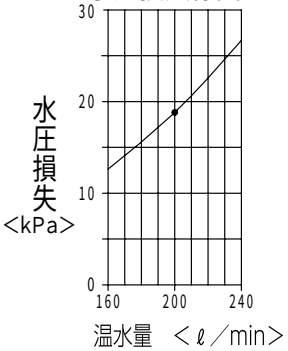
風量補正線図



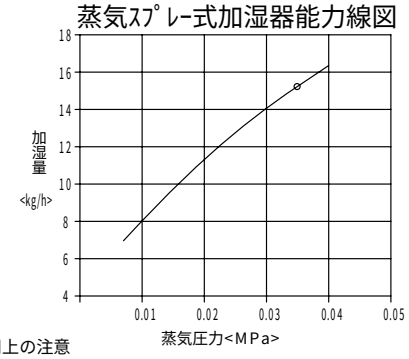
フィルドンフィルター機内抵抗線図



水圧損失線図



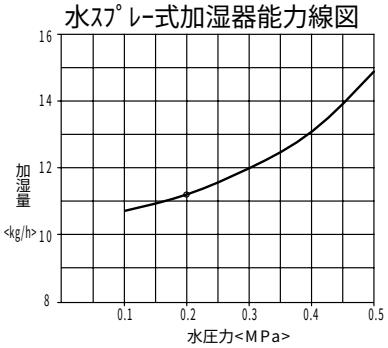
蒸気スプレー式加湿器能力線図



使用上の注意

1. 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。＜塞止弁にしてもよい＞　組合せ電磁弁口径　φ7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁＜または塞止弁＞を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.007～0.04MPaの範囲で使用してください。
4. サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定（出荷時の設定通り）でご使用ください。
   サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・蒸気圧・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

水スプレー式加湿器能力線図



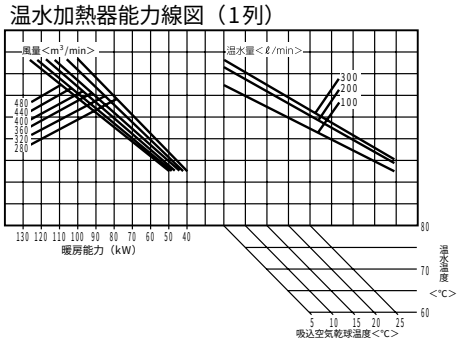
使用上の注意

1. 供給水としては60℃以下、水圧0.1～0.5MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
3. 2倍形＜ヘッダー本数2本＞の場合は上記線図の数値を２倍して能力を算出してください。
4. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

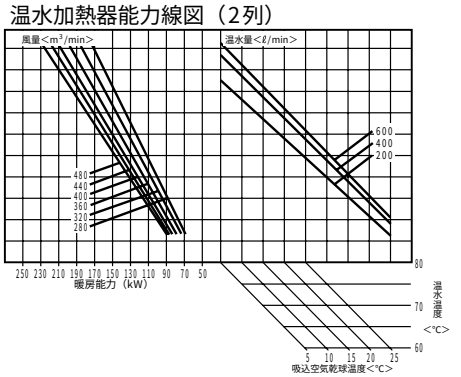
●PFAK-P1120AW(M)-A
●PFTK-P1000AW(M)-A

※受注対応となります。

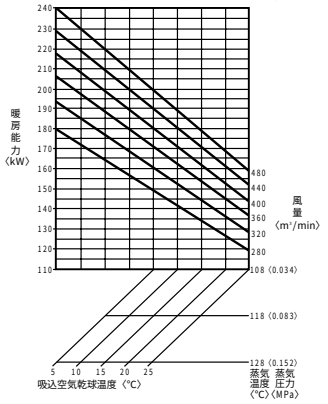
温水加熱器能力線図（1列）



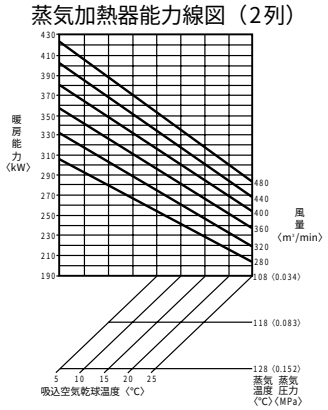
温水加熱器能力線図（2列）



蒸気加熱器能力線図（1列）



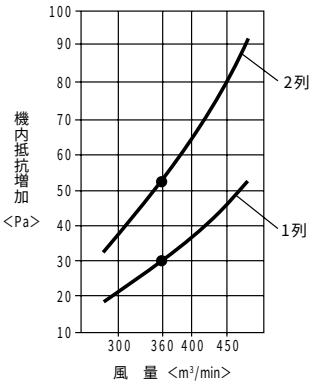
蒸気加熱器能力線図（2列）



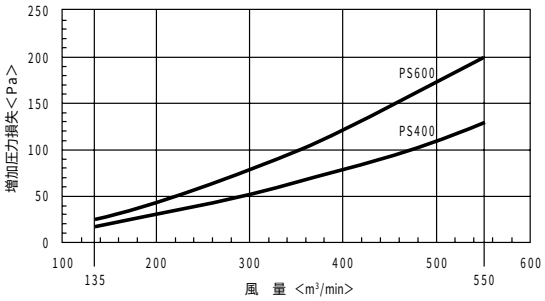
使用上のご注意＜蒸気・温水加熱器＞

1. 暖房プルアップ時（又は常時）吸込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。
（温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等）
2. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
3. 吸込ダクトでご使用になる場合は、吸込空気温度が0℃以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて周囲の機械等が不具合に至らないようにご注意ください。

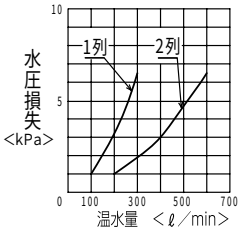
温水・蒸気加熱器機内抵抗線図



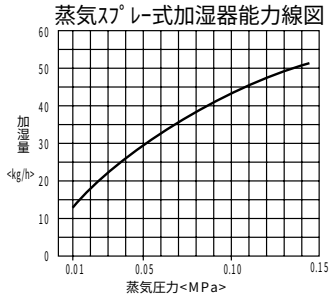
ﾌｨﾚﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ機内抵抗線図



水圧損失線図

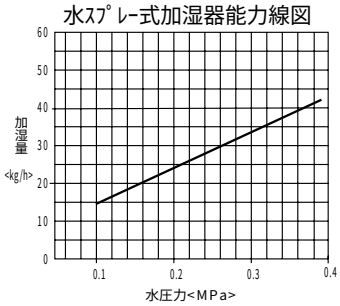


蒸気ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



※蒸気圧力範囲　0.01～0.147MPa

水ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



※水圧範囲　0.098～0.39MPa

使用上の注意

1. 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。
本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。＜塞止弁にしてもよい＞　組合せ電磁弁口径　φ7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁＜または塞止弁＞を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.01～0.147MPaの範囲で使用してください。
4. サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定（出荷時の設定通り）でご使用ください。
サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・蒸気圧・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

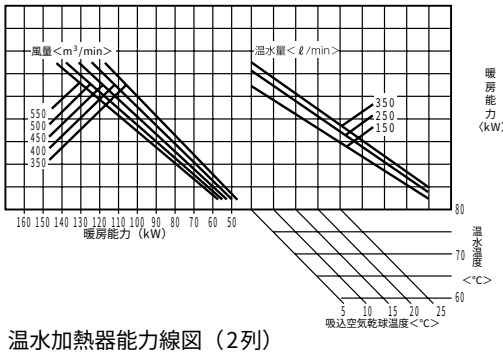
使用上の注意

1. 供給水としては60℃以下、水圧0.098～0.39MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
3. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

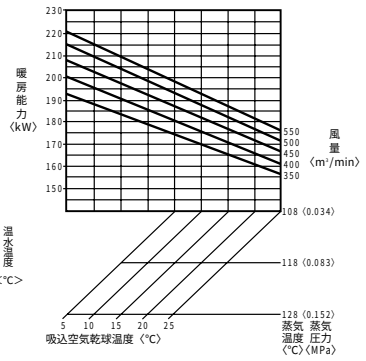
●PFAK-P1400AW(M)-A
●PFTK-P1250AW(M)-A

※受注対応となります。

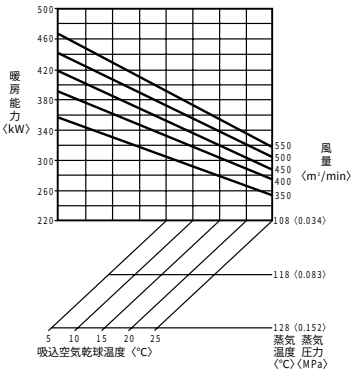
温水加熱器能力線図（1列）



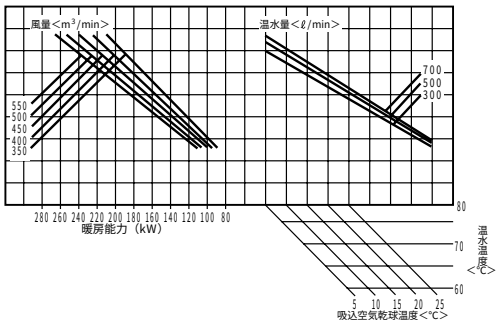
蒸気加熱器能力線図（1列）



蒸気加熱器能力線図（2列）



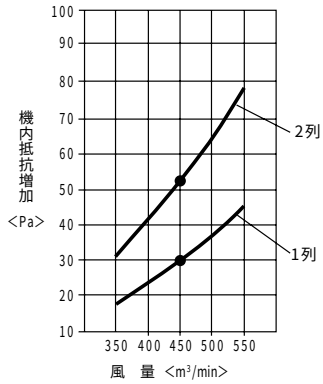
温水加熱器能力線図（2列）



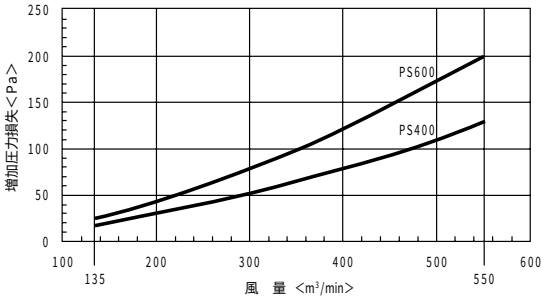
使用上のご注意＜蒸気・温水加熱器＞

1. 暖房プルアップ時（又は常時）吸込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。
（温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等）
2. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
3. 吸込ダクトでご使用になる場合は、吸込空気温度が0℃以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて周囲の機械等が不具合に至らないようにご注意ください。

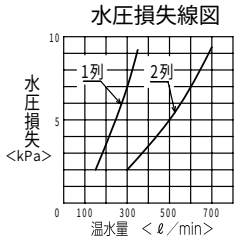
温水・蒸気加熱器機内抵抗線図



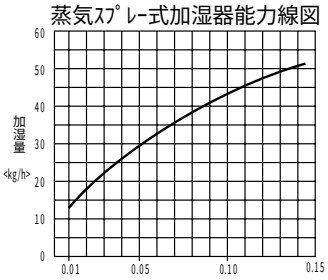
ﾌｨﾚﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ機内抵抗線図



水圧損失線図



蒸気ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図

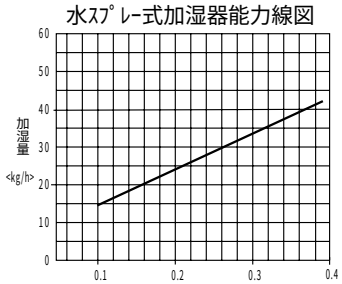


※蒸気圧力範囲　0.01～0.147MPa

使用上の注意

1. 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。
本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。＜塞止弁にしてもよい＞　組合せ電磁弁口径　φ7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁＜または塞止弁＞を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.01～0.147MPaの範囲で使用してください。
4. サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定（出荷時の設定通り）でご使用ください。
サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・蒸気圧・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

水ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



※水圧範囲　0.098～0.39MPa

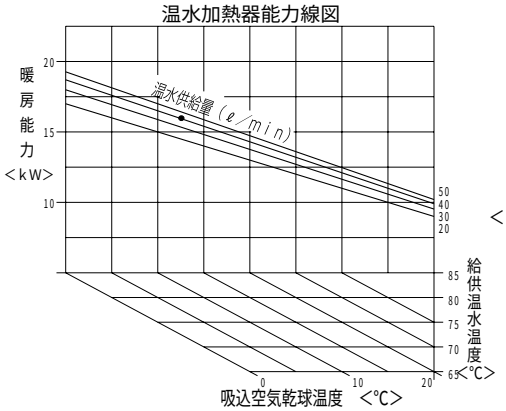
使用上の注意

1. 供給水としては60℃以下、水圧0.098～0.39MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
3. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

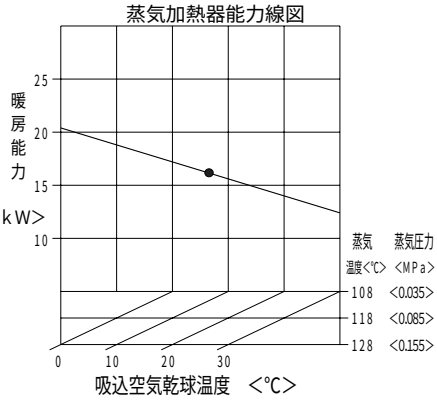
(b) オールフレッシュタイプ〈PFAK-F形〉

●PFAK-P167AW(M)-A-F

温水加熱器能力線図

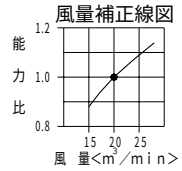


蒸気加熱器能力線図

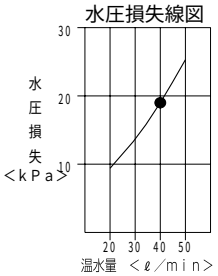


使用上のご注意<蒸気・温水加熱器>
1. 暖房プルアップ時（又は常時）吸込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので，適切な凍結防止処置を施してください。（温水の強制通水，蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等）
2. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
3. 吹出し空気温度が60℃以下になるように温水量、蒸気圧力等で調整してください。

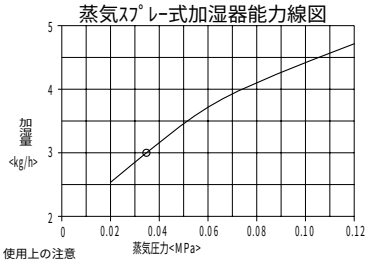
風量補正線図



水圧損失線図

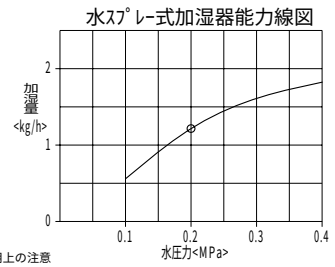


蒸気ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



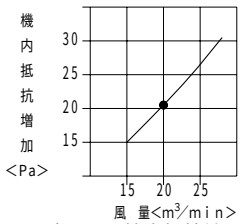
使用上の注意
1. 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。<塞止弁にしてもよい> 組合せ電磁弁口径 φ7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用して下さい。
4. サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定（出荷時の設定通り）でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・蒸気圧・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

水ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図

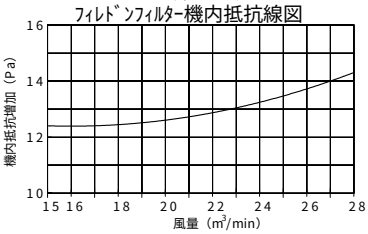


使用上の注意
1. 供給水としては60℃以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
3. 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は上記線図の数値を２倍して能力を算出してください。
4. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

温水・蒸気加熱器機内抵抗線図

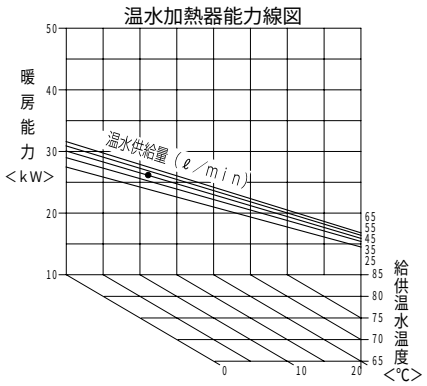


ﾌｨﾚﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ機内抵抗線図

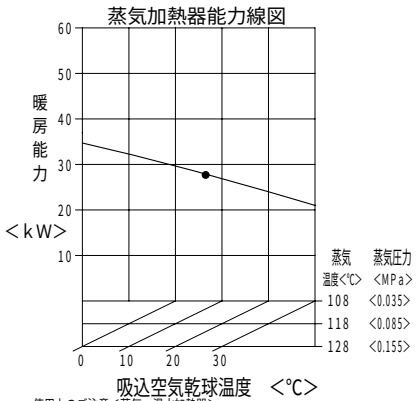


●PFAK-P265AW(M)-A-F

温水加熱器能力線図

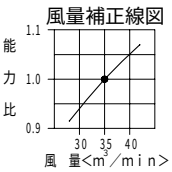


蒸気加熱器能力線図

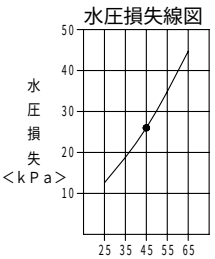


使用上のご注意<蒸気・温水加熱器>
1. 暖房プルアップ時（又は常時）吸込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので，適切な凍結防止処置を施してください。（温水の強制通水，蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等）
2. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
3. 吹出し空気温度が60℃以下になるように温水量、蒸気圧力等で調整してください。

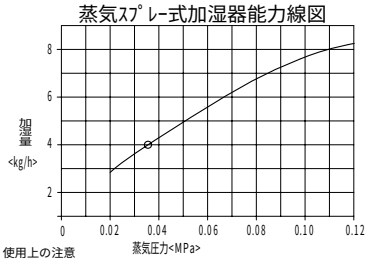
風量補正線図



水圧損失線図

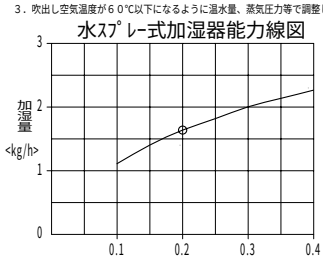


蒸気ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



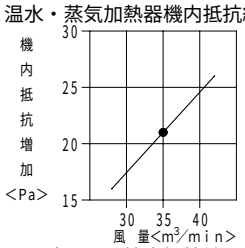
使用上の注意
1. 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。<塞止弁にしてもよい> 組合せ電磁弁口径 φ7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用して下さい。
4. サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定（出荷時の設定通り）でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・蒸気圧・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

水ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図

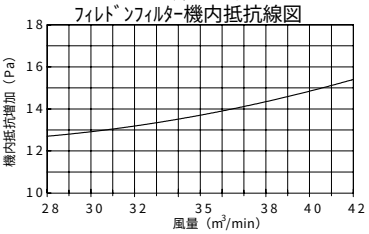


使用上の注意
1. 供給水としては60℃以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
3. 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は上記線図の数値を２倍して能力を算出してください。
4. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

温水・蒸気加熱器機内抵抗線図

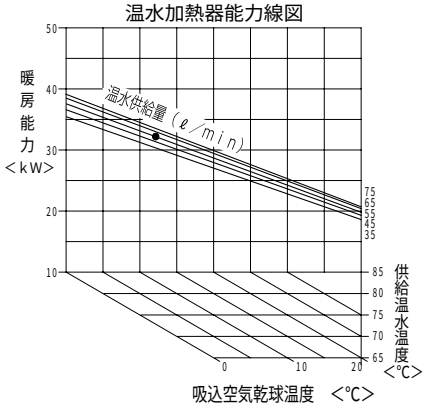


ﾌｨﾚﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ機内抵抗線図

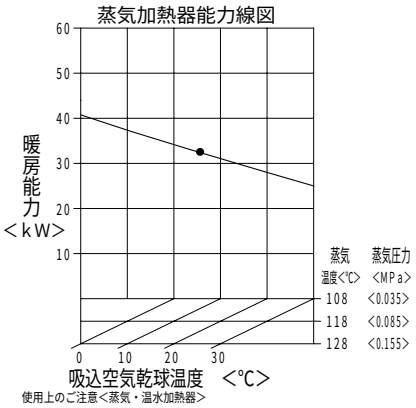


●PFAK-P335AW(M)-A-F

温水加熱器能力線図



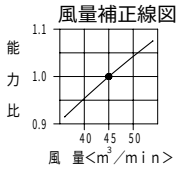
蒸気加熱器能力線図



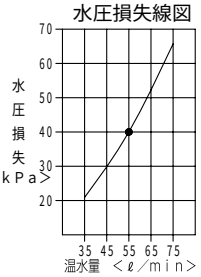
使用上のご注意<蒸気・温水加熱器>

1．暖房プルアップ時（又は常時）吸込み空気が０℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので，適切な凍結防止処置を施してください。（温水の強制通水，蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等）
2．冷房中や厳冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
3．吹出し空気温度が６０℃以下になるように温水量、蒸気圧力等で調整してください。

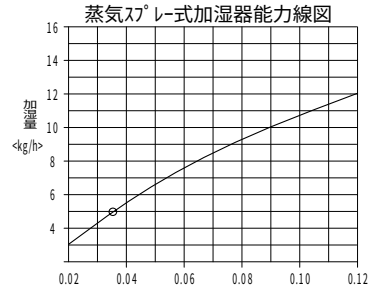
風量補正線図



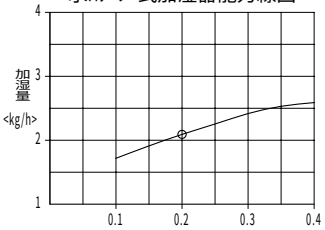
水圧損失線図



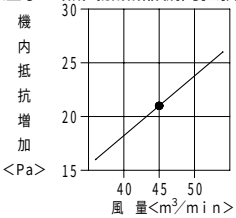
蒸気ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



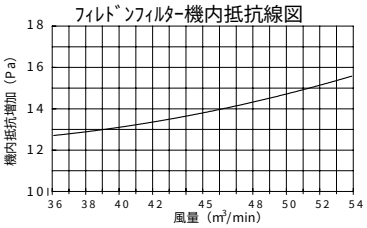
水ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



温水・蒸気加熱器機内抵抗線図



ﾌｨﾚﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ機内抵抗線図



使用上の注意

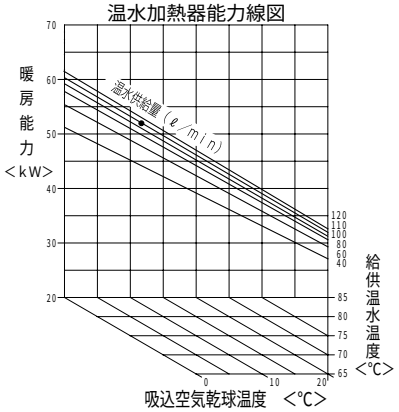
1. 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。
本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。<塞止弁にしてもよい> 組合せ電磁弁口径 φ 7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用して下さい。
4. サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定（出荷時の設定通り）でご使用ください。
サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・蒸気圧・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

使用上の注意

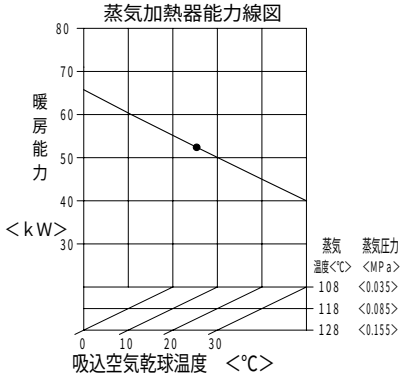
1. 供給水としては60℃以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
3. 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は上記線図の数値を２倍して能力を算出してください。
4. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

●PFAK-P530AW(M)-A-F

温水加熱器能力線図



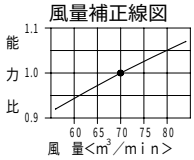
蒸気加熱器能力線図



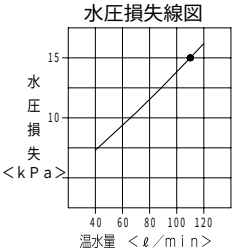
使用上のご注意<蒸気・温水加熱器>

1．暖房プルアップ時（又は常時）吸込み空気が０℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので，適切な凍結防止処置を施してください。（温水の強制通水，蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等）
2．冷房中や厳冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
3．吹き出し空気温度が６０℃以下になるように温水量、蒸気圧力等で調整してください。

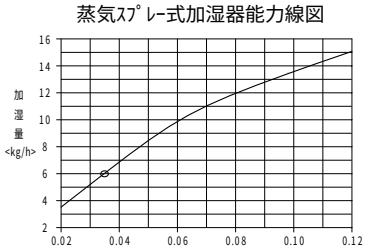
風量補正線図



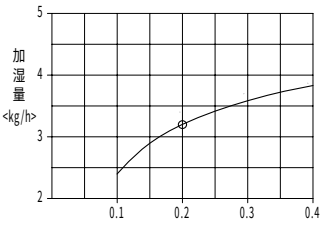
水圧損失線図



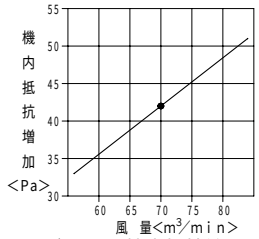
蒸気ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



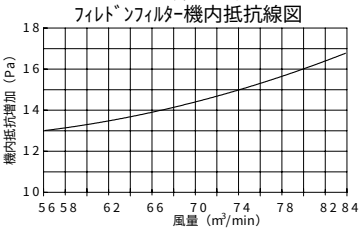
水ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



温水・蒸気加熱器機内抵抗線図



ﾌｨﾚﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ機内抵抗線図



使用上の注意

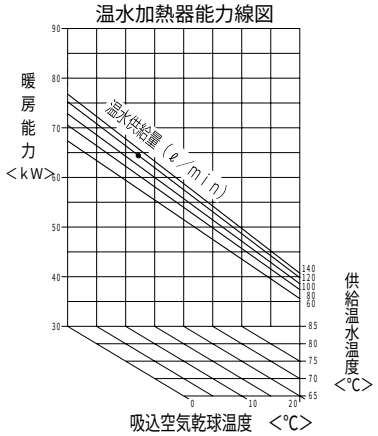
1. 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。
本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。<塞止弁にしてもよい> 組合せ電磁弁口径 φ 7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用して下さい。
4. サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定（出荷時の設定通り）でご使用ください。
サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・蒸気圧・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

使用上の注意

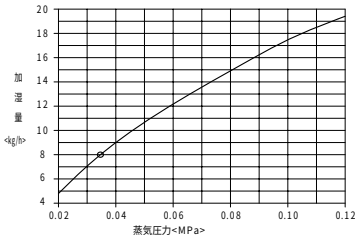
1. 供給水としては60℃以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
3. 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は上記線図の数値を２倍して能力を算出してください。
4. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

●PFAK-P670AW(M)-A-F

温水加熱器能力線図



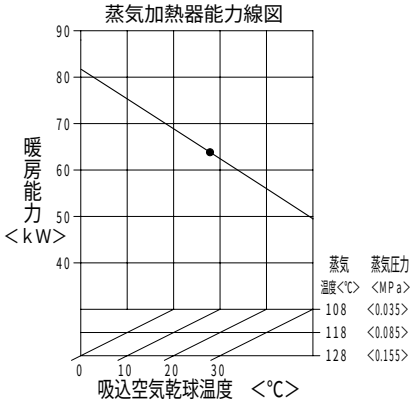
蒸気ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



使用上の注意

1. 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。
   本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。<塞止弁にしてもよい>　組合せ電磁弁口径 φ7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用して下さい。
4. サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定（出荷時の設定通り）でご使用ください。
   サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・蒸気圧・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

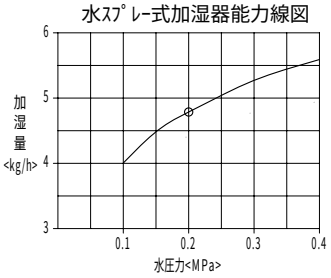
蒸気加熱器能力線図



使用上のご注意<蒸気・温水加熱器>

1. 暖房ブルアップ時（又は常時）吸込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので，適切な凍結防止処置を施してください。
   （温水の強制通水，蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等）
2. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
3. 吹出し空気温度が60℃以下になるように温水量、蒸気圧力等で調整してください。

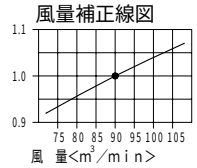
水ｽﾌﾟﾚｰ式加湿器能力線図



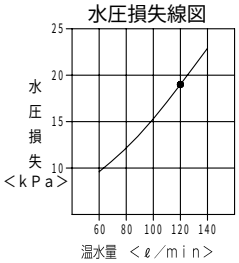
使用上の注意

1. 供給水としては60℃以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
3. 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は上記線図の数値を２倍して能力を算出してください。
4. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。

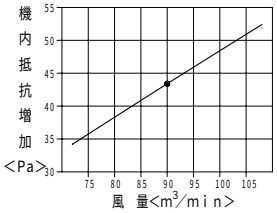
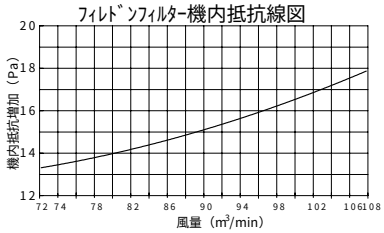
風量補正線図



水圧損失線図



温水・蒸気加熱器機内抵抗線図



ﾌｨﾙﾄﾞﾝﾌｨﾙﾀｰ機内抵抗線図